

令和7年度
中央区の福祉施策の充実に関する調査
(中央区障害者(児)実態調査)

【調査結果報告書】

令和8(2026)年3月



目 次

第 1 章	調査概要	1
1	調査目的	2
2	調査種別と対象者	2
3	対象者数と実施方法	3
4	調査期間	4
5	配布数と回収結果	4
6	各調査の概要	5
7	報告書の見方	14
第 2 章	調査結果（身体障害者・難病患者・知的障害者・精神障害者）	15
1	本人について	16
2	住まいについて	31
3	日常生活の中での介助について	34
4	相談について	37
5	障害福祉サービスについて	52
6	医療について	70
7	就労・経済状況について	74
8	社会参加・文化余暇活動の状況について	87
9	権利擁護について	90
10	障害等の理解について	97
11	今後の区の取組について	111
第 3 章	調査結果（子ども）	123
1	お子さんと家族の状況について	124
2	通園・通学の状況について	126
3	サービスの利用状況について	132
4	主たる養育者の状況について	149
5	相談について	152
6	子どもの育ち等への理解について	161
7	子どもの将来について	168
8	今後の区の取組について	170

第 4 章	調査結果（障害福祉サービス事業所）	191
1	事業所について	192
2	事業運営・サービス提供について	212
3	介護保険サービスについて	227
4	中央区への意見	229
資 料 編		237
1	身体障害者・難病患者調査票	238
2	知的障害者調査票	248
3	精神障害者調査票	260
4	子ども調査票	270
5	障害福祉サービス事業所調査票	278

第 1 章

調査概要

第 1 章
調査概要

第 2 章
調査結果
(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第 3 章
調査結果
(④子ども)

第 4 章
調査結果
(⑤障害福祉
サービス
事業所)

資料編

1 調査目的

本調査は、令和8年度をもって満了となる「障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画」の改定に向けて、計画改定の基礎資料とするため、区内在住の障害者（児）の生活状況や生活に対する意識・意向や子どもの育ち等に関する相談の実態、区民が利用している障害福祉サービス事業所の意識・意向等を把握することを目的に実施しました。

2 調査種別と対象者

調査種別	対象者
①身体障害者・難病患者	令和7年8月1日現在、区内在住の18歳以上の身体障害者手帳所持者および難病患者福祉手当受給者
②知的障害者	令和7年8月1日現在、区内在住の18歳以上の愛の手帳所持者
③精神障害者	令和7年8月1日現在、区内在住の18歳以上の精神障害者保健福祉手帳所持者および自立支援医療（精神通院）受給者
④子ども	令和7年8月1日現在、区内に在住する0歳から18歳（高校3年生の学年）の子のうち、以下に該当する子を持つ保護者 【内訳】 ア．障害福祉サービス等受給者証取得児 イ．障害者手帳（身体、知的、精神）取得児 ウ．特別支援学級・特別支援教室・通級指導学級在籍児
⑤障害福祉サービス事業所	区内の障害福祉サービスを提供している事業所および区外の障害福祉サービスを提供している事業所のうち、令和7年度に区民の1か月あたりの利用者が5人以上利用した事業所

3 対象者数と実施方法

調査種別	対象者数 (令和7年 8月1日現在)	配布数	調査方法
①身体障害者・難病患者	3,606	1,062	<ul style="list-style-type: none"> ・無作為抽出 ・郵送配布・回収の調査 ・督促を兼ねた礼状はがきを1回送付
②知的障害者	304	304	<ul style="list-style-type: none"> ・悉皆調査 ・郵送配布・回収の調査 ・督促を兼ねた礼状はがきを1回送付
③精神障害者	2,164	1,371	<ul style="list-style-type: none"> ・無作為抽出 ・郵送配布・回収の調査 ・督促を兼ねた礼状はがきを1回送付
④子ども	1,234	1,234	<ul style="list-style-type: none"> ・悉皆調査 ・対象者のア、イは郵送配布・回収、ウは学校を通じた配布、郵送回収の調査 ・対象者のア、イは督促を兼ねた礼状はがきを1回送付
⑤障害福祉サービス事業所	127	127	<ul style="list-style-type: none"> ・悉皆調査 ・WEBによる調査 ・区内事業所はEメールによる回答ページへの案内 ・区外事業所は郵送による回答ページへの案内

※身体障害者・難病患者、知的障害者、精神障害者の対象者抽出にあたり、重複して手帳及び受給者証を所持している場合は、対象者数が少ない調査に優先して振り分けを行っています。

第1章
調査概要

第2章
調査結果
(①身体障害者・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

4 調査期間

令和7年9月4日（木）から令和7年9月26日（金）

5 配布数と回収結果

調査種別	配布数	有効回収数	有効回収率
①身体障害者・難病患者	1,062	614	57.8%
②知的障害者	304	179	58.9%
③精神障害者	1,371	581	42.4%
④子ども	1,234	583	47.2%
⑤障害福祉サービス事業所	127	54	42.5%

6 各調査の概要

<身体障害者・難病患者>

項目	問番号	質問	ページ
1 本人について	問1	回答者	16
	問2(1)	性別	17
	問2(2)	年齢	18
	問3	居住地域	19
	問4	世帯状況	20
	問4-1	同居者の続柄	22
	問5	持っている手帳(等級)・医療受給者証の種類	23
	問5-1	障害の種類	29
2 住まいについて	問6	住居形態	31
	問7	今後の暮らしの希望	32
3 日常生活の中での 介助について	問8	日常的な介助者	34
	問8-1	(家族・親族と回答した方) 日常的な介助者の年齢	35
	問8-2	介助を受ける時間数	36
4 相談について	問9	相談したい暮らしの困りごと(現在)	37
	問10	将来の不安	38
	問11	将来希望する生活を送るために必要なこと	41
	問12	困りごとの相談先	44
	問13ア)	中央区障害者就労支援センターの認知度・利用状況	47
	問13イ)	基幹相談支援センターの認知度・利用状況	49
	問14	区の相談窓口・機関への要望	51
5 障害福祉サービス について	問15(1)	障害福祉サービスの利用状況	52
	問15(2)	障害福祉サービス支給量のニーズ充足度	55
	問15-1	グループホームの利用を開始したい時期	58
	問16	あなたが必要であると感じるサービス(自由回答)	60
	問17	サービス利用での困りごと	67
	問18	福祉サービスの情報入手先	68
	問19	機能回復訓練(リハビリ)の実施状況	70
6 医療について	問20	日常的に必要なとしている医療的ケア	71

第1章 調査概要

第2章 調査結果 (①身体障害者 ・難病患者 ②知的障害者 ③精神障害者)

第3章 調査結果 (④子ども)

第4章 調査結果 (⑤障害福祉 サービス 事業所)

資料編

項目	問番号	質問	ページ
7 就労・経済状況について	問21	就労の状況	74
	問21-1	仕事の内容	76
	問21-2	現在の仕事を探した方法	77
	問21-3	就労先で何かしらの配慮がされているか	79
	問21-4	今後の就労意向	84
	問22	障害のある人が働くために必要な環境	86
8 社会参加・文化余暇活動の状況について	問23	地域（町会など）や区が行うイベントや行事への参加状況	87
	問24	参加したい文化・芸術・余暇活動	88
	問25	外出や社会参加の困りごと・妨げになっていること	89
9 権利擁護について	問26	成年後見制度の内容の認知状況	90
	問27	法人後見制度の内容の認知状況	92
	問28	法人後見制度の利用意向	93
10 障害等の理解について	問29	障害や障害者、難病や難病患者に対する区民の理解度	97
	問30	差別を感じたことはあるか	99
	問31	障害者差別解消法の認知状況	101
	問32	差別解消の推進に必要だと思うもの	103
	問33	役所・会社・お店に求める合理的配慮	104
	問34	「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」の認知状況	106
	問35	「虐待通報・相談窓口」の認知状況	107
	問36	災害時に不安なこと	109
11 今後の区の実施について	問37	中央区の実策・サービスの満足度	111
	問38	中央区の実らしやすさ	113
	問39	中央区（行政）への意見・要望（自由回答）	114

<知的障害者>

項目	問番号	質問	ページ
1 本人について	問1	回答者	16
	問2(1)	性別	17
	問2(2)	年齢	18
	問3	居住地域	19
	問4	世帯状況	20
	問4-1	同居者の続柄	22
	問5	持っている手帳(等級)・医療受給者証の種類	23
2 住まいについて	問6	住居形態	31
	問7	今後の暮らしの希望	32
3 日常生活の中での 介助について	問8	日常的な介助者	34
	問8-1	(家族・親族と回答した方) 日常的な介助者の年齢	35
	問8-2	介助を受ける時間数	36
	問9	お金の管理	36
4 相談について	問10	相談したい暮らしの困りごと(現在)	37
	問11	将来の不安	38
	問12	将来希望する生活を送るために必要なこと	41
	問13	困りごとの相談先	44
	問14ア)	中央区障害者就労支援センターの認知度・利用状況	47
	問14イ)	基幹相談支援センターの認知度・利用状況	49
	問15	区の相談窓口・機関への要望	51
5 障害福祉サービス について	問16(1)	障害福祉サービスの利用状況	52
	問16(2)	障害福祉サービス支給量のニーズ充足度	55
	問16-1	グループホームの利用を開始したい時期	58
	問17	あなたが必要であると感じるサービス(自由回答)	63
	問18	サービス利用での困りごと	67
	問19	福祉サービスの情報入手先	68
6 医療について	問20	日常的に必要なとしている医療的ケア	71

第1章
調査概要

第2章
調査結果
(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉
サービス
事業所)

資料編

項目	問番号	質問	ページ
7 就労・経済状況について	問21	就労の状況	74
	問21-1	仕事の内容	76
	問21-2	現在の仕事を探した方法	77
	問21-3	就労先で何かしらの配慮がされているか	79
	問21-4	今後の就労意向	84
	問22	障害のある人が働くために必要な環境	86
8 社会参加・文化余暇活動の状況について	問23	地域（町会など）や区が行うイベントや行事への参加状況	87
	問24	参加したい文化・芸術・余暇活動	88
	問25	外出や社会参加の困りごと・妨げになっていること	89
9 権利擁護について	問26	成年後見制度の内容の認知状況	90
	問27	法人後見制度の内容の認知状況	92
	問28	法人後見制度の利用意向	93
10 障害等の理解について	問29	障害や障害者、難病や難病患者に対する区民の理解度	97
	問30	差別を感じたことはあるか	99
	問31	障害者差別解消法の認知状況	101
	問32	差別解消の推進に必要だと思うもの	103
	問33	役所・会社・お店に求める合理的配慮	104
	問34	「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」の認知状況	106
	問35	「虐待通報・相談窓口」の認知状況	107
	問36	災害時に不安なこと	109
11 今後の区の実施について	問37	中央区の実策・サービスの満足度	111
	問38	中央区の実らしやすさ	113
	問39	中央区（行政）への意見・要望（自由回答）	117

<精神障害者>

項目	問番号	質問	ページ
1 本人について	問1	回答者	16
	問2(1)	性別	17
	問2(2)	年齢	18
	問3	居住地域	19
	問4	世帯状況	20
	問4-1	同居者の続柄	22
	問5	持っている手帳(等級)・医療受給者証の種類	23
	問5-1	疾患の種類	30
2 住まいについて	問6	住居形態	31
	問7	今後の暮らしの希望	32
3 日常生活の中での 介助について	問8	日常的な介助者	34
	問8-1	(家族・親族と回答した方) 日常的な介助者の年齢	35
	問9	お金の管理	36
4 相談について	問10	相談したい暮らしの困りごと(現在)	37
	問11	将来の不安	38
	問12	将来希望する生活を送るために必要なこと	41
	問13	困りごとの相談先	44
	問14ア)	中央区障害者就労支援センターの認知度・利用状況	47
	問14イ)	基幹相談支援センターの認知度・利用状況	49
	問14ウ)	中央区精神障害者地域活動支援センター(ポケット中央)の認知度・利用状況	50
	問15	区の相談窓口・機関への要望	51
5 障害福祉サービス について	問16(1)	障害福祉サービスの利用状況	52
	問16(2)	障害福祉サービス支給量のニーズ充足度	55
	問16-1	グループホームの利用を開始したい時期	58
	問17	あなたが必要であると感じるサービス(自由回答)	65
	問18	サービス利用での困りごと	67
	問19	福祉サービスの情報入手先	68

第1章
調査概要

第2章
調査結果
(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉
サービス
事業所)

資料編

項目	問番号	質問	ページ
6 医療について	問20	通院・入院状況	72
	問20-1	通院・往診の回数	72
	問20-2	通院や往診を受けている医療機関の種類	73
	問20-3	区内で適切な医療を受けられているか	73
7 就労・経済状況について	問21	就労の状況	74
	問21-1	仕事の内容	76
	問21-2	現在の仕事を探した方法	77
	問21-3	就労先で何かしらの配慮がされているか	79
	問21-4	今後の就労意向	84
	問22	障害のある人が働くために必要な環境	86
8 社会参加・文化余暇活動の状況について	問23	地域（町会など）や区が行うイベントや行事への参加状況	87
	問24	参加したい文化・芸術・余暇活動	88
	問25	外出や社会参加の困りごと・妨げになっていること	89
9 権利擁護について	問26	成年後見制度の内容の認知状況	90
	問27	法人後見制度の内容の認知状況	92
	問28	法人後見制度の利用意向	93
10 障害等の理解について	問29	障害や障害者、難病や難病患者に対する区民の理解度	97
	問30	差別を感じたことはあるか	99
	問31	障害者差別解消法の認知状況	101
	問32	差別解消の推進に必要だと思うもの	103
	問33	役所・会社・お店に求める合理的配慮	104
	問34	「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」の認知状況	106
	問35	「虐待通報・相談窓口」の認知状況	107
	問36	災害時に不安なこと	109
11 今後の区の実施について	問37	中央区の施策・サービスの満足度	111
	問38	中央区の暮らしやすさ	113
	問39	中央区（行政）への意見・要望（自由回答）	119

<子ども>

項目	問番号	質問	ページ
1 お子さんと家族の 状況について	問1	回答者（主たる養育者）	124
	問2（1）	お子さんの性別	124
	問2（2）	お子さんの年齢	124
	問3	居住地域	125
	問4	世帯状況	125
2 通園・通学の状況 について	問5	通園・通学・通所をしているか	126
	問5-1	通園・通学・通所先	127
	問5-2	通園・通学・通所に付添いが必要か	130
	問5-3	保育所・幼稚園・学校などが終わった後に過ごしている場所	130
3 サービスの利用状況 について	問6	日常的に必要としている医療的ケア	132
	問7	移動能力の程度	133
	問8	持っている手帳（等級）・医療受給者証の種類	135
	問8-1	障害の種類	138
	問9	医療保険制度による在宅サービスの利用状況	139
	問10（1）	障害（児）福祉サービスの利用状況	141
	問10（2）	障害（児）福祉サービス支給量のニーズ充足度	142
	問11	グループホームの利用を開始したい時期	143
	問12	主たる養育者の方が必要であると感じるサービス	144
	問13	サービス利用での困りごと	146
	問14	福祉サービスの情報入手先	148
4 主たる養育者の状況 について	問15	主たる養育者の年齢	149
	問16	主たる養育者の健康状態	149
	問17	主たる養育者の就労状況	151
	問17-1	主たる養育者の就労形態	151
5 相談について	問18	主たる養育者自身の困りごとや不安に思っていること	152
	問19	相談の経験の有無	154
	問20	近所に生活のことやお子さんのことで頼れる人がいるか	158
	問21	区の相談窓口・機関への希望	159
	問22	専門機関や医療機関に支援してほしいと思うこと	160

第1章
調査概要

第2章
調査結果
(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉
サービス
事業所)

資料編

項目	問番号	質問	ページ
6 子どもの育ち等への理解について	問23	「育ちのサポートカルテ」の活用状況	161
	問23-1	「育ちのサポートカルテ」を活用していない・活用しない理由	163
	問24	近所の人から理解されているか	165
	問25	主たる養育者が望む地域のあり方	166
	問26	障害者差別解消法の認知状況	166
	問27	差別解消の推進に必要なだと思うもの	167
	問28	「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」の認知状況	167
7 子どもの将来について	問29	お子さんの将来の働き方の希望	168
	問30	障害のある人が働くために必要な環境	169
8 今後の区の実施について	問31	中央区の施策・サービスの満足度	170
	問32	中央区の暮らしやすさ	172
	問33	中央区（行政）への意見・要望（自由回答）	173
	問34（※）	お子さんが今どのようなことをしたいか	176

※子ども本人回答

<障害福祉サービス事業所>

項目	問番号	質問	ページ
1 事業所について	問1（1）	運営主体の種類	192
	問1（2）	開業年	192
	問1（3）	所在地域	193
	問2	職員数	193
	問3	今年度の収支状況	194
	問4	収支状況の変化	195
	問5	利用者の属性	195
	問6	提供しているサービス	196
	問7	各サービスの実際に提供している量、提供可能な量	197
	問8	就労選択支援に取り組む予定	211
	問8-1	就労選択支援の開始時期、提供可能な予定量	211

項目	問番号	質問	ページ
2 事業運営・サービス提供について	問9	中央区を選んだ理由	212
	問10	中央区に参入するにあたって感じた課題や懸念事項、事業を運営することが困難と感じる障害者福祉サービスなど（自由回答）	213
	問11	現在の運営上の課題	217
	問12	中央区内で提供するサービスや事業運営の今後の展望	218
	問12-1	拡大、縮小、新規で提供予定のサービスの名称や時期、提供予定量	218
	問13	重度心身障害児向けのサービスへの新規参入予定	219
	問13-1	重度心身障害児向けのサービスの新規参入をしない理由（自由回答）	220
	問14	区外事業所を中央区民が利用する上で、生じている課題（自由回答）	221
	問15	区外事業所が提供するサービスや事業運営の今後の展望	222
	問15-1	区外事業所が拡大、縮小、新規で提供予定のサービスの名称や時期、提供予定量	222
	問15-2	区外事業所が中央区で新規開設が難しいと考える理由	223
	問16	事業所で今後強化していきたいこと	224
	問17	人材の確保・育成（自由回答）	225
	問18	障害者の法定雇用率引き上げに伴う、就労支援への影響（自由回答）	226
3 介護保険サービスについて	問19	介護保険サービスの提供状況	227
	問20	利用者の障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に関連して、困りごとや不安なことなど、課題に感じていること（自由回答）	228
4 中央区への意見	問21	サービスを提供する利用者からの要望（自由回答）	229
	問22	今後、中央区に期待する障害福祉施策	230
	問23	サービスを提供する上で大切にしていること等（自由回答）	235

第1章
調査概要

第2章

調査結果
①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者

第3章

調査結果
④子ども

第4章

調査結果
⑤障害福祉
サービス
事業所

資料編

7 報告書の見方

●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果を記載しています。

●「n」について

グラフ中の「n」とは、number of casesの略で、各設問に該当する回答者総数を表します。したがって、各選択肢の%に「n」を乗じることで、その選択肢の回答者が計算できます。

●「%」について

グラフ中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の設問（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）の場合は、「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。

●設問文・選択肢の記載について

設問文やグラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部、必要に応じて省略や修正を行っています。

●「無回答」について

グラフ中において「無回答」とあるものは、回答がない、または回答の判別が困難なものです。

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

1 本人について

問 この調査に回答される方はどなたですか。

<身体障害者・難病患者 問1>

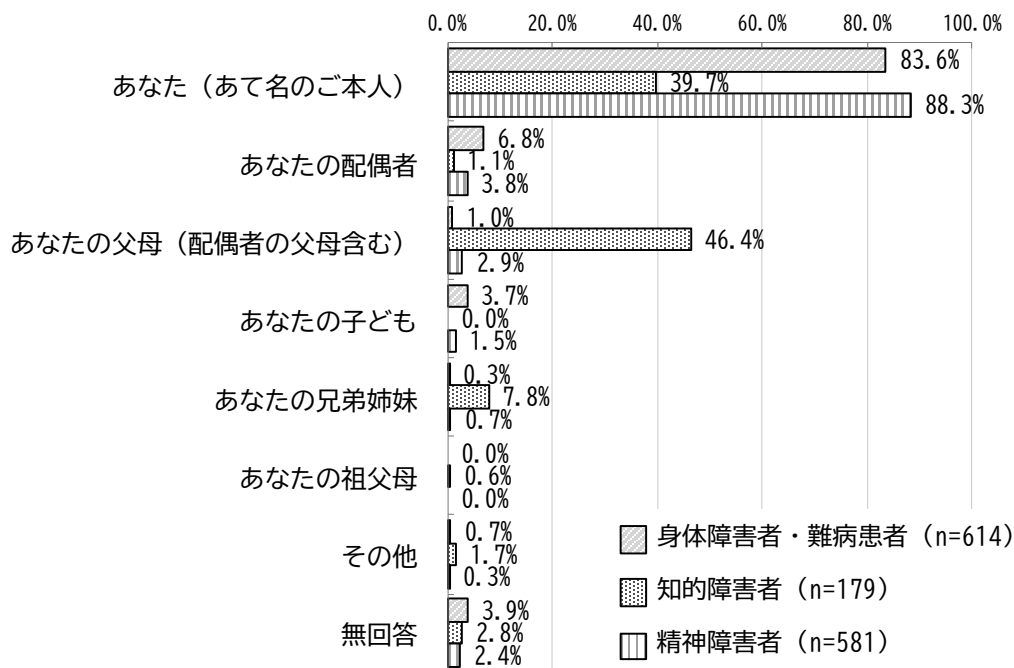
<知的障害者 問1>

<精神障害者 問1>

回答者について、身体障害者・難病患者では「あなた（あて名のご本人）」が83.6%と最も高く、次いで「あなたの配偶者」が6.8%、「あなたの子ども」が3.7%となっています。

知的障害者では「あなたの父母（配偶者の父母含む）」が46.4%と最も高く、次いで「あなた（あて名のご本人）」が39.7%、「あなたの兄弟姉妹」が7.8%となっています。

精神障害者では「あなた（あて名のご本人）」が88.3%と最も高く、次いで「あなたの配偶者」が3.8%、「あなたの父母（配偶者の父母含む）」が2.9%となっています。



問 あなたの性別と令和7年9月1日現在の年齢を教えてください。

<身体障害者・難病患者 問2>

<知的障害者 問2>

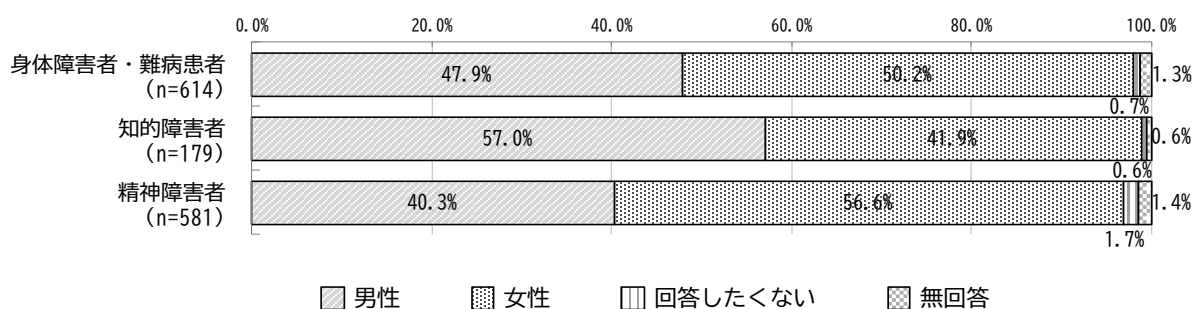
<精神障害者 問2>

(1) 性別

性別について、身体障害者・難病患者では「男性」が47.9%、「女性」が50.2%、「回答したくない」が0.7%となっています。

知的障害者では「男性」が57.0%、「女性」が41.9%、「回答したくない」が0.6%となっています。

精神障害者では「男性」が40.3%、「女性」が56.6%、「回答したくない」が1.7%となっています。

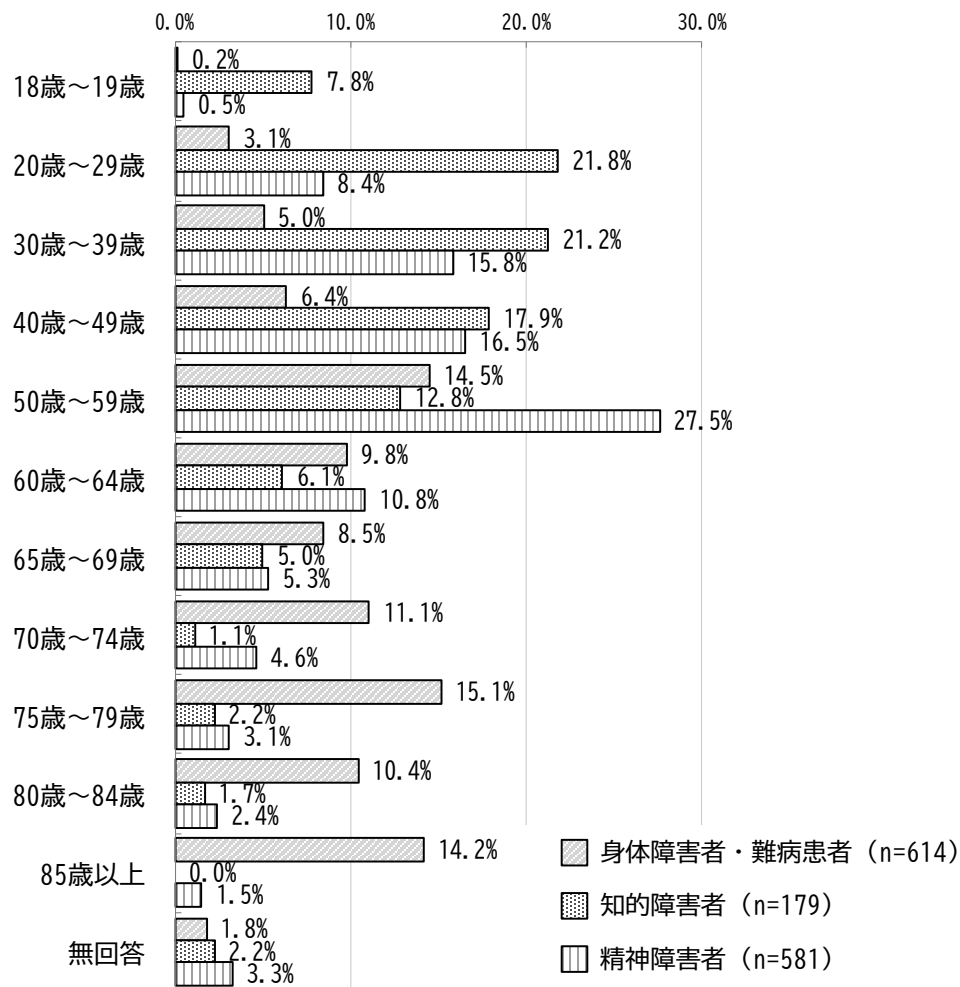


(2) 年齢

年齢について、身体障害者・難病患者では「75歳～79歳」が15.1%と最も高く、次いで「50歳～59歳」が14.5%、「85歳以上」が14.2%となっています。

知的障害者では「20歳～29歳」が21.8%と最も高く、次いで「30歳～39歳」が21.2%、「40歳～49歳」が17.9%となっています。

精神障害者では「50歳～59歳」が27.5%と最も高く、次いで「40歳～49歳」が16.5%、「30歳～39歳」が15.8%となっています。



問 あなたが、現在、住んでいる地域はどこですか。

<身体障害者・難病患者 問3>

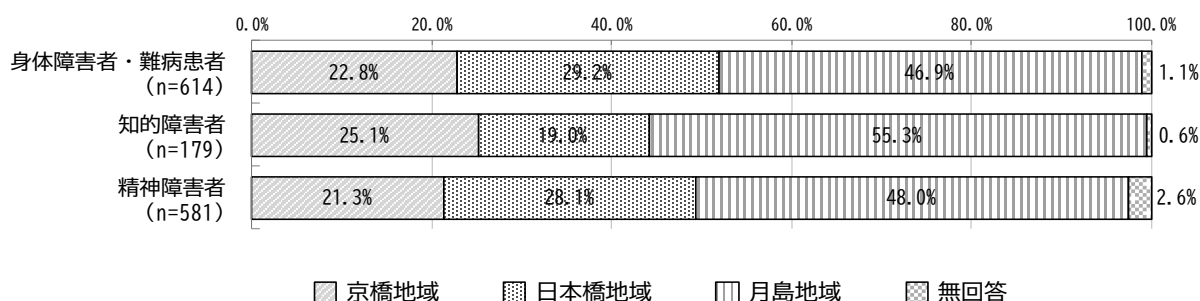
<知的障害者 問3>

<精神障害者 問3>

居住地について、身体障害者・難病患者では「月島地域」が46.9%と最も高く、次いで「日本橋地域」が29.2%、「京橋地域」が22.8%となっています。

知的障害者では「月島地域」が55.3%と最も高く、次いで「京橋地域」が25.1%、「日本橋地域」が19.0%となっています。

精神障害者では「月島地域」が48.0%と最も高く、次いで「日本橋地域」が28.1%、「京橋地域」が21.3%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果
(④子ども)

第4章

調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

問 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。

<身体障害者・難病患者 問4>

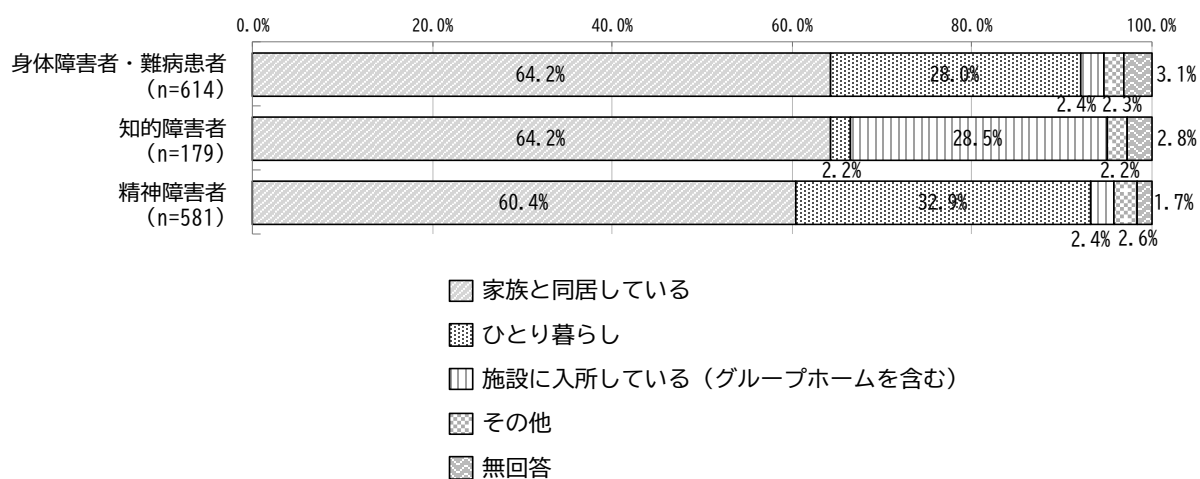
<知的障害者 問4>

<精神障害者 問4>

世帯状況について、身体障害者・難病患者では「家族と同居している」が64.2%と最も高く、次いで「ひとり暮らし」が28.0%、「施設に入所している（グループホームを含む）」が2.4%となっています。

知的障害者では「家族と同居している」が64.2%と最も高く、次いで「施設に入所している（グループホームを含む）」が28.5%、「ひとり暮らし」が2.2%となっています。

精神障害者では「家族と同居している」が60.4%と最も高く、次いで「ひとり暮らし」が32.9%、「施設に入所している（グループホームを含む）」が2.4%となっています。

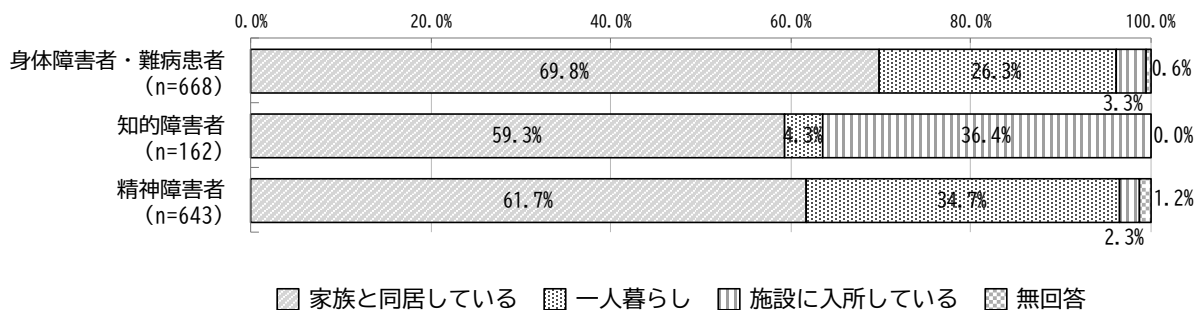


令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の世帯状況の調査結果は、概ね同様の傾向になっています。身体障害者・難病患者では「家族と同居している」が69.8%から64.2%と5.6ポイント低くなっており、次いで「一人暮らし」が26.3%から28.0%と1.7ポイント高く、「施設に入所している」が3.3%から2.4%と0.9ポイント低くなっています。

知的障害者では「家族と同居している」が59.3%から64.2%と4.9ポイント高くなっており、次いで「施設に入所している」が36.4%から28.5%と7.9ポイント低く、「一人暮らし」が4.3%から2.2%と2.1ポイント低くなっています。

精神障害者では「家族と同居している」が61.7%から60.4%と1.3ポイント低くなっており、次いで「一人暮らし」が34.7%から32.9%と1.8ポイント低く、「施設に入所している」が2.3%から2.4%と0.1ポイント高くなっています。



問 同居している方はどなたですか。

<身体障害者・難病患者 問4-1>

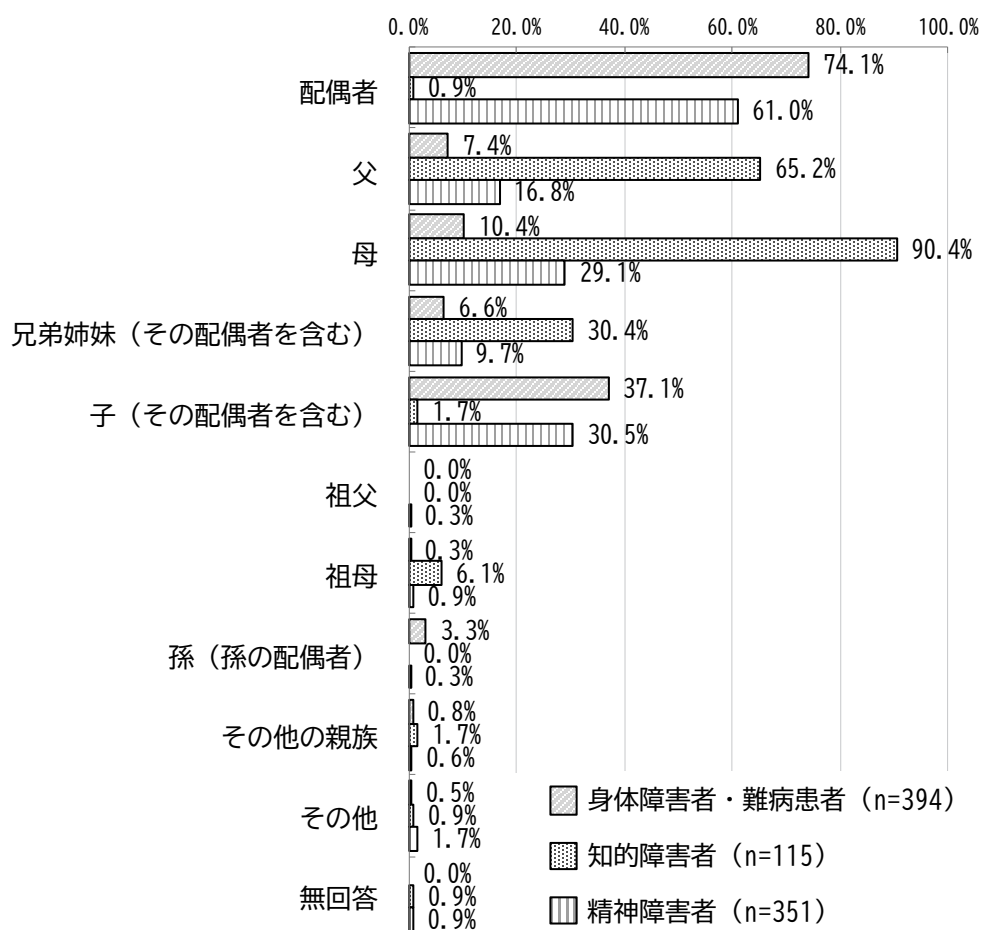
<知的障害者 問4-1>

<精神障害者 問4-1>

同居者の続柄について、身体障害者・難病患者では「配偶者」が74.1%と最も高く、次いで「子（その配偶者を含む）」が37.1%、「母」が10.4%となっています。

知的障害者では「母」が90.4%と最も高く、次いで「父」が65.2%、「兄弟姉妹（その配偶者を含む）」が30.4%となっています。

精神障害者では「配偶者」が61.0%と最も高く、次いで「子（その配偶者を含む）」が30.5%、「母」が29.1%となっています。



問 あなたが持っている障害者手帳または医療受給者証などはどれですか。また、お持ちの手帳の障害の等級や程度の区分を選択してください。

<身体障害者・難病患者 問5>

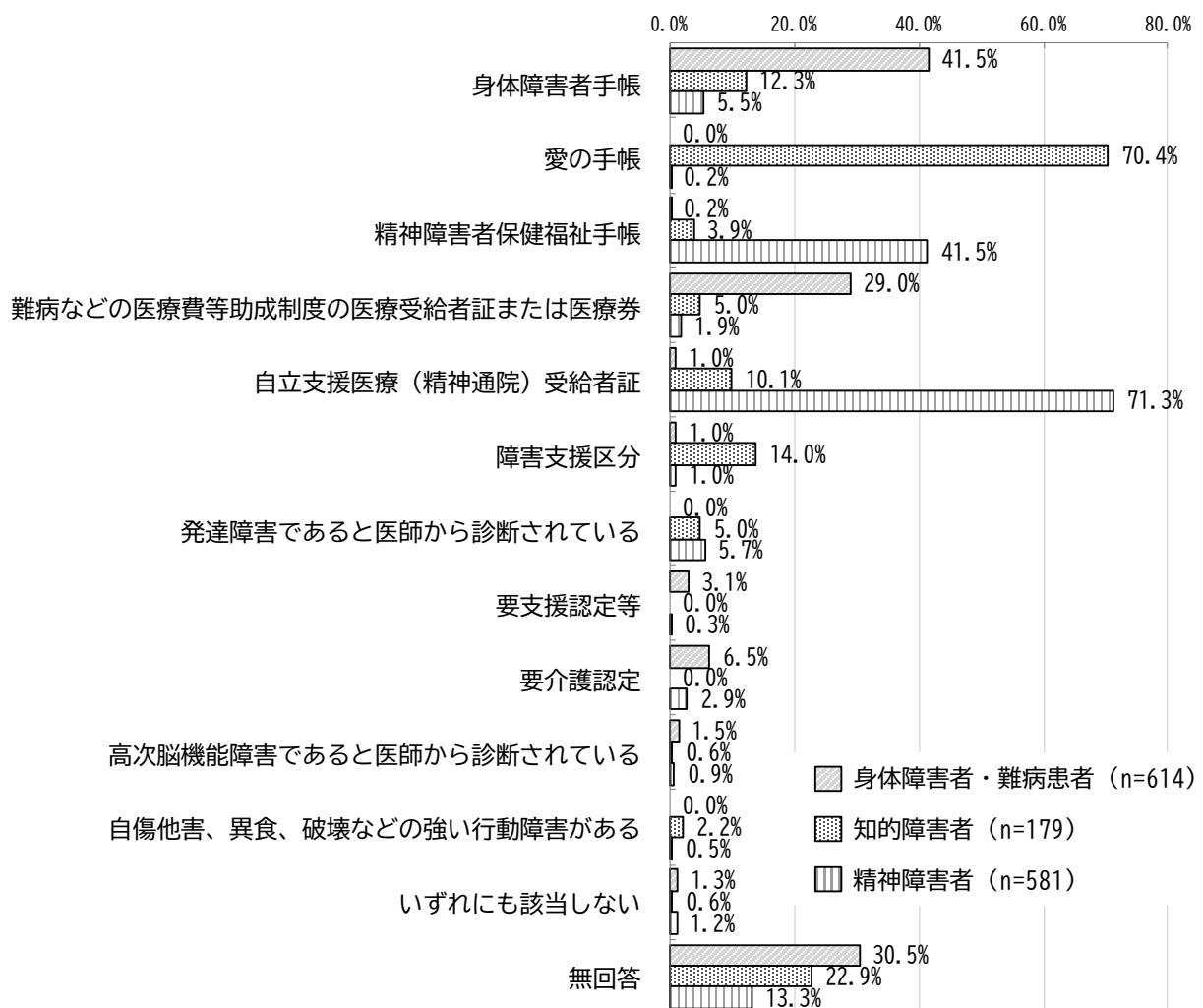
<知的障害者 問5>

<精神障害者 問5>

持っている手帳・医療受給者証の種類について、身体障害者・難病患者では「身体障害者手帳」が41.5%と最も高く、次いで「難病などに医療費等助成制度の医療受給者証または医療券」が29.0%、「要介護認定」が6.5%となっています。

知的障害者では「愛の手帳」が70.4%と最も高く、次いで「障害支援区分」が14.0%、「身体障害者手帳」が12.3%となっています。

精神障害者では「自立支援医療（精神通院）受給者証」が71.3%と最も高く、次いで「精神障害者保険福祉手帳」が41.5%、「発達障害であると医師から診断されている」が5.7%となっています。

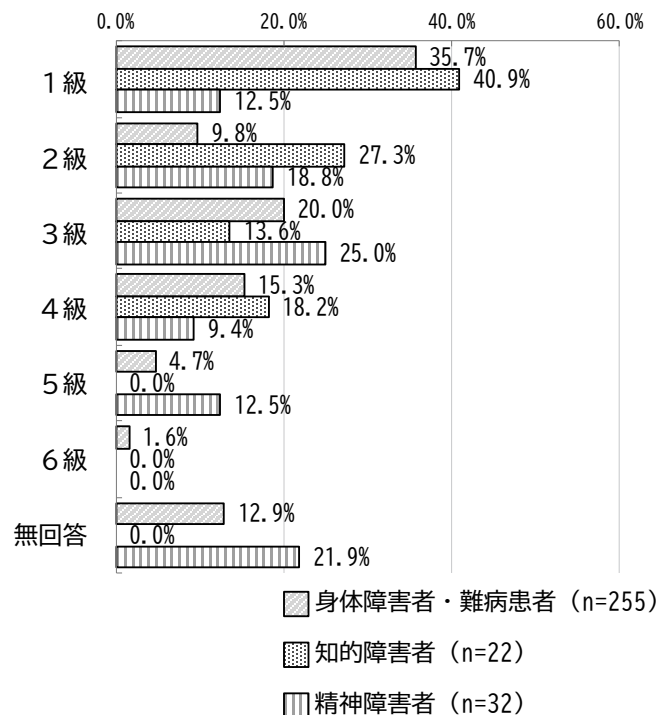


① 身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級について、身体障害者・難病患者では「1級」が35.7%と最も高く、次いで「3級」が20.0%、「4級」が15.3%となっています。

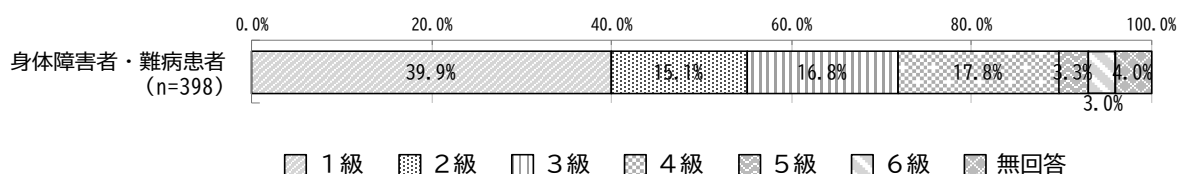
知的障害者では「1級」が40.9%と最も高く、次いで「2級」が27.3%、「4級」が18.2%となっています。

精神障害者では「3級」が25.0%と最も高く、次いで「2級」が18.8%、「1級」、「5級」が12.5%となっています。



令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の身体障害者・難病患者の身体障害者手帳等級の調査結果を比較すると、「1級」が39.9%から35.7%と4.2ポイント低くなっており、「2級」が15.1%から9.8%と5.3ポイント低く、「3級」が16.8%から20.0%と3.2ポイント高く、「4級」が17.8%から15.3%と2.5ポイント低くなっています。

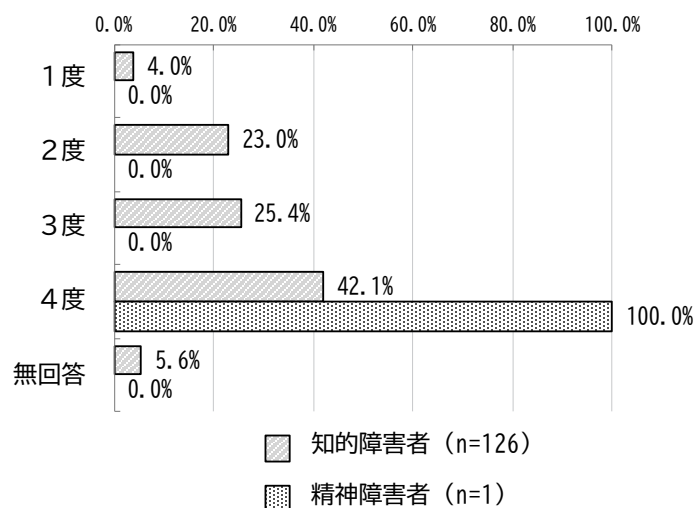


② 愛の手帳の等級

愛の手帳の等級について、身体障害者・難病患者では回答がありませんでした。

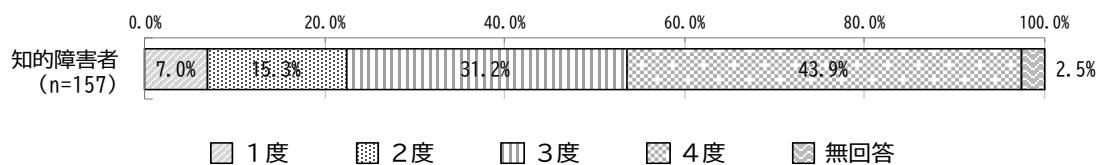
知的障害者では「4度」が42.1%と最も高く、次いで「3度」が25.4%、「2度」が23.0%となっています。

精神障害者では回答が1件となっています。



令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の知的障害者の愛の手帳等級の調査結果を比較すると、「1度」が7.0%から4.0%と3.0ポイント低く、「2度」が15.3%から23.0%と7.7ポイント高く、「3度」が31.2%から25.4%と5.8ポイント低く、「4度」が43.9%から42.1%と1.8ポイント低くなっています。

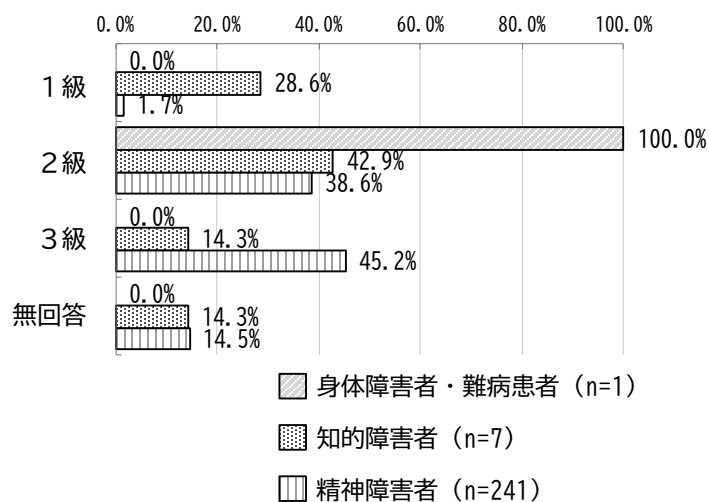


③ 精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳の等級について、身体障害者・難病患者では回答が1件となっています。

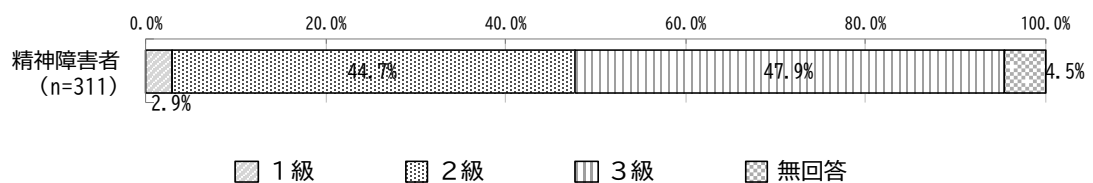
知的障害者では回答が7件となっています。

精神障害者では「3級」が45.2%と最も高く、次いで「2級」が38.6%、「1級」が1.7%となっています。



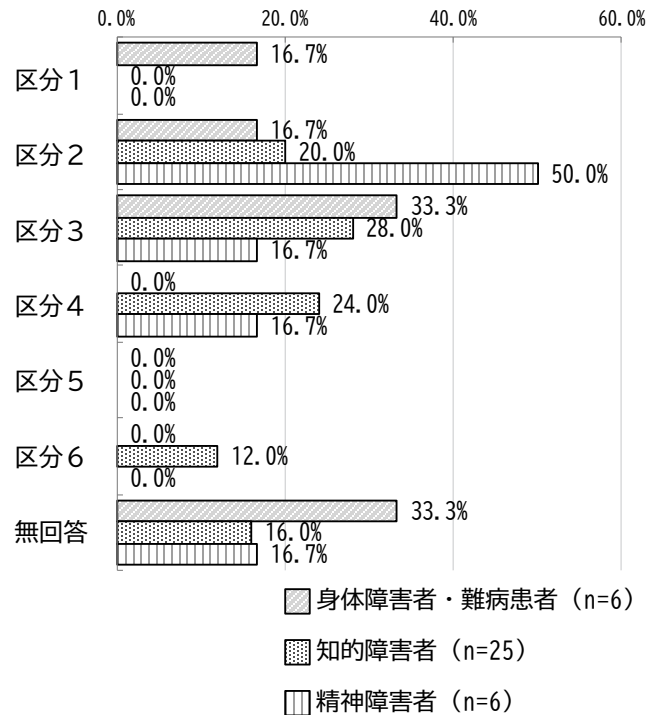
令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の精神障害者の精神障害者保健福祉手帳等級の調査結果を比較すると、「1級」が2.9%から1.7%と1.2ポイント低くなっており、「2級」が44.7%から38.6%と6.1ポイント低く、「3級」が47.9%から45.2%と2.7ポイント低く、「4級」が4.5%から14.5%と10.0ポイント高くなっています。



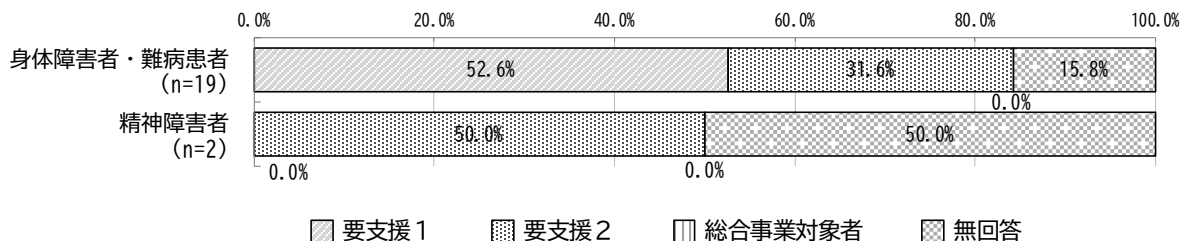
④ 障害支援区分

障害支援区分について、身体障害者・難病患者では回答が6件となっています。
知的障害者では「区分3」が28.0%と最も高く、次いで「区分4」が24.0%、「区分2」が20.0%となっています。
精神障害者では回答が6件となっています。



⑤ 要支援認定区分

要支援認定区分について、身体障害者・難病患者では「要支援1」が52.6%と最も高く、次いで「要支援2」が31.6%となっています。
知的障害者では回答がありませんでした。
精神障害者では回答が2件となっています。

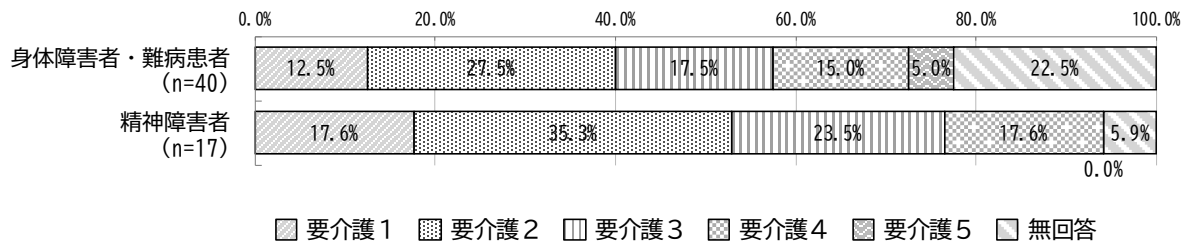


⑥ 要介護認定区分

要介護認定区分について、身体障害者・難病患者では「要介護2」が27.5%と最も高く、次いで「要介護3」が17.5%、「要介護4」が15.0%となっています。

知的障害者では回答がありませんでした。

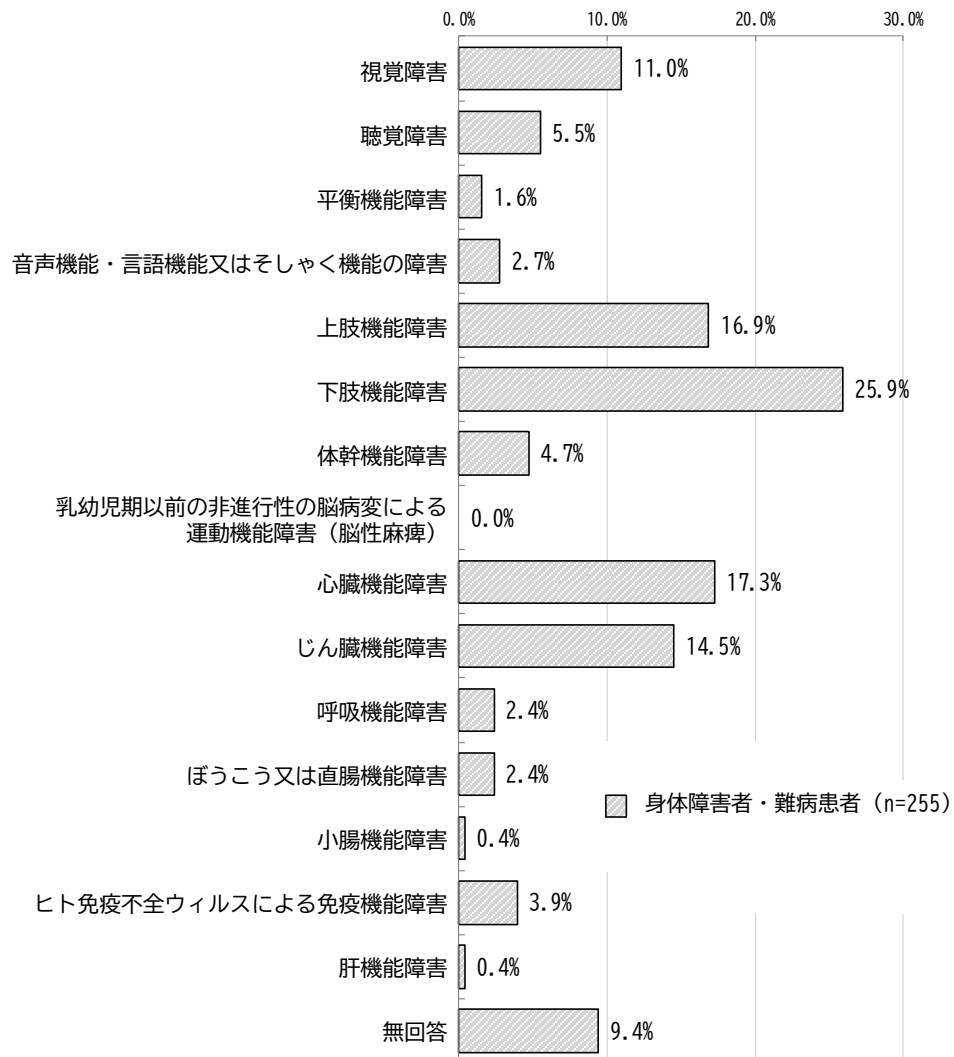
精神障害者では「要介護2」が35.3%と最も高く、次いで「要介護3」が23.5%、「要介護1」「要介護4」が17.6%となっています。



問 あなたの身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。あてはまる障害の番号を「1番目」の欄に記入してください。障害の種類が2つ以上記載されている場合は、記載の順番にしたがって、「1番目」と「2番目」を記入してください。

<身体障害者・難病患者 問5-1>

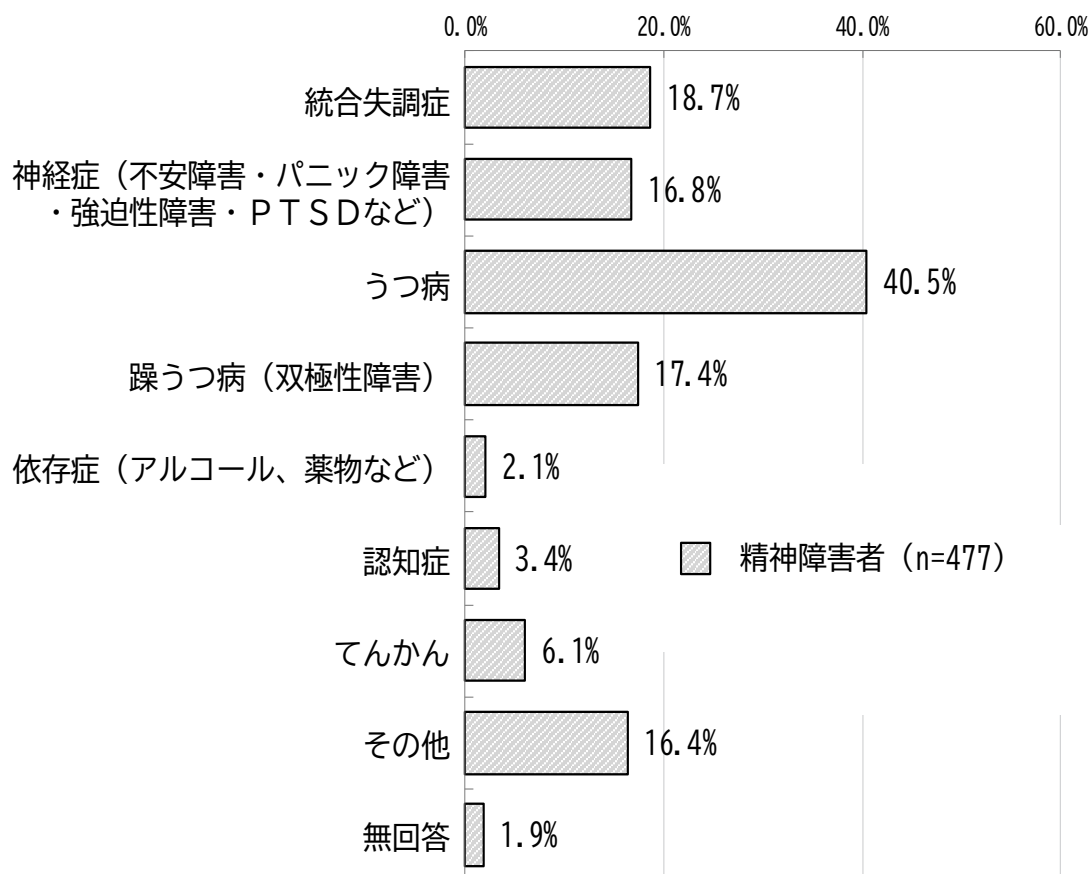
障害の種類について、身体障害者・難病患者では「下肢機能障害」が25.9%と最も高く、次いで「心臓機能障害」が17.3%、「上肢機能障害」が16.9%となっています。



問 かかっている疾患は次のどれですか。

<精神障害者 問5-1>

疾患の種類について、精神障害者では「うつ病」が40.5%と最も高く、次いで「統合失調症」が18.7%、「躁うつ病（双極性障害）」が17.4%となっています。



2 住まいについて

問 あなたの現在のお住まいは次のどれですか。

<身体障害者・難病患者 問6>

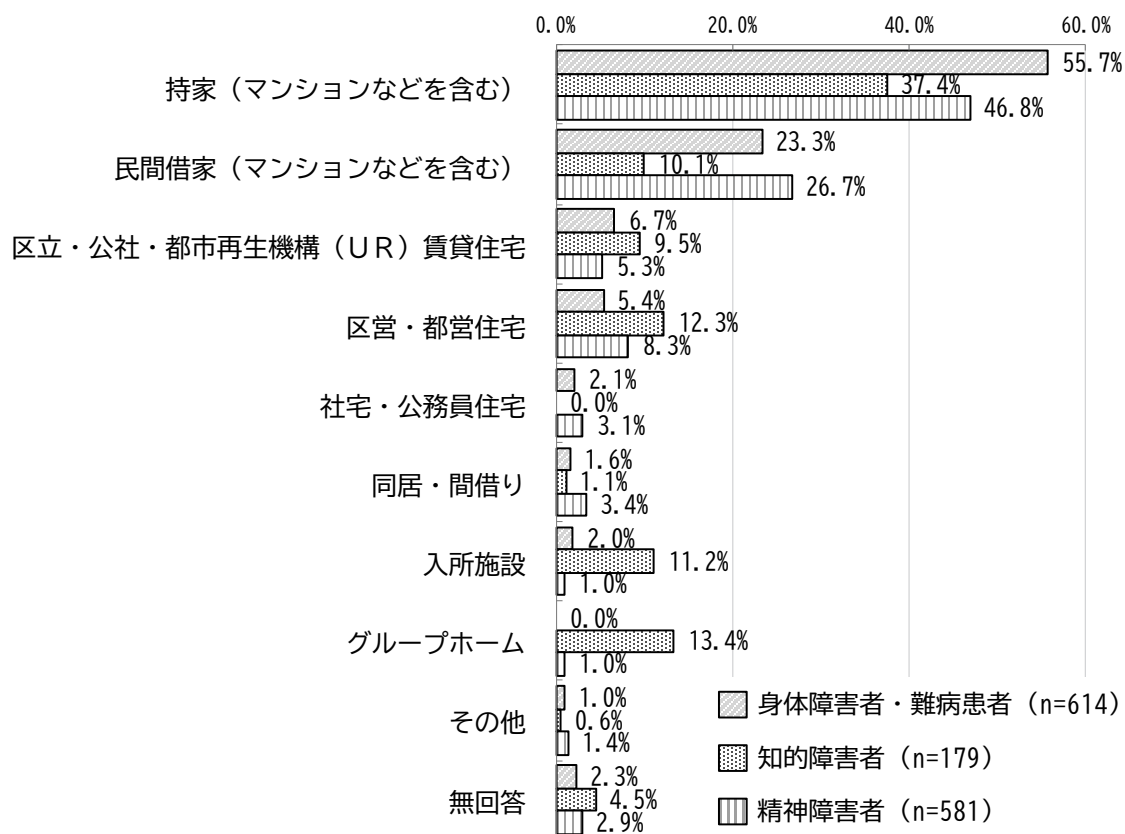
<知的障害者 問6>

<精神障害者 問6>

居住形態について、身体障害者・難病患者では「持家（マンションなどを含む）」が55.7%と最も高く、次いで「民間借家（マンションなどを含む）」が23.3%、「区立・公社・都市再生機構（UR）賃貸住宅」が6.7%となっています。

知的障害者では「持家（マンションなどを含む）」が37.4%と最も高く、次いで「グループホーム」が13.4%、「区営・都営住宅」が12.3%となっています。

精神障害者では「持家（マンションなどを含む）」が46.8%と最も高く、次いで「民間借家（マンションなどを含む）」が26.7%、「区営・都営住宅」が8.3%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果
(④子ども)

第4章

調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

問 あなたは、今後、どのように暮らしたいと思いますか。

<身体障害者・難病患者 問7>

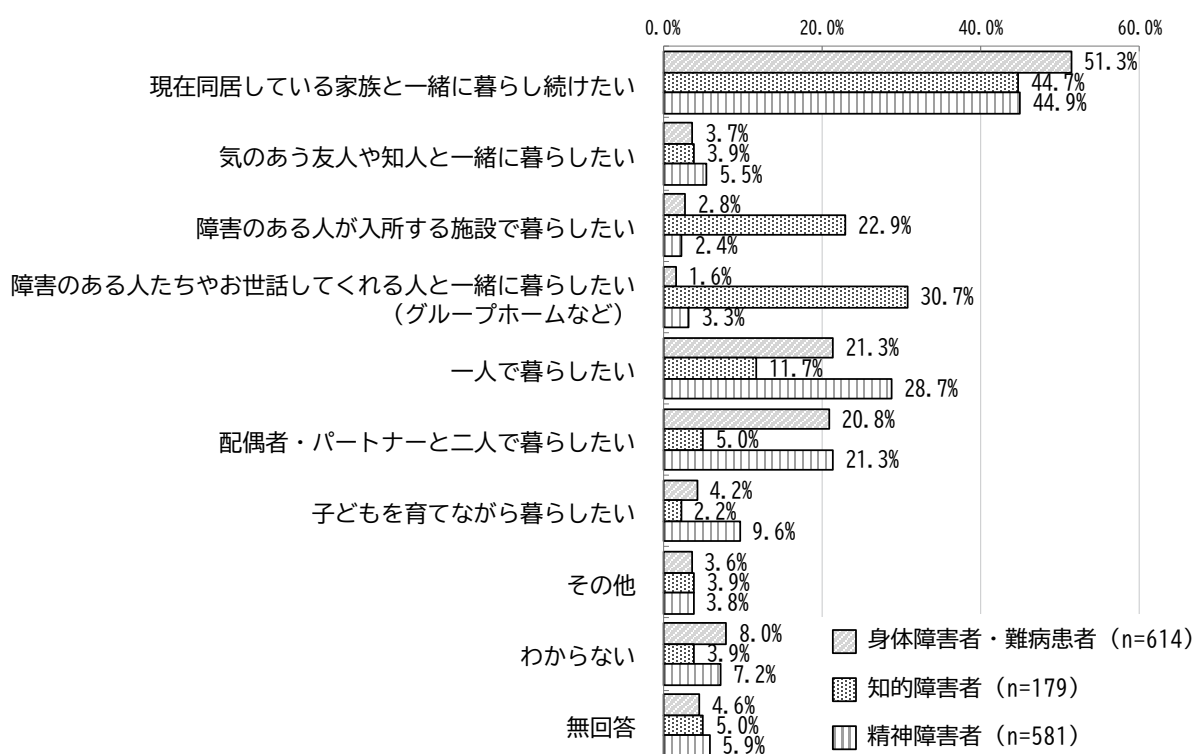
<知的障害者 問7>

<精神障害者 問7>

今後の暮らしの希望について、身体障害者・難病患者では「現在同居している家族と一緒に暮らし続けたい」が 51.3%と最も高く、次いで「一人で暮らしたい」が 21.3%、「配偶者・パートナーと二人で暮らしたい」が 20.8%となっています。

知的障害者では「現在同居している家族と一緒に暮らし続けたい」が 44.7%と最も高く、次いで「障害のある人たちやお世話してくれる人と一緒に暮らしたい（グループホームなど）」が 30.7%、「障害のある人が入所する施設で暮らしたい」が 22.9%となっています。

精神障害者では「現在同居している家族と一緒に暮らし続けたい」が 44.9%と最も高く、次いで「一人で暮らしたい」が 28.7%、「配偶者・パートナーと二人で暮らしたい」が 21.3%となっています。



クロス集計結果

傾向として現在の世帯状況と今後の暮らしの希望が一致している結果が多い中で、知的障害者では「家族と同居している」と回答した方のうち、今後の暮らしの希望として「障害のある方が入所する施設で暮らしたい」や「障害のある人たちやお世話してくれる人と一緒に暮らしたい（グループホームなど）」と回答した人数・割合が高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問 今後の暮らしの希望										
		現在同居している家族と一緒に暮らし続けたい	気のあう友人や知人と一緒に暮らしたい	障害のある人が入所する施設で暮らしたい	障害のある人たちやお世話してくれる人と一緒に暮らしたい（グループホームなど）	一人で暮らしたい	配偶者・パートナーと二人で暮らしたい	子どもを育てながら暮らしたい	その他	わからない	無回答	
病へ身体障害者・世帯状況問4世難	家族と同居している	394 100.0%	298 75.6%	7 1.8%	5 1.3%	4 1.0%	17 4.3%	93 23.6%	19 4.8%	8 2.0%	17 4.3%	14 3.6%
	ひとり暮らし	172 100.0%	1 0.6%	12 7.0%	8 4.7%	4 2.3%	111 64.5%	19 11.0%	5 2.9%	7 4.1%	29 16.9%	10 5.8%
	施設に入所している（グループホームを含む）	15 100.0%	0 0.0%	1 6.7%	3 20.0%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	4 26.7%	3 20.0%	2 13.3%
	その他	14 100.0%	5 35.7%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 42.9%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%
知的障害者世帯状況問4	家族と同居している	115 100.0%	75 65.2%	6 5.2%	20 17.4%	27 23.5%	17 14.8%	7 6.1%	4 3.5%	4 3.5%	4 3.5%	3 2.6%
	ひとり暮らし	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	施設に入所している（グループホームを含む）	51 100.0%	2 3.9%	1 2.0%	19 37.3%	23 45.1%	1 2.0%	2 3.9%	0 0.0%	1 2.0%	3 5.9%	5 9.8%
	その他	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神障害者世帯状況問4	家族と同居している	351 100.0%	252 71.8%	15 4.3%	5 1.4%	10 2.8%	42 12.0%	80 22.8%	45 12.8%	9 2.6%	20 5.7%	11 3.1%
	ひとり暮らし	191 100.0%	2 1.0%	13 6.8%	5 2.6%	5 2.6%	117 61.3%	35 18.3%	9 4.7%	11 5.8%	15 7.9%	21 11.0%
	施設に入所している（グループホームを含む）	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 21.4%	3 21.4%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 28.6%	1 7.1%
	その他	15 100.0%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	1 6.7%	2 13.3%	7 46.7%	0 0.0%	2 13.3%	3 20.0%	0 0.0%

第1章 調査概要

第2章 調査結果 (①身体障害者・難病患者 ②知的障害者 ③精神障害者)

第3章 調査結果 (④子ども)

第4章 調査結果 (⑤障害福祉サービス事業所)

3 日常生活の中での介助について

問 日常的に手助け（介助）してくれる方は、主にどなたですか。

<身体障害者・難病患者 問8>

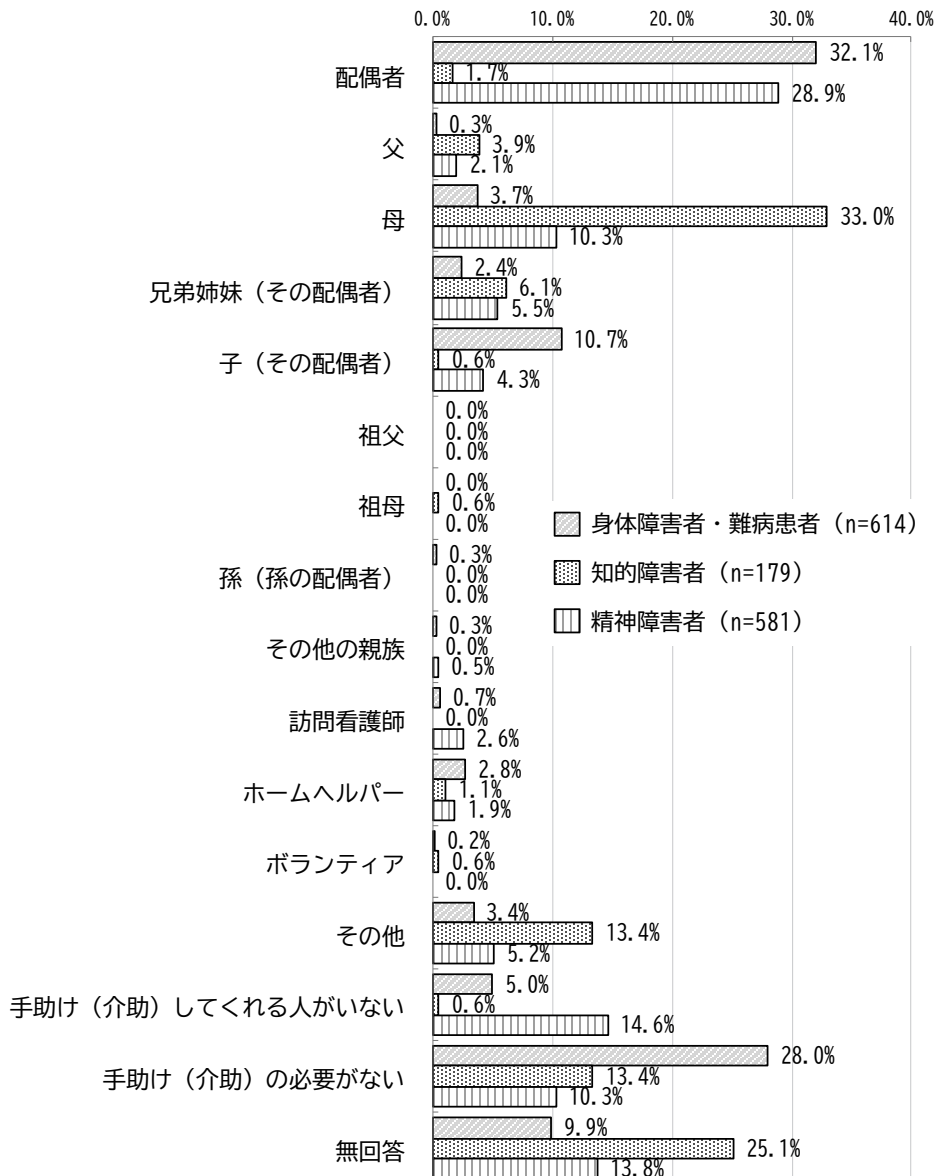
<知的障害者 問8>

<精神障害者 問8>

日常的な介助者について、身体障害者・難病患者では「配偶者」が32.1%と最も高く、次いで「手助け（介助）の必要がない」が28.0%、「子（その配偶者）」が10.7%となっています。

知的障害者では「母」が33.0%と最も高く、次いで「手助け（介助）の必要がない」「その他」が13.4%、「兄弟姉妹（その配偶者）」が6.1%となっています。

精神障害者では「配偶者」が28.9%と最も高く、次いで「手助け（介助）してくれる人がいない」が14.6%、「母」「手助け（介助）の必要がない」が10.3%となっています。



問 主に支援をしてくれる方の年齢はいくつですか。

<身体障害者・難病患者 問8-1>

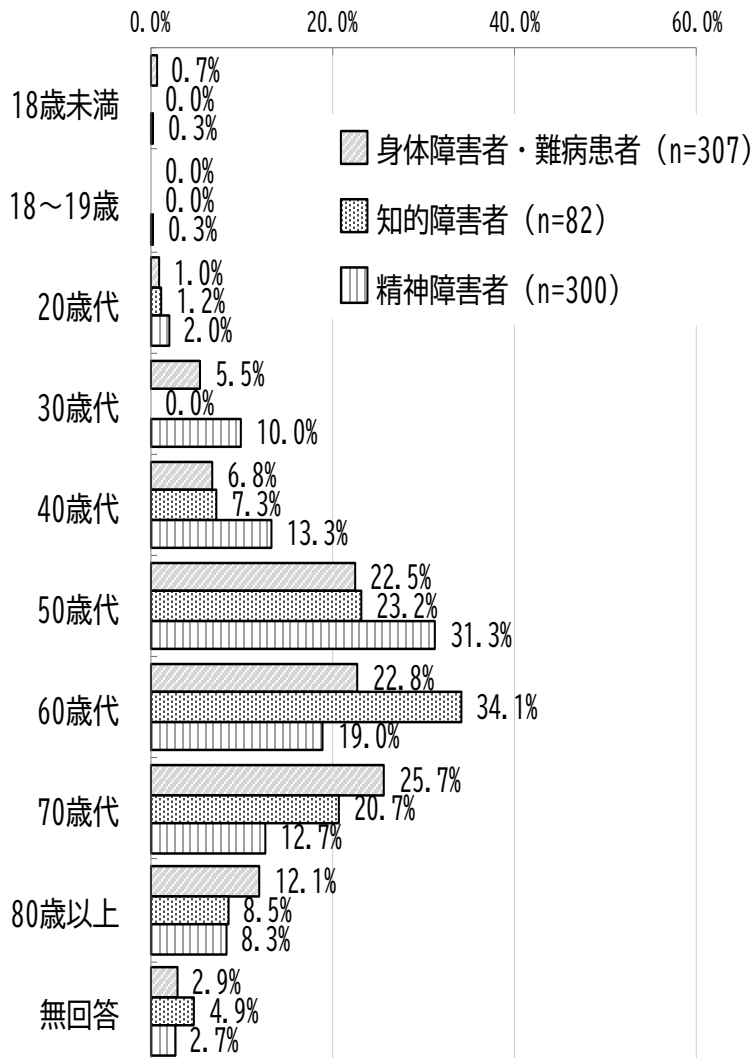
<知的障害者 問8-1>

<精神障害者 問8-1>

日常的な介助者の年齢について、身体障害者・難病患者では「70歳代」が25.7%と最も高く、次いで「60歳代」が22.8%、「50歳代」が22.5%となっています。

知的障害者では「60歳代」が34.1%と最も高く、次いで「50歳代」が23.2%、「70歳代」が20.7%となっています。

精神障害者では「50歳代」が31.3%と最も高く、次いで「60歳代」が19.0%、「40歳代」が13.3%となっています。



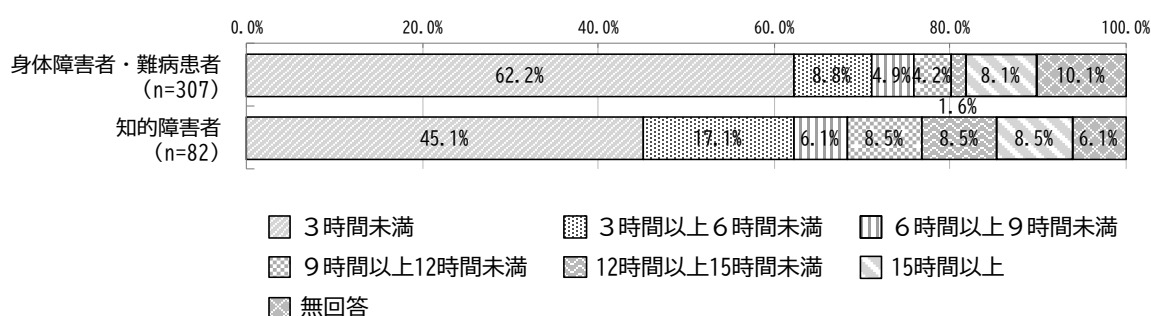
問 主に手助け（介助）してくれる方から、1日に手助け（介助）を受ける時間はどのくらいですか。

<身体障害者・難病患者 問8-2>

<知的障害者 問8-2>

介助を受ける時間数について、身体障害者・難病患者では「3時間未満」が62.2%と最も高く、次いで「3時間以上6時間未満」が8.8%、「15時間以上」が8.1%となっています。

知的障害者では「3時間未満」が45.1%と最も高く、次いで「3時間以上6時間未満」が17.1%、「9時間以上12時間未満」「12時間以上15時間未満」「15時間以上」が8.5%となっています。



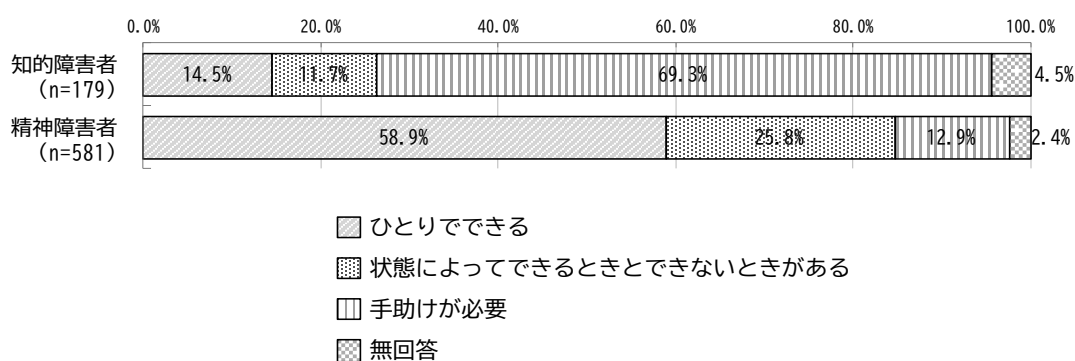
問 あなたは、お金の管理を自分ひとりでできますか。

<知的障害者 問9>

<精神障害者 問9>

お金の管理について、知的障害者では「手助けが必要」が69.3%と最も高く、次いで「ひとりでできる」が14.5%、「状態によってできるときとできないときがある」が11.7%となっています。

精神障害者では「ひとりでできる」が58.9%と最も高く、次いで「状態によってできるときとできないときがある」が25.8%、「手助けが必要」が12.9%となっています。



4 相談について

問 あなたは、現在の暮らしの中で何か困っていることはありますか。

<身体障害者・難病患者 問9>

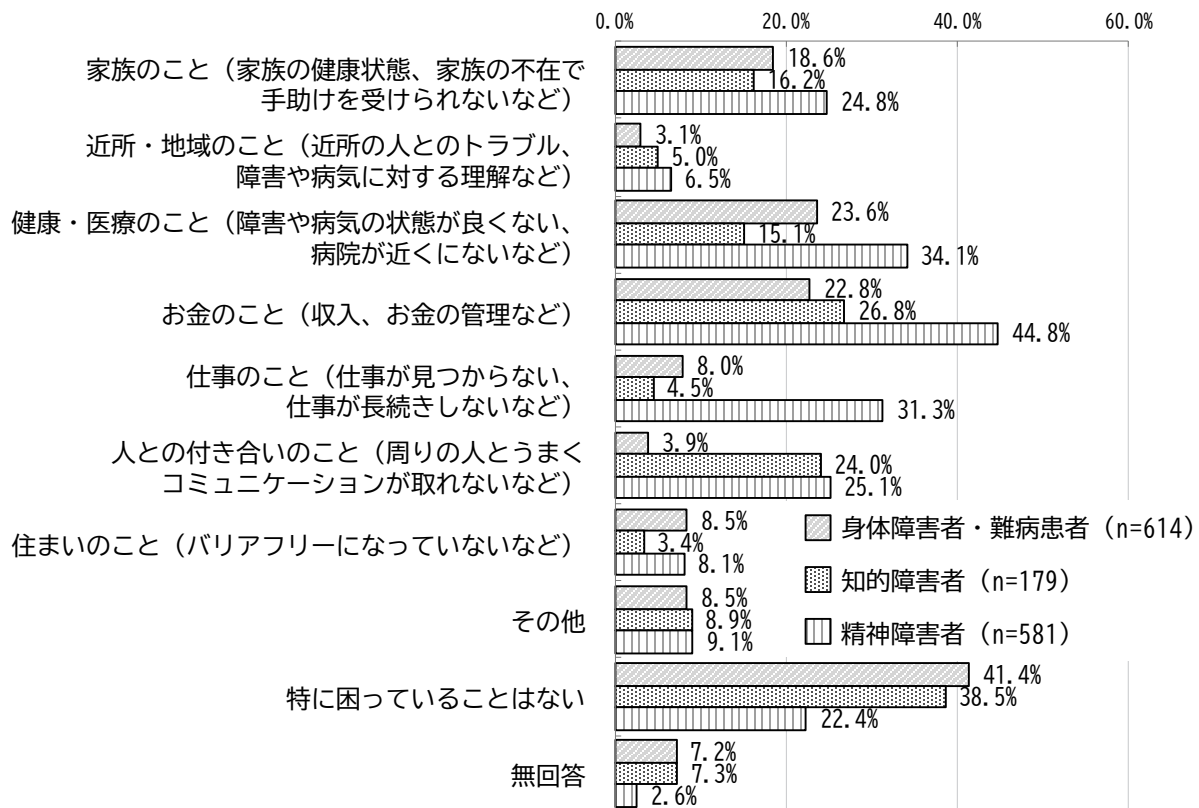
<知的障害者 問10>

<精神障害者 問10>

相談したい暮らしの困りごと（現在）について、身体障害者・難病患者では「特に困っていることはない」が41.4%と最も高く、次いで「健康・医療のこと（障害や病気の状態が良くない、病院が近くにないなど）」が23.6%、「お金のこと（収入、お金の管理など）」が22.8%となっています。

知的障害者では「特に困っていることはない」が38.5%と最も高く、次いで「お金のこと（収入、お金の管理など）」が26.8%、「人との付き合いのこと（周りの人とうまくコミュニケーションが取れないなど）」が24.0%となっています。

精神障害者では「お金のこと（収入、お金の管理など）」が44.8%と最も高く、次いで「健康・医療のこと（障害や病気の状態が良くない、病院が近くにないなど）」が34.1%、「仕事のこと（仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど）」が31.3%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果
(④子ども)

第4章

調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

問 あなたが、将来のことで、不安に感じていることはありますか。

<身体障害者・難病患者 問10>

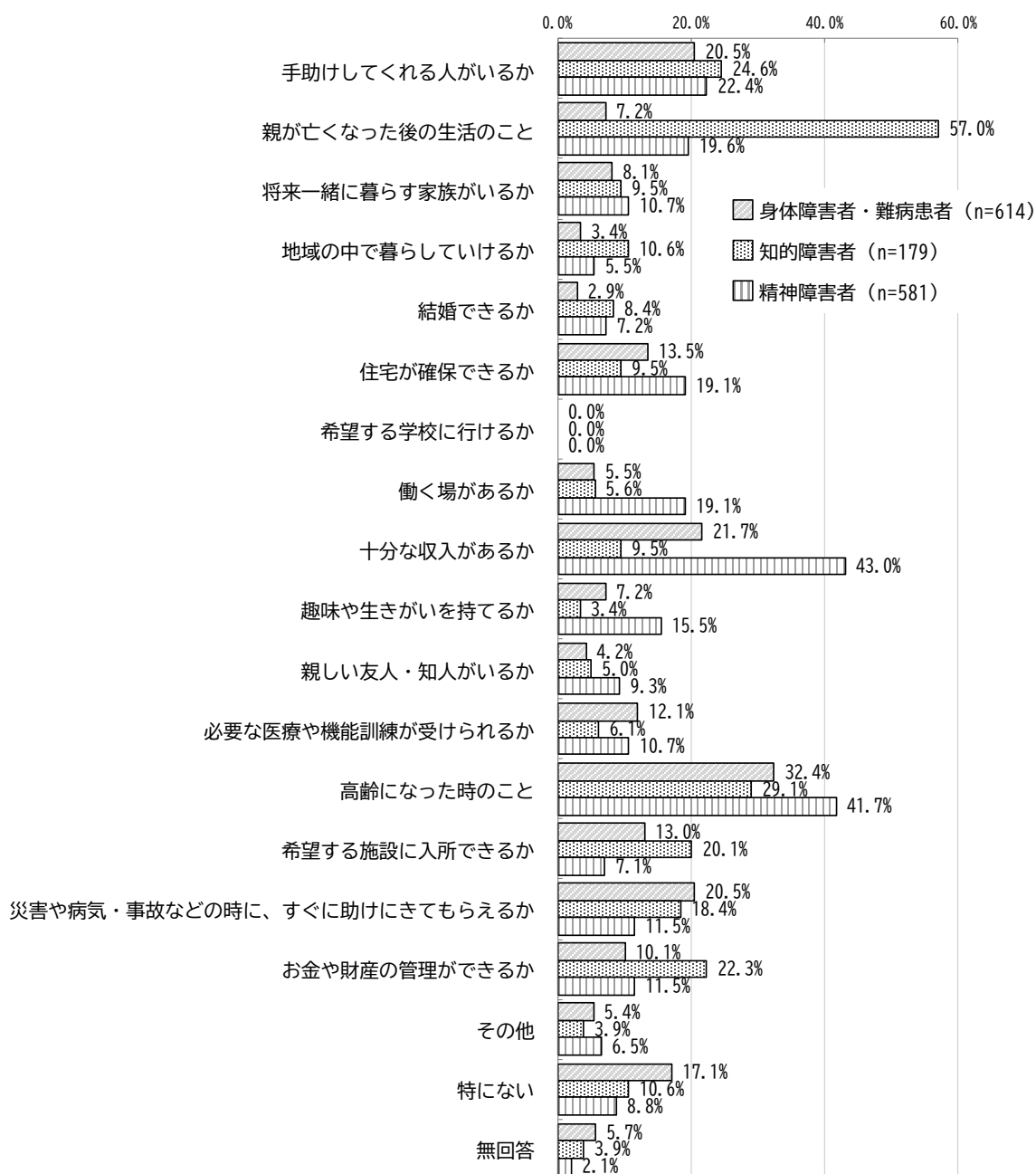
<知的障害者 問11>

<精神障害者 問11>

将来の不安について、身体障害者・難病患者では「高齢になった時のこと」が32.4%と最も高く、次いで「十分な収入があるか」が21.7%、「手助けしてくれる人がいるか」「災害や病気・事故などの時に、すぐに助けにきてもらえるか」が20.5%となっています。

知的障害者では「親が亡くなった後の生活のこと」が57.0%と最も高く、次いで「高齢になった時のこと」が29.1%、「手助けしてくれる人がいるか」が24.6%となっています。

精神障害者では「十分な収入があるか」が43.0%と最も高く、次いで「高齢になった時のこと」が41.7%、「手助けしてくれる人がいるか」が22.4%となっています。



クロス集計結果

世帯状況ごとにとみると、身体障害者・難病患者ではひとり暮らしで「住宅が確保できるか」が他の世帯状況と比較して高くなっています。

知的障害者では家族と同居しているで「親が亡くなった後の生活のこと」が他の世帯状況と比較して高くなっています。

精神障害者では家族と同居しているで「手助けしてくれる人がいるか」や「親が亡くなった後の生活のこと」が他の世帯状況と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問 将来の不安																			
		手助けしてくれる人がいるか	親が亡くなった後の生活のこと	将来一緒に暮らす家族がいるか	地域の中で暮らしていただけるか	結婚できるか	住宅が確保できるか	希望する学校に行けるか	働く場があるか	十分な収入があるか	趣味や生きがいを持てるか	親しい友人・知人がいるか	必要な医療や機能訓練が受けられるか	高齢になった時のこと	希望する施設に入所できるか	災害や病気・事故などの際に、すぐに助けにきてもらえるか	お金や財産の管理ができるか	その他	特にな	無回答	
病者へ 帯状況 問 4 世帯 状況	家族と同居している	394 100.0%	84 21.3%	28 7.1%	30 7.6%	6 1.5%	8 2.0%	44 11.2%	0 0.0%	17 4.3%	91 23.1%	30 7.6%	16 4.1%	52 13.2%	133 33.8%	54 13.7%	79 20.1%	38 9.6%	23 5.8%	66 16.8%	20 5.1%
	ひとり暮らし	172 100.0%	33 19.2%	13 7.6%	11 6.4%	11 6.4%	4 4.7%	34 19.8%	0 0.0%	14 8.1%	31 18.0%	9 5.2%	8 4.7%	14 8.1%	58 33.7%	23 13.4%	41 23.8%	22 12.8%	9 5.2%	30 17.4%	9 5.2%
	施設に入所している（グループホームを含む）	15 100.0%	1 6.7%	0 0.0%	2 13.3%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	3 20.0%	3 20.0%	1 6.7%	4 26.7%	0 0.0%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 26.7%	3 20.0%
	その他	14 100.0%	3 21.4%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 21.4%	0 0.0%	2 14.3%	3 21.4%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	4 28.6%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	3 21.4%	2 14.3%
知的 障害者 帯状況 問 4 世帯 状況	家族と同居している	115 100.0%	30 26.1%	85 73.9%	14 12.2%	12 10.4%	10 8.7%	16 13.9%	0 0.0%	6 5.2%	15 13.0%	3 2.6%	3 2.6%	8 7.0%	34 29.6%	28 24.3%	24 20.9%	25 21.7%	3 2.6%	7 6.1%	3 2.6%
	ひとり暮らし	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	3 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	施設に入所している（グループホームを含む）	51 100.0%	9 17.6%	14 27.5%	3 5.9%	6 11.8%	5 9.8%	1 2.0%	1 3.9%	2 3.9%	2 3.9%	6 11.8%	3 5.9%	13 25.5%	6 11.8%	8 15.7%	14 27.5%	2 3.9%	11 21.6%	3 5.9%	
	その他	4 100.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	
精神 障害者 帯状況 問 4 世帯 状況	家族と同居している	351 100.0%	87 24.8%	81 23.1%	42 12.0%	17 4.8%	18 5.1%	57 16.2%	0 0.0%	74 21.1%	146 41.6%	57 16.2%	29 8.3%	39 11.1%	141 40.2%	26 7.4%	38 10.8%	47 13.4%	23 6.6%	39 11.1%	6 1.7%
	ひとり暮らし	191 100.0%	35 18.3%	24 12.6%	16 8.4%	13 6.8%	21 11.0%	46 24.1%	0 0.0%	33 17.3%	90 47.1%	30 15.7%	24 12.6%	18 9.4%	88 46.1%	13 6.8%	13 14.1%	16 8.4%	9 4.7%	7 3.7%	5 2.6%
	施設に入所している（グループホームを含む）	14 100.0%	2 14.3%	4 28.6%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	3 21.4%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	4 28.6%	0 0.0%
	その他	15 100.0%	3 20.0%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	6 40.0%	0 0.0%	2 13.3%	8 53.3%	1 6.7%	0 0.0%	3 20.0%	6 40.0%	1 6.7%	1 6.7%	3 20.0%	4 26.7%	1 6.7%	0 0.0%

第1章 調査概要

第2章 調査結果 ①身体障害者 ・難病患者 ②知的障害者 ③精神障害者

第3章 調査結果 ④子ども

第4章 調査結果 ⑤障害福祉 サービス 事業所

令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の将来の不安の調査結果を比較すると、各障害で将来不安と感じるものの傾向に大きな変化はありません。

身体障害者・難病患者では「高齢になった時のこと」が35.8%から32.4%と3.4ポイント低く、「十分な収入があるか」が26.0%から21.7%と4.3ポイント低く、「災害や病気・事故などの時に、すぐに助けにきてもらえるか」が19.6%から20.5%と0.9ポイント高くなっています。

知的障害者では「親が亡くなった後の生活のこと」が56.2%から57.0%と0.8ポイント高く、「高齢になった時のこと」が24.7%から29.1%と4.4ポイント高く、「手助けしてくれる人があるか」が23.5%から24.6%と1.1ポイント高くなっています。

精神障害者では「十分な収入があるか」が45.9%から43.0%と2.9ポイント低く、「高齢になった時のこと」が41.1%から41.7%と0.6ポイント高く、「働く場があるか」が23.8%から19.1%と4.7ポイント低くなっています。



問 あなたが将来希望する生活を送るために必要なことは何ですか。

<身体障害者・難病患者 問11>

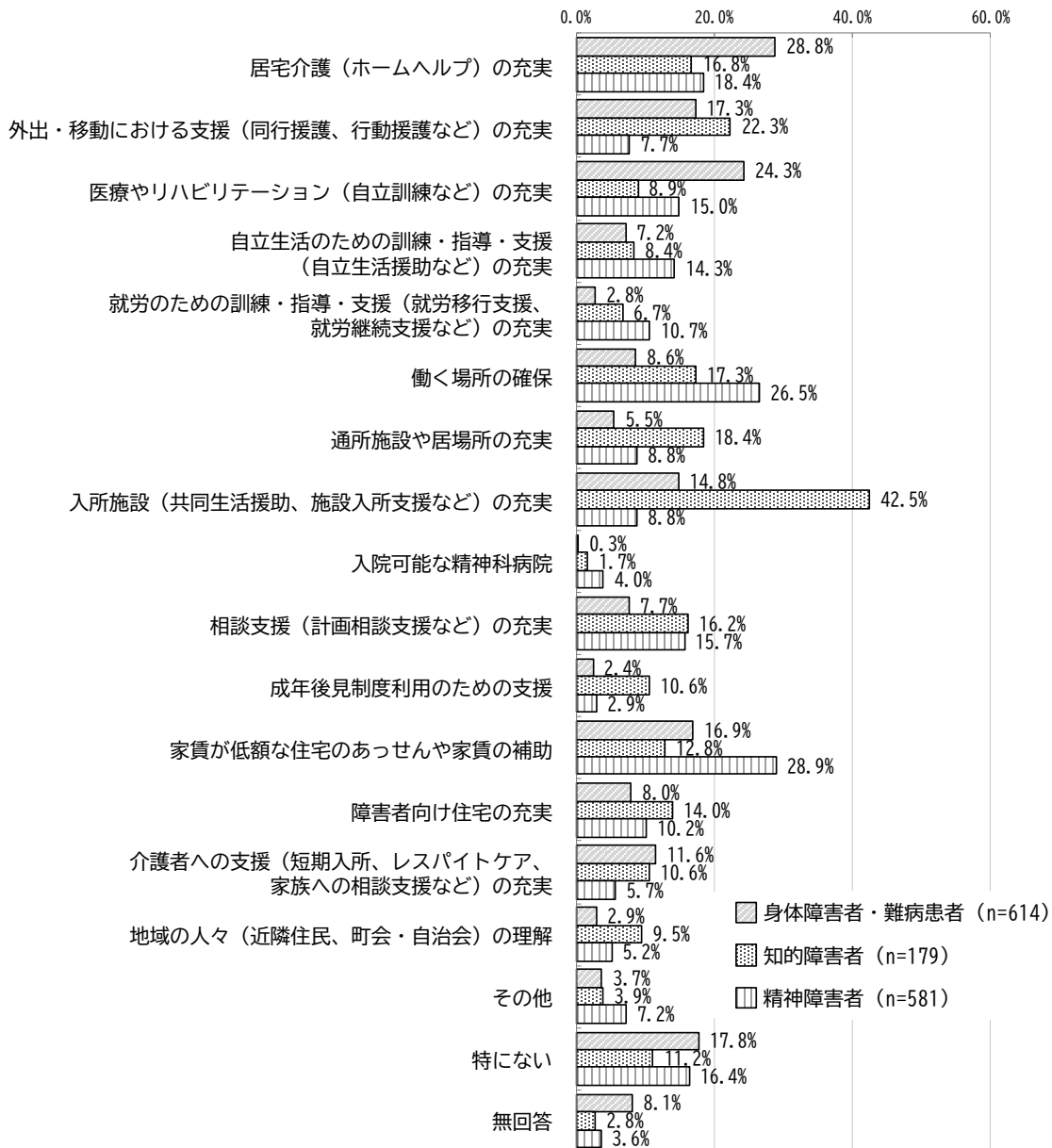
<知的障害者 問12>

<精神障害者 問12>

将来希望する生活を送るために必要なことについて、身体障害者・難病患者では「居宅介護（ホームヘルプ）の充実」が28.8%と最も高く、次いで「医療やリハビリテーション（自立訓練など）の充実」が24.3%、「特にない」が17.8%となっています。

知的障害者では「入所施設（共同生活援助、施設入所支援など）の充実」が42.5%と最も高く、次いで「外出・移動における支援（同行援護、行動援護など）の充実」が22.3%、「通所施設や居場所の充実」が18.4%となっています。

精神障害者では「家賃が低額な住宅のあっせんや家賃の補助」が28.9%と最も高く、次いで「働く場所の確保」が26.5%、「居宅介護（ホームヘルプ）の充実」が18.4%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果

- ④子ども

第4章

調査結果

- ⑤障害福祉サービス事業所

資料編

クロス集計結果

将来の不安として、身体障害者・難病患者で最も多い「高齢になった時のこと」と回答した方のうち、将来希望する生活を送るために必要なこととして「居宅介護の充実」、「医療やリハビリテーションの充実」など自立の支援に関する支援や、「家賃が低額な住宅のあっせんや家賃の補助」、「入所施設の充実」など住まいに関する回答人数・割合が高くなっています。

将来の不安として、知的障害者で最も多い「親が亡くなった後の生活のこと」と回答した方のうち、将来希望する生活を送るために必要なこととして「入所施設の充実」や「外出・移動における支援の充実」の回答人数・割合が高くなっています。

将来の不安として、精神障害者で最も多い「十分な収入があるか」と回答した方のうち、将来希望する生活を送るために必要なこととして「家賃が低額な住宅のあっせんや家賃の補助」や「働く場所の確保」の回答人数・割合が高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問 将来希望する生活を送るために必要なこと																	
		居宅介護（ホームヘルプ）の充実	外出・移動における支援（同行援護、行動支援など）の充実	医療やリハビリテーション（自立訓練など）の充実	自立生活のための訓練・指導・支援（自立生活援助など）の充実	就労のための訓練・指導・支援（就労移行支援、就労継続支援など）の充実	働く場所の確保	通所施設や居場所の充実	入所施設（共同生活援助施設）入所支援などの充実	入院可能な精神科病院	相談支援（計画相談支援など）の充実	成年後見制度利用のための支援	家賃が低額な住宅のあっせんや家賃の補助	障害者向け住宅の充実	介護者への支援（短期入所、レスパイトケア、家族への相談支援など）の充実	理解（近隣住民、町会・自治会）の	その他	特になし	無回答
手助けしてくれる人がいるか	126	57	27	36	15	3	7	8	30	1	15	7	18	18	21	7	3	11	8
100.0%	45.2%	21.4%	28.6%	11.9%	2.4%	5.6%	6.3%	23.8%	0.8%	11.9%	5.6%	14.3%	14.3%	16.7%	5.6%	2.4%	8.7%	6.3%	
親が亡くなった後の生活のこと	44	10	6	10	5	3	7	4	9	1	8	0	13	12	3	3	2	5	3
100.0%	22.7%	13.6%	22.7%	11.4%	6.8%	15.9%	9.1%	20.5%	2.3%	18.2%	0.0%	29.5%	27.3%	6.8%	6.8%	4.5%	11.4%	6.8%	
将来一緒に暮らす家族がいるか	50	16	11	14	4	3	8	3	11	1	2	3	14	11	6	4	1	4	2
100.0%	32.0%	22.0%	28.0%	8.0%	6.0%	16.0%	6.0%	22.0%	2.0%	4.0%	6.0%	28.0%	22.0%	12.0%	8.0%	2.0%	8.0%	4.0%	
地域の中で暮らしていけるか	21	10	11	6	4	1	3	1	2	0	1	0	2	1	3	1	0	2	0
100.0%	47.6%	52.4%	28.6%	19.0%	4.8%	14.3%	4.8%	9.5%	0.0%	4.8%	0.0%	9.5%	4.8%	14.3%	4.8%	0.0%	9.5%	0.0%	
結婚できるか	18	7	1	3	2	4	1	3	0	2	1	8	2	0	2	2	1	3	1
100.0%	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%	11.1%	22.2%	5.6%	16.7%	0.0%	11.1%	5.6%	44.4%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	16.7%	5.6%	
住宅が確保できるか	83	17	12	17	10	5	13	7	13	0	6	54	23	7	3	7	4	1	1
100.0%	20.5%	14.5%	20.5%	12.0%	6.0%	15.7%	8.4%	15.7%	0.0%	7.2%	7.2%	65.1%	27.7%	8.4%	3.6%	8.4%	4.8%	1.2%	
希望する学校に行けるか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
働く場があるか	34	3	1	6	1	8	22	0	1	2	0	12	5	0	1	5	2	0	0
100.0%	8.8%	2.9%	17.6%	2.9%	23.5%	64.7%	0.0%	0.0%	2.9%	5.9%	0.0%	35.3%	14.7%	0.0%	2.9%	14.7%	5.9%	0.0%	
十分な収入があるか	133	31	17	33	9	13	33	7	19	1	11	1	42	24	18	7	8	10	5
100.0%	23.3%	12.8%	24.8%	6.8%	9.8%	24.8%	5.3%	14.3%	0.8%	8.3%	0.8%	31.6%	18.0%	13.5%	5.3%	6.0%	7.5%	3.8%	
趣味や生きがいを持てるか	44	12	12	10	4	2	7	3	6	1	5	0	8	6	2	1	4	5	3
100.0%	27.3%	27.3%	22.7%	9.1%	4.5%	15.9%	6.8%	13.6%	2.3%	11.4%	0.0%	18.2%	13.6%	4.5%	2.3%	9.1%	11.4%	6.8%	
親しい友人・知人がいるか	26	8	5	8	3	1	2	5	5	0	4	2	5	4	2	2	2	2	3
100.0%	30.8%	19.2%	30.8%	11.5%	3.8%	7.7%	19.2%	19.2%	0.0%	15.4%	7.7%	19.2%	15.4%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	11.5%	
必要な医療や機能訓練が受けられるか	74	31	19	42	8	4	6	10	1	5	1	10	8	16	2	3	2	4	4
100.0%	41.9%	25.7%	56.8%	10.8%	5.4%	5.4%	8.1%	13.5%	1.4%	6.8%	1.4%	13.5%	10.8%	21.6%	2.7%	4.1%	2.7%	5.4%	
高齢になった時のこと	199	68	37	56	22	5	27	19	38	1	19	8	39	19	22	7	9	23	7
100.0%	34.2%	18.6%	28.1%	11.1%	2.5%	13.6%	9.5%	19.1%	0.5%	9.5%	4.0%	19.6%	9.5%	11.1%	3.5%	4.5%	11.6%	3.5%	
希望する施設に入所できるか	80	34	23	28	10	2	4	7	38	0	9	3	14	5	17	4	0	2	4
100.0%	42.5%	28.8%	35.0%	12.5%	2.5%	5.0%	8.8%	47.5%	0.0%	11.3%	3.8%	17.5%	6.3%	21.3%	5.0%	0.0%	2.5%	5.0%	
災害や病気・事故などの時に、すぐに助けにきてもらえるか	126	51	43	42	11	3	5	6	20	0	16	5	12	10	26	8	5	13	9
100.0%	40.5%	34.1%	33.3%	8.7%	2.4%	4.0%	4.8%	15.9%	0.0%	12.7%	4.0%	9.5%	7.9%	20.6%	6.3%	4.0%	10.3%	7.1%	
お金や財産の管理ができるか	62	25	17	17	10	3	8	3	11	1	9	3	8	5	6	4	2	7	4
100.0%	40.3%	27.4%	27.4%	16.1%	4.8%	12.9%	4.8%	17.7%	1.6%	14.5%	4.8%	12.9%	8.1%	9.7%	6.5%	3.2%	11.3%	6.5%	
その他	33	7	8	10	4	3	2	3	9	0	7	3	7	4	8	1	8	0	2
100.0%	21.2%	24.2%	30.3%	12.1%	9.1%	6.1%	9.1%	27.3%	0.0%	21.2%	9.1%	21.2%	12.1%	24.2%	3.0%	24.2%	0.0%	6.1%	
特になし	105	19	10	11	2	0	2	3	6	0	3	1	9	1	10	2	1	52	9
100.0%	18.1%	9.5%	10.5%	1.9%	0.0%	1.9%	2.9%	5.7%	0.0%	2.9%	1.0%	8.6%	1.0%	9.5%	1.9%	1.0%	49.5%	8.6%	

1段目 2段目	人 %	合計	問 将来希望する生活を送るために必要なこと																		
			居宅介護（ホームヘルプ）の充実	外出・移動における支援（同行援護、行動支援など）の充実	医療やリハビリテーション（自立訓練など）の充実	自立生活のための訓練・指導・支援（自立生活援助など）の充実	就労のための訓練・指導・支援（就労移行支援、就労継続支援など）の充実	働く場所の確保	通所施設や居場所の充実	入所施設（共同生活援助、施設入所支援など）の充実	入院可能な精神科病院	相談支援（計画相談支援など）の充実	成年後見制度利用のための支援	家賃が低額な住宅のあっせんや家賃の補助	障害者向け住宅の充実	介護者への支援（短期入所、レスパイトケア、家族への相談支援など）の充実	理解の人々（近隣住民、町会・自治会のメンバー）の充実	その他	特になし	無回答	
（知的障害者 問1）将来の不安	手助けしてくれる人がいるか	44 100.0%	11 25.0%	12 27.3%	5 11.4%	5 11.4%	1 2.3%	3 6.8%	11 25.0%	26 59.1%	2 4.5%	12 27.3%	5 11.4%	8 18.2%	9 20.5%	7 15.9%	9 20.5%	1 2.3%	0 0.0%	1 2.3%	
	親が亡くなった後の生活のこと	102 100.0%	26 25.5%	27 26.5%	9 8.8%	9 8.8%	11 10.8%	23 22.5%	24 23.5%	51 50.0%	2 2.0%	20 19.6%	16 15.7%	14 13.7%	21 20.6%	16 15.7%	11 10.8%	4 3.9%	2 2.0%	1 1.0%	
	将来一緒に暮らす家族がいるか	17 100.0%	2 11.8%	4 23.5%	2 11.8%	2 5.9%	2 11.8%	3 17.6%	3 17.6%	8 47.1%	0 0.0%	7 41.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.8%	2 11.8%	3 17.6%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%
	地域の中で暮らしていけるか	19 100.0%	3 15.8%	5 26.3%	3 15.8%	3 15.8%	3 15.8%	2 10.5%	2 10.5%	12 63.2%	0 0.0%	5 26.3%	3 5.3%	3 15.8%	4 21.1%	1 5.3%	3 15.8%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	結婚できるか	15 100.0%	3 20.0%	4 26.7%	4 13.3%	2 6.7%	2 6.7%	4 26.7%	4 6.7%	3 20.0%	3 0.0%	4 26.7%	2 13.3%	1 6.7%	2 26.7%	0 0.0%	2 6.7%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%
	住宅が確保できるか	17 100.0%	2 11.8%	2 11.8%	2 5.9%	2 11.8%	0 0.0%	2 11.8%	2 23.5%	5 23.5%	3 5.9%	3 17.6%	1 5.9%	1 6.7%	5 29.4%	2 11.8%	4 23.5%	0 0.0%	0 5.9%	0 0.0%	0 0.0%
	希望する学校に行けるか	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	働く場があるか	10 100.0%	2 20.0%	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%	4 40.0%	7 70.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
	十分な収入があるか	17 100.0%	2 11.8%	5 29.4%	2 11.8%	2 5.9%	2 11.8%	6 33.3%	3 17.6%	4 23.5%	0 0.0%	4 23.5%	0 0.0%	8 47.1%	5 29.4%	0 0.0%	2 11.8%	1 5.9%	2 11.8%	1 5.9%	0 0.0%
	趣味や生きがいを持てるか	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	3 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 50.0%	0 0.0%
	親しい友人・知人がいるか	9 100.0%	1 11.1%	4 44.4%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	4 44.4%	0 0.0%
	必要な医療や機能訓練が受けられるか	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	2 18.2%	7 63.6%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%	3 27.3%	2 18.2%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	
	高齢になった時のこと	52 100.0%	12 23.1%	15 28.8%	6 11.5%	3 5.8%	3 5.8%	8 15.4%	13 25.0%	19 36.9%	0 0.0%	9 17.3%	9 17.3%	7 13.5%	15 28.8%	8 15.4%	8 15.4%	3 5.8%	2 3.9%	3 5.8%	0 0.0%
	希望する施設に入所できるか	36 100.0%	7 19.4%	10 27.8%	5 13.9%	3 8.3%	4 11.1%	3 8.3%	11 30.6%	30 83.3%	0 0.0%	3 8.3%	0 0.0%	3 8.3%	7 19.4%	1 2.8%	9 25.0%	6 16.7%	4 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
	災害や病気・事故などの時に、すぐに助けにきてもらえるか	33 100.0%	6 18.2%	8 24.2%	4 12.1%	4 12.1%	5 15.2%	5 15.2%	7 21.2%	17 51.5%	3 9.1%	7 21.2%	1 3.0%	5 15.2%	5 15.2%	5 15.2%	5 15.2%	3 9.1%	1 3.0%	3 9.1%	3 9.1%
	お金や財産の管理ができるか	40 100.0%	2 5.0%	10 25.0%	5 12.5%	4 10.0%	4 10.0%	10 25.0%	16 40.0%	16 40.0%	0 0.0%	9 22.5%	7 17.5%	9 22.5%	10 25.0%	2 5.0%	5 12.5%	1 2.5%	7 17.5%	5 12.5%	0 0.0%
	その他	7 100.0%	0 0.0%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	3 42.9%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%
	特になし	19 100.0%	0 0.0%	5 26.3%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	2 10.5%	1 5.3%	4 21.1%	0 0.0%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	1 5.3%	9 47.4%	0 0.0%
	（精神障害者 問1）将来の不安	手助けしてくれる人がいるか	130 100.0%	47 36.2%	25 19.2%	28 21.5%	32 24.6%	32 24.6%	38 29.2%	17 13.1%	16 12.3%	8 6.2%	34 26.2%	6 4.6%	33 25.4%	20 15.4%	10 7.7%	10 7.7%	8 6.3%	5 3.9%	7 5.4%
		親が亡くなった後の生活のこと	114 100.0%	20 17.5%	8 7.0%	9 7.9%	24 21.1%	18 15.8%	42 36.8%	13 11.4%	10 8.8%	4 3.5%	23 20.2%	4 3.5%	23 20.2%	16 14.0%	16 14.0%	7 6.1%	7 6.1%	1 0.9%	11 9.6%
		将来一緒に暮らす家族がいるか	62 100.0%	20 32.3%	11 17.7%	16 25.8%	17 27.4%	7 11.3%	17 27.4%	11 17.7%	5 8.1%	3 4.8%	14 22.6%	1 1.6%	20 32.3%	5 8.1%	4 6.3%	2 3.2%	2 3.2%	2 3.2%	5 8.1%
		地域の中で暮らしていけるか	32 100.0%	14 34.4%	5 15.6%	7 21.9%	7 21.9%	11 34.4%	11 34.4%	7 21.9%	3 9.4%	2 6.3%	7 21.9%	3 9.4%	9 28.1%	9 28.1%	3 9.4%	4 12.5%	4 12.5%	2 6.3%	3 9.4%
		結婚できるか	42 100.0%	3 7.1%	0 0.0%	4 9.5%	5 11.9%	6 14.3%	16 38.1%	1 2.4%	1 2.4%	5 11.9%	1 2.4%	12 28.6%	2 4.8%	2 4.8%	1 2.4%	3 7.1%	1 2.4%	3 7.1%	8 19.0%
住宅が確保できるか		111 100.0%	19 17.1%	11 9.9%	14 12.6%	14 12.6%	14 12.6%	33 29.7%	11 9.9%	10 9.0%	6 5.4%	19 17.1%	3 2.7%	83 74.8%	27 24.3%	3 2.7%	9 8.1%	7 6.3%	5 4.5%	2 1.8%	
希望する学校に行けるか		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
働く場があるか		111 100.0%	17 15.3%	8 7.2%	15 13.5%	15 13.5%	26 23.4%	75 67.6%	10 9.0%	4 3.6%	7 6.3%	18 16.2%	3 2.7%	13 11.7%	36 32.4%	10 9.0%	11 10.0%	8 7.3%	6 5.4%	7 6.3%	
十分な収入があるか		250 100.0%	45 18.0%	20 8.0%	34 13.6%	40 16.0%	38 15.2%	99 39.6%	23 9.2%	12 4.8%	13 5.2%	43 17.2%	6 2.4%	100 40.0%	32 12.8%	10 4.0%	15 6.0%	20 8.0%	23 9.2%	4 1.6%	
趣味や生きがいを持てるか		90 100.0%	14 15.6%	3 3.3%	20 22.2%	15 16.7%	11 12.2%	27 30.0%	11 12.2%	5 5.6%	5 5.6%	16 17.8%	2 2.2%	33 36.7%	9 10.0%	6 6.7%	8 8.9%	8 8.9%	9 10.0%	2 2.2%	
親しい友人・知人がいるか		54 100.0%	14 25.9%	7 13.0%	6 11.1%	13 24.1%	15 27.8%	15 27.8%	6 11.1%	3 5.6%	3 5.6%	8 14.8%	4 7.4%	18 33.3%	9 16.7%	1 1.9%	7 12.5%	4 7.4%	6 11.1%	1 1.9%	
必要な医療や機能訓練が受けられるか		62 100.0%	20 32.3%	13 21.0%	19 30.6%	22 35.5%	9 14.5%	11 17.7%	7 11.1%	11 17.7%	6 9.7%	12 19.4%	2 3.2%	21 33.9%	6 9.7%	11 17.7%	6 9.7%	5 7.9%	4 6.3%	2 3.2%	
高齢になった時のこと		242 100.0%	56 23.1%	28 11.6%	42 17.4%	44 18.2%	21 8.7%	67 27.7%	25 10.3%	30 12.4%	6 2.5%	48 19.8%	6 2.5%	82 33.9%	24 9.9%	16 6.6%	14 5.8%	16 6.6%	6 2.5%	23 9.5%	
希望する施設に入所できるか		41 100.0%	16 39.0%	7 17.1%	11 26.8%	8 19.5%	2 4.9%	3 7.3%	11 27.1%	7 17.1%	2 4.9%	13 31.7%	3 7.3%	10 24.4%	5 12.2%	8 19.5%	3 7.3%	3 7.3%	3 7.3%	2 4.9%	
災害や病気・事故などの時に、すぐに助けにきてもらえるか		67 100.0%	19 28.4%	13 19.4%	16 23.9%	15 22.4%	3 4.5%	11 16.4%	12 17.9%	13 19.4%	13 19.4%	15 22.4%	2 3.0%	26 38.8%	4 6.0%	10 14.9%	9 13.3%	11 16.4%	10 14.9%	0 0.0%	
お金や財産の管理ができるか		67 100.0%	15 22.4%	12 17.9%	20 29.9%	12 17.9%	20 29.9%	23 34.3%	12 17.9%	5 7.5%	2 3.0%	19 28.4%	2 3.0%	26 38.8%	4 6.0%	10 14.9%	7 10.4%	7 10.4%	3 4.5%	6 9.0%	
その他		38 100.0%	3 7.9%	0 0.0%	8 21.1%	8 21.1%	0 0.0%	8 21.1%	3 7.9%	5 13.2%	2 5.3%	5 13.2%	2 5.3%	7 18.4%	5 13.2%	6 15.8%	3 7.9%	13 34.2%	3 7.9%	0 0.0%	
特になし		51 100.0%	2 3.9%	0 0.0%	1 2.0%	1 2.0%	2 3.9%	2 4.0%	1 2.0%	3 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.9%	1 2.0%	3 5.9%	1 2.0%	1 2.0%	0 0.0%	38 74.5%	

第1章

調査概要

第2章

調査結果 ①身体障害者・難病患者 ②知的障害者 ③精神障害者

第3章

調査結果 ④子ども

第4章

調査結果 ⑤障害福祉サービス事業所

問 あなたは、何か困ったとき、誰に（どこに）相談したり、頼んだりしていますか。

<身体障害者・難病患者 問12>

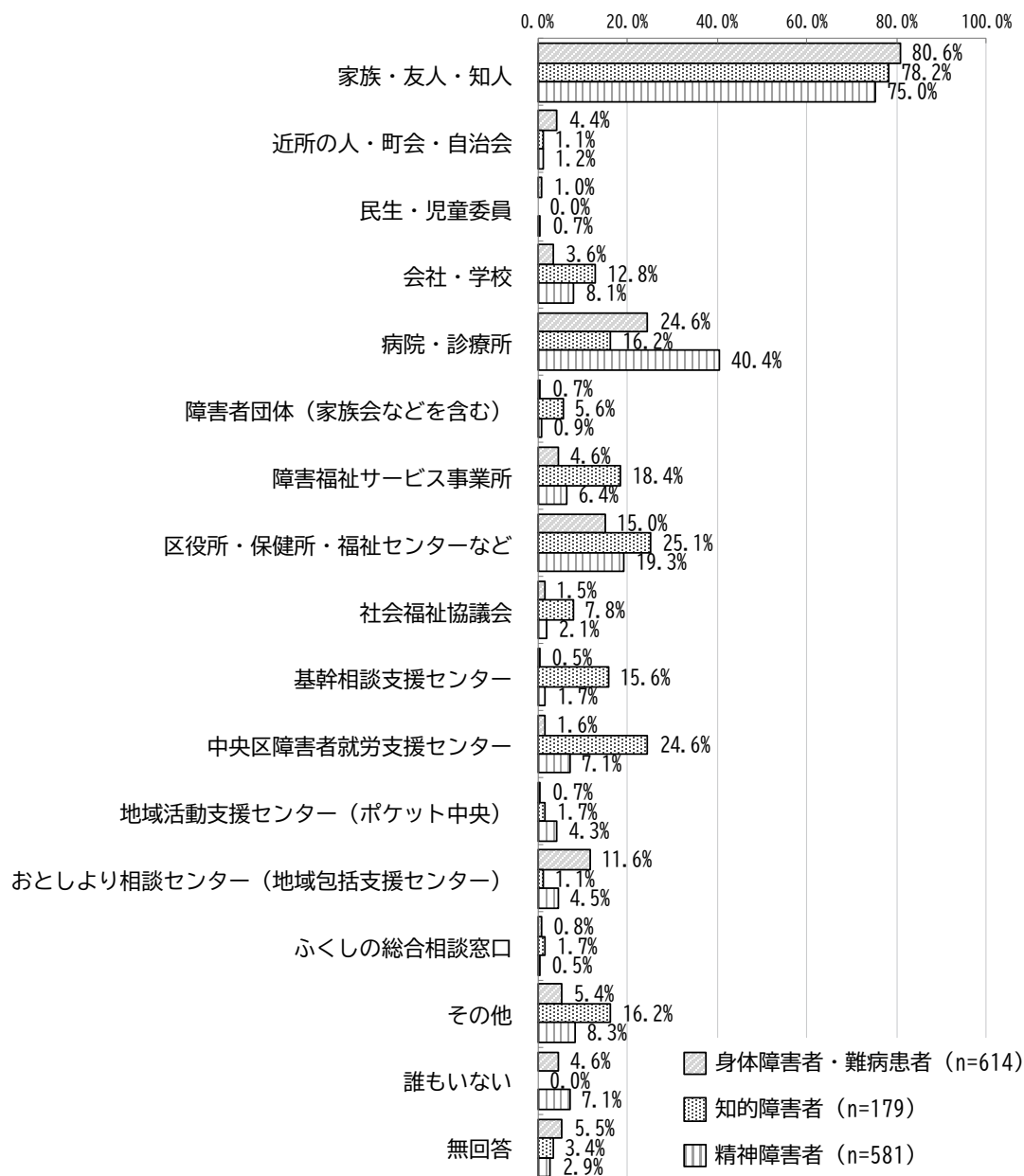
<知的障害者 問13>

<精神障害者 問13>

困りごとの相談先について、身体障害者・難病患者では「家族・友人・知人」が80.6%と最も高く、次いで「病院・診療所」が24.6%、「区役所・保健所・福祉センターなど」が15.0%となっています。

知的障害者では「家族・友人・知人」が78.2%と最も高く、次いで「区役所・保健所・福祉センターなど」が25.1%、「中央区障害者就労支援センター」が24.6%となっています。

精神障害者では「家族・友人・知人」が75.0%と最も高く、次いで「病院・診療所」が40.4%、「区役所・保健所・福祉センターなど」が19.3%となっています。



クロス集計結果

世帯状況ごとにとみると、身体障害者・難病患者ではひとり暮らしで「近所の人・町会・自治会」が他の世帯状況と比較して高くなっています。

知的障害者では家族と同居しているで「中央区障害者就労支援センター」が他の世帯状況と比較して高くなっています。

精神障害者ではひとり暮らしで「区役所・保健所・福祉センターなど」が他の世帯状況と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問 困りごとの相談先																	
		家族・友人・知人	近所の人・町会・自治会	民生・児童委員	会社・学校	病院・診療所	障害者団体（家族会などを含む）	障害福祉サービス事業所	区役所・保健所・福祉センターなど	社会福祉協議会	基幹相談支援センター	中央区障害者就労支援センター	中央 地域活動支援センター（ポケット中 支援センター）	おとしより相談センター（地域包括 支援センター）	ふくしの総合相談窓口	その他	誰もいない	無回答	
病へ 帯 障 者 問 世 難 4	家族と同居している	394 100.0%	338 85.8%	10 2.5%	2 0.5%	12 3.0%	109 27.7%	4 1.0%	18 4.6%	64 16.2%	4 1.0%	1 0.3%	5 1.3%	2 0.5%	44 11.2%	1 0.3%	19 4.8%	9 2.3%	20 5.1%
	ひとり暮らし	172 100.0%	123 71.5%	17 9.9%	4 2.3%	10 5.8%	35 20.3%	0 0.0%	9 5.2%	21 12.2%	3 1.7%	2 1.2%	5 2.9%	2 1.2%	20 11.6%	2 1.2%	6 3.5%	18 10.5%	10 5.8%
	施設に入所している（グループホームを含む）	15 100.0%	10 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 20.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 26.7%	0 0.0%	3 20.0%	0 0.0%	1 6.7%
	その他	14 100.0%	10 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	4 28.6%	0 0.0%	1 7.1%
知的 障 害 者 問 世 帯 障 害 者 問 4	家族と同居している	115 100.0%	106 92.2%	2 1.7%	0 0.0%	20 17.4%	21 18.3%	7 6.1%	21 18.3%	27 23.5%	8 7.0%	17 14.8%	32 27.8%	3 2.6%	2 1.7%	2 1.7%	9 7.8%	0 0.0%	2 1.7%
	ひとり暮らし	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	施設に入所している（グループホームを含む）	51 100.0%	27 52.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.9%	6 11.8%	3 5.9%	11 21.6%	13 25.5%	3 5.9%	9 17.6%	11 21.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.0%	1 35.3%	0 0.0%	3 5.9%
	その他	4 100.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神 障 害 者 問 世 帯 障 害 者 問 4	家族と同居している	351 100.0%	293 83.5%	2 0.6%	2 0.6%	26 7.4%	153 43.6%	3 0.9%	21 6.0%	56 16.0%	6 1.7%	6 1.7%	29 8.3%	12 3.4%	17 4.8%	0 0.0%	24 6.8%	17 4.8%	12 3.4%
	ひとり暮らし	191 100.0%	115 60.2%	5 2.6%	1 0.5%	18 9.4%	69 36.1%	1 0.5%	6 6.8%	49 25.7%	6 3.1%	3 1.6%	9 4.7%	10 5.2%	5 2.6%	3 1.6%	17 8.9%	23 12.0%	4 2.1%
	施設に入所している（グループホームを含む）	14 100.0%	9 64.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 35.7%	0 0.0%	2 14.3%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	3 21.4%	1 7.1%
	その他	15 100.0%	10 66.7%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%	5 33.3%	1 6.7%	1 6.7%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%

第1章

調査概要

第2章

調査結果
 (①身体障害者・難病患者
 ②知的障害者
 ③精神障害者)

第3章

調査結果
 (④子ども)

第4章

調査結果
 (⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

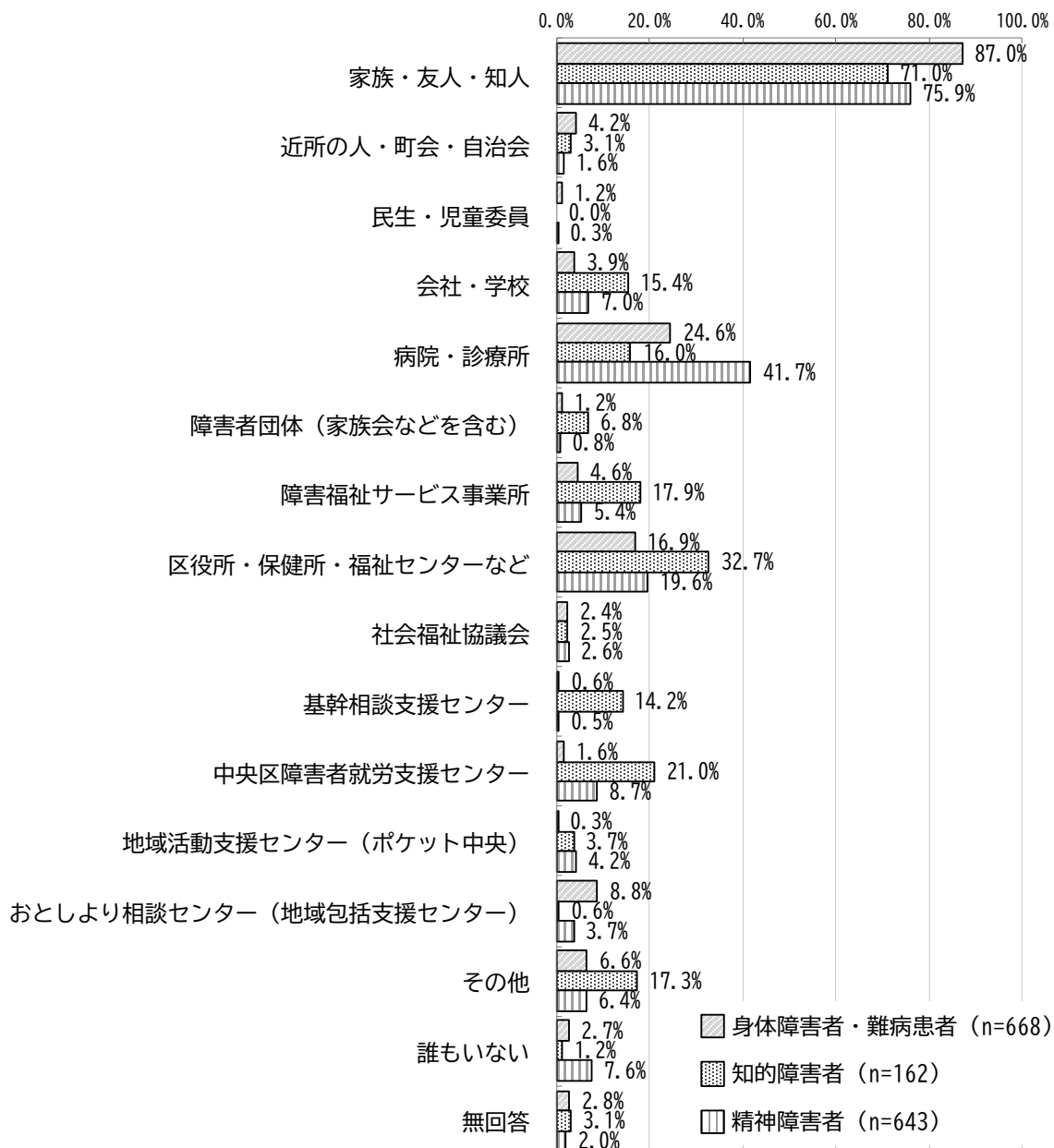
令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の困りごとの相談先の調査結果を比較すると、各障害で相談先の傾向に大きな変化はありません。

身体障害者・難病患者では「家族・友人・知人」が87.0%から80.6%と6.4ポイント低くなっており、「病院・診療所」が24.6%から変化がなく、「区役所・保健所・福祉センターなど」が16.9%から15.0%と1.9ポイント低くなっています。

知的障害者では「家族・友人・知人」が71.0%から78.2%と7.2ポイント高くなっており、「区役所・保健所・福祉センターなど」が32.7%から25.1%と7.6ポイント低く、「中央区障害者就労支援センター」が21.0%から24.6%と3.6ポイント高くなっています。

精神障害者では「家族・友人・知人」が75.9%から75.0%と0.9ポイント低くなっており、「病院・診療所」が41.7%から40.4%と1.3ポイント低く、「区役所・保健所・福祉センターなど」が19.6%から19.3%と0.3ポイント低くなっています。



問 あなたは、次の相談・支援の窓口をご存知ですか。ア)～ウ)の項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

<身体障害者・難病患者 問13>

<知的障害者 問14>

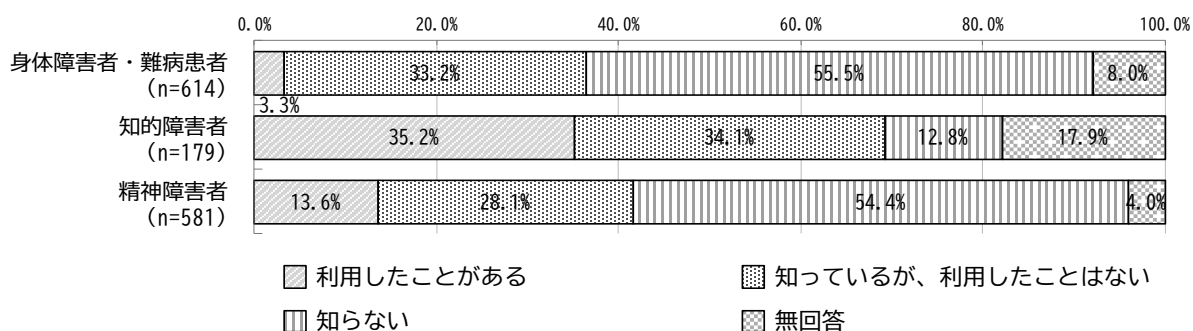
<精神障害者 問14>

ア) 中央区障害者就労支援センターの認知度・利用状況

中央区障害者就労支援センターの認知度・利用状況について、身体障害者・難病患者では「知らない」が55.5%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が33.2%、「利用したことがある」が3.3%となっています。

知的障害者では「利用したことがある」が35.2%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が34.1%、「知らない」が12.8%となっています。

精神障害者では「知らない」が54.4%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が28.1%、「利用したことがある」が13.6%となっています。



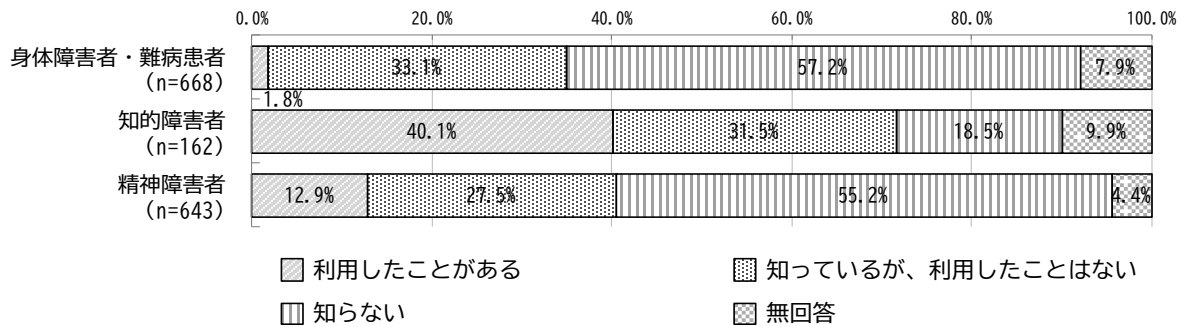
令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の障害者就労支援センターの認知度と利用状況の調査結果を比較すると、各障害で傾向に大きな変化はありません。

身体障害者・難病患者では「利用したことがある」が1.8%から3.3%と1.5ポイント高く、「知っているが、利用したことはない」が33.1%から33.2%と0.1ポイント高く、「知らない」が57.2%から55.5%と1.7ポイント低くなっています。

知的障害者では「利用したことがある」が40.1%から35.2%と4.9ポイント低く、「知っているが、利用したことはない」が31.5%から34.1%と2.6ポイント高く、「知らない」が18.5%から12.8%と5.7ポイント低くなっています。

精神障害者では「知らない」が55.2%から54.4%と0.8ポイント低く、「知っているが、利用したことはない」が27.5%から28.1%と0.6ポイント高く、「利用したことがある」が12.9%から13.6%と0.7ポイント高くなっています。

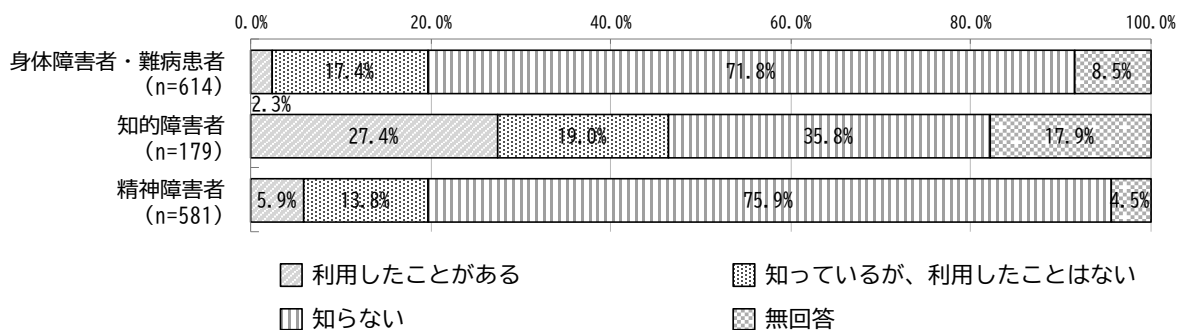


イ) 基幹相談支援センターの認知度・利用状況

基幹相談支援センターの認知度・利用状況について、身体障害者・難病患者では「知らない」が71.8%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が17.4%、「利用したことがある」が2.3%となっています。

知的障害者では「知らない」が35.8%と最も高く、次いで「利用したことがある」が27.4%、「知っているが、利用したことはない」が19.0%となっています。

精神障害者では「知らない」が75.9%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が13.8%、「利用したことがある」が5.9%となっています。



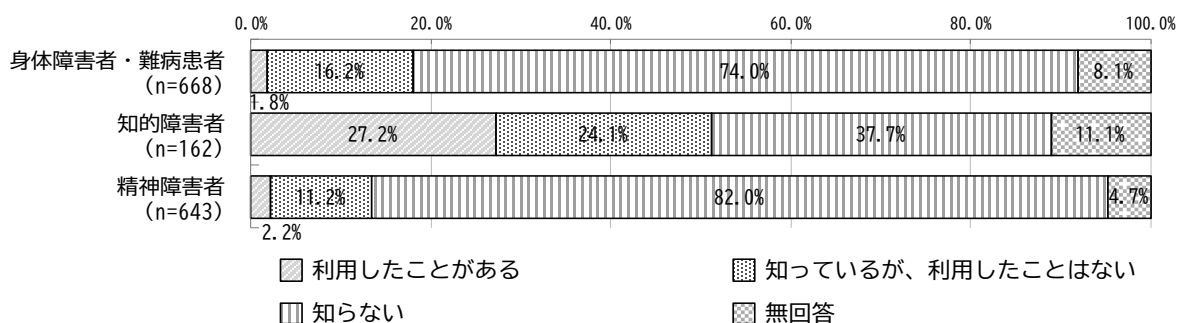
令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の基幹相談支援センターの認知度・利用状況の調査結果を比較すると、各障害で傾向に大きな変化はありません。

身体障害者・難病患者では「知らない」が74.0%から71.8%と2.2ポイント低く、「知っているが、利用したことはない」が16.2%から17.4%と1.2ポイント高く、「利用したことがある」が1.8%から2.3%と0.5ポイント高くなっています。

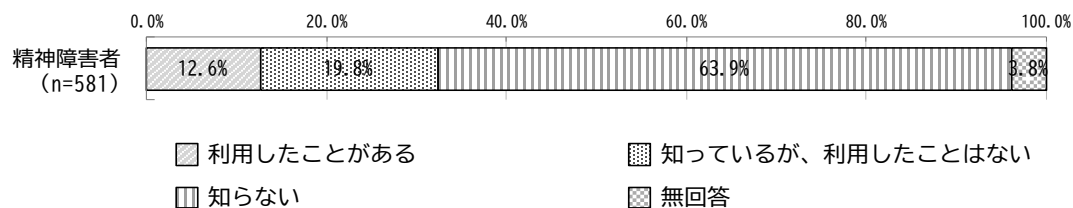
知的障害者では「知らない」が37.7%から35.8%と1.9ポイント低く、「利用したことがある」が27.2%から27.4%と0.2ポイント高く、「知っているが、利用したことはない」が24.1%から19.0%と5.1ポイント低くなっています。

精神障害者では「知らない」が82.0%から75.9%と6.1ポイント低く、「知っているが、利用したことはない」が11.2%から13.8%と2.6ポイント高く、「利用したことがある」が2.2%から5.9%と3.7ポイント高くなっています。



ウ) 中央区精神障害者地域活動支援センター（ポケット中央）の認知度・利用状況

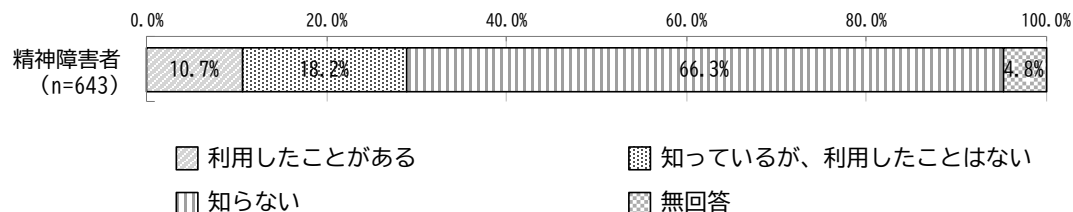
中央区精神障害者地域活動支援センター（ポケット中央）の認知度・利用状況について、精神障害者では「知らない」が63.9%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が19.8%、「利用したことがある」が12.6%となっています。



令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の中央区精神障害者地域活動支援センター（ポケット中央）の認知度・利用状況の調査結果を比較すると、傾向に大きな変化はありません。

「知らない」が66.3%から63.9%と2.4ポイント低く、「知っているが、利用したことはない」が18.2%から19.8%と1.6ポイント高く、「利用したことがある」が10.7%から12.6%と1.9ポイント高くなっています。



問 あなたは、区内の相談・支援の窓口が利用しやすくなるには、どのようなことが必要だと思いますか。

<身体障害者・難病患者 問14>

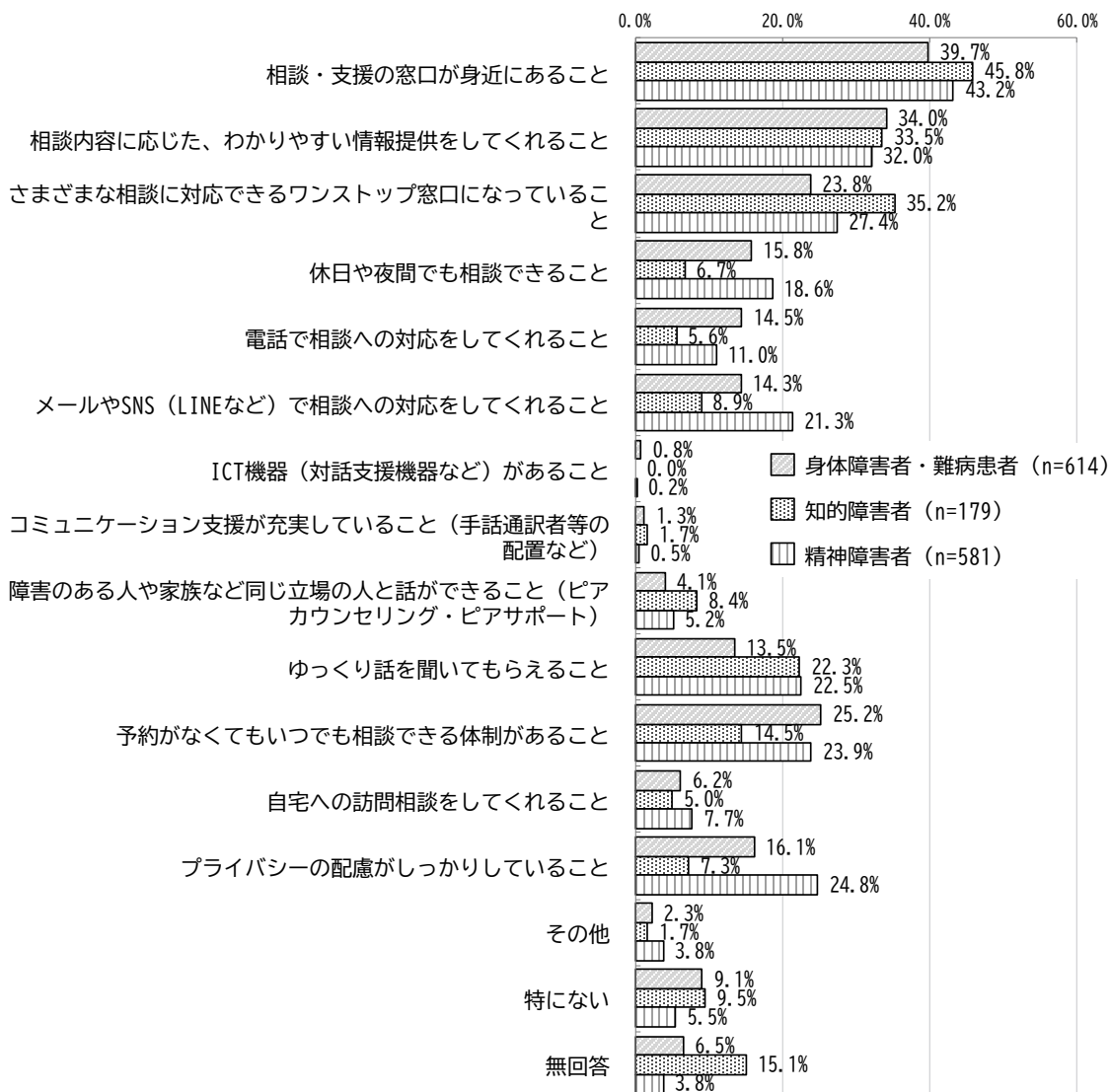
<知的障害者 問15>

<精神障害者 問15>

区の相談窓口・機関への要望について、身体障害者・難病患者では「相談・支援の窓口が身近にあること」が39.7%と最も高く、次いで「相談内容に応じた、わかりやすい情報提供をしてくれること」が34.0%、「予約がなくてもいつでも相談できる体制があること」が25.2%となっています。

知的障害者では「相談・支援の窓口が身近にあること」が45.8%と最も高く、次いで「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口になっていること」が35.2%、「相談内容に応じた、わかりやすい情報提供をしてくれること」が33.5%となっています。

精神障害者では「相談・支援の窓口が身近にあること」が43.2%と最も高く、次いで「相談内容に応じた、わかりやすい情報提供をしてくれること」が32.0%、「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口になっていること」が27.4%となっています。



5 障害福祉サービスについて

問 (1) 令和6年4月以降、あなたは、次の障害福祉サービス、地域生活支援事業を利用したことがありますか。ア)～ノ)の項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

(2) あなたが利用したサービスについて、支給量は十分だと思いますか。ア)～ノ)の項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

<身体障害者・難病患者 問15>

<知的障害者 問16>

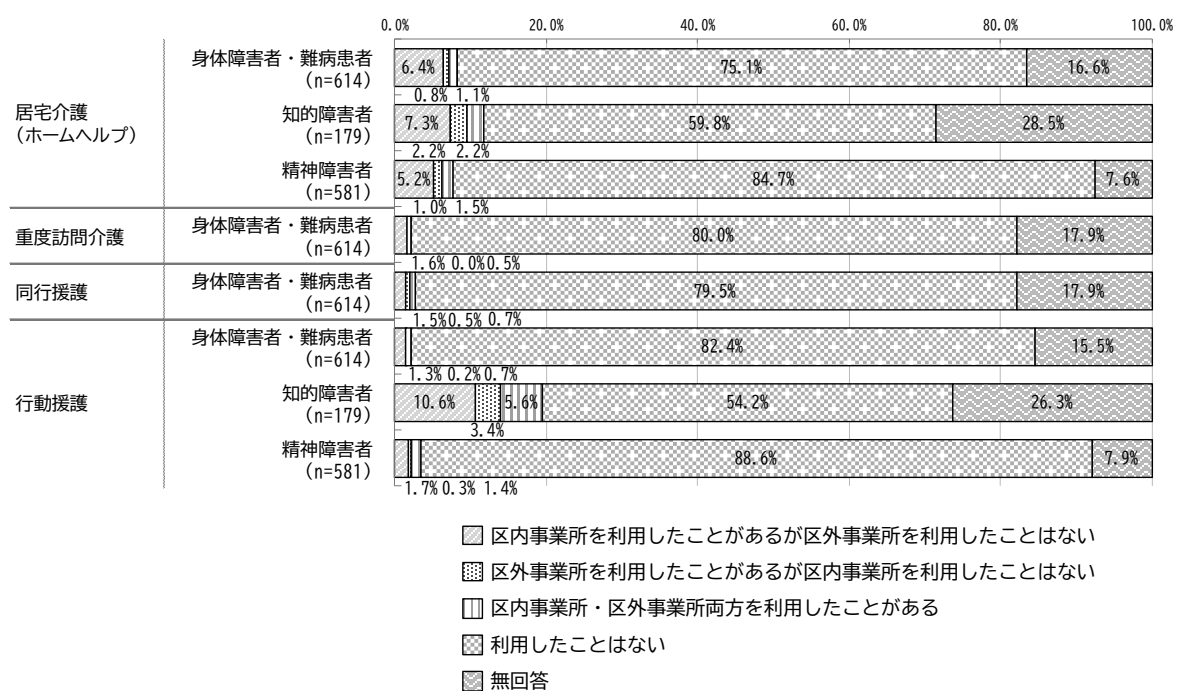
<精神障害者 問16>

(1) 障害福祉サービスの利用状況

障害福祉サービスの利用状況について、身体障害者・難病患者では居宅介護（ホームヘルプ）、自立訓練（機能訓練）において5.0%以上の方が利用しています。

知的障害者では居宅介護（ホームヘルプ）、行動援護、生活介護、自立訓練（生活訓練）、就労移行支援、就労継続支援（A型）、就労継続支援（B型）、就労定着支援、短期入所（ショートステイ）、自立生活援助、共同生活援助（グループホーム）、移動支援事業（個別支援型）、日中一時支援において5.0%以上の方が利用しています。

精神障害者では居宅介護（ホームヘルプ）、自立訓練（生活訓練）、就労移行支援、就労継続支援（B型）、就労定着支援、精神障害者地域活動支援において5.0%以上の方が利用しています。



第1章
調査概要

第2章

調査結果
①身体障害者・難病患者
②知的障害者
③精神障害者

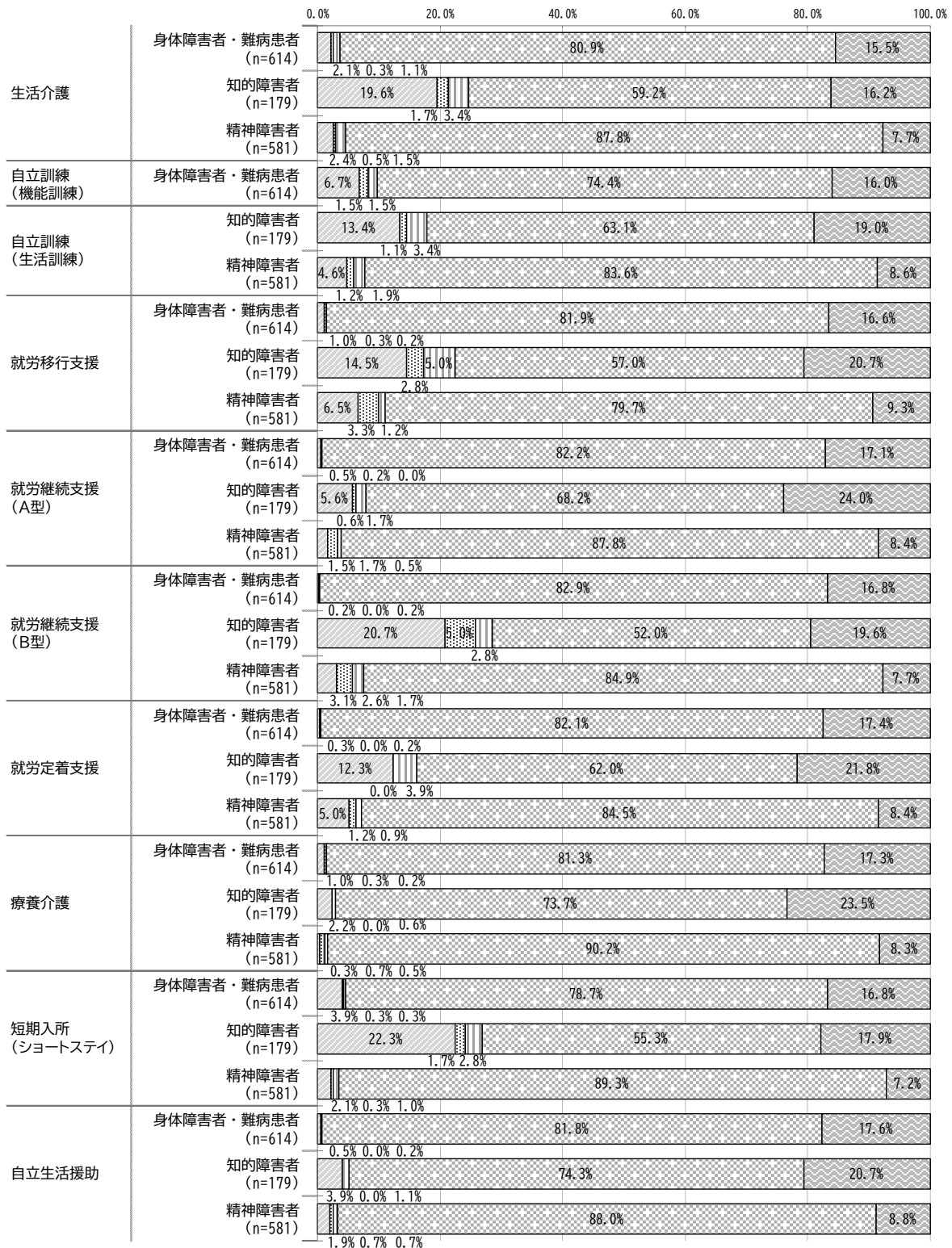
第3章

調査結果
④子ども

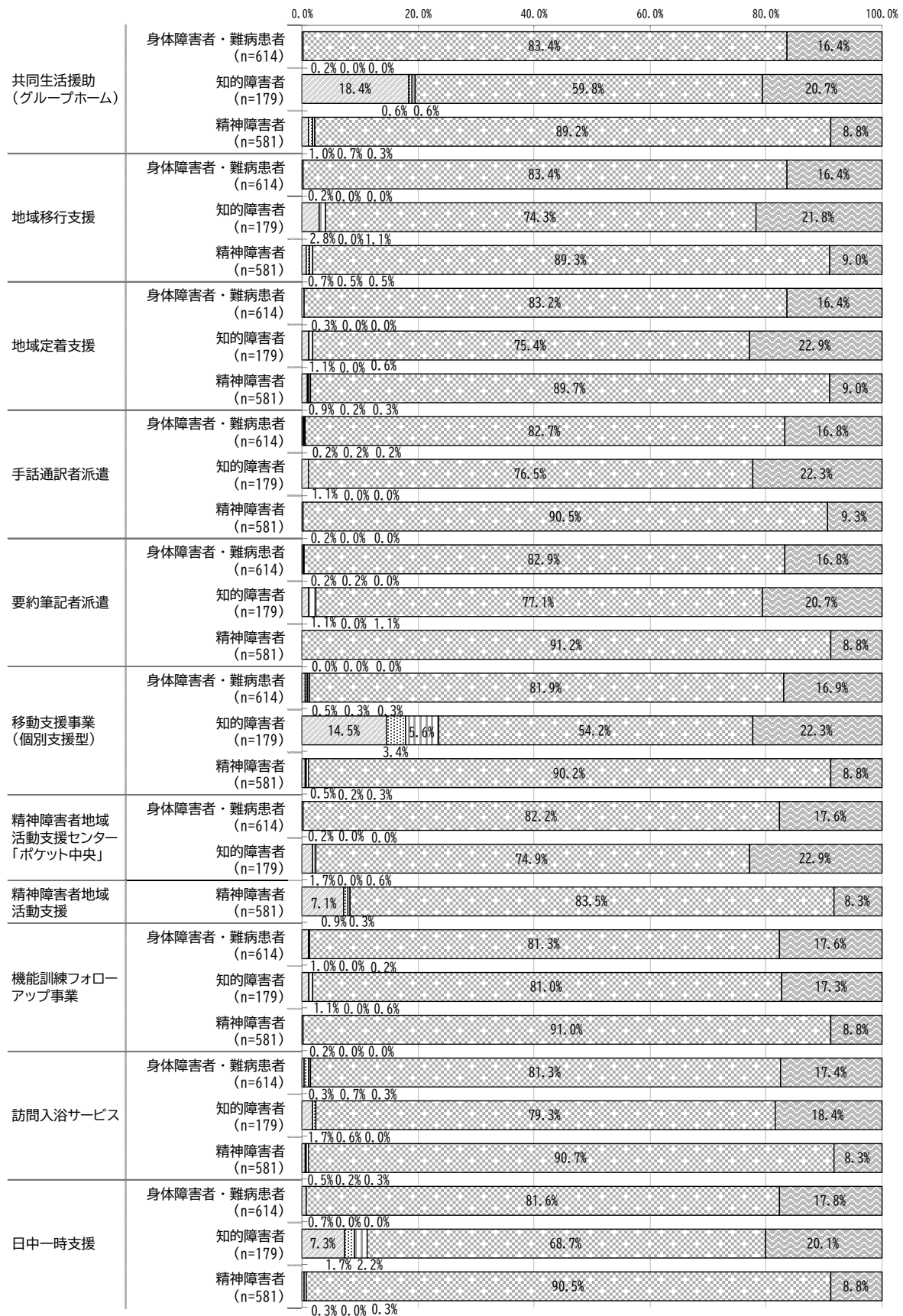
第4章

調査結果
⑤障害福祉サービス事業所

資料編



- 区外事業所を利用したことがあるが区外事業所を利用したことはない
- 区外事業所を利用したことがあるが区内事業所を利用したことはない
- 区内事業所・区外事業所両方を利用したことがある
- 利用したことはない
- 無回答



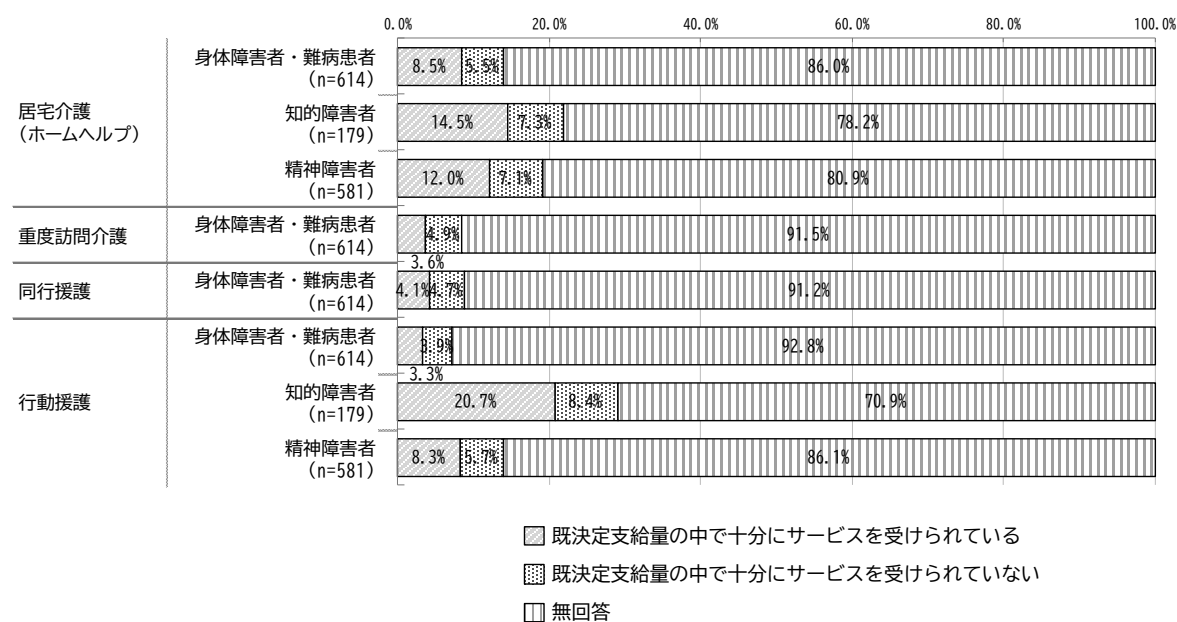
- 区内事業所を利用したことがあるが区外事業所を利用したことはない
- 区外事業所を利用したことがあるが区内事業所を利用したことはない
- 区内事業所・区外事業所両方を利用したことがある
- 利用したことはない
- 無回答

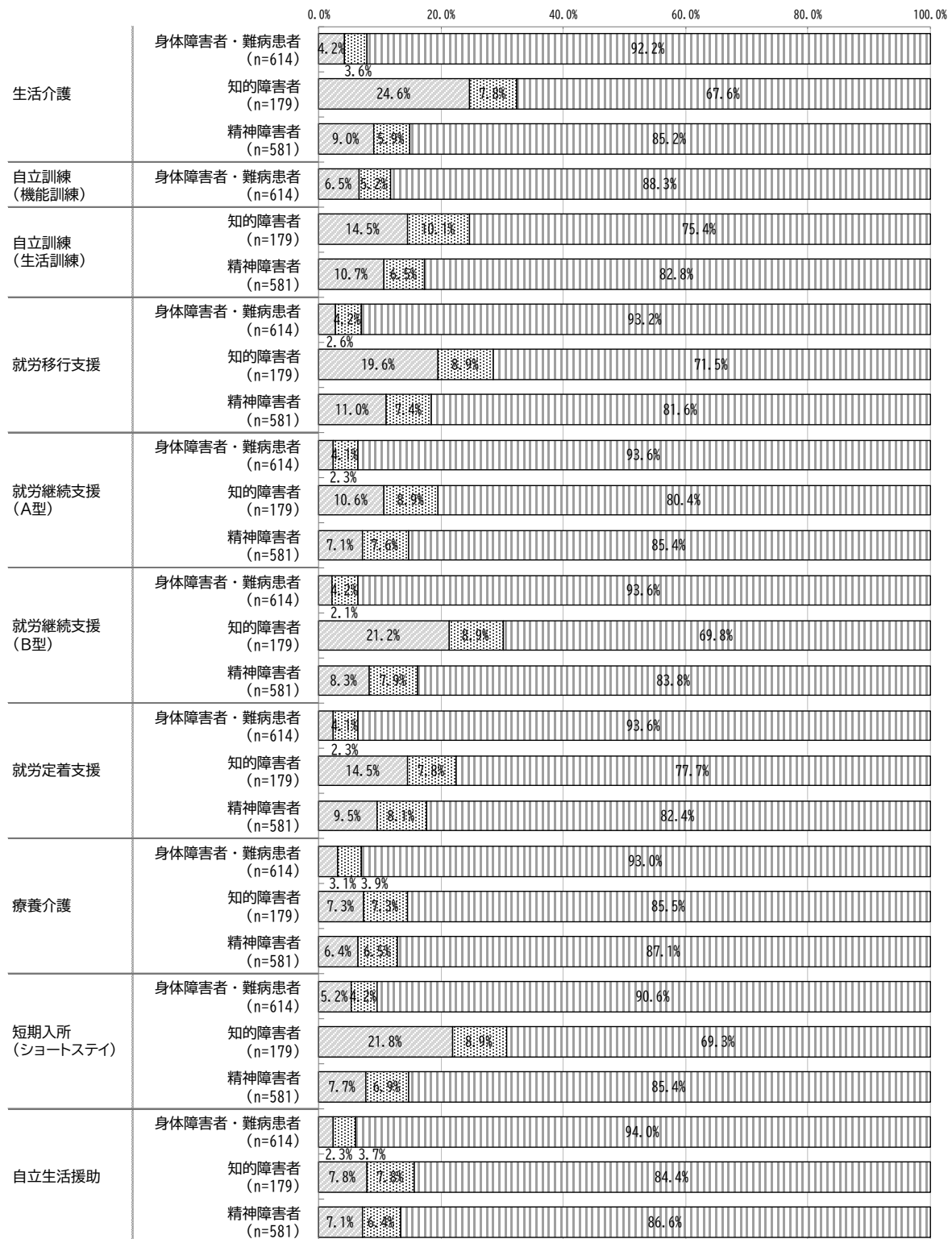
(2) 障害福祉サービス支給量のニーズ充足度

障害福祉サービス支給量のニーズ充足度について、身体障害者・難病患者では重度訪問介護、同行援護、行動援護、就労移行支援、就労継続支援（A型）、就労継続支援（B型）、就労定着支援、療養介護、自立生活援助、共同生活援助（グループホーム）、地域移行支援、地域定着支援、手話通訳者派遣、要約筆記者派遣、移動支援事業（個別支援型）、精神障害者地域活動支援センター「ポケット中央」、機能訓練フォローアップ事業、訪問入浴サービス、日中一時支援において「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられていない」が「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられている」を上回っています。

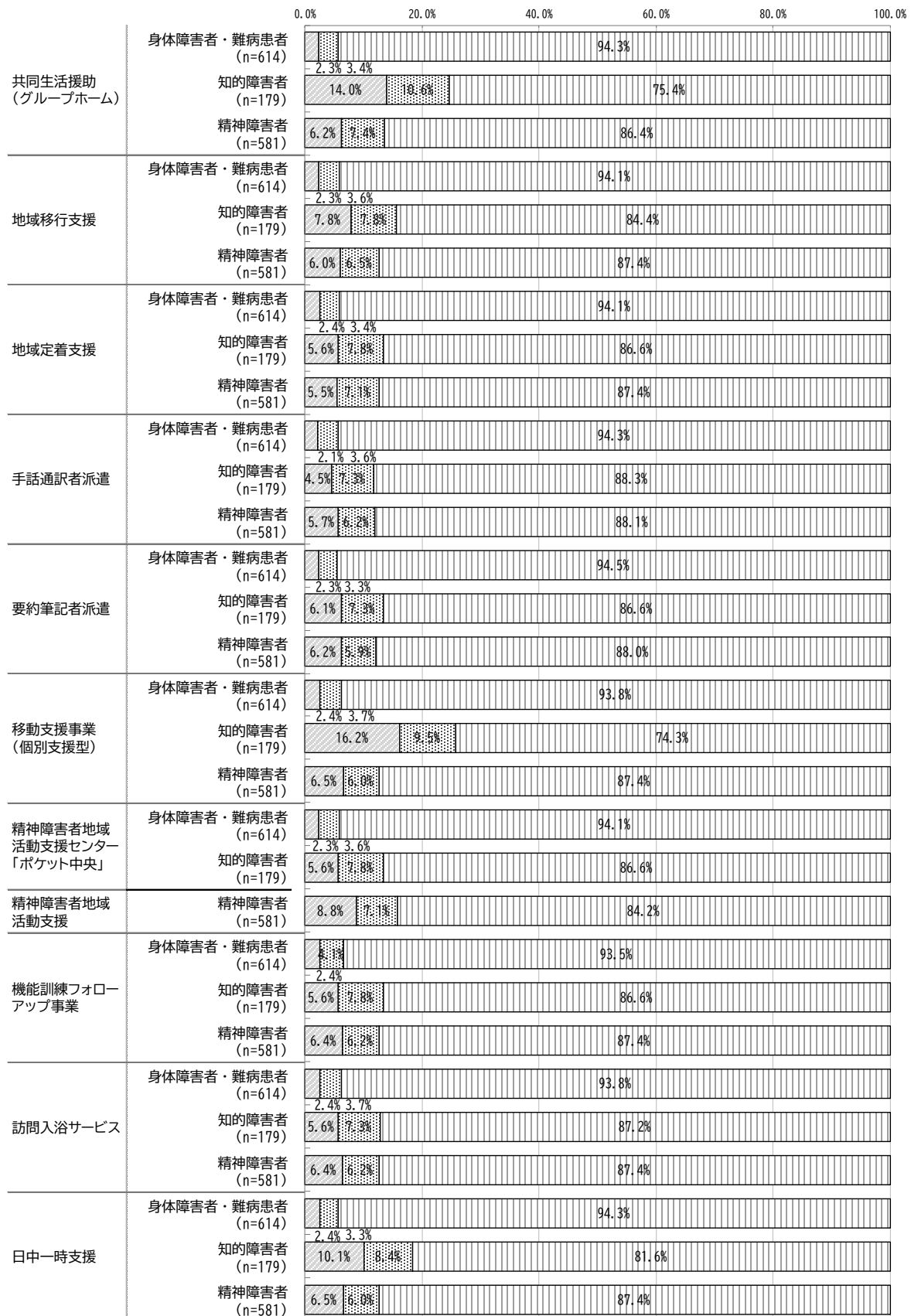
知的障害者では地域定着支援、手話通訳者派遣、要約筆記者派遣、精神障害者地域活動支援センター「ポケット中央」、機能訓練フォローアップ事業、訪問入浴サービスにおいて「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられていない」が「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられている」を上回っています。

精神障害者では就労継続支援（A型）、療養介護、共同生活援助（グループホーム）、地域移行支援、地域定着支援、手話通訳者派遣、において「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられていない」が「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられている」を上回っています。





既決定支給量の中で十分にサービスを受けられている
 既決定支給量の中で十分にサービスを受けられていない
 無回答



既決定支給量の中で十分にサービスを受けられている
 既決定支給量の中で十分にサービスを受けられていない
 無回答

第1章
調査概要

第2章
調査結果
(①身体障害者・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

問 共同生活援助（グループホーム）はいつから利用したいですか。

<身体障害者・難病患者 問15-1>

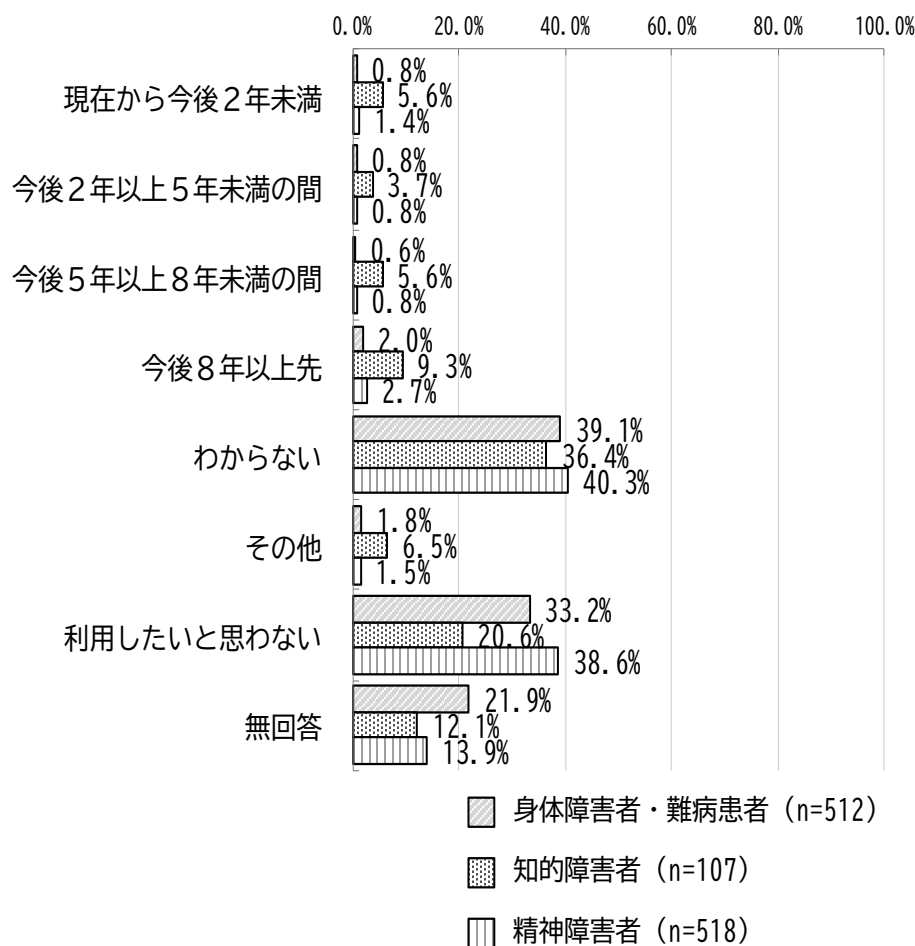
<知的障害者 問16-1>

<精神障害者 問16-1>

グループホームの利用を開始したい時期について、身体障害者・難病患者では「わからない」が 39.1%と最も高く、次いで「利用したいと思わない」が 33.2%、「今後8年以上先」が 2.0%となっています。

知的障害者では「わからない」が 36.4%と最も高く、次いで「利用したいと思わない」が 20.6%、「今後8年以上先」が 9.3%となっています。

精神障害者では「わからない」が 40.3%と最も高く、次いで「利用したいと思わない」が 38.6%、「今後8年以上先」が 2.7%となっています。



クロス集計結果

日常的な介助者の年齢ごとにみると、知的障害者では50歳代で「共同生活援助（グループホーム）はいつから利用したいですか。」に対して「今後8年以上先」と回答した方が他の日常的な介助者の年齢と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合 計	問 グループホームの利用を開始したい時期								
		現在から今後2年未満	今後2年以上5年未満の間	今後5年以上8年未満の間	今後8年以上先	わからない	その他	利用したいと思わない	無回答	
（身体障害者・難病患者の年齢 問8-1） 日常的な介助者の年齢	18～19歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%
	30歳代	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	7 50.0%	0 0.0%	5 35.7%	1 7.1%
	40歳代	19 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	5 26.3%	0 0.0%	7 36.8%	6 31.6%
	50歳代	60 100.0%	1 1.7%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	27 45.0%	1 1.7%	24 40.0%	6 10.0%
	60歳代	61 100.0%	1 1.6%	1 1.6%	0 0.0%	3 4.9%	22 36.1%	0 0.0%	20 32.8%	14 23.0%
	70歳代	68 100.0%	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	31 45.6%	3 4.4%	15 22.1%	18 26.5%
	80歳以上	21 100.0%	1 4.8%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	9 42.9%	0 0.0%	4 19.0%	6 28.6%
	（知的障害者 助者の年齢 問8-1） 日常的な介助者の年齢	18～19歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20歳代		2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
30歳代		1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
40歳代		8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	3 37.5%	3 37.5%
50歳代		30 100.0%	4 13.3%	2 6.7%	3 10.0%	6 20.0%	8 26.7%	1 3.3%	2 6.7%	4 13.3%
60歳代		31 100.0%	2 6.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.2%	13 41.9%	4 12.9%	0 0.0%	11 35.5%
70歳代		27 100.0%	1 3.7%	1 3.7%	2 7.4%	2 7.4%	5 18.5%	1 3.7%	8 29.6%	7 25.9%
80歳以上		11 100.0%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	6 54.5%
（精神障害者 助者の年齢 問8-1） 日常的な介助者の年齢		18～19歳	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 54.5%	0 0.0%	3 27.3%	2 18.2%
	30歳代	36 100.0%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	7 19.4%	0 0.0%	23 63.9%	4 11.1%
	40歳代	52 100.0%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	15 28.8%	1 1.9%	18 34.6%	16 30.8%
	50歳代	111 100.0%	2 1.8%	2 1.8%	3 2.7%	1 0.9%	48 43.2%	0 0.0%	42 37.8%	13 11.7%
	60歳代	71 100.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	3 4.2%	29 40.8%	2 2.8%	23 32.4%	13 18.3%
	70歳代	46 100.0%	1 2.2%	1 2.2%	0 0.0%	1 2.2%	26 56.5%	1 2.2%	10 21.7%	6 13.0%
	80歳以上	30 100.0%	2 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	11 36.7%	1 3.3%	3 10.0%	12 40.0%

第1章

調査概要

第2章

調査結果
 (①身体障害者・難病患者
 ②知的障害者
 ③精神障害者)

第3章

調査結果
 (④子ども)

第4章

調査結果
 (⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

問 あなたが必要であると感じるサービスがありましたら、自由にご記入ください。

<身体障害者・難病患者 問16>

あなたが必要であると感じるサービスについて、「障害福祉サービス」が 13 件と最も多く、次いで「外出支援」が 11 件、「経済状況・経済的な支援」「リハビリ・医療」が 9 件、「住まい・地域」が 7 件となっています。

項目	件数
住まい・地域	7
日常生活の支援	5
就労	2
経済状況・経済的な支援	9
社会参加・文化余暇活動	5
リハビリ・医療	9
障害福祉サービス	13
外出支援	11
情報	5
相談・支援・制度	4
権利擁護	0
障害への理解・配慮	6
災害時の対策	0

項目	件数
サービスの満足度	0
将来の不安	0
家族への支援	1
関連分野の連携	0
認定・手続き	2
子どもへの支援	0
切れ目のない支援	0
感染症の影響	0
その他	4
アンケート	0
区・区職員の対応	4
お礼・謝意	1
特になし	9
合計：96 件	

○住まい・地域

- ・大学卒業後、就職をしたら今後のために一人で生活がしてみたい。住宅紹介、家賃補助（親には頼りたくないの）などのサービスがあるとよい。
- ・生活保護を受けざるを得なかったことにより、住まいがみづかりにくい。シェルターの前に、しっかり暮らせる場所の提供をサポートして欲しい。

○日常生活の支援

- ・高齢になって選挙の投票所に行くのが難しい。自力で投票できなくなった人達に対する配慮、サービス、案内、お知らせ（自宅で投票できる方法への変更方法など）。

○就労

- ・中央区の障害者に働く意思があるかないかを確認して、したいという人のサポートをしてほしい。

○経済状況・経済的な支援

- ・医療費が高くなる傾向があり、持病に関連して発生する病気についても助成し

てくれる体制を整えてくださると大変助かります。

- ・生活の助けとなる買い物券等、金銭的援助。又は医療効果が求められる装具、設備の補助額の増加。

○社会参加・文化余暇活動

- ・お店に段差が多く入れない事が多いのでお店にスロープの補助を出していただけたらありがたい。
- ・障害者用の敬老館があるとよいと思います。（介護者も一緒に）

○リハビリ・医療

- ・機能訓練を受けられる時間が少ないのもっとたくさん受けられるようにして欲しい。失語症の人へのサービスを増やして欲しい。

○障害福祉サービス

- ・現在ストーマ装具を使用していて、一定額を給付してもらっていますが、超過分が多くなったので負担額分も、給付して欲しいです。
- ・スプリングや電動のパワードスーツや歩行支援器具の購入補助や貸出サービス。
- ・難病にも障害者手帳と同じようなもの（同じサービスが受けられる）を出してほしい。
- ・買物、外出などの際の安価な介助。

○外出支援

- ・将来敬老大会などの招待を受けても、送迎がなければ難しい。用意してくれるサービスが、実際に使えるようなサポートする体制が必要。がん検診の案内をもらっても、行くことができない。
- ・月に1回～2回病院に付き添って下さる人がほしい。
- ・現在は自立して生活。通院も独りでしますが、体調不良などで通院が困難になった時は「付添」などが必要になるかと考えております。
- ・今もある福祉タクシー利用券の増額をお願いしたい。外出の移動はほぼタクシーなので。
- ・タクシー券・補助の条件の緩和（手帳があるだけでよい等）。
- ・エレベーターがインバウンド効果で混んでいて乗れないことが多い。ベビーカーの方も待っている。

○相談・行政手続等

- ・個人の障害に対して、どういう（どのような）支援が用意されているか、教えてくれるようなサービスがあるとよいと思います。
- ・親、姉に相談出来なくなった時に区でいろいろ相談にのってほしいと思います。
- ・自分の障害や家庭のことを考慮し、もし必要であるサービスがあれば申し込みたいので、気軽に相談できるようにしてほしい。
- ・電話で話を聞いてくれる、世間話などしてほしい。

○障害への理解・配慮

- ・透析治療中に自転車が撤去される事が有りますが、障害者マークを貼った時は、

第1章 調査概要

第2章 調査結果 (①身体障害者 ・難病患者 ②知的障害者 ③精神障害者)

第3章 調査結果 (④子ども)

第4章 調査結果 (⑤障害福祉 サービス 事業所)

資料編

車と同じように撤去しないよう御願ひしたい。

○家族への支援

- ・ 十分に親を看護してあげられないのを、相談や対応してもらえるサービス（介護者…特に遠隔地から介護する立場の介護者に向けたもの）を充実させていた
だきたい。

○区・区職員の対応

- ・ 音声文字変換が出来る機器（出来れば持ち運べる大きさや重さ）や、窓口に音
声が文字で表示出来る画面等があると有り難いです。
- ・ W i - F i 環境を含め、区民の情報利用環境の整備をお願いします。

<知的障害者 問17>

あなたが必要であると感じるサービスについて、「住まい・地域」が13件と最も多く、次いで「障害福祉サービス」が7件、「社会参加・文化余暇活動」が4件、「日常生活の支援」「相談・支援・制度」が3件となっています。

項目	件数
住まい・地域	13
日常生活の支援	3
就労	2
経済状況・経済的な支援	0
社会参加・文化余暇活動	4
リハビリ・医療	1
障害福祉サービス	7
外出支援	1
情報	0
相談・支援・制度	3
権利擁護	1
障害への理解・配慮	0
災害時の対策	0

項目	件数
サービスの満足度	0
将来の不安	0
家族への支援	0
関連分野の連携	0
認定・手続き	0
子どもへの支援	0
切れ目のない支援	0
感染症の影響	0
その他	2
アンケート	1
区・区職員の対応	0
お礼・謝意	0
特になし	13
合計：51件	

○住まい・地域

- ・親族がいなくなり、自分で判断が出来なくなった時、受け入れてもらえる所を探していただきたいと思います。
- ・グループホームと老人ホームが合体したもの。親と子（本人）が生涯暮らせる場所。
- ・今まで住んだ所から遠い所には住まわせたくない。
- ・希望したら1年以内に入れる入所施設やグループホーム（希望者に対して数が全く足りていない）。

○日常生活の支援

- ・将来、一人暮らししたいが、知的障害の方が一人暮らしするのは難しそうなので、見守りサービスがほしい。
- ・代筆サービス。

○就労

- ・就労先を見つけてくれるサービス。

○社会参加・文化余暇活動

- ・旅行や観劇やコンサート等に行きたい！

○障害福祉サービス

- ・複合的な障害をもった場合のサービス、精神と身体の障害を併用した際の通所施設や入所施設。
- ・専門性の高い、経験値の高い人材がいる施設、サービス。
- ・親も年を重ねてきている為、平日だけでもお泊まりできる施設をもっと作ってほしい。
- ・まずはショートステイで家庭以外での生活を体験すること。
- ・各種サービスの日数・時間を頂いても、業者や人手不足で希望通り見つけるのが難しい。
- ・学校卒業後もみてくれる放課後デイサービスを作ってほしい。

○相談・支援・制度

- ・親が亡くなった後のさまざまな事をサポートして欲しい。親が活着ている間は不安は無いが、その後がかなり不安。出来る事全ての準備をしておきたい。区で、何をしてもらえるのか教えて欲しい。

○権利擁護・成年後見制度

- ・成年後見人制度で利用できることを、公的福祉サービスとして、サービスの場を作ってほしい。

<精神障害者 問17>

あなたが必要であると感じるサービスについて、「相談・支援・制度」が17件と最も多く、次いで「住まい・地域」が14件、「経済状況・経済的な支援」「社会参加・文化余暇活動」が11件、「就労」「その他」が10件となっています。

項目	件数
住まい・地域	14
日常生活の支援	7
就労	10
経済状況・経済的な支援	11
社会参加・文化余暇活動	11
リハビリ・医療	8
障害福祉サービス	5
外出支援	4
情報	9
相談・支援・制度	17
権利擁護	0
障害への理解・配慮	1
災害時の対策	1

項目	件数
サービスの満足度	0
将来の不安	0
家族への支援	3
関連分野の連携	0
認定・手続き	2
子どもへの支援	4
切れ目のない支援	0
感染症の影響	0
その他	10
アンケート	0
区・区職員の対応	1
お礼・謝意	4
特になし	9
合計：131件	

○住まい・地域

- ・住宅費の補助・財務管理の補助サービス。
- ・色々なタイプのグループホームを作って欲しい（中央区に）。
- ・空屋をリノベーションして、生活保護や低収入の方々が無料で住める住宅の貸出し、サービス。

○日常生活の支援

- ・精神的に癒されるセラピードックとの触れ合いなどが来てくれると嬉しいです。
- ・セコム、アルソックと提携した見守りサービスがあるとありがたいです。有料でかまいません。

○就労支援等

- ・就労継続支援事業所A型をもっと増やしてほしい。障害者枠の雇用を増やしてほしい。
- ・人づきあいを円滑にするコミュニケーション方法。または、そのような職場を紹介してくれるサービスがあれば嬉しい。

○社会参加・文化余暇活動

- ・サードプレイスになりそうな場所。医者と連携してくれる窓口（相談）。

- ・新たな“趣味”を見つけられるような（ビーズ作り、アートセラピーなど）障害の有無に係らず行けるおしゃれな場。
- ・予約など無しで気軽に集まれる場、社会貢献できる場、知的障害を伴わない人が集まれる場。
- ・街中のあちらこちらに気軽に立ち寄れて、障害者同志が情報交換をできて、困り事（例えばパソコンやスマホの扱い方、家の大きな家財道具の処分、親が亡くなった時等）を解消するのを手伝う場所があってほしいと思います。

○リハビリ・医療

- ・自立支援医療の診断書料の補助。

○情報

- ・心身に何か異常があった時受けられるサービス（今回のアンケートのような）の一覧表が欲しいです。
- ・いろいろな支援などを教えてくれるメールサービスがあると有難いです。

○相談・支援・制度

- ・障害者本人だけではなく、家族、家庭に入ってくれるような相談先があると心強いと思っています。
- ・相談は話を聞くだけでなく心理士さんが学んだと思う認知行動療法とか、メンタルが安定させるスキルなど教えてほしい。
- ・障害種別、障害等級、障害由来の困り事によって細分化された相談窓口。生成AIによるチャットボットなどを活用して24時間365日、問題発生時にフォローしてもらえると良いです。
- ・今、私がやりたい事に対して、どういう風に進めていくとスマートに出来ますよ、というアドバイスを頂けるサービス（助言）などのサポート。

○家族への支援

- ・自分も精神的障害をかかえて会社を休職しているのに、両親の介護をする人がいなくて、自分がやるしかなくとても精神的に苦痛で病気が治らない。

○子どもへの支援

- ・体調不良時に家の事や子どもの事をアシストしてもらえるサービス。
- ・病状が悪い時に子どもを一時預かりしてくれるシッター制度。家事支援。

問 あなたは、サービスの利用で、困ったり、不便だと思うことはありますか。

<身体障害者・難病患者 問17>

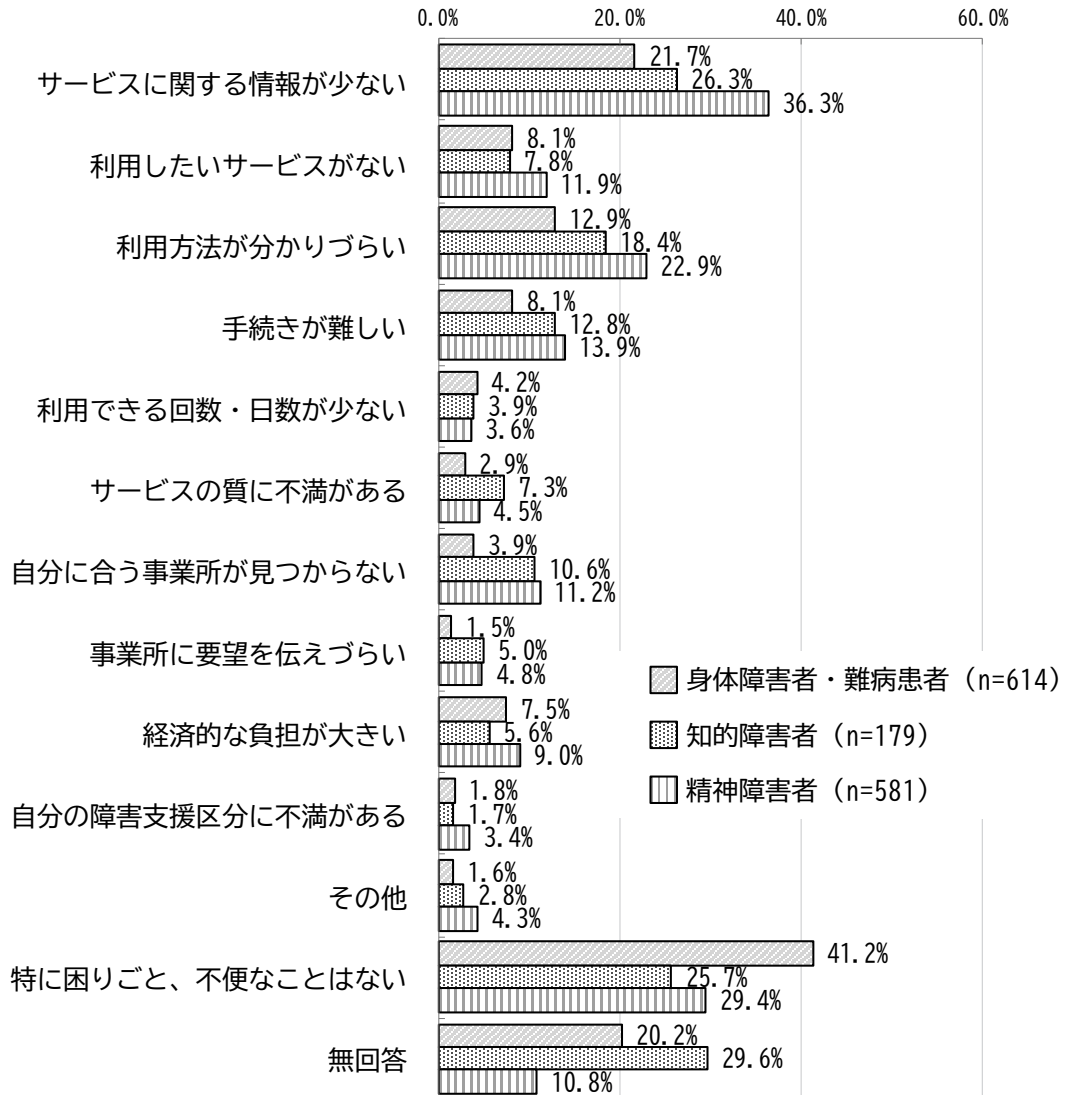
<知的障害者 問18>

<精神障害者 問18>

サービス利用での困りごとについて、身体障害者・難病患者では「特に困りごと、不便なことはない」が41.2%と最も高く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が21.7%、「利用方法が分かりづらい」が12.9%となっています。

知的障害者では「サービスに関する情報が少ない」が26.3%と最も高く、次いで「特に困りごと、不便なことはない」が25.7%、「利用方法が分かりづらい」が18.4%となっています。

精神障害者では「サービスに関する情報が少ない」が36.3%と最も高く、次いで「特に困りごと、不便なことはない」が29.4%、「利用方法が分かりづらい」が22.9%となっています。



問 あなたは、どこから福祉サービスなどの情報を得ていますか。

<身体障害者・難病患者 問18>

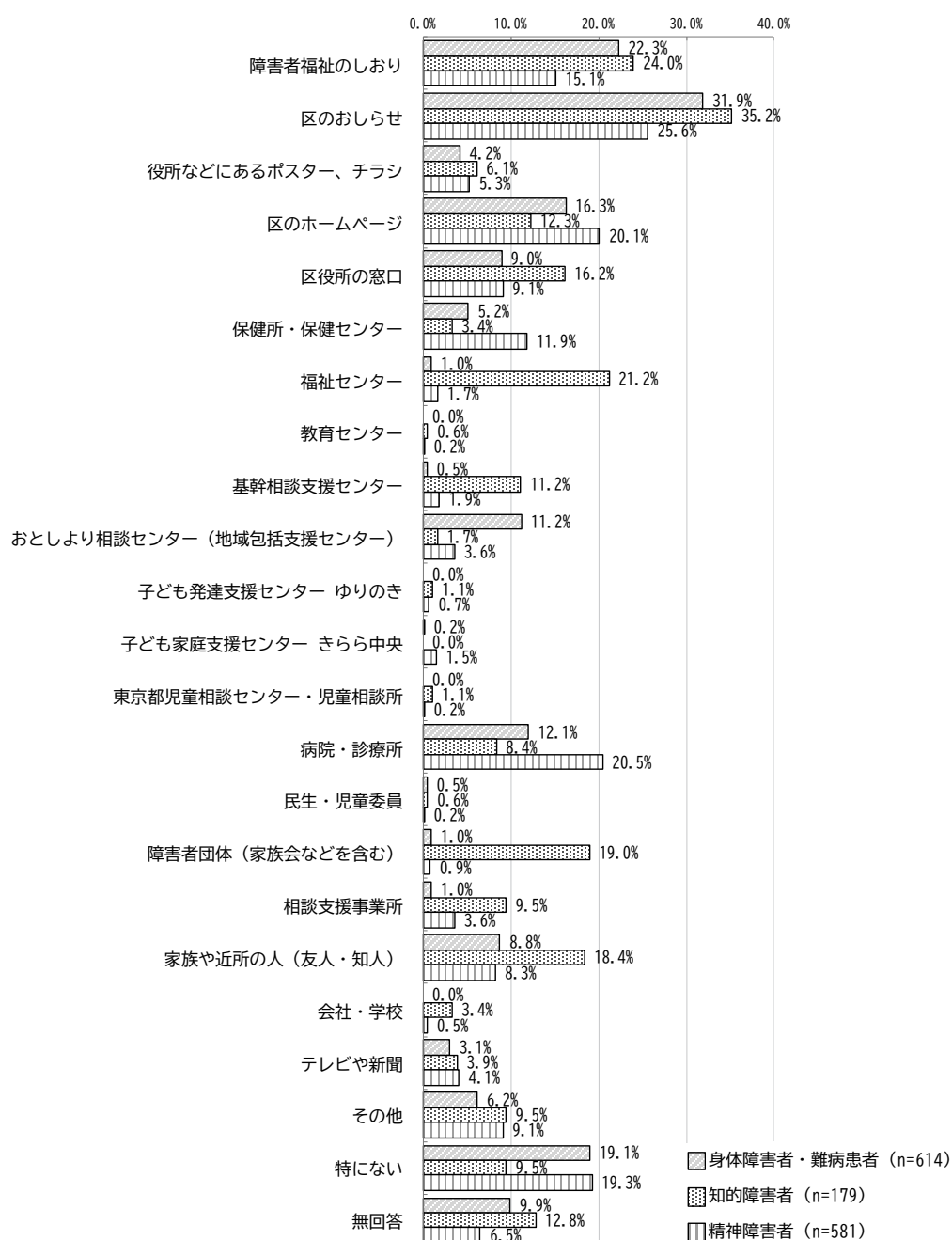
<知的障害者 問19>

<精神障害者 問19>

福祉サービスの情報入手先について、身体障害者・難病患者では「区のおしらせ」が31.9%と最も高く、次いで「障害者福祉のしおり」が22.3%、「特にない」が19.1%となっています。

知的障害者では「区のおしらせ」が35.2%と最も高く、次いで「障害者福祉のしおり」が24.0%、「福祉センター」が21.2%となっています。

精神障害者では「区のおしらせ」が25.6%と最も高く、次いで「病院・診療所」が20.5%、「区のホームページ」が20.1%となっています。



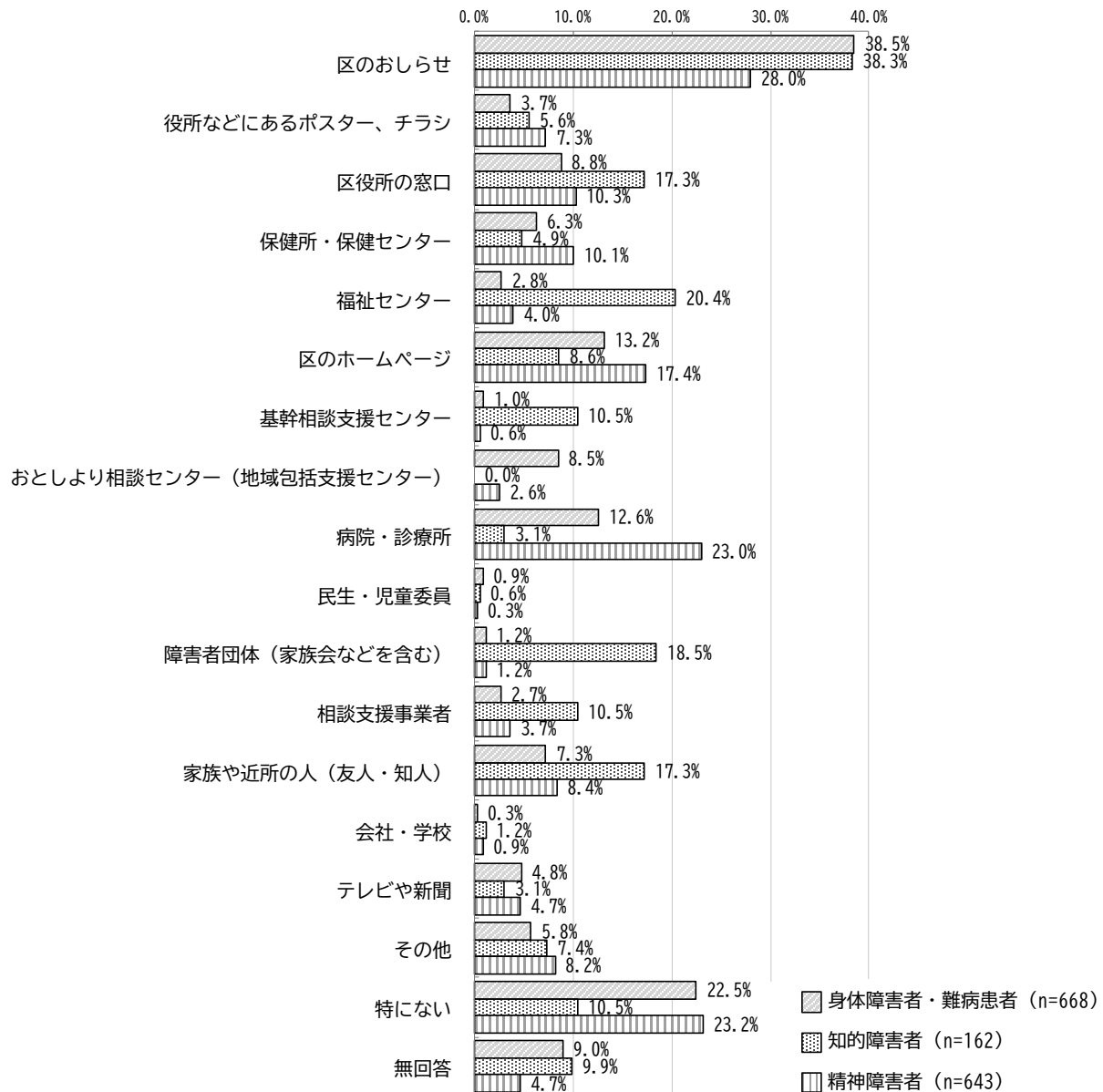
令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の福祉サービスの情報入手先の調査結果を比較すると、令和5年12月に発行した「障害者福祉のしおり」から情報を入手している方が比較的多くなっていますが、その他の傾向に大きな変化はありません。

身体障害者・難病患者では「区のおしらせ」が38.5%から31.9%と6.6ポイント低く、「区のホームページ」が13.2%から16.3%と3.1ポイント高く、「病院・診療所」が12.6%から12.1%と0.5ポイント低くなっています。

知的障害者では「区のおしらせ」が38.3%から35.2%と3.1ポイント低く、「福祉センター」が20.4%から21.2%と0.8ポイント高く、「障害者団体（家族会などを含む）」が18.5%から19.0%と0.5ポイント高くなっています。

精神障害者では「区のおしらせ」が28.0%から25.6%と2.4ポイント低く、「病院・診療所」が23.0%から20.5%と2.5ポイント低く、「区のホームページ」が17.4%から20.1%と2.7ポイント高くなっています。

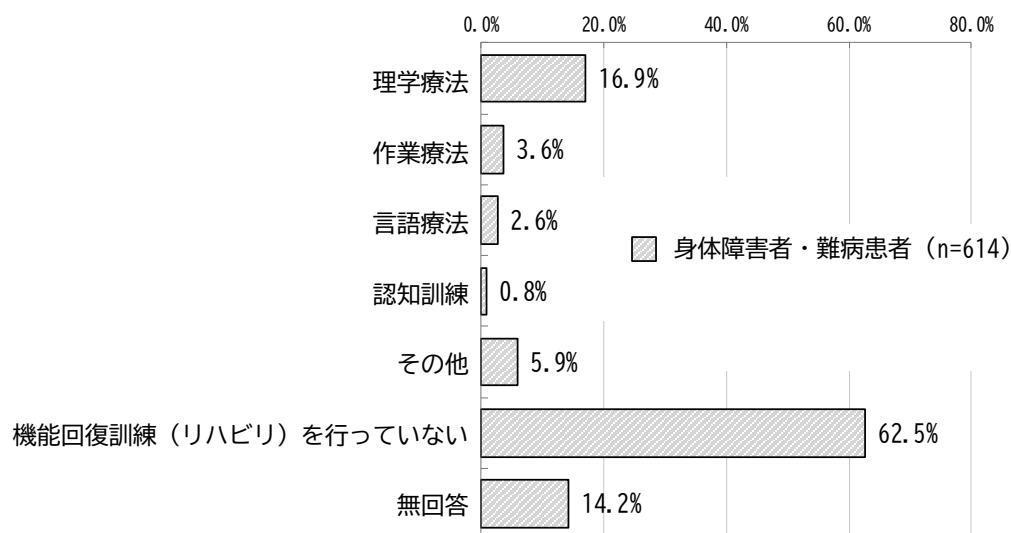


6 医療について

問 あなたは、現在、次の機能回復訓練（リハビリ）を行っていますか。

<身体障害者・難病患者 問19>

機能回復訓練（リハビリ）の実施状況について、身体障害者・難病患者では「機能回復訓練（リハビリ）を行っていない」が 62.5%と最も高く、次いで「理学療法」が 16.9%、「その他」が 5.9%となっています。



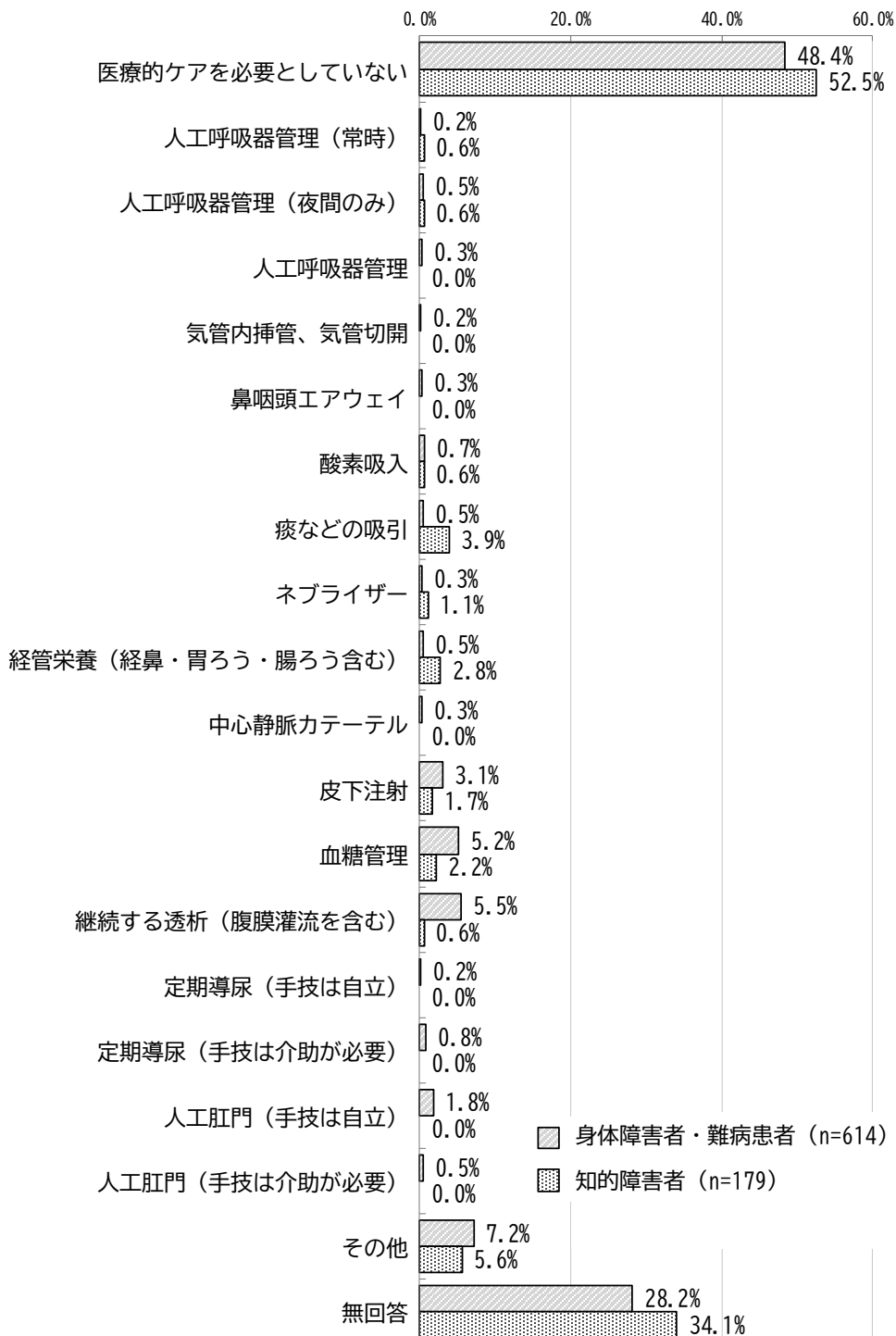
問 あなたは、日常的に医療的ケアを必要としていますか。

<身体障害者・難病患者 問20>

<知的障害者 問20>

日常的に必要としている医療的ケアについて、身体障害者・難病患者では「医療的ケアを必要としていない」が48.4%と最も高く、次いで「その他」が7.2%、「継続する透析（腹膜灌流を含む）」が5.5%となっています。

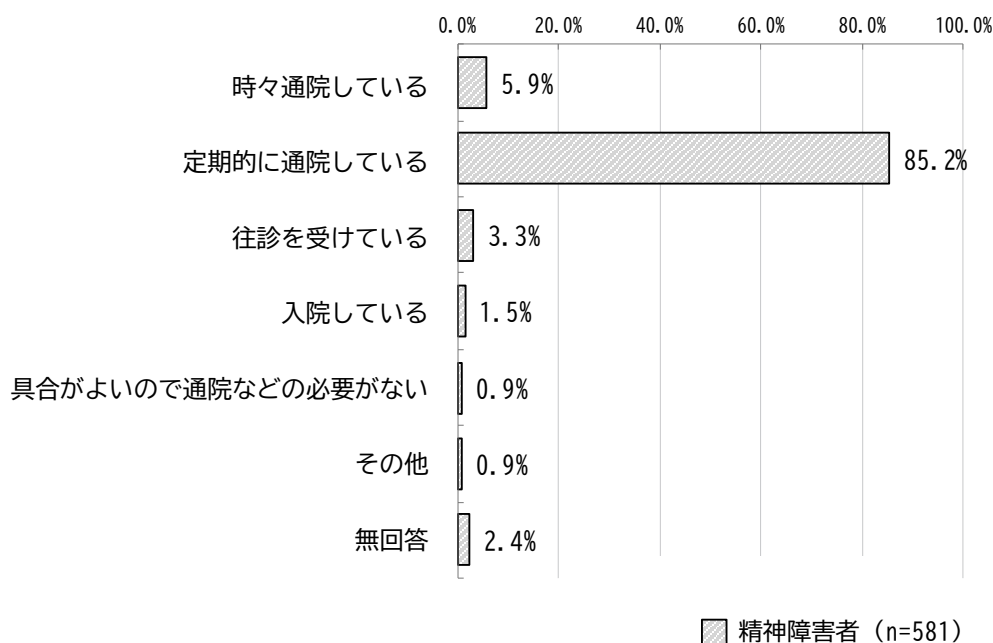
知的障害者では「医療的ケアを必要としていない」が52.5%と最も高く、次いで「その他」が5.6%、「痰などの吸引」が3.9%となっています。



問 あなたは、現在、通院や入院をしていますか。

<精神障害者 問20>

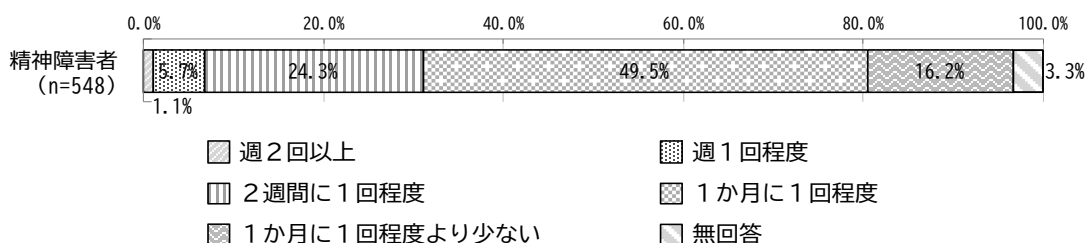
通院・入院状況について、精神障害者では「定期的に通院している」が85.2%と最も高く、次いで「時々通院している」が5.9%、「往診を受けている」が3.3%となっています。



問 通院や往診などの回数はどれくらいですか。

<精神障害者 問20-1>

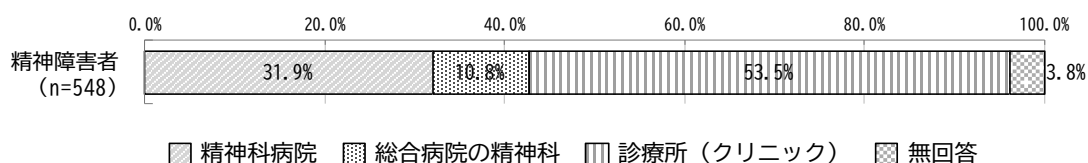
通院・往診の回数について、精神障害者では「1か月に1回程度」が49.5%と最も高く、次いで「2週間に1回程度」が24.3%、「1か月に1回程度より少ない」が16.2%となっています。



問 通院や往診を受けているのはどのような医療機関ですか。

<精神障害者 問20-2>

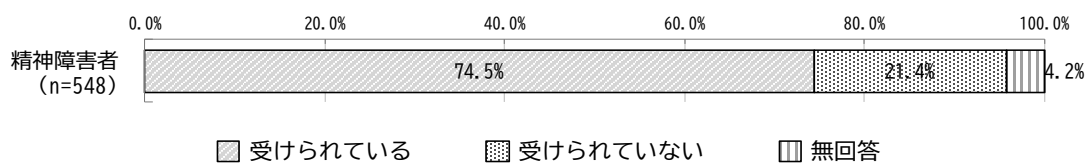
医療機関の種類について、精神障害者では「診療所（クリニック）」が53.5%と最も高く、次いで「精神科病院」が31.9%、「総合病院の精神科」が10.8%となっています。



問 区内で適切な医療を受けられていますか。

<精神障害者 問20-3>

区内で適切な医療を受けられているかについて、精神障害者では「受けられている」が74.5%、「受けられていない」が21.4%となっています。



7 就労・経済状況について

問 現在のあなたの就労（福祉的就労も含む）の状況について、お答えください。金額に関わらず工賃が発生している方は「働いている」に○をつけてください。

<身体障害者・難病患者 問21>

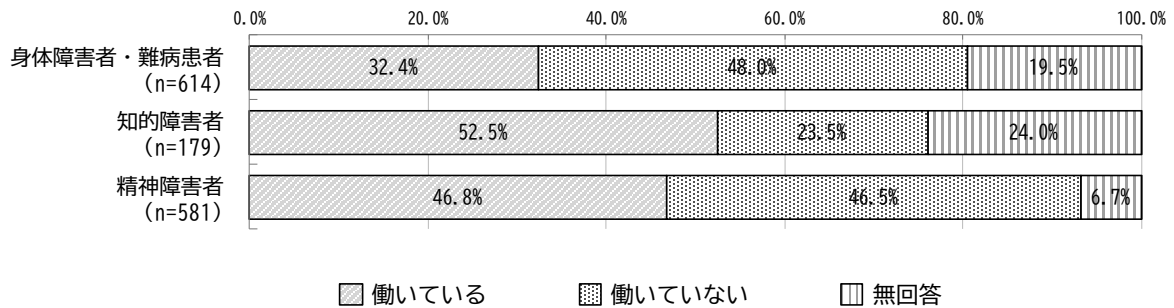
<知的障害者 問21>

<精神障害者 問21>

就労の状況について、身体障害者・難病患者では「働いている」が32.4%、「働いていない」が48.0%となっています。

知的障害者では「働いている」が52.5%、「働いていない」が23.5%となっています。

精神障害者では「働いている」が46.8%、「働いていない」が46.5%となっています。



クロス集計結果

年齢ごとにみると、身体障害者・難病患者、知的障害者では 20 歳～29 歳で「働いている」が他の年齢と比較して高くなっています。

精神障害者では 30 歳～39 歳で「働いている」が他の年齢と比較して高くなっています。

1 段目 人 2 段目 %	合 計	問 就労の状況			
		働 い て い る	働 い て い な い	無 回 答	
（身体障害者・難病患者 問2（2） 年齢	18歳～19歳	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	20歳～29歳	19 100.0%	15 78.9%	4 21.1%	0 0.0%
	30歳～39歳	31 100.0%	21 67.7%	3 9.7%	7 22.6%
	40歳～49歳	39 100.0%	22 56.4%	7 17.9%	10 25.6%
	50歳～59歳	89 100.0%	56 62.9%	20 22.5%	13 14.6%
	60歳～64歳	60 100.0%	29 48.3%	21 35.0%	10 16.7%
	65歳～69歳	52 100.0%	16 30.8%	27 51.9%	9 17.3%
	70歳～74歳	68 100.0%	15 22.1%	36 52.9%	17 25.0%
	75歳～79歳	93 100.0%	14 15.1%	68 73.1%	11 11.8%
	80歳～84歳	64 100.0%	4 6.3%	44 68.8%	16 25.0%
	85歳以上	87 100.0%	5 5.7%	60 69.0%	22 25.3%
	（知的障害者 問2（2） 年齢	18歳～19歳	14 100.0%	7 50.0%	5 35.7%
20歳～29歳		39 100.0%	28 71.8%	6 15.4%	5 12.8%
30歳～39歳		38 100.0%	20 52.6%	8 21.1%	10 26.3%
40歳～49歳		32 100.0%	19 59.4%	9 28.1%	4 12.5%
50歳～59歳		23 100.0%	8 34.8%	7 30.4%	8 34.8%
60歳～64歳		11 100.0%	6 54.5%	1 9.1%	4 36.4%
65歳～69歳		9 100.0%	3 33.3%	2 22.2%	4 44.4%
70歳～74歳		2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
75歳～79歳		4 100.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%
80歳～84歳		3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%
85歳以上		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

1 段目 人 2 段目 %	合 計	問 就労の状況			
		働 い て い る	働 い て い な い	無 回 答	
（精神障害者 問2（2） 年齢	18歳～19歳	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
	20歳～29歳	49 100.0%	30 61.2%	18 36.7%	1 2.0%
	30歳～39歳	92 100.0%	64 69.6%	24 26.1%	4 4.3%
	40歳～49歳	96 100.0%	55 57.3%	35 36.5%	6 6.3%
	50歳～59歳	160 100.0%	79 49.4%	71 44.4%	10 6.3%
	60歳～64歳	63 100.0%	22 34.9%	37 58.7%	4 6.3%
	65歳～69歳	31 100.0%	10 32.3%	15 48.4%	6 19.4%
	70歳～74歳	27 100.0%	4 14.8%	21 77.8%	2 7.4%
	75歳～79歳	18 100.0%	2 11.1%	15 83.3%	1 5.6%
	80歳～84歳	14 100.0%	0 0.0%	12 85.7%	2 14.3%
	85歳以上	9 100.0%	0 0.0%	9 100.0%	0 0.0%

第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果
(④子ども)

第4章

調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

問 どのような仕事をしていますか。

<身体障害者・難病患者 問21-1>

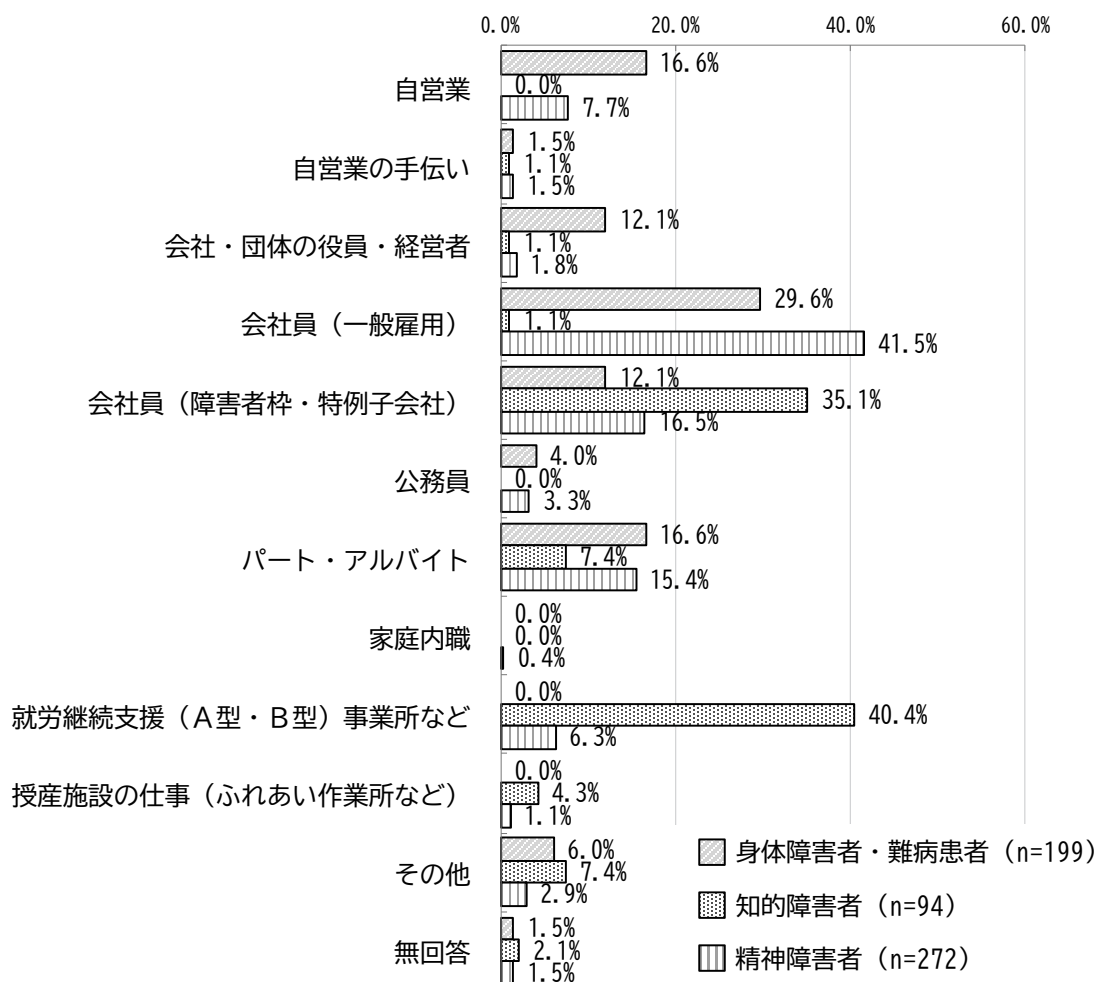
<知的障害者 問21-1>

<精神障害者 問21-1>

仕事の内容について、身体障害者・難病患者では「会社員（一般雇用）」が29.6%と最も高く、次いで「自営業」、「パート・アルバイト」が16.6%、「会社・団体の役員・経営者」、「会社員（障害者枠・特例子会社）」が12.1%となっています。

知的障害者では「就労継続支援（A型・B型）事業所など」が40.4%と最も高く、次いで「会社員（障害者枠・特例子会社）」が35.1%、「パート・アルバイト」、「その他」が7.4%となっています。

精神障害者では「会社員（一般雇用）」が41.5%と最も高く、次いで「会社員（障害者枠・特例子会社）」が16.5%、「パート・アルバイト」が15.4%となっています。



問 今の仕事はどのような方法で探しましたか。

<身体障害者・難病患者 問21-2>

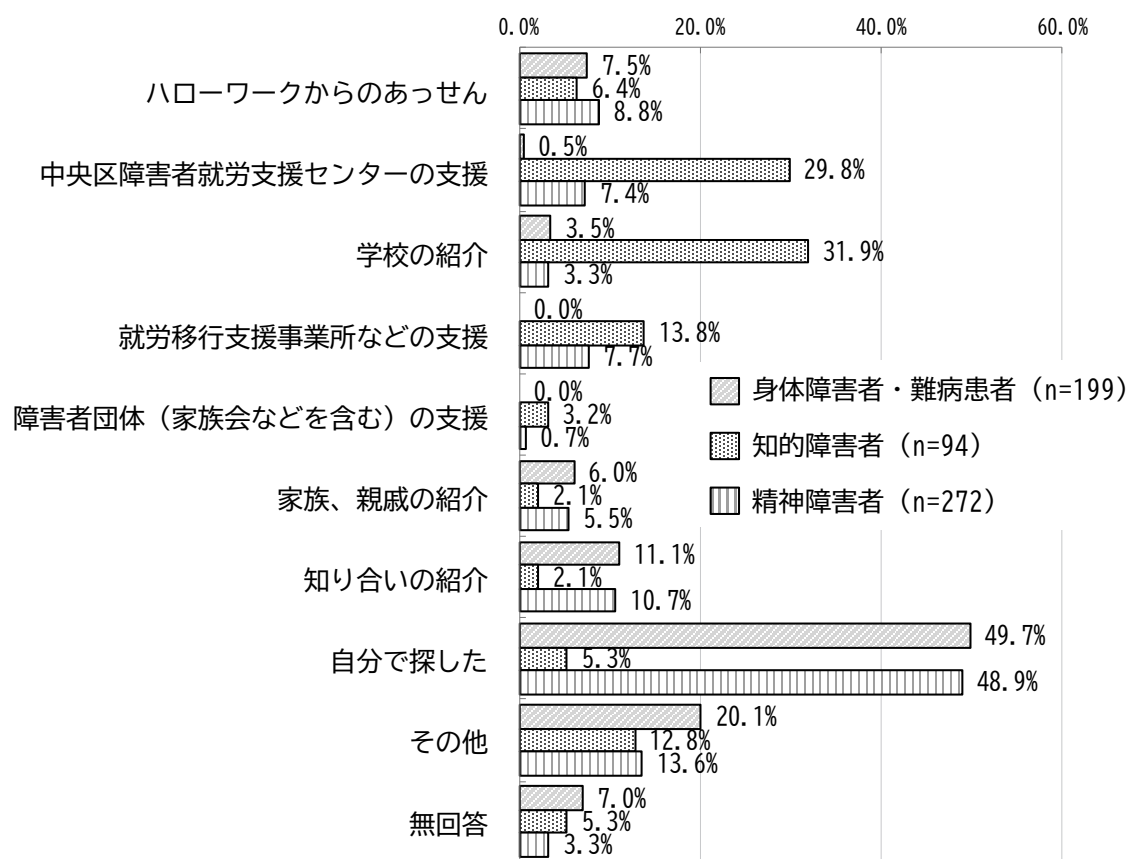
<知的障害者 問21-2>

<精神障害者 問21-2>

現在の仕事を探した方法について、身体障害者・難病患者では「自分で探した」が49.7%と最も高く、次いで「その他」が20.1%、「知り合いの紹介」が11.1%となっています。

知的障害者では「学校の紹介」が31.9%と最も高く、次いで「中央区障害者就労支援センターの支援」が29.8%、「就労移行支援事業所などの支援」が13.8%となっています。

精神障害者では「自分で探した」が48.9%と最も高く、次いで「その他」が13.6%、「知り合いの紹介」が10.7%となっています。



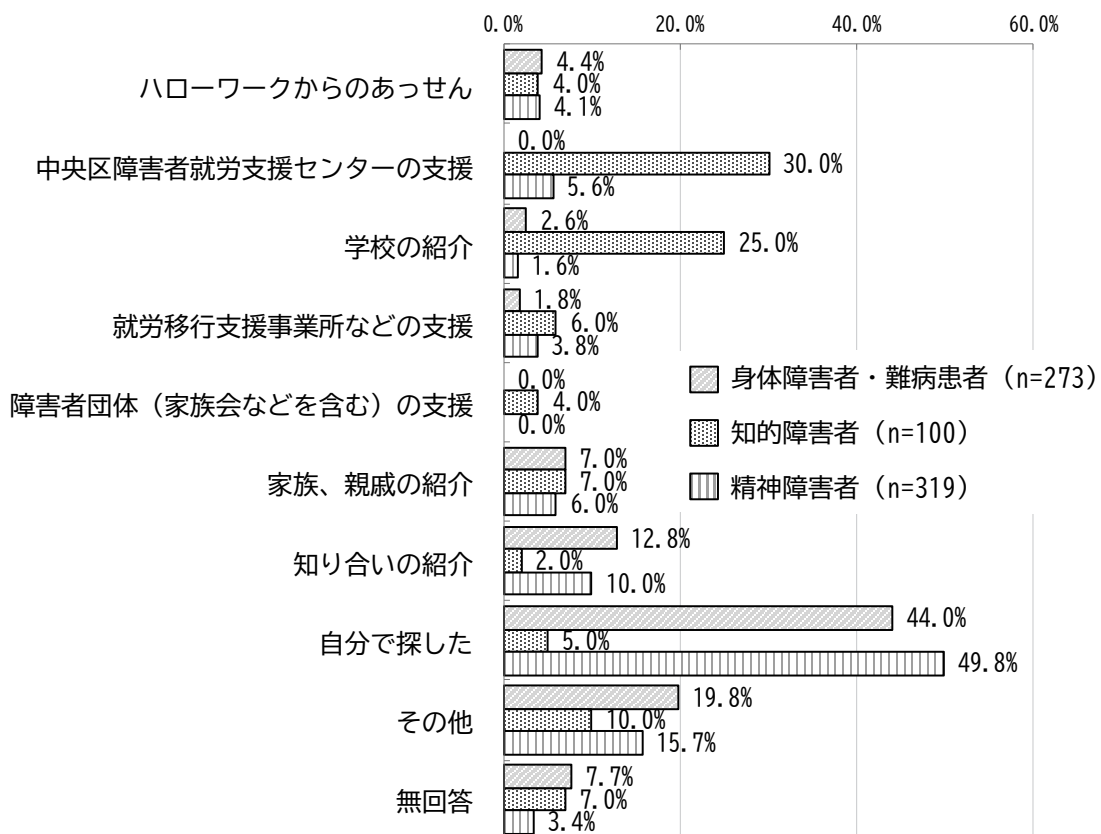
令和4年度調査結果との比較

令和4年度から令和7年度の現在の仕事を探した方法の調査結果を比較すると、知的障害者の方について「就労移行支援事業所などの支援」の割合が6.0%から13.8%と7.8ポイント高くなり、若干の傾向変化がありました。

身体障害者・難病患者では「自分で探した」が44.0%から49.7%と5.7ポイント高く、「その他」が19.8%から20.1%と0.3ポイント高く、「知り合いの紹介」が12.8%から11.1%と1.7ポイント低くなっています。

知的障害者では「中央区障害者就労支援センターの支援」が30.0%から29.8%と0.2ポイント低く、「学校の紹介」が25.0%から31.9%と6.9ポイント高く、「その他」が10.0%から12.8%と2.8ポイント高くなっています。

精神障害者では「自分で探した」が49.8%から48.9%と0.9ポイント低く、「その他」が15.7%から13.6%と2.1ポイント低く、「知り合いの紹介」が10.0%から10.7%と0.7ポイント高くなっています。



問 仕事の内容や働く場などで、あなたの障害に対する配慮がありますか。

<身体障害者・難病患者 問21-3>

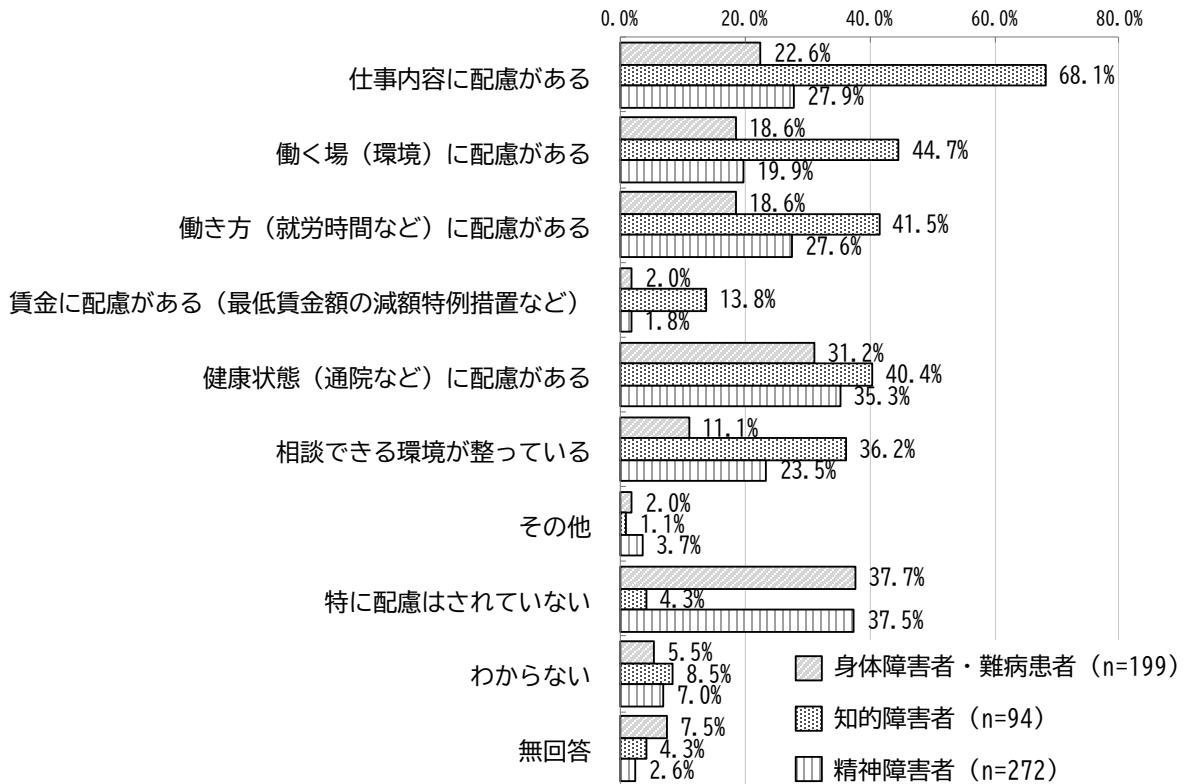
<知的障害者 問21-3>

<精神障害者 問21-3>

就労先で何かしらの配慮がされているかについて、身体障害者・難病患者では「特に配慮はされていない」が37.7%と最も高く、次いで「健康状態（通院など）に配慮がある」が31.2%、「仕事内容に配慮がある」が22.6%となっています。

知的障害者では「仕事内容に配慮がある」が68.1%と最も高く、次いで「働く場（環境）に配慮がある」が44.7%、「働き方（就労時間など）に配慮がある」が41.5%となっています。

精神障害者では「特に配慮はされていない」が37.5%と最も高く、次いで「健康状態（通院など）に配慮がある」が35.3%、「仕事内容に配慮がある」が27.9%となっています。



クロス集計結果

相談したい暮らしの困りごと（現在）ごとにもみると、身体障害者・難病患者では仕事のこと（仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど）、人との付き合いのこと（周りの人とうまくコミュニケーションが取れないなど）で「特に配慮はされていない」が他の相談したい暮らしの困りごと（現在）と比較して高くなっています。

知的障害者では、仕事のこと（仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど）、住まいのこと（バリアフリーになっていないなど）で「特に配慮はされていない」が他の相談したい暮らしの困りごと（現在）と比較して高くなっています。

精神障害者では、家族のこと（家族の健康状態、家族の不在で手助けを受けられないなど）、仕事のこと（仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど）、人との付き合いのこと（周りの人とうまくコミュニケーションが取れないなど）で「特に配慮はされていない」が他の相談したい暮らしの困りごと（現在）と比較して高くなっています。

		問 就労先で何かしらの配慮がされているか										
		仕事内容に配慮がある	働く場（環境）に配慮がある	働き方（就労時間など）に配慮がある	賃金に配慮がある（最低賃金額の減額 特例措置など）	健康状態（通院など）に配慮がある	相談できる環境が整っている	その他	特に配慮はされていない	わからない	無回答	
1段目 人	2段目 %	合計										
（身体障害者・難病患者の困りごと（現在）相談した）	家族のこと（家族の健康状態、家族の不在で手助けを受けられないなど）	39	11	8	13	1	15	4	2	9	2	2
		100.0%	28.2%	20.5%	33.3%	2.6%	38.5%	10.3%	5.1%	23.1%	5.1%	5.1%
	近所・地域のこと（近所の人とのトラブル、障害や病気に対する理解など）	11	4	4	2	0	4	2	0	3	1	1
		100.0%	36.4%	36.4%	18.2%	0.0%	36.4%	18.2%	0.0%	27.3%	9.1%	9.1%
	健康・医療のこと（障害や病気の状態が良くない、病院が近くにないなど）	41	10	9	9	0	10	2	1	17	2	2
		100.0%	24.4%	22.0%	22.0%	0.0%	24.4%	4.9%	2.4%	41.5%	4.9%	4.9%
	お金のこと（収入、お金の管理など）	52	10	11	12	1	21	5	3	18	0	4
		100.0%	19.2%	21.2%	23.1%	1.9%	40.4%	9.6%	5.8%	34.6%	0.0%	7.7%
	仕事のこと（仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど）	20	4	2	1	0	4	1	0	12	0	1
	100.0%	20.0%	10.0%	5.0%	0.0%	20.0%	5.0%	0.0%	60.0%	0.0%	5.0%	
人との付き合いのこと（周りの人とうまくコミュニケーションが取れないなど）	8	1	1	0	0	2	0	0	5	0	1	
	100.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	62.5%	0.0%	12.5%	
住まいのこと（バリアフリーになっていないなど）	16	5	4	6	1	4	3	0	5	1	0	
	100.0%	31.3%	25.0%	37.5%	6.3%	25.0%	18.8%	0.0%	31.3%	6.3%	0.0%	
その他	20	7	5	6	3	4	2	1	9	0	2	
	100.0%	35.0%	25.0%	30.0%	15.0%	20.0%	10.0%	5.0%	45.0%	0.0%	10.0%	
特に困っていることはない	87	16	13	12	1	28	12	1	35	4	9	
	100.0%	18.4%	14.9%	13.8%	1.1%	32.2%	13.8%	1.1%	40.2%	4.6%	10.3%	

	1段目 人 2段目 %	問 就労先で何かしらの配慮がされているか											無回答
		合計	仕事内容に配慮がある	働く場（環境）に配慮がある	働き方（就労時間など）に配慮がある	賃金に配慮がある（最低賃金額の減額特例措置など）	健康状態（通院など）に配慮がある	相談できる環境が整っている	その他	特に配慮はされていない	わからない		
知的障害者の困りごと（現在）	家族のこと（家族の健康状態、家族の不在で手助けを受けられないなど）	29 100.0%	9 31.0%	6 20.7%	11 37.9%	3 10.3%	6 20.7%	4 13.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 10.3%	13 44.8%	
	近所・地域のこと（近所の人とのトラブル、障害や病気に対する理解など）	9 100.0%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	6 66.7%	
	健康・医療のこと（障害や病気の状態が良くない、病院が近くにないなど）	27 100.0%	11 40.7%	8 29.6%	8 29.6%	1 3.7%	8 29.6%	3 11.1%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	11 40.7%	
	お金のこと（収入、お金の管理など）	48 100.0%	19 39.6%	14 29.2%	13 27.1%	6 12.5%	14 29.2%	10 20.8%	0 0.0%	3 6.3%	4 8.3%	19 39.6%	
	仕事のこと（仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど）	8 100.0%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	3 37.5%	
	人との付き合いのこと（周りの人とうまくコミュニケーションが取れないなど）	43 100.0%	22 51.2%	14 32.6%	12 27.9%	3 7.0%	12 27.9%	11 25.6%	0 0.0%	4 4.7%	0 0.0%	15 34.9%	
	住まいのこと（バリアフリーになっていないなど）	6 100.0%	2 33.3%	3 50.0%	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	
	その他	16 100.0%	4 25.0%	3 18.8%	3 18.8%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	9 56.3%	
	特に困っていることはない	69 100.0%	35 50.7%	26 37.7%	23 33.3%	9 13.0%	19 27.5%	20 29.0%	0 0.0%	1 1.4%	3 4.3%	22 31.9%	
精神障害者の困りごと（現在）	家族のこと（家族の健康状態、家族の不在で手助けを受けられないなど）	144 100.0%	21 14.6%	13 9.0%	19 13.2%	1 0.7%	26 18.1%	23 16.0%	4 2.8%	30 20.8%	6 4.2%	69 47.9%	
	近所・地域のこと（近所の人とのトラブル、障害や病気に対する理解など）	38 100.0%	4 10.5%	2 5.3%	3 7.9%	1 2.6%	6 15.8%	6 15.8%	0 0.0%	6 15.8%	2 5.3%	25 65.8%	
	健康・医療のこと（障害や病気の状態が良くない、病院が近くにないなど）	198 100.0%	29 14.6%	16 8.1%	26 13.1%	2 1.0%	35 17.7%	24 12.1%	4 2.0%	27 13.6%	11 5.6%	109 55.1%	
	お金のこと（収入、お金の管理など）	260 100.0%	41 15.8%	30 11.5%	36 13.8%	4 1.5%	43 16.5%	32 12.3%	6 2.3%	40 15.4%	16 6.2%	137 52.7%	
	仕事のこと（仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど）	182 100.0%	25 13.7%	17 9.3%	30 16.5%	4 2.2%	35 19.2%	21 11.5%	6 3.3%	32 17.6%	11 6.0%	86 47.3%	
	人との付き合いのこと（周りの人とうまくコミュニケーションが取れないなど）	146 100.0%	27 18.5%	19 13.0%	24 16.4%	3 2.1%	27 18.5%	20 13.7%	3 2.1%	29 19.9%	7 4.8%	71 48.6%	
	住まいのこと（バリアフリーになっていないなど）	47 100.0%	8 17.0%	4 8.5%	5 10.6%	1 2.1%	3 6.4%	6 12.8%	0 0.0%	8 17.0%	4 8.5%	28 59.6%	
	その他	53 100.0%	8 15.1%	6 11.3%	6 11.3%	1 1.9%	9 17.0%	7 13.2%	2 3.8%	8 15.1%	3 5.7%	29 54.7%	
	特に困っていることはない	130 100.0%	17 13.1%	11 8.5%	15 11.5%	0 0.0%	25 19.2%	16 12.3%	2 1.5%	33 25.4%	6 4.6%	50 38.5%	

第1章
調査概要

第2章
調査結果
①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者

第3章
調査結果
④子ども

第4章
調査結果
⑤障害福祉
サービス
事業所

クロス集計結果

仕事の内容ごとにとみると、すべての障害種別の会社員（障害者枠・特例子会社）で「仕事内容に配慮がある」や「健康状態（通院など）に配慮がある」が他の配慮と比較して高くなっています。

また、身体障害者・難病患者および精神障害者で最も多い会社員（一般就労）と会社員（障害者枠・特例子会社）を比較すると、会社員（障害者枠・特例子会社）の方が、「仕事内容に配慮がある」や「健康状態（通院など）に配慮がある」と回答した割合が高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問 就労先で何かしらの配慮がされているか													
		仕事内容に配慮がある	働く場（環境）に配慮がある	働き方（就労時間など）に配慮がある	賃金に配慮がある（最低賃金額の減額特例措置など）	健康状態（通院など）に配慮がある	相談できる環境が整っている	その他	特に配慮はされていない	わからない	無回答				
（身体障害者・難病患者）															
自営業	33 100.0%	2 6.1%	2 6.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 12.1%	0 0.0%	1 3.0%	14 42.4%	3 9.1%	8 24.2%				
自営業の手伝い	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%				
会社・団体の役員・経営者	24 100.0%	8 33.3%	5 20.8%	5 20.8%	0 0.0%	9 37.5%	1 4.2%	0 0.0%	6 25.0%	1 4.2%	3 12.5%				
会社員（一般雇用）	59 100.0%	10 16.9%	7 11.9%	10 16.9%	1 1.7%	18 30.5%	5 8.5%	0 0.0%	29 49.2%	1 1.7%	0 0.0%				
会社員（障害者枠・特例子会社）	24 100.0%	13 54.2%	12 50.0%	11 45.8%	2 8.3%	14 58.3%	9 37.5%	1 4.2%	3 12.5%	1 4.2%	0 0.0%				
公務員	8 100.0%	6 75.0%	6 75.0%	4 50.0%	0 0.0%	3 37.5%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%				
パート・アルバイト	33 100.0%	3 9.1%	4 12.1%	6 18.2%	0 0.0%	10 30.3%	3 9.1%	1 3.0%	15 45.5%	4 12.1%	1 3.0%				
家庭内職	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%				
就労継続支援（A型・B型）事業所など	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%				
授産施設の仕事（ふれあい作業所など）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%				
その他	12 100.0%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	6 50.0%	1 8.3%	2 16.7%				

1段目 人 2段目 %	合計	問 就労先で何かしらの配慮がされているか											
		仕事内容に配慮がある	働く場（環境）に配慮がある	働き方（就労時間など）に配慮がある	賃金に配慮がある（最低賃金額の減額特例措置など）	健康状態（通院など）に配慮がある	相談できる環境が整っている	その他	特に配慮はされていない	わからない	無回答		
自営業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
自営業の手伝い	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
会社・団体の役員・経営者	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
会社員（一般雇用）	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
会社員（障害者枠・特例子会社）	36 100.0%	24 66.7%	13 36.1%	11 30.6%	7 19.4%	14 38.9%	10 27.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 8.3%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%
公務員	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
パート・アルバイト	7 100.0%	5 71.4%	2 28.6%	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
家庭内職	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
就労継続支援（A型・B型）事業所など	47 100.0%	33 70.2%	25 53.2%	24 51.1%	5 10.6%	21 44.7%	20 42.6%	0 0.0%	2 4.3%	2 4.3%	4 8.5%	0 0.0%	0 0.0%
授産施設の仕事（ふれあい作業所など）	4 100.0%	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	1 25.0%	3 75.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	7 100.0%	4 57.1%	2 28.6%	2 28.6%	1 14.3%	3 42.9%	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
自営業	24 100.0%	2 8.3%	2 8.3%	4 16.7%	1 4.2%	3 12.5%	1 4.2%	2 8.3%	14 58.3%	2 8.3%	2 8.3%	2 8.3%	2 8.3%
自営業の手伝い	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
会社・団体の役員・経営者	8 100.0%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 50.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	2 25.0%
会社員（一般雇用）	120 100.0%	20 16.7%	15 12.5%	20 16.7%	0 0.0%	35 29.2%	25 20.8%	4 3.3%	57 47.5%	7 5.8%	3 2.5%	0 0.0%	0 0.0%
会社員（障害者枠・特例子会社）	47 100.0%	30 63.8%	21 44.7%	27 57.4%	2 4.3%	33 70.2%	21 44.7%	1 2.1%	2 4.3%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%
公務員	10 100.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	4 40.0%	0 0.0%	1 10.0%	4 40.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
パート・アルバイト	42 100.0%	4 9.5%	4 9.5%	8 19.0%	0 0.0%	7 16.7%	5 11.9%	1 2.4%	24 57.1%	5 11.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
家庭内職	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
就労継続支援（A型・B型）事業所など	19 100.0%	11 57.9%	8 42.1%	8 42.1%	0 0.0%	3 15.8%	7 36.8%	1 5.3%	0 0.0%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%
授産施設の仕事（ふれあい作業所など）	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	10 100.0%	4 40.0%	2 20.0%	4 40.0%	1 10.0%	7 70.0%	6 60.0%	0 0.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

第1章
調査概要

第2章

調査結果
①身体障害者・難病患者
②知的障害者
③精神障害者

第3章

調査結果
④子ども

第4章

調査結果
⑤障害福祉サービス事業所

問 今後、働きたいと思いますか。

<身体障害者・難病患者 問21-4>

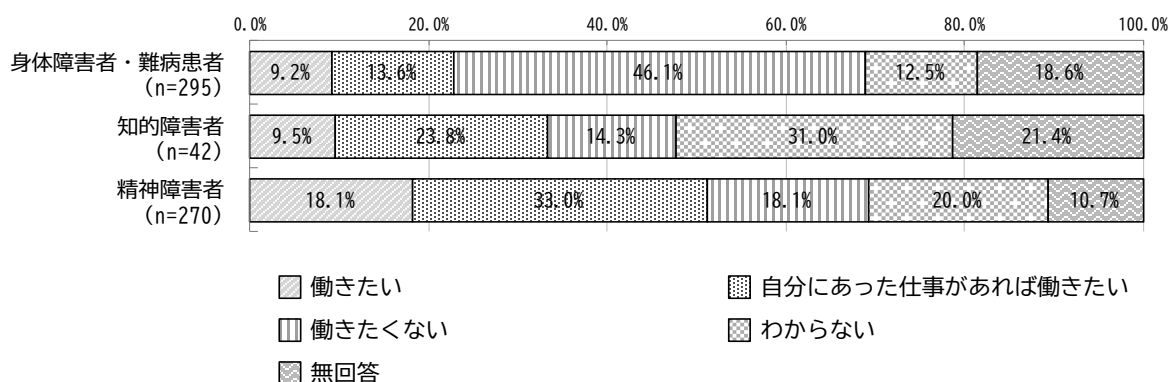
<知的障害者 問21-4>

<精神障害者 問21-4>

今後の就労意向について、身体障害者・難病患者では「働きたくない」が46.1%と最も高く、次いで「自分にあった仕事があれば働きたい」が13.6%、「わからない」が12.5%となっています。

知的障害者では「わからない」が31.0%と最も高く、次いで「自分にあった仕事があれば働きたい」が23.8%、「働きたくない」が14.3%となっています。

精神障害者では「自分にあった仕事があれば働きたい」が33.0%と最も高く、次いで「わからない」が20.0%、「働きたい」、「働きたくない」が18.1%となっています。



クロス集計結果

全体的な傾向として等級が低いほど、「働きたい」や「自分にあった仕事があれば働きたい」などの就労意向が高くなっています。

また、3つの障害の最も高い等級を比較すると、身体障害者・難病患者の方は「働きたい」や「自分にあった仕事があれば働きたい」など就労意向のある方の人数が、多くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問 今後の就労意向					
		働きたい	自分にあつた仕事があれば働きたい	働きたくない	わからない	無回答	
5へ① 身体障害者・難病患者 手帳の等級問	1級	57 100.0%	4 7.0%	8 14.0%	32 56.1%	7 12.3%	6 10.5%
	2級	13 100.0%	1 7.7%	4 30.8%	3 23.1%	3 23.1%	2 15.4%
	3級	31 100.0%	2 6.5%	6 19.4%	15 48.4%	3 9.7%	5 16.1%
	4級	15 100.0%	1 6.7%	1 6.7%	10 66.7%	0 0.0%	3 20.0%
	5級	6 100.0%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%
	6級	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
5へ② 知的障害者 手帳の問	1度	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	4 50.0%	2 25.0%
	2度	41 100.0%	5 12.2%	7 17.1%	1 2.4%	6 14.6%	22 53.7%
	3度	43 100.0%	11 25.6%	4 9.3%	2 4.7%	2 4.7%	24 55.8%
	4度	67 100.0%	22 32.8%	6 9.0%	1 1.5%	4 6.0%	34 50.7%
社障問へ 手帳5知的 帳の保③障 の健精書 等健精書 級福神者	1級	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%
	2級	138 100.0%	21 15.2%	38 27.5%	14 10.1%	26 18.8%	39 28.3%
	3級	164 100.0%	45 27.4%	30 18.3%	10 6.1%	16 9.8%	63 38.4%

第1章 調査概要

第2章 調査結果 (①身体障害者・難病患者 ②知的障害者 ③精神障害者)

第3章 調査結果 (④子ども)

第4章 調査結果 (⑤障害福祉サービス事業所)

問 あなたは、障害などのある人が働くために、どのような環境が必要だと思いますか。

<身体障害者・難病患者 問22>

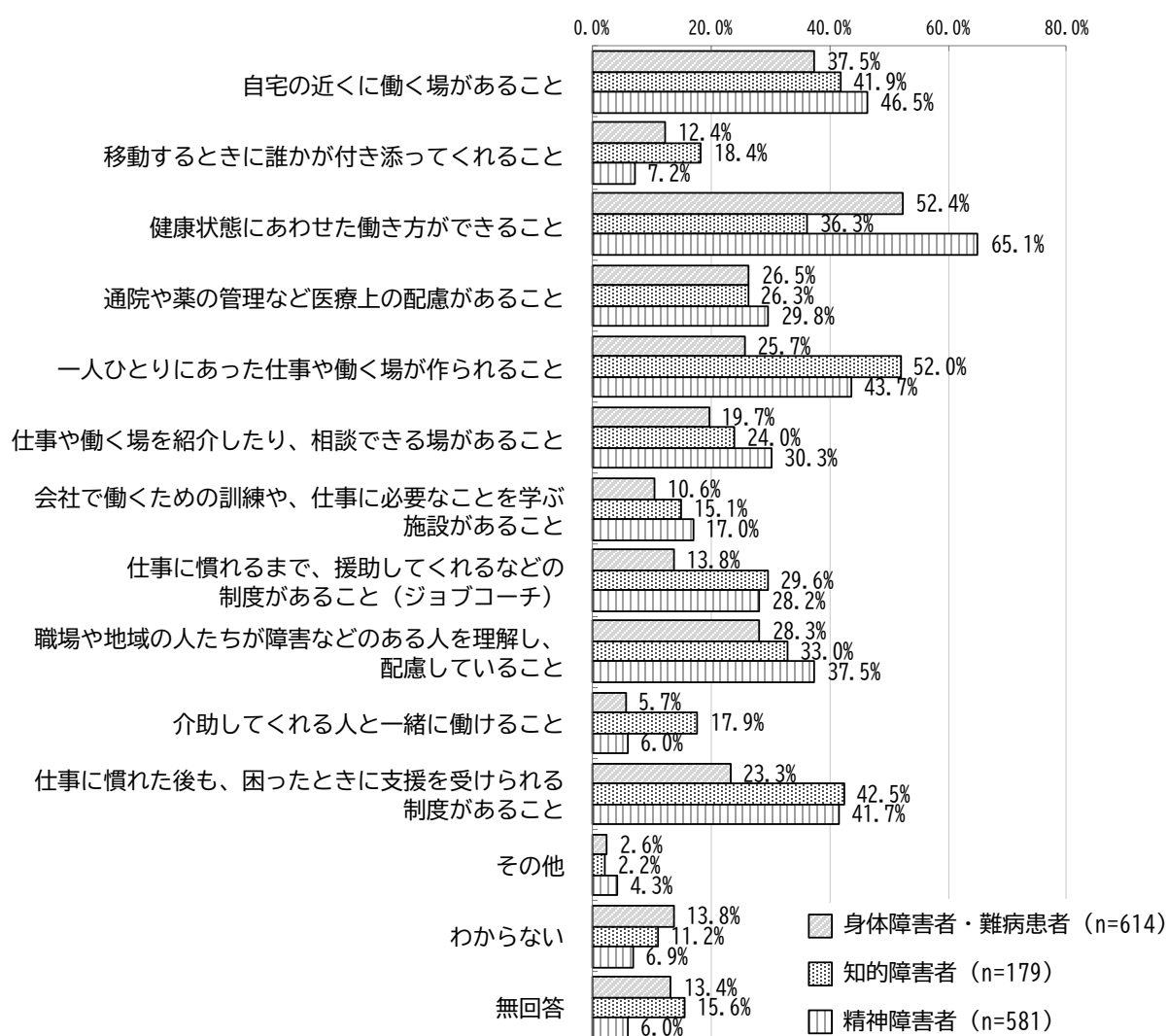
<知的障害者 問22>

<精神障害者 問22>

障害のある人が働くために必要な環境について、身体障害者・難病患者では「健康状態にあわせた働き方ができること」が52.4%と最も高く、次いで「自宅の近くに働く場があること」が37.5%、「職場や地域の人たちが障害などのある人を理解し、配慮していること」が28.3%となっています。

知的障害者では「一人ひとりにあった仕事や働く場が作られること」が52.0%と最も高く、次いで「仕事に慣れた後も、困ったときに支援を受けられる制度があること」が42.5%、「自宅の近くに働く場があること」が41.9%となっています。

精神障害者では「健康状態にあわせた働き方ができること」が65.1%と最も高く、次いで「自宅の近くに働く場があること」が46.5%、「一人ひとりにあった仕事や働く場が作られること」が43.7%となっています。



8 社会参加・文化余暇活動の状況について

問 あなたは、地域（町会など）や区が行うイベントや行事に参加したことはありますか。

<身体障害者・難病患者 問23>

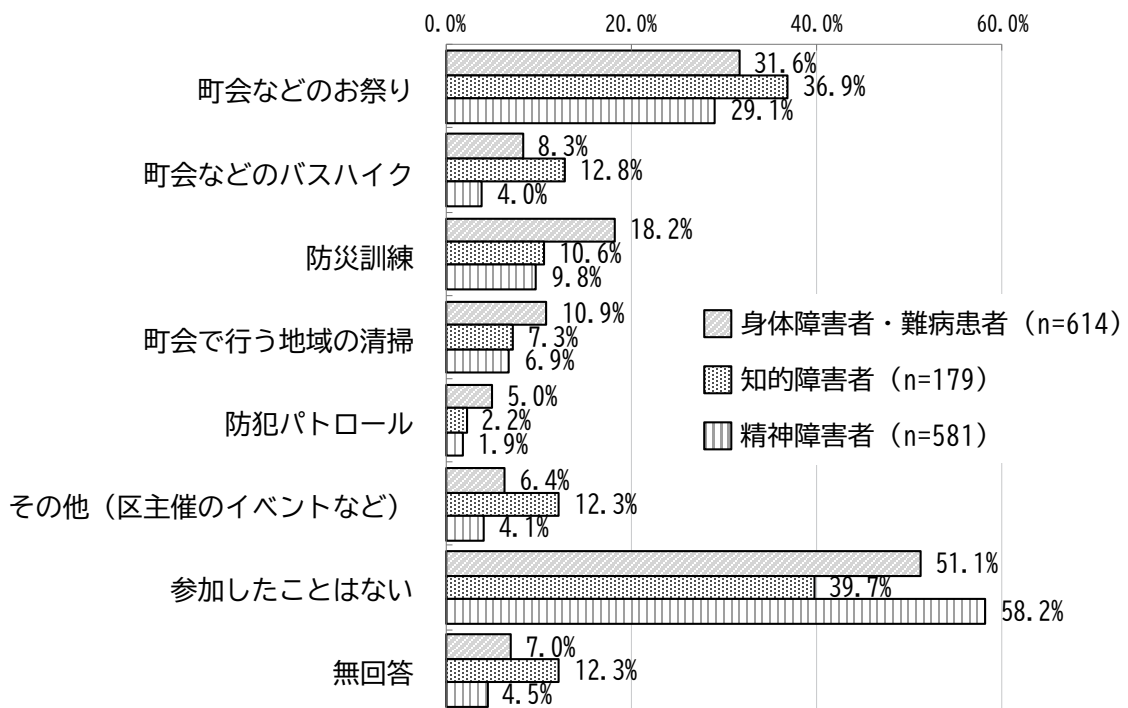
<知的障害者 問23>

<精神障害者 問23>

地域（町会など）が行うイベントの参加状況について、身体障害者・難病患者では「参加したことはない」が 51.1%と最も高く、次いで「町会などのお祭り」が 31.6%、「防災訓練」が 18.2%となっています。

知的障害者では「参加したことはない」が 39.7%と最も高く、次いで「町会などのお祭り」が 36.9%、「町会などのバスハイク」が 12.8%となっています。

精神障害者では「参加したことはない」が 58.2%と最も高く、次いで「町会などのお祭り」が 29.1%、「防災訓練」が 9.8%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果
(④子ども)

第4章

調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

問 あなたは、どのような文化・芸術・余暇活動に参加したいですか。

<身体障害者・難病患者 問24>

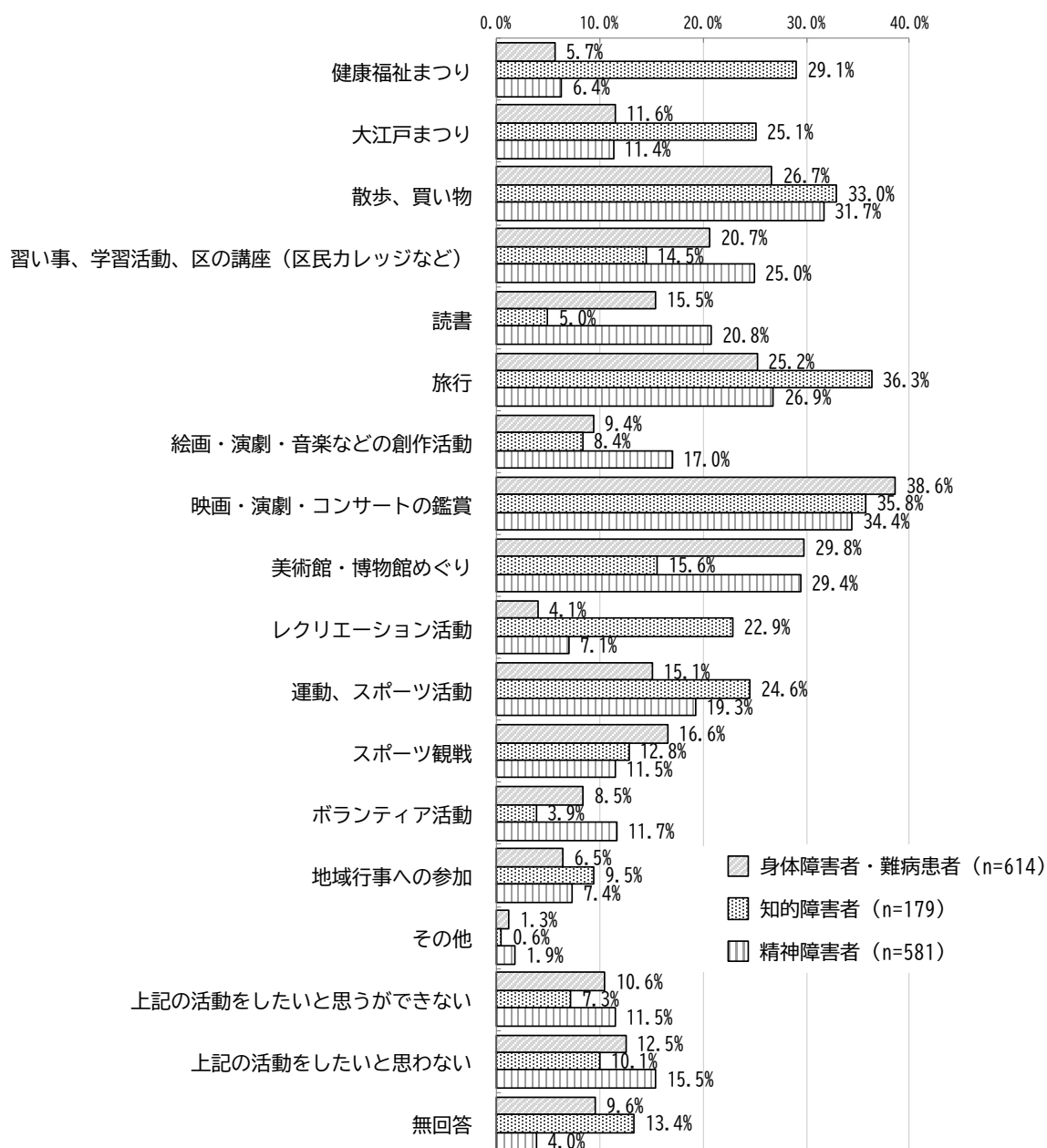
<知的障害者 問24>

<精神障害者 問24>

参加したい文化・芸術・余暇活動について、身体障害者・難病患者では「映画・演劇・コンサートなどの鑑賞」が38.6%と最も高く、次いで「美術館・博物館めぐり」が29.8%、「散歩・買い物」が26.7%となっています。

知的障害者では「旅行」が36.3%と最も高く、次いで「映画・演劇・コンサートなどの鑑賞」が35.8%、「散歩・買い物」が33.0%となっています。

精神障害者では「映画・演劇・コンサートなどの鑑賞」が34.4%と最も高く、次いで「散歩・買い物」が31.7%、「美術館・博物館めぐり」が29.4%となっています。



問 あなたは、外出や社会参加の困りごとや妨げになっていることはありますか。

<身体障害者・難病患者 問25>

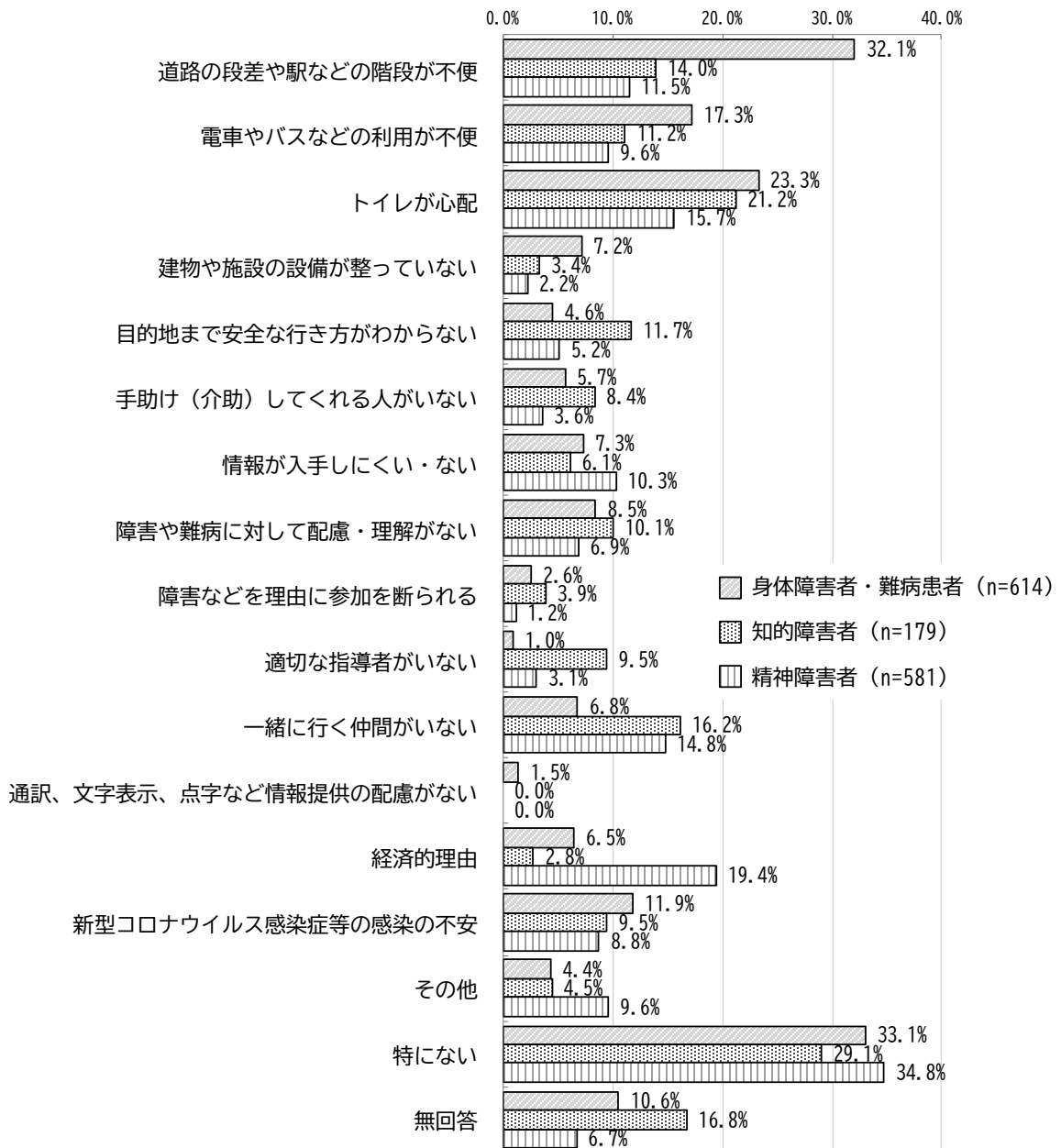
<知的障害者 問25>

<精神障害者 問25>

外出や社会参加の困りごと・妨げになっていることについて、身体障害者・難病患者では「特にない」が33.1%と最も高く、次いで「道路の段差や駅などの階段が不便」が32.1%、「トイレが心配」が23.3%となっています。

知的障害者では「特にない」が29.1%と最も高く、次いで「トイレが心配」が21.2%、「一緒に行く仲間がいない」が16.2%となっています。

精神障害者では「特にない」が34.8%と最も高く、次いで「経済的理由」が19.4%、「トイレが心配」が15.7%となっています。



9 権利擁護について

問 あなたは、「成年後見制度」について内容を知っていますか。

<身体障害者・難病患者 問26>

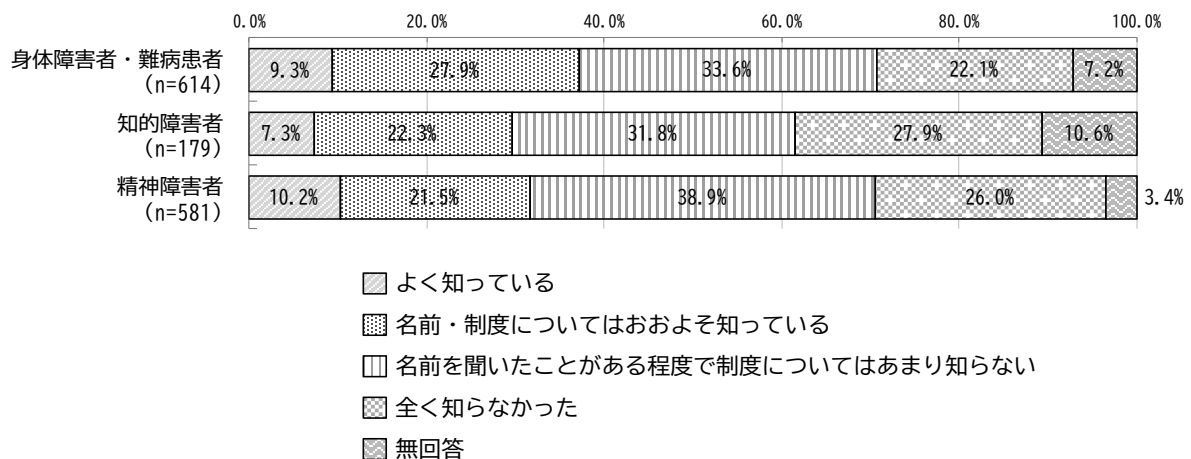
<知的障害者 問26>

<精神障害者 問26>

成年後見制度の内容の認知状況について、身体障害者・難病患者では「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が33.6%と最も高く、次いで「名前・制度についてはおおよそ知っている」が27.9%、「全く知らなかった」が22.1%となっています。

知的障害者では「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が31.8%と最も高く、次いで「全く知らなかった」が27.9%、「名前・制度についてはおおよそ知っている」が22.3%となっています。

精神障害者では「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が38.9%と最も高く、次いで「全く知らなかった」が26.0%、「名前・制度についてはおおよそ知っている」が21.5%となっています。

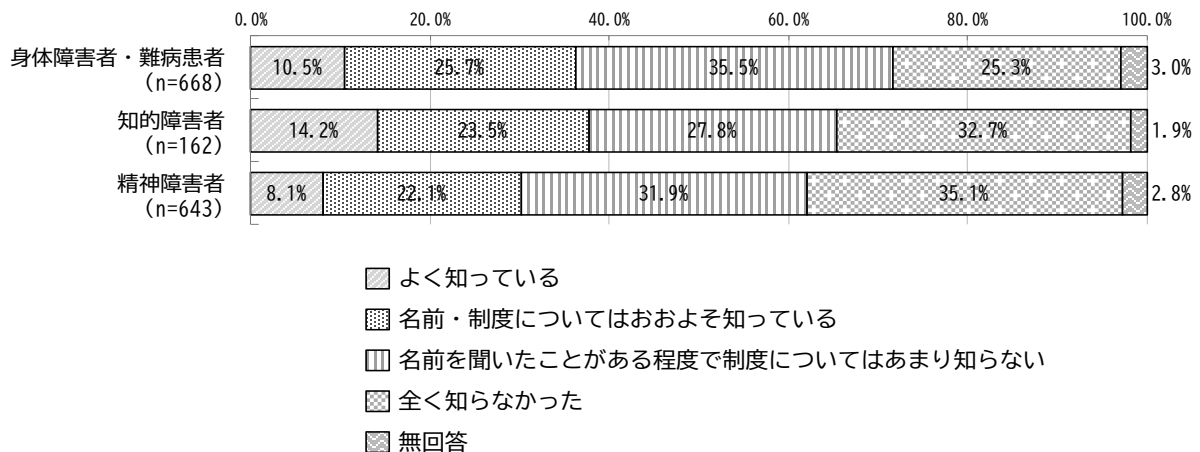


令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の成年後見制度の内容の認知状況の調査結果を比較すると、身体障害者・難病患者では「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が35.5%から33.6%と1.9ポイント低く、「名前・制度についてはおおよそ知っている」が25.7%から27.9%と2.2ポイント高く、「全く知らなかった」が25.3%から22.1%と3.2ポイント低くなっています。

知的障害者では「全く知らなかった」が32.7%から27.9%と4.8ポイント低く、「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が27.8%から31.8%と4.0ポイント高く、「名前・制度についてはおおよそ知っている」が23.5%から22.3%と1.2ポイント低くなっています。

精神障害者では「全く知らなかった」が35.1%から26.0%と9.1ポイント低く、「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が31.9%から38.9%と7.0ポイント高く、「名前・制度についてはおおよそ知っている」が22.1%から21.5%と0.6ポイント低くなっています。



問 あなたは、「法人後見」について内容を知っていますか。

<身体障害者・難病患者 問27>

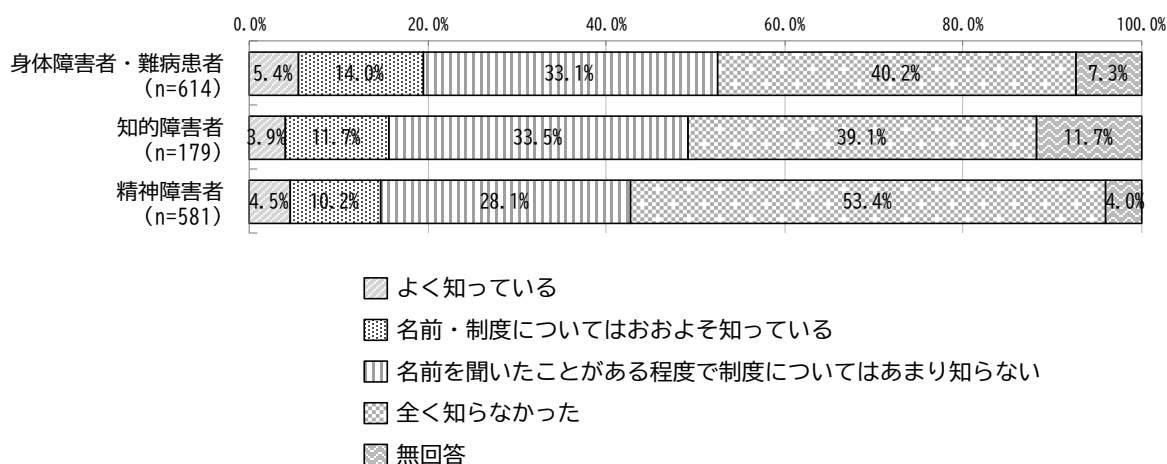
<知的障害者 問27>

<精神障害者 問27>

法人後見制度の内容の認知状況について、身体障害者・難病患者では「全く知らなかった」が40.2%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が33.1%、「名前・制度についてはおおよそ知っている」が14.0%となっています。

知的障害者では「全く知らなかった」が39.1%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が33.5%、「名前・制度についてはおおよそ知っている」が11.7%となっています。

精神障害者では「全く知らなかった」が53.4%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が28.1%、「名前・制度についてはおおよそ知っている」が10.2%となっています。



問 あなたは、「法人後見」を利用したいと思いますか。

<身体障害者・難病患者 問28>

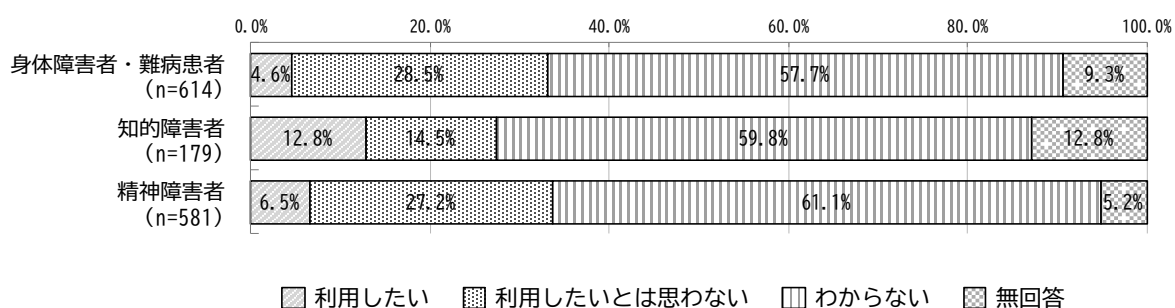
<知的障害者 問28>

<精神障害者 問28>

法人後見制度の利用意向について、身体障害者・難病患者では「わからない」が57.7%と最も高く、次いで「利用したいとは思わない」が28.5%、「利用したい」が4.6%となっています。

知的障害者では「わからない」が59.8%と最も高く、次いで「利用したいとは思わない」が14.5%、「利用したい」が12.8%となっています。

精神障害者では「わからない」が61.1%と最も高く、次いで「利用したいとは思わない」が27.2%、「利用したい」が6.5%となっています。



クロス集計結果

将来の不安ごとにとみると、身体障害者・難病患者では親しい友人・知人がいるかで「利用したい」が他の将来の不安と比較して高くなっています。

知的障害者では災害や病気・事故などの時に、すぐに助けにきてもらえるかで「利用したい」が他の将来の不安と比較して高くなっています。

精神障害者ではお金の管理ができるかで「利用したい」が他の将来の不安と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問 法人後見制度の利用意向			
		利用したい	利用したいとは思わない	わからない	無回答
手助けしてくれる人がいるか	126 100.0%	10 7.9%	27 21.4%	78 61.9%	11 8.7%
親が亡くなった後の生活のこと	44 100.0%	2 4.5%	10 22.7%	29 65.9%	3 6.8%
将来一緒に暮らす家族がいるか	50 100.0%	5 10.0%	8 16.0%	33 66.0%	4 8.0%
地域の中で暮らしていけるか	21 100.0%	1 4.8%	4 19.0%	14 66.7%	2 9.5%
結婚できるか	18 100.0%	1 5.6%	5 27.8%	12 66.7%	0 0.0%
住宅が確保できるか	83 100.0%	8 9.6%	21 25.3%	50 60.2%	4 4.8%
希望する学校に行けるか	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
働く場があるか	34 100.0%	2 5.9%	7 20.6%	24 70.6%	1 2.9%
十分な収入があるか	133 100.0%	6 4.5%	31 23.3%	92 69.2%	4 3.0%
趣味や生きがいを持てるか	44 100.0%	1 2.3%	6 13.6%	33 75.0%	4 9.1%
親しい友人・知人がいるか	26 100.0%	5 19.2%	1 3.8%	19 73.1%	1 3.8%
必要な医療や機能訓練が受けられるか	74 100.0%	3 4.1%	16 21.6%	49 66.2%	6 8.1%
高齢になった時のこと	199 100.0%	12 6.0%	43 21.6%	136 68.3%	8 4.0%
希望する施設に入所できるか	80 100.0%	7 8.8%	24 30.0%	44 55.0%	5 6.3%
災害や病気・事故などの時に、すぐに助けにきてもらえるか	126 100.0%	10 7.9%	31 24.6%	73 57.9%	12 9.5%
お金や財産の管理ができるか	62 100.0%	2 3.2%	13 21.0%	45 72.6%	2 3.2%
その他	33 100.0%	2 6.1%	12 36.4%	19 57.6%	0 0.0%
特にない	105 100.0%	0 0.0%	44 41.9%	45 42.9%	16 15.2%

1段目 人 2段目 %	合計	問 法人後見制度の利用意向					
		利用したい	利用したいとは思わない	わからない	無回答		
知的障害者 問11 将来の不安	手助けしてくれる人がいるか	44 100.0%	3 6.8%	5 11.4%	33 75.0%	3 6.8%	
	親が亡くなった後の生活のこと	102 100.0%	12 11.8%	12 11.8%	73 71.6%	5 4.9%	
	将来一緒に暮らす家族がいるか	17 100.0%	1 5.9%	0 0.0%	15 88.2%	1 5.9%	
	地域の中で暮らしていただけるか	19 100.0%	2 10.5%	2 10.5%	12 63.2%	3 15.8%	
	結婚できるか	15 100.0%	2 13.3%	3 20.0%	9 60.0%	1 6.7%	
	住宅が確保できるか	17 100.0%	3 17.6%	4 23.5%	9 52.9%	1 5.9%	
	希望する学校に行けるか	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	働く場があるか	10 100.0%	1 10.0%	2 20.0%	5 50.0%	2 20.0%	
	十分な収入があるか	17 100.0%	0 0.0%	2 11.8%	15 88.2%	0 0.0%	
	趣味や生きがいを持てるか	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	
	親しい友人・知人がいるか	9 100.0%	1 11.1%	1 11.1%	6 66.7%	1 11.1%	
	必要な医療や機能訓練が受けられるか	11 100.0%	1 9.1%	1 9.1%	8 72.7%	1 9.1%	
	高齢になった時のこと	52 100.0%	7 13.5%	5 9.6%	36 69.2%	4 7.7%	
	希望する施設に入所できるか	36 100.0%	7 19.4%	3 8.3%	23 63.9%	3 8.3%	
	災害や病気・事故などの時に、すぐに助けにきてもらえるか	33 100.0%	9 27.3%	3 9.1%	18 54.5%	3 9.1%	
	お金や財産の管理ができるか	40 100.0%	5 12.5%	3 7.5%	31 77.5%	1 2.5%	
	その他	7 100.0%	0 0.0%	4 57.1%	3 42.9%	0 0.0%	
	特にない	19 100.0%	4 21.1%	3 15.8%	7 36.8%	5 26.3%	
	精神障害者 問10 将来の不安	手助けしてくれる人がいるか	130 100.0%	11 8.5%	19 14.6%	95 73.1%	5 3.8%
		親が亡くなった後の生活のこと	114 100.0%	7 6.1%	22 19.3%	79 69.3%	6 5.3%
将来一緒に暮らす家族がいるか		62 100.0%	2 3.2%	11 17.7%	44 71.0%	5 8.1%	
地域の中で暮らしていただけるか		32 100.0%	3 9.4%	6 18.8%	21 65.6%	2 6.3%	
結婚できるか		42 100.0%	3 7.1%	15 35.7%	24 57.1%	0 0.0%	
住宅が確保できるか		111 100.0%	6 5.4%	20 18.0%	81 73.0%	4 3.6%	
希望する学校に行けるか		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
働く場があるか		111 100.0%	8 7.2%	23 20.7%	78 70.3%	2 1.8%	
十分な収入があるか		250 100.0%	19 7.6%	63 25.2%	157 62.8%	11 4.4%	
趣味や生きがいを持てるか		90 100.0%	7 7.8%	30 33.3%	51 56.7%	2 2.2%	
親しい友人・知人がいるか		54 100.0%	8 14.8%	13 24.1%	29 53.7%	4 7.4%	
必要な医療や機能訓練が受けられるか		62 100.0%	4 6.5%	14 22.6%	42 67.7%	2 3.2%	
高齢になった時のこと		242 100.0%	21 8.7%	55 22.7%	153 63.2%	13 5.4%	
希望する施設に入所できるか		41 100.0%	5 12.2%	8 19.5%	24 58.5%	4 9.8%	
災害や病気・事故などの時に、すぐに助けにきてもらえるか		67 100.0%	4 6.0%	17 25.4%	40 59.7%	6 9.0%	
お金や財産の管理ができるか		67 100.0%	10 14.9%	10 14.9%	46 68.7%	1 1.5%	
その他		38 100.0%	2 5.3%	10 26.3%	23 60.5%	3 7.9%	
特にない		51 100.0%	1 2.0%	19 37.3%	26 51.0%	5 9.8%	

第1章
調査概要

第2章
調査結果
(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉
サービス
事業所)

クロス集計結果

日常的な介助者の年齢ごとにみると、全ての障害種別で 60 歳代で「利用したい」が他の日常的な介助者の年齢と比較して高い傾向があります。

	1 段目 人 2 段目 %	合 計	問 法人後見制度の利用意向			
			利用したい	利用したいとは思わない	わからない	無回答
〈身体障害者・難病患者の年齢 問8-1〉 日常的な介助者の年齢	18～19歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
	30歳代	17 100.0%	2 11.8%	4 23.5%	10 58.8%	1 5.9%
	40歳代	21 100.0%	0 0.0%	6 28.6%	12 57.1%	3 14.3%
	50歳代	69 100.0%	2 2.9%	21 30.4%	41 59.4%	5 7.2%
	60歳代	70 100.0%	5 7.1%	19 27.1%	38 54.3%	8 11.4%
	70歳代	79 100.0%	4 5.1%	22 27.8%	47 59.5%	6 7.6%
	80歳以上	37 100.0%	1 2.7%	13 35.1%	17 45.9%	6 16.2%
	〈知的障害者 問8-1〉 日常的な介助者の年齢	18～19歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20歳代		2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代		1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
40歳代		8 100.0%	0 0.0%	2 25.0%	5 62.5%	1 12.5%
50歳代		30 100.0%	4 13.3%	5 16.7%	20 66.7%	1 3.3%
60歳代		31 100.0%	6 19.4%	3 9.7%	19 61.3%	3 9.7%
70歳代		27 100.0%	3 11.1%	2 7.4%	19 70.4%	3 11.1%
80歳以上		11 100.0%	2 18.2%	2 18.2%	6 54.5%	1 9.1%
〈精神障害者 問8-1〉 日常的な介助者の年齢		18～19歳	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	20歳代	11 100.0%	1 9.1%	5 45.5%	5 45.5%	0 0.0%
	30歳代	36 100.0%	2 5.6%	13 36.1%	19 52.8%	2 5.6%
	40歳代	52 100.0%	2 3.8%	14 26.9%	34 65.4%	2 3.8%
	50歳代	111 100.0%	7 6.3%	26 23.4%	73 65.8%	5 4.5%
	60歳代	71 100.0%	6 8.5%	17 23.9%	45 63.4%	3 4.2%
	70歳代	46 100.0%	1 2.2%	12 26.1%	31 67.4%	2 4.3%
	80歳以上	30 100.0%	1 3.3%	7 23.3%	18 60.0%	4 13.3%

10 障害等の理解について

問 あなたは、障害や障害者、難病や難病患者に対する区民の理解について、どのように感じていますか。

<身体障害者・難病患者 問29>

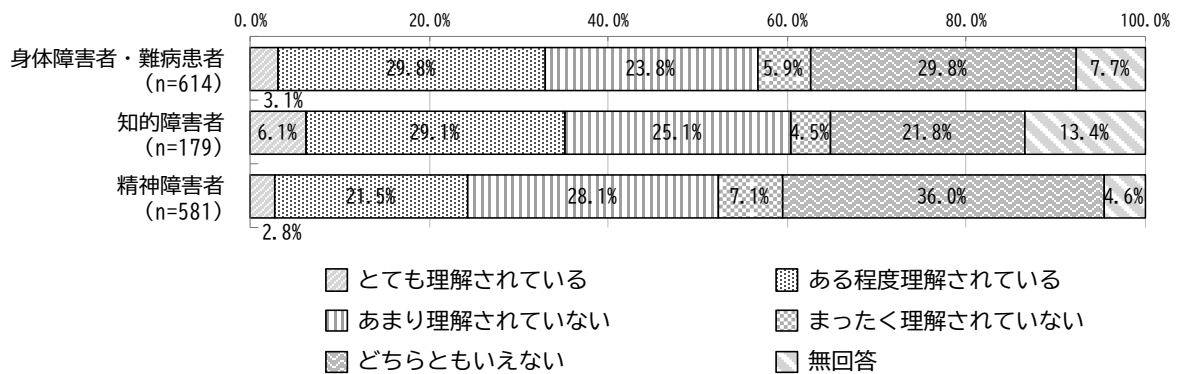
<知的障害者 問29>

<精神障害者 問29>

障害や障害者、難病や難病患者に対する区民の理解度について、身体障害者・難病患者では「ある程度理解されている」「どちらともいえない」が29.8%と最も高く、次いで「あまり理解されていない」が23.8%、「まったく理解されていない」が5.9%となっています。

知的障害者では「ある程度理解されている」が29.1%と最も高く、次いで「あまり理解されていない」が25.1%、「どちらともいえない」が21.8%となっています。

精神障害者では「どちらともいえない」が36.0%と最も高く、次いで「あまり理解されていない」が28.1%、「ある程度理解されている」が21.5%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果

- ④子ども

第4章

調査結果

- ⑤障害福祉サービス事業所

資料編

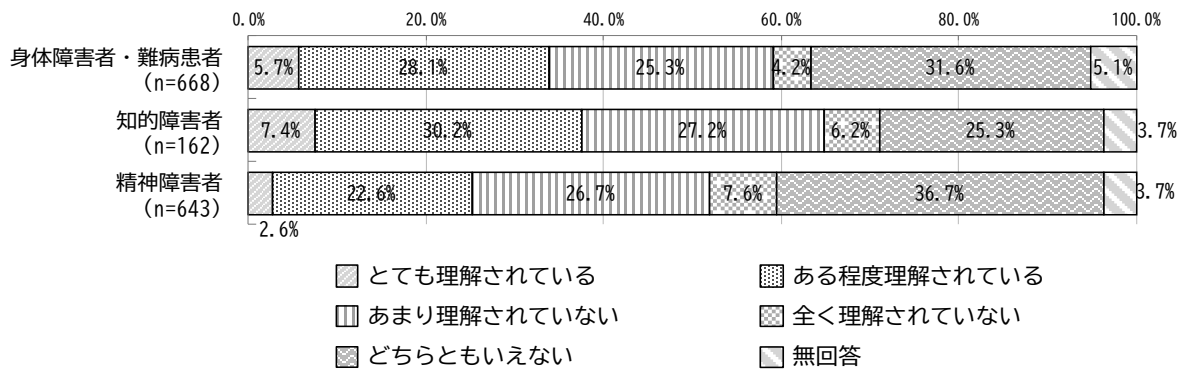
令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の障害や障害者、難病や難病患者に対する区民の理解度の調査結果を比較すると、傾向に大きな変化はありません。

身体障害者・難病患者では「どちらともいえない」が31.6%から29.8%と1.8ポイント低く、「ある程度理解されている」が28.1%から29.8%と1.7ポイント高く、「あまり理解されていない」が25.3%から23.8%と1.5ポイント低くなっています。

知的障害者では「ある程度理解されている」が30.2%から29.1%と1.1ポイント低く、「あまり理解されていない」が27.2%から25.1%と2.1ポイント低く、「どちらともいえない」が25.3%から21.8%と3.5ポイント低くなっています。

精神障害者では「どちらともいえない」が36.7%から36.0%と0.7ポイント低く、「あまり理解されていない」が26.7%から28.1%と1.4ポイント高く、「ある程度理解されている」が22.6%から21.5%と1.1ポイント低くなっています。



問 あなたは、障害があることで、差別を感じたことはありますか。

<身体障害者・難病患者 問30>

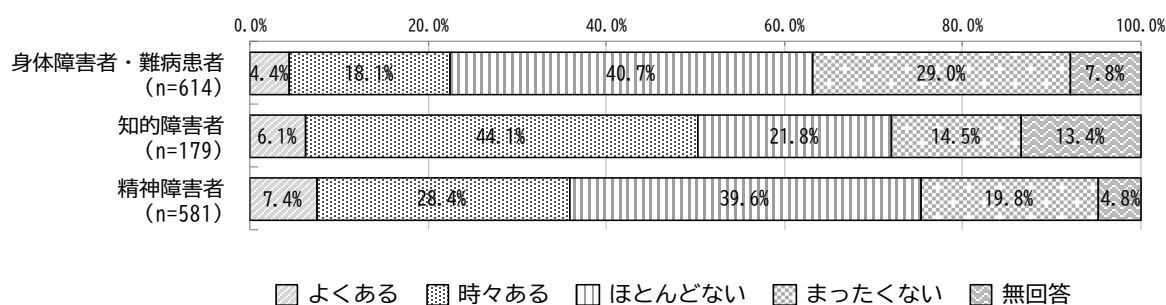
<知的障害者 問30>

<精神障害者 問30>

差別を感じたことはあるかについて、身体障害者・難病患者では「ほとんどない」が40.7%と最も高く、次いで「まったくない」が29.0%、「時々ある」が18.1%となっています。

知的障害者では「時々ある」が44.1%と最も高く、次いで「ほとんどない」が21.8%、「まったくない」が14.5%となっています。

精神障害者では「ほとんどない」が39.6%と最も高く、次いで「時々ある」が28.4%、「まったくない」が19.8%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果
(④子ども)

第4章

調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

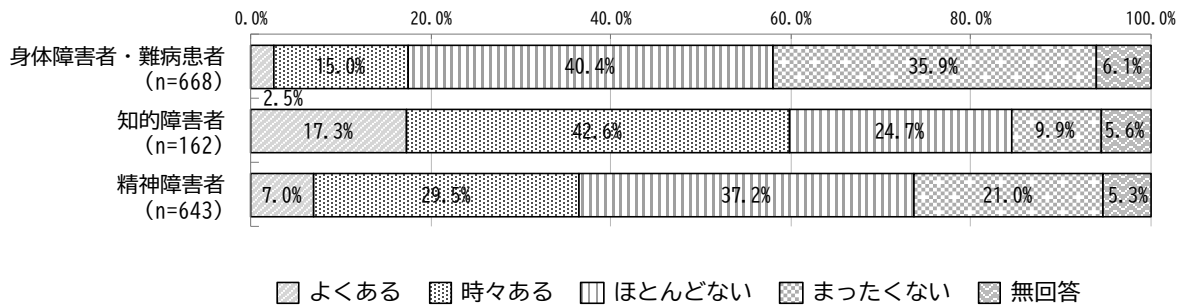
令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の差別を感じたことのあるかについての調査結果を比較すると、傾向に大きな変化はありません。

身体障害者・難病患者では「ほとんどない」が40.4%から40.7%と0.3ポイント高く、「まったくない」が35.9%から29.0%と6.9ポイント低く、「時々ある」が15.0%から18.1%と3.1ポイント高くなっています。

知的障害者では「時々ある」が42.6%から44.1%と1.5ポイント高く、「ほとんどない」が24.7%から21.8%と2.9ポイント低く、「よくある」が17.3%から6.1%と11.2ポイント低くなっています。

精神障害者では「ほとんどない」が37.2%から39.6%と2.4ポイント高く、「時々ある」が29.5%から28.4%と1.1ポイント低く、「まったくない」が21.0%から19.8%と1.2ポイント低くなっています。



問 あなたは、役所や会社、お店などの事業者が、正当な理由なく障害を理由に差別することを禁止し、合理的配慮（何らかの配慮を必要とする意思が伝えられた時に、対応すること）の提供を義務付ける「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていますか。

<身体障害者・難病患者 問31>

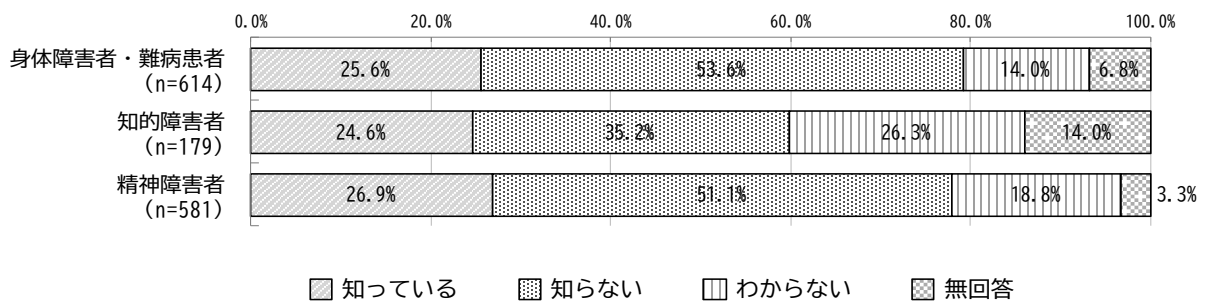
<知的障害者 問31>

<精神障害者 問31>

障害者差別解消法の認知状況について、身体障害者・難病患者では「知らない」が53.6%と最も高く、次いで「知っている」が25.6%、「わからない」が14.0%となっています。

知的障害者では「知らない」が35.2%と最も高く、次いで「わからない」が26.3%、「知っている」が24.6%となっています。

精神障害者では「知らない」が51.1%と最も高く、次いで「知っている」が26.9%、「わからない」が18.8%となっています。



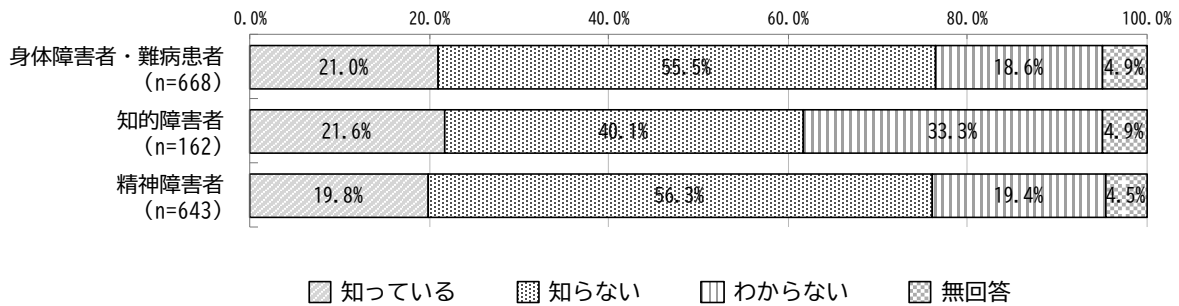
令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の障害者差別解消法の認知状況の調査結果について、傾向に大きな変化はありません。

身体障害者・難病患者では「知らない」が55.5%から53.6%と1.9ポイント低く、「知っている」が21.0%から25.6%と4.6ポイント高く、「わからない」が18.6%から14.0%と4.6ポイント低くなっています。

知的障害者では「知らない」が40.1%から35.2%と4.9ポイント低く、「わからない」が33.3%から26.3%と7.0ポイント低く、「知っている」が21.6%から24.6%と3.0ポイント高くなっています。

精神障害者では「知らない」が56.3%から51.1%と5.2ポイント低く、「知っている」が19.8%から26.9%と7.1ポイント高く、「わからない」が19.4%から18.8%と0.6ポイント低くなっています。



問 あなたは、障害者差別の解消を推進するために、何が必要だと思いますか。

<身体障害者・難病患者 問32>

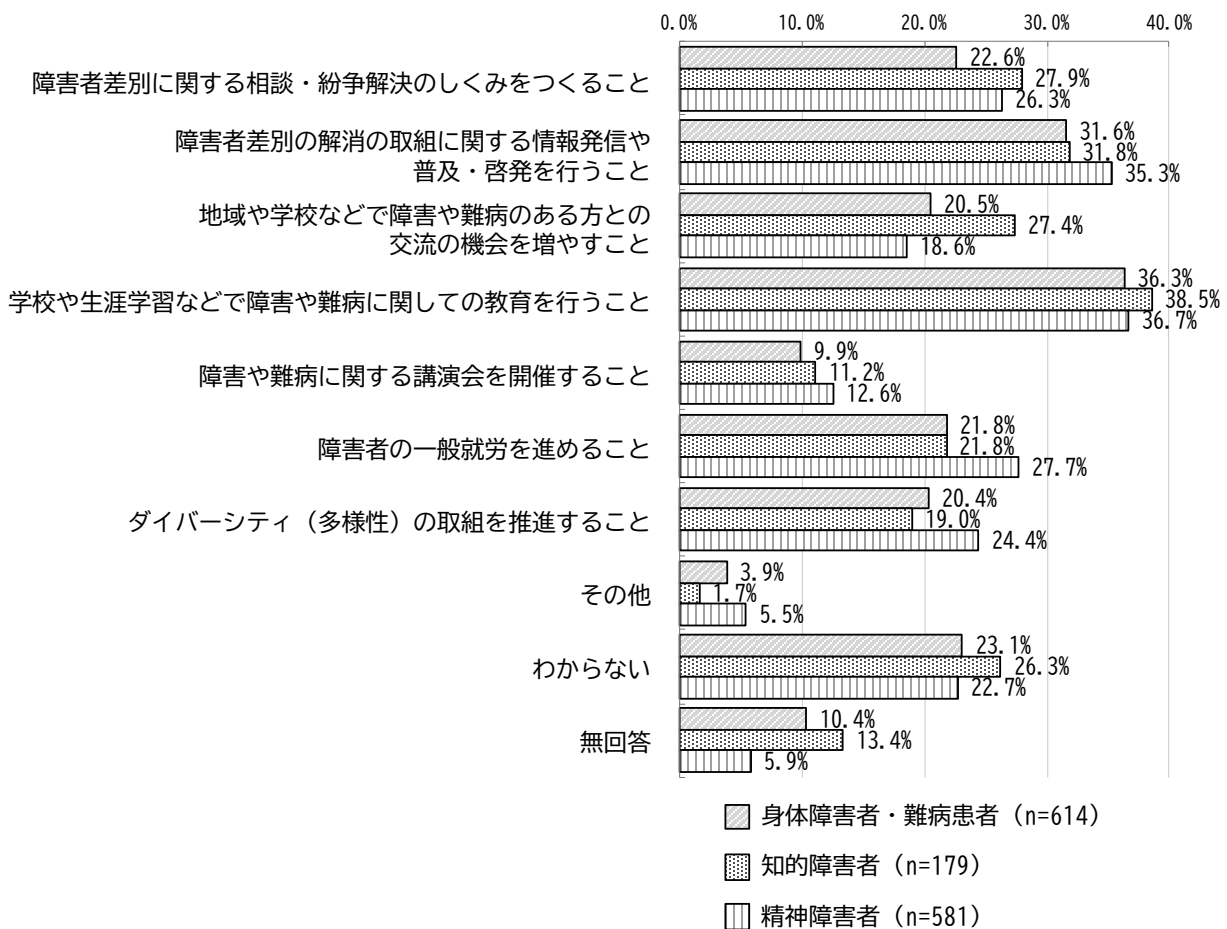
<知的障害者 問32>

<精神障害者 問32>

差別解消の推進に必要なと思うものについて、身体障害者・難病患者では「学校や生涯学習などで障害や難病についての教育を行うこと」が36.3%と最も高く、次いで「障害者差別の解消の取組に関する情報発信や普及・啓発を行うこと」が31.6%、「わからない」が23.1%となっています。

知的障害者では「学校や生涯学習などで障害や難病についての教育を行うこと」が38.5%と最も高く、次いで「障害者差別の解消の取組に関する情報発信や普及・啓発を行うこと」が31.8%、「障害者差別に関する相談・紛争解決のしくみをつくること」が27.9%となっています。

精神障害者では「学校や生涯学習などで障害や難病についての教育を行うこと」が36.7%と最も高く、次いで「障害者差別の解消の取組に関する情報発信や普及・啓発を行うこと」が35.3%、「障害者の一般就労を進めること」が27.7%となっています。



問 あなたは、役所、会社、お店などに対し、どのような合理的配慮を必要としていますか。

<身体障害者・難病患者 問33>

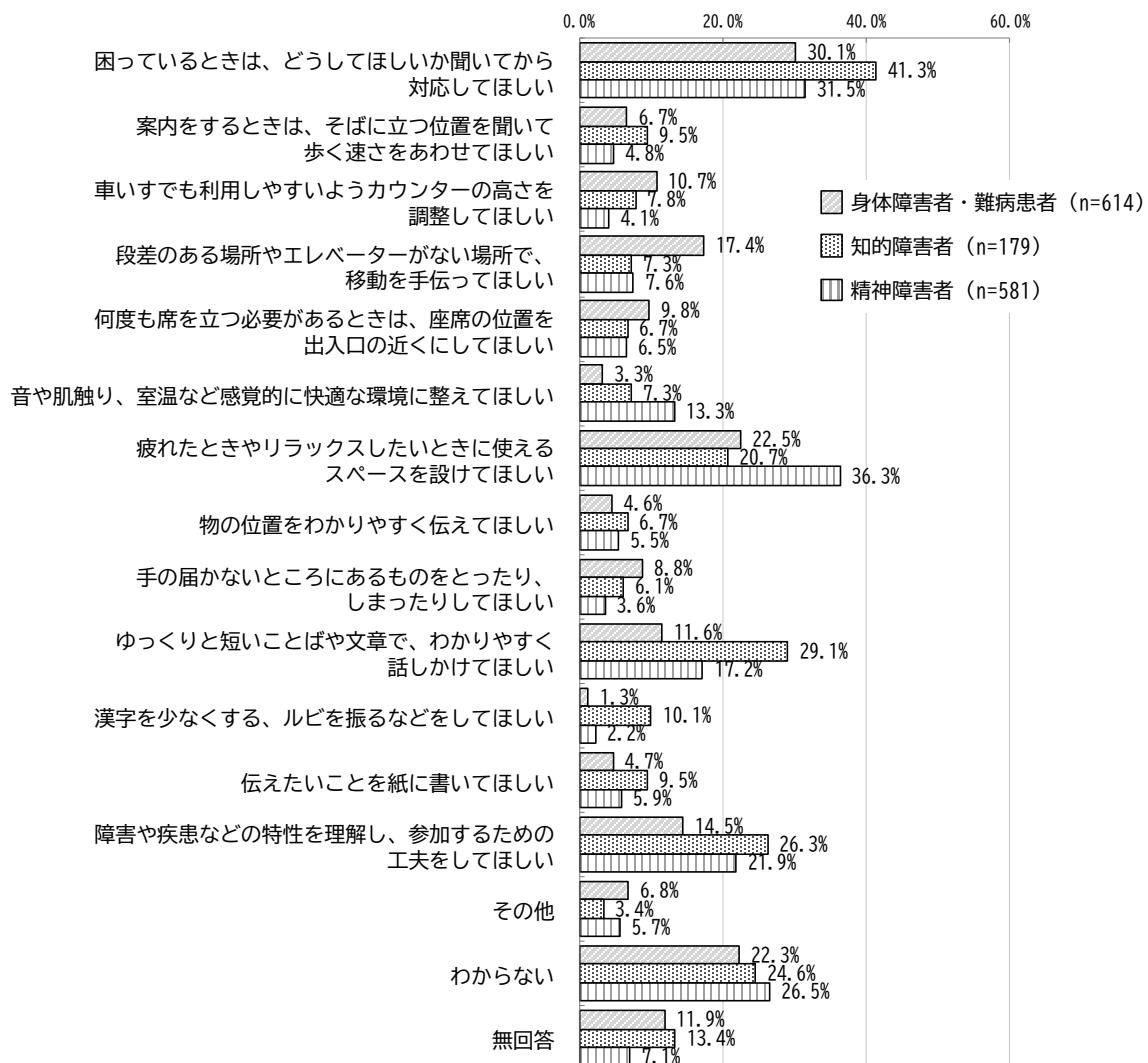
<知的障害者 問33>

<精神障害者 問33>

役所・会社・お店に求める合理的配慮について、身体障害者・難病患者では「困っているときは、どうしてほしいか聞いてから対応してほしい」が30.1%と最も高く、次いで「疲れたときやリラックスしたいときに使えるスペースを設けてほしい」が22.5%、「わからない」が22.3%となっています。

知的障害者では「困っているときは、どうしてほしいか聞いてから対応してほしい」が41.3%と最も高く、次いで「ゆっくりと短いことばや文章で、わかりやすく話しかけてほしい」が29.1%、「障害や疾患などの特性を理解し、参加するための工夫をしてほしい」が26.3%となっています。

精神障害者では「疲れたときやリラックスしたいときに使えるスペースを設けてほしい」が36.3%と最も高く、次いで「困っているときは、どうしてほしいか聞いてから対応してほしい」が31.5%、「わからない」が26.5%となっています。



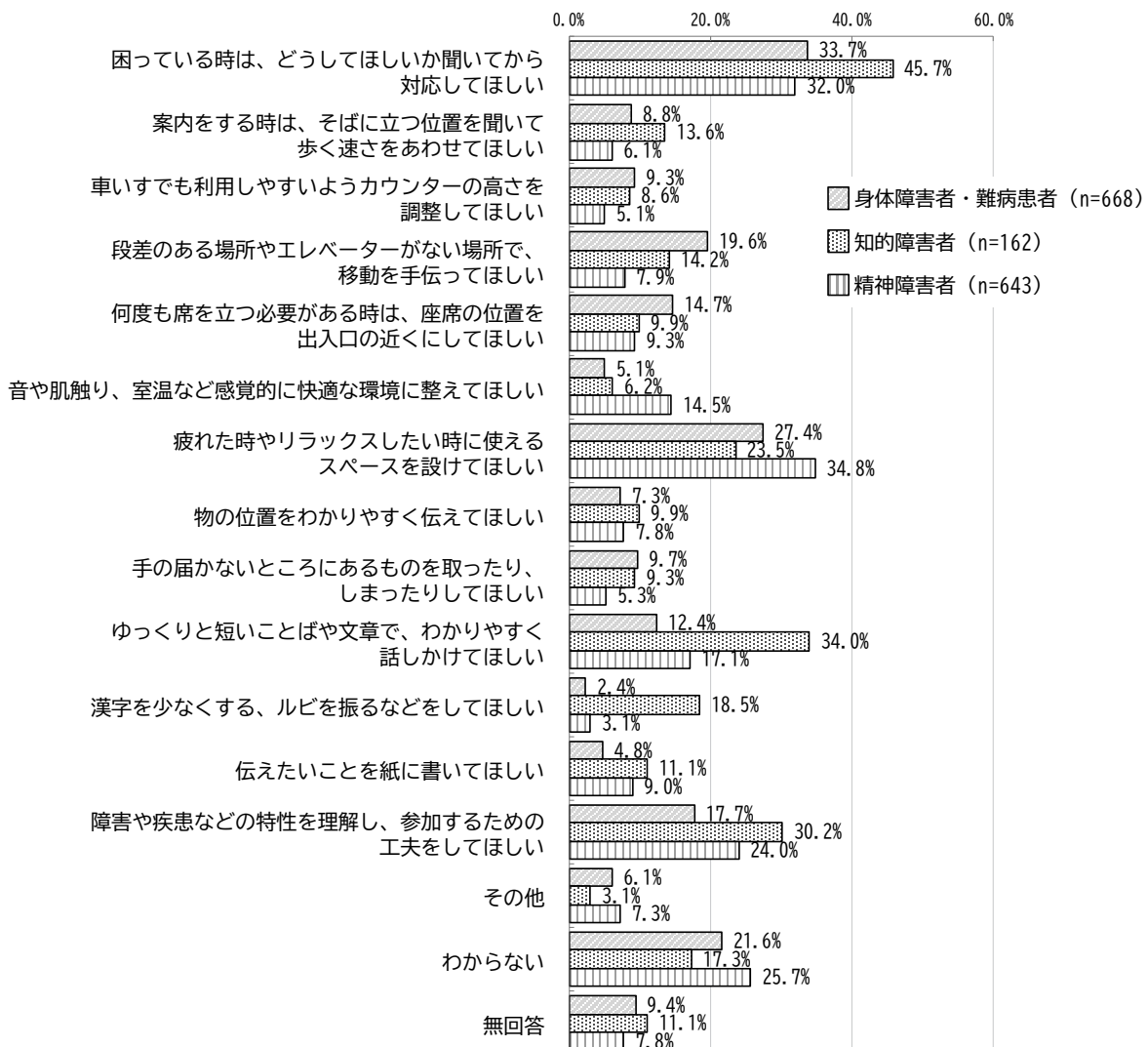
令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の役所・会社・お店に求める合理的配慮の調査結果について、傾向に大きな変化はありません。

身体障害者・難病患者では「困っている時は、どうしてほしいか聞いてから対応してほしい」が33.7%から30.1%と3.6ポイント低く、「疲れた時やリラックスしたい時に使えるスペースを設けてほしい」が27.4%から22.5%と4.9ポイント低く、「わからない」が21.6%から22.3%と0.7ポイント高くなっています。

知的障害者では「困っている時は、どうしてほしいか聞いてから対応してほしい」が45.7%から41.3%と4.4ポイント低く、「ゆっくりと短いことばや文章で、わかりやすく話しかけてほしい」が34.0%から29.1%と4.9ポイント低く、「障害や疾患などの特性を理解し、参加するための工夫をしてほしい」が30.2%から26.3%と3.9ポイント低くなっています。

精神障害者では「疲れた時やリラックスしたい時に使えるスペースを設けてほしい」が34.8%から36.3%と1.5ポイント高く、「困っている時は、どうしてほしいか聞いてから対応してほしい」が32.0%から31.5%と0.5ポイント低く、「わからない」が25.7%から26.5%と0.8ポイント高くなっています。



問 あなたは、「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」について内容を知っていますか。

<身体障害者・難病患者 問34>

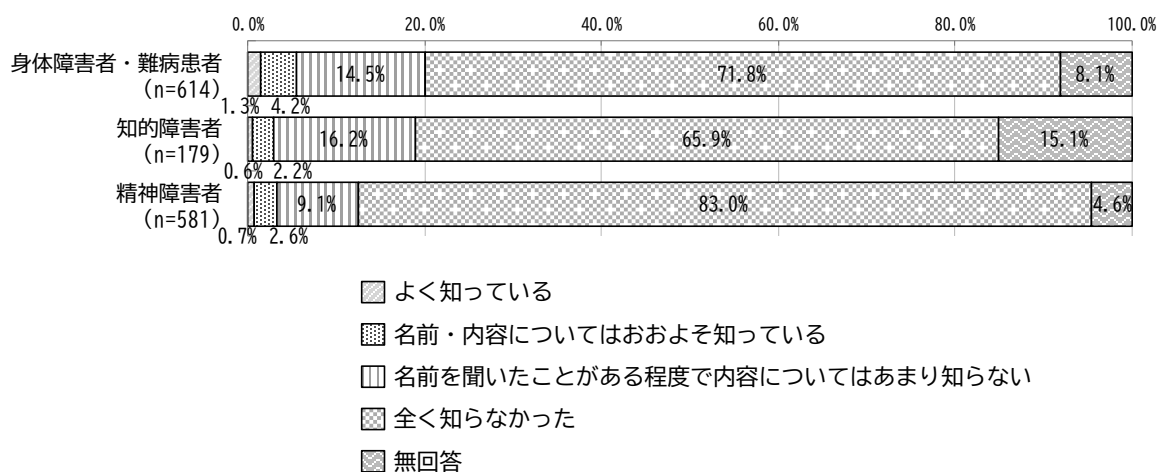
<知的障害者 問34>

<精神障害者 問34>

「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」の認知状況について、身体障害者・難病患者では「全く知らなかった」が71.8%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度で内容についてはあまり知らない」が14.5%、「名前・内容についてはおおよそ知っている」が4.2%となっています。

知的障害者では「全く知らなかった」が65.9%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度で内容についてはあまり知らない」が16.2%、「名前・内容についてはおおよそ知っている」が2.2%となっています。

精神障害者では「全く知らなかった」が83.0%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度で内容についてはあまり知らない」が9.1%、「名前・内容についてはおおよそ知っている」が2.6%となっています。



問 中央区では、「虐待通報・相談窓口」を設け、障害者虐待の未然の防止、早期発見、迅速な対応、その後の切れ目ない支援を行っています。あなたは、「虐待通報・相談窓口」を知っていますか。

<身体障害者・難病患者 問35>

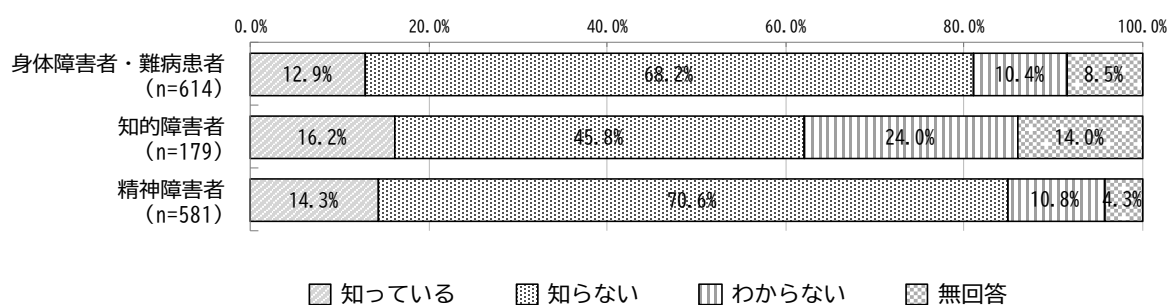
<知的障害者 問35>

<精神障害者 問35>

「虐待通報・相談窓口」の認知状況について、身体障害者・難病患者では「知らない」が68.2%と最も高く、次いで「知っている」が12.9%、「わからない」が10.4%となっています。

知的障害者では「知らない」が45.8%と最も高く、次いで「わからない」が24.0%、「知っている」が16.2%となっています。

精神障害者では「知らない」が70.6%と最も高く、次いで「知っている」が14.3%、「わからない」が10.8%となっています。



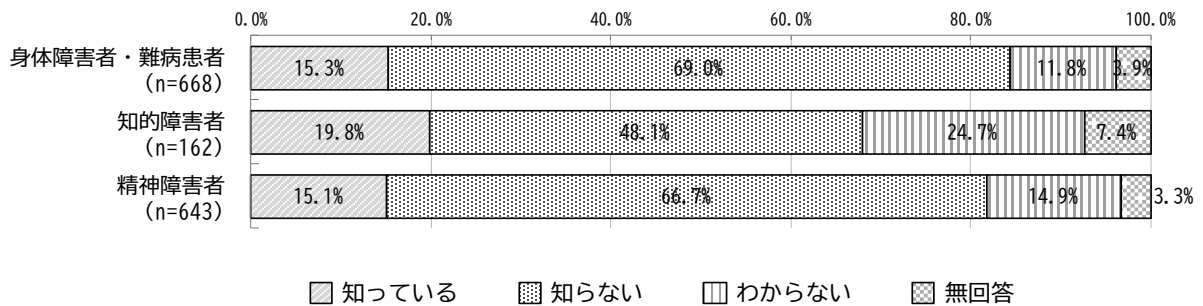
令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の「虐待通報・相談窓口」の認知状況の調査結果を比較すると、傾向に大きな変化はありません。

身体障害者・難病患者では「知らない」が69.0%から68.2%と0.8ポイント低く、「知っている」が15.3%から12.9%と2.4ポイント低く、「わからない」が11.8%から10.4%と1.4ポイント低くなっています。

知的障害者では「知らない」が48.1%から45.8%と2.3ポイント低く、「わからない」が24.7%から24.0%と0.7ポイント低く、「知っている」が19.8%から16.2%と3.6ポイント低くなっています。

精神障害者では「知らない」が66.7%から70.6%と3.9ポイント高く、「知っている」が15.1%から14.3%と0.8ポイント低く、「わからない」が14.9%から10.8%と4.1ポイント低くなっています。



問 あなたは、災害時に不安に感じることはありますか。

<身体障害者・難病患者 問36>

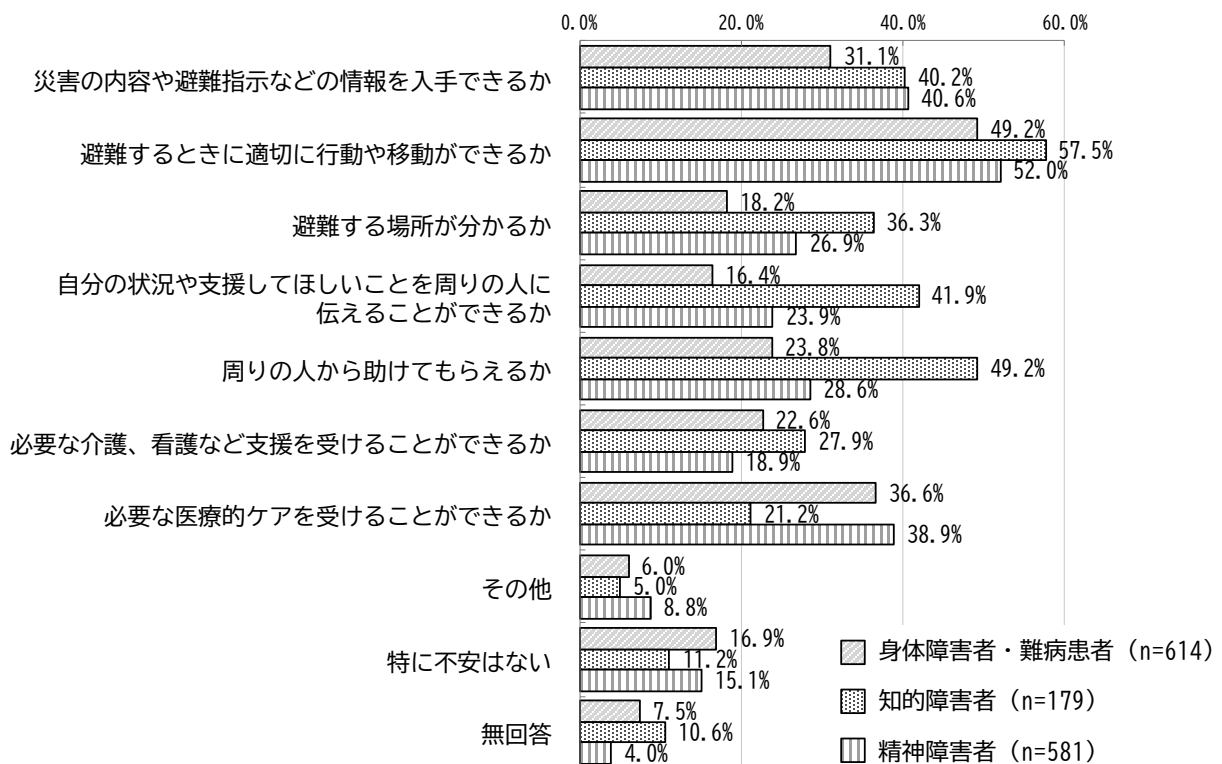
<知的障害者 問36>

<精神障害者 問36>

災害時に不安なことについて、身体障害者・難病患者では「避難するときに適切に行動や移動ができるか」が49.2%と最も高く、次いで「必要な医療的ケアを受けることができるか」が36.6%、「災害の内容や避難指示などの情報を入手できるか」が31.1%となっています。

知的障害者では「避難するときに適切に行動や移動ができるか」が57.5%と最も高く、次いで「周りの人から助けてもらえるか」が49.2%、「自分の状況や支援してほしいことを周りの人に伝えることができるか」が41.9%となっています。

精神障害者では「避難するときに適切に行動や移動ができるか」が52.0%と最も高く、次いで「災害の内容や避難指示などの情報を入手できるか」が40.6%、「必要な医療的ケアを受けることができるか」が38.9%となっています。



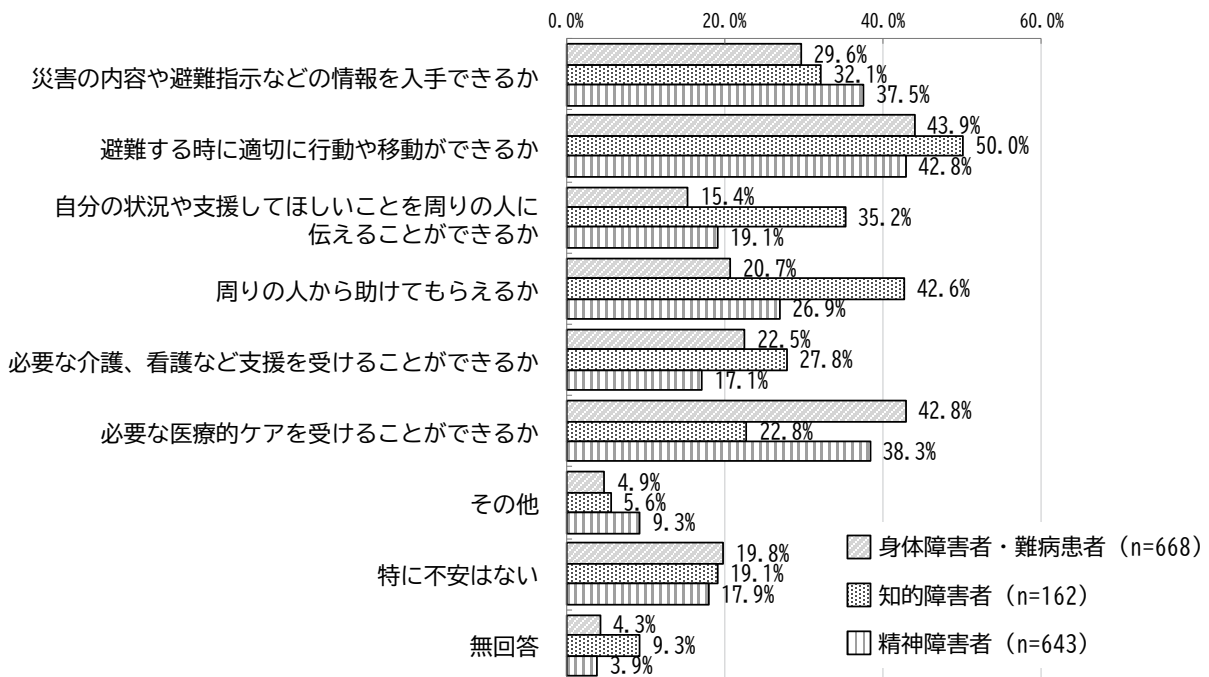
令和4年度調査結果との比較

令和7年度から令和4年度の災害時に不安なことの調査結果を比較してみると、傾向に大きな変化はありません。

身体障害者・難病患者では「避難する時に適切に行動や移動ができるか」が43.9%から49.2%と5.3ポイント高く、「必要な医療的ケアを受けることができるか」が42.8%から36.6%と6.2ポイント低く、「災害の内容や避難指示などの情報を入手できるか」が29.6%から31.1%と1.5ポイント高くなっています。

知的障害者では「避難する時に適切に行動や移動ができるか」が50.0%から57.5%と7.5ポイント高く、「周りの人から助けてもらえるか」が42.6%から49.2%と6.6ポイント低く、「自分の状況や支援してほしいことを周りの人に伝えることができるか」が35.2%から41.9%と6.7ポイント高くなっています。

精神障害者では「避難する時に適切に行動や移動ができるか」が42.8%から52.0%と9.2ポイント高く、「必要な医療的ケアを受けることができるか」が38.3%から38.9%と0.6ポイント高く、「災害の内容や避難指示などの情報を入手できるか」が37.5%から40.6%と3.1ポイント高くなっています。



11 今後の区の実施について

問 あなたは、中央区で実施している障害者（児）および難病患者を対象とした施策について満足していますか。

<身体障害者・難病患者 問37>

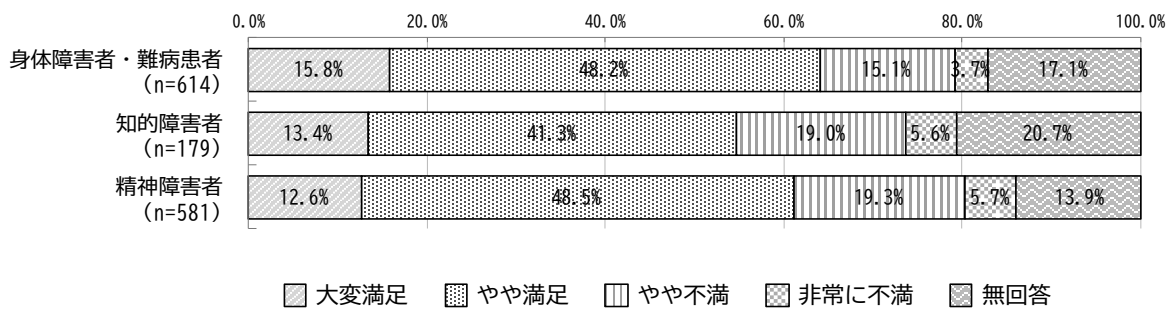
<知的障害者 問37>

<精神障害者 問37>

中央区の施策・サービスの満足度について、身体障害者・難病患者では「やや満足」が48.2%と最も高く、次いで「大変満足」が15.8%、「やや不満」が15.1%となっています。

知的障害者では「やや満足」が41.3%と最も高く、次いで「やや不満」が19.0%、「大変満足」が13.4%となっています。

精神障害者では「やや満足」が48.5%と最も高く、次いで「やや不満」が19.3%、「大変満足」が12.6%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果
(④子ども)

第4章

調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

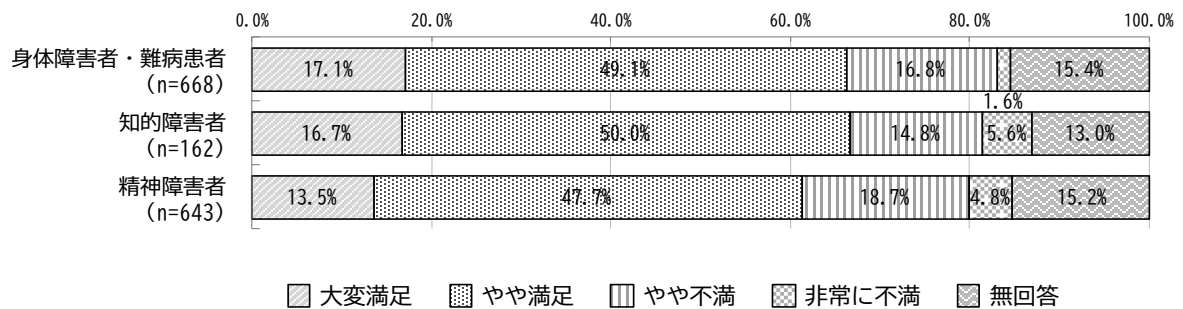
令和4年度調査結果との比較

令和4年度から令和7年度の中央区の施策・サービスの満足度の調査結果を比較すると、傾向に大きな変化はありません。

身体障害者・難病患者では「やや満足」が49.1%から48.2%と0.9ポイント低く、「大変満足」が17.1%から15.8%と1.3ポイント低く、「やや不満」が16.8%から15.1%と1.7ポイント低くなっています。

知的障害者では「やや満足」が50.0%から41.3%と8.7ポイント低く、「大変満足」が16.7%から13.4%と3.3ポイント低く、「やや不満」が14.8%から19.0%と4.2ポイント高くなっています。

精神障害者では「やや満足」が47.7%から48.5%と0.8ポイント高く、「やや不満」が18.7%から19.3%と0.6ポイント高く、「大変満足」が13.5%から12.6%と0.9ポイント低くなっています。



問 あなたにとって、区の障害者施策に限らず中央区での暮らしはいかがですか。

<身体障害者・難病患者 問38>

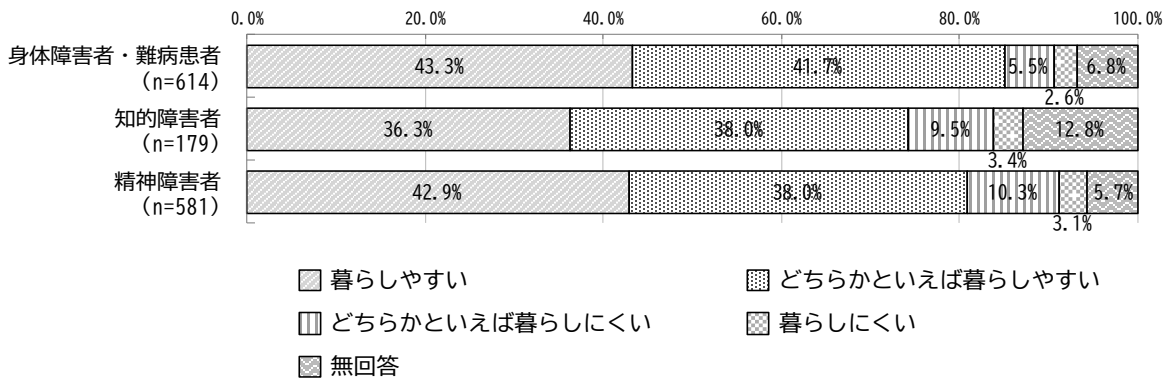
<知的障害者 問38>

<精神障害者 問38>

中央区の暮らしやすさについて、身体障害者・難病患者では「暮らしやすい」が43.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば暮らしやすい」が41.7%、「どちらかといえば暮らしにくい」が5.5%となっています。

知的障害者では「どちらかといえば暮らしやすい」が38.0%と最も高く、次いで「暮らしやすい」が36.3%、「どちらかといえば暮らしにくい」が9.5%となっています。

精神障害者では「暮らしやすい」が42.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば暮らしやすい」が38.0%、「どちらかといえば暮らしにくい」が10.3%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果

- (④子ども)

第4章

調査結果

- (⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

問 中央区（行政）への意見・要望などがありましたら、自由にご記入ください。

<身体障害者・難病患者 問39>

中央区（行政）への意見・要望について、「住まい・地域」「お礼・謝意」が 30 件と最も多く、次いで「経済状況・経済的な支援」が 16 件、「障害福祉サービス」が 15 件、「社会参加・文化余暇活動」「その他」が 13 件となっています。

項目	件数	項目	件数
住まい・地域	30	将来の不安	5
日常生活の支援	2	家族への支援	0
就労	1	関連分野の連携	0
経済状況・経済的な支援	16	認定・手続きなど	8
社会参加・文化余暇活動	13	子どもへの支援	4
リハビリ・医療	3	切れ目のない支援	0
障害福祉サービス	15	感染症の影響	0
情報	4	その他	13
相談・支援・制度	4	アンケート	9
権利擁護	0	区・区職員の対応	9
障害への理解・配慮	10	お礼・謝意	30
災害時の対策	7	特になし	5
サービスの満足度	0	合計：188 件	

○住まい・地域

- ・区営マンション等は、一人暮らしでも応募可にしてほしい。あるいは家賃補助、タクシー券はいらないので。
- ・特養等にお世話になることになった時に、配偶者と別々に生活することになるのはとても、悲しいことのように思っています。介護状態にもよりますが、家族単位で生活できるか、同建物で生活できるか、これからの選択肢に、大きく関わってくると考えています。
- ・中央区に住みつづけたいが、賃料も上がり、苦くなってきている。住宅関係の施策について検討してほしい。
- ・晴海地区は金融機関の A T M がほとんどない。飲食店、服飾店が極めて乏しい。

○経済状況・経済的な支援

- ・難病患者福祉手当が所得超過で消滅してしまいました。年間 30 万以上もの医療費がかかっているため手当の支給が必要です。毎年数千円で所得にひっかかってしまうため、残念で仕方ありません。所得制限基準額をもう少し上げて頂きたいです。ぜひ、よろしく願いいたします。

- ・病院の通院回数が多いため、福祉タクシー券の利用金額を上げて欲しい。

○社会参加・文化余暇活動

- ・江戸バスで区役所に行くのに時間がかかります。晴海3丁目からだと豊海を大まわりします。早く行けるような路線を追加していただけないか。
- ・健康上の理由で電子貸出を使っているが、本が少なく、またシステムも変わりやすく利用価値が少ないと不満に感じています。
- ・東京BRTも、都営バス等と同様に無料化するよう働きかけをしてもらいたい。
- ・八丁堀駅にホームまで行けるエレベーターがない。新富町駅のエレベーターも1か所だけで、湊方面まで行くのが大変です。

○リハビリ・医療

- ・福祉センターによる機能訓練もっとバージョンアップしてほしい。

○障害福祉サービス

- ・ヘルパーを探してください。
- ・失語症や高次能機能障害への理解と手助けになるようなシステムがほとんどないと感じています。

○障害への理解・配慮

- ・見た目は健常人なので、保育園・学校などの親参加イベントで困ったことが何回かある。

○災害時の対策

- ・防災拠点運営委員会の備蓄品に関する業務に携わりたい。町会に入会していない者でも、防災拠点運営委員会委員になれるように防災拠点運営委員会に対し、指導して下さい。
- ・災害時、手話通訳確保はなかなか難しい点はあると思うが、筆談など、事前にあらゆる想定をしてほしい。

○将来の不安

- ・行政として終活事業を展開してほしい。（早急に）個人だとどういった団体が信頼性があり、将来的にも破綻しないか等、見極めが難しく、又、金銭的にも負担が大きい。誰でも安心して死ぬよう、中央区（行政）の課の1つとして立ち上げ、講座などを開催し、公務として終活事業を行ってもらえればどんなにか安心で、生き方もより積極的になれるのではないかと思う。

○認定・手続きなど

- ・更生医療を受給しています。数年前から、7月からの1年分を6月末に郵送されてくるのですが、7月すぐの病院受診だと届くのか心配で、毎回問い合わせをしている状態です。更生医療の更新手続き時に、おおよそで良いので、いつ頃郵送されるのか、また、いつまでに郵送されていない場合は、問い合わせした方が良いのかを教えて（記載）頂けると非常に助かります。

○子どもへの支援

- ・様々な障害状態がある中で、その一人ひとりのニーズ、ウォンツも十人十色。

健常、障害無関係に、相手の立場に立った言動が自然に出来る様な教育に注力して頂きたい。お互いに相手の気持ちを尊重し合う意識の醸成を図る啓蒙活動を盛んに実行くださると幸いです。

○その他

- ・民間のクリニックで区の検診を受けた際、（障害があつて）時間がかかるため、別の病院で受けて下さいと言われた。
- ・私は難病です。この様なアンケートによって、現在の暮らしの中で困ってどんな所に相談したらよいか、このアンケートを通してわかってきたので、良かったと思います。

○アンケート

- ・この調査の回答方法をWebにしてほしいです。足が不自由なため、タイミングよくポストに投函できかねます。

○区・区職員の対応

- ・行政として〈おとしより相談センター〉などへ、足を運ばせる工夫が必要です。

<知的障害者 問39>

中央区（行政）への意見・要望について、「障害福祉サービス」が18件と最も多く、次いで「住まい・地域」が9件、「社会参加・文化余暇活動」「相談・支援・制度」が5件となっています。

項目	件数
住まい・地域	9
日常生活の支援	0
就労	1
経済状況・経済的な支援	4
社会参加・文化余暇活動	5
リハビリ・医療	0
障害福祉サービス	18
情報	3
相談・支援・制度	5
権利擁護	0
障害への理解・配慮	2
災害時の対策	0
サービスの満足度	0

項目	件数
将来の不安	2
家族への支援	0
関連分野の連携	1
認定・手続きなど	2
子どもへの支援	0
切れ目のない支援	0
感染症の影響	0
その他	3
アンケート	3
区・区職員の対応	2
お礼・謝意	4
特になし	6
合計：70件	

○住まい・地域

- ・中央区のマンションやアパートが高く感じる。これでは将来、中央区で一人暮らししたい人にとって困るので改善してほしいです。
- ・障害者の入所施設やグループホームももっとたくさん設置（誘地）してほしい。
- ・中央区は20万人都市となるが、福祉施設特に入所施設が少ない。

○経済状況・経済的な支援

- ・現在、医療費3割負担ですが、将来的に支払い続けられそうにありません。
- ・都の医療費助成（障）は愛の手帳3度は対象外です。医療費の経済的負担は大きく、障害年金と作業所の工賃だけでは厳しいです。区独自の助成などができないでしょうか。

○社会参加・文化余暇活動

- ・中央区のポケット中央にも参加しましたが障害の程度の良し悪しにかかわらず、一緒なので自分勝手な行動をされる方もいて2～3回出席してやめました。中央区の中に、もう少し軽い障害者が話し合える交流の場を設けてもらえないでしょうか？お願いいたします。
- ・バスの本数が少ない。

○障害福祉サービス

- ・コスト的にきびしいのは理解出来るが、これだけタワマンも作っているので作るのであれば一定の福祉施設を作るよう条例も作るべきだと思います。
- ・新しくきれいな短期入所、日中一時あずかりの場所を新設して欲しい。
- ・目に見えて分かる障害者に対するの支援や、手当などは充実しているかと思われるが、目に見えない障害、知的障害でも、軽度と判定されている障害者は軽く思われていて、手当も少ないし、支援も充分ではないと思います。
- ・障害者は家族の近くで生活できるように、施設を増やしてほしい。
- ・レインボーの利用（短期入所）がもう少し気軽に利用できたらと思います。利用時間が短かく負担が軽減されません。

○情報

- ・親亡き後、障害者が独りで死ぬまで生き続けるには、親は何の手続きをし、何を残せばよいのか、生きていくうちにすべきことを教えて欲しいです。

○相談・支援・制度

- ・福祉センターの民営化。中央区の福祉は新しいことをやりたがらない感じがします。
- ・支援の方法などが少し古い感じがします。定期的にアップデートしていただきたいです。

○将来の不安

- ・専門スタッフが足りていないと伺っています。スタッフの給与面など充実させる必要があるのではないのでしょうか。施設が全く足りていませんので将来が不安です。

<精神障害者 問39>

中央区（行政）への意見・要望について、「住まい・地域」が33件と最も多く、次いで「経済状況・経済的な支援」が26件、「お礼・謝意」が23件、「アンケート」「区・区の職員の対応」が17件、「情報」が16件、「認定・手続きなど」が15件となっています。

項目	件数	項目	件数
住まい・地域	33	将来の不安	5
日常生活の支援	2	家族への支援	3
就労	10	関連分野の連携	1
経済状況・経済的な支援	26	認定・手続きなど	15
社会参加・文化余暇活動	6	子どもへの支援	6
リハビリ・医療	8	切れ目のない支援	0
障害福祉サービス	6	感染症の影響	0
情報	16	その他	6
相談・支援・制度	12	アンケート	17
権利擁護	2	区・区職員の対応	17
障害への理解・配慮	8	お礼・謝意	23
災害時の対策	3	特になし	7
サービスの満足度	2	合計：234件	

○住まい・地域

- ・晴海区民センターへのアクセスが不便（帰りはコミュニティバスで自宅近くまで帰れるが、行きは適当な公共交通機関がない）。
- ・現在家族と同居しています。いきなり、一人暮らしは不安なので、まずは、障害のある人たちが住んでいるグループホームで、支援を受けながら、一人暮らしの練習をしようと考えています。
- ・昨今の家賃の高騰により、生活が圧迫されている。単身向けの区立住宅の設立等、今後も中央区で暮らせるような施策をとってほしい。
- ・歩道に座れるスペース（ベンチ）を設置してほしい。

○就労

- ・自立支援の手続きの際に、障害者雇用やA・B事業所などの存在を広く周知して頂きたいです。
- ・就労継続支援事業所A型や障害者枠雇用を増やしてほしい。又、就労継続支援事業所B型の工賃を上げて頂きたい。

○経済状況・経済的な支援

- ・複数の障害を併せもっている。それによって、健康の維持が大変むずかしいが、等級は変わらないので、結局、支援は限られている。

○社会参加・文化余暇活動

- ・ポケット中央に行ったことがあります。自宅からは遠すぎて、日常的に通うのは無理がありました。もう少し街中のあちこちにカフェのような集まりやすい所があれば行ってみたいと思っています。
- ・精神疾患で休職した社会人が復職した後の情報交換の場がほしいです。
- ・ポケット中央には年齢の上の方が多く、中々会話ができない。相談員の方は、親切で話を聞いてくれるが、施設内でやれることが少なく、中々利用できていない。
- ・中央区には精神障害の者が、使える施設が少ない。

○情報

- ・今回この調査票を受けとりアンケート項目を見て、初めてそのような事業がある事を知った（日中一時支援等）。自立支援の申請時にくらいは区役所側から色々案内して欲しいと思う。
- ・ポケット中央や自立支援なども（金銭援助）ずっと知らずに、3割負担で支払っていた時期があったので、クリニックや病院などのポスターや先生からの指導などで教えてほしかったです。

○相談・支援・制度

- ・家族としては相談に乗っていただける場。
- ・若年性認知症に対する、支援が足りません。
- ・相談窓口（場所含む）を一元管理して欲しい。来訪など今の時代にそぐわない。オンライン、24時間体制。

○権利擁護

- ・親亡き後に一人で生活していけるかが不安です。将来は後見制度を利用したいと思っています。法人後見について学べる機会があればと思います。

○障害への理解・配慮

- ・てんかんなど突発的に倒れる可能性のある人にも、安心できる支援体制や、周囲の方への理解を進めていただけたらと思います。

○将来の不安

- ・現在は会社勤めをしているので、収入は安定しているが、職を失ったり、定年退職後継続して住めるか不安に思っている。

○家族への支援

- ・私の母親は40代頃から特に精神的に不安定になっており、今思えば統合失調症かと思います。幼少～社会人になるまでとても辛い思いしてきました。小学生、中学生などでも母の治療について相談できる場があったら良かったなと思います。
- ・現在親の介護や財産管理をめぐって悩んでいます。障害者と高齢者のみの世帯や、ダブルケア、トリプルケアのケアラーさん、区内在住の障害者を区外の家族等が時々手伝いや見守りにきている場合等、多様な状況の方が生きやすくな

ることを願っています。

○認定・手続きなど

- ・ 医師に書類を書いていただく時に支払う金額が高いと思います。書類代が無料で済めば大変助かります。
- ・ 障害があるので自由に行動するのが難しいので、Web化などしんどい人がもう少しスムーズに手続きできるシステムが構築されると良いなと思います。
- ・ 自立支援医療（精神通院）の更新をネットでできるようにしてほしいです。

○子どもへの支援

- ・ 発達障害児の小学生向けのショートステイの充実。
- ・ パニックの発作が出た時、子どもがまだ3才と小さいので、自分が元にもどるまでの間子どものことを見てくれる人はどうすればよいのか、いつも不安です。

第1章

調査概要

第2章

調査結果

- (①身体障害者
・ 難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章

調査結果

- (④子ども)

第4章

調査結果

- (⑤障害福祉
サービス
事業所)

資料編

第 1 章
調査概要

第 2 章
調査結果
(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第 3 章
調査結果
(④子ども)

第 4 章
調査結果
(⑤障害福祉
サービス
事業所)

資料編

第 3 章

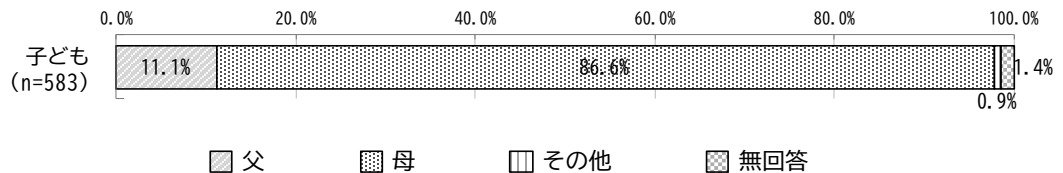
調査結果

④子ども

1 お子さんと家族の状況について

問1 この調査に回答される方（主たる養育者の方）はどなたですか。あて名のお子さん（以下、「お子さん」といいます。）からみた関係でお答えください。

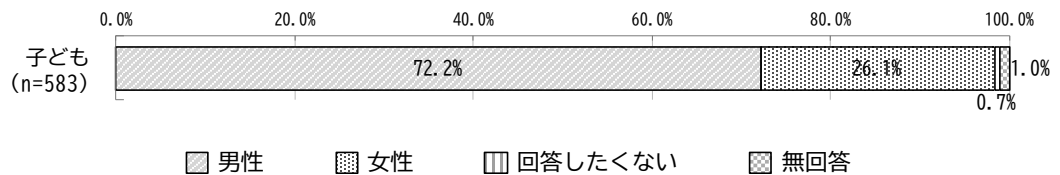
回答者（主たる養育者）について、「母」が 86.6%と最も高く、次いで「父」が 11.1%、「その他」が 0.9%となっています。



問2 お子さんの性別と令和7年4月1日現在の年齢を教えてください。

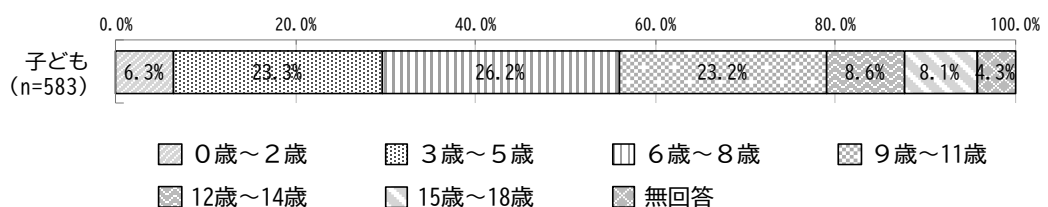
(1) 性別

お子さんの性別について、「男性」が 72.2%、「女性」が 26.1%、「回答したくない」が 0.7%となっています。



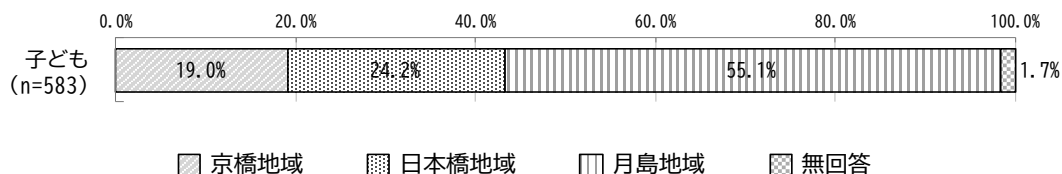
(2) 年齢

お子さんの年齢について、「6歳～8歳」が 26.2%と最も高く、次いで「3歳～5歳」が 23.3%、「9歳～11歳」が 23.2%となっています。



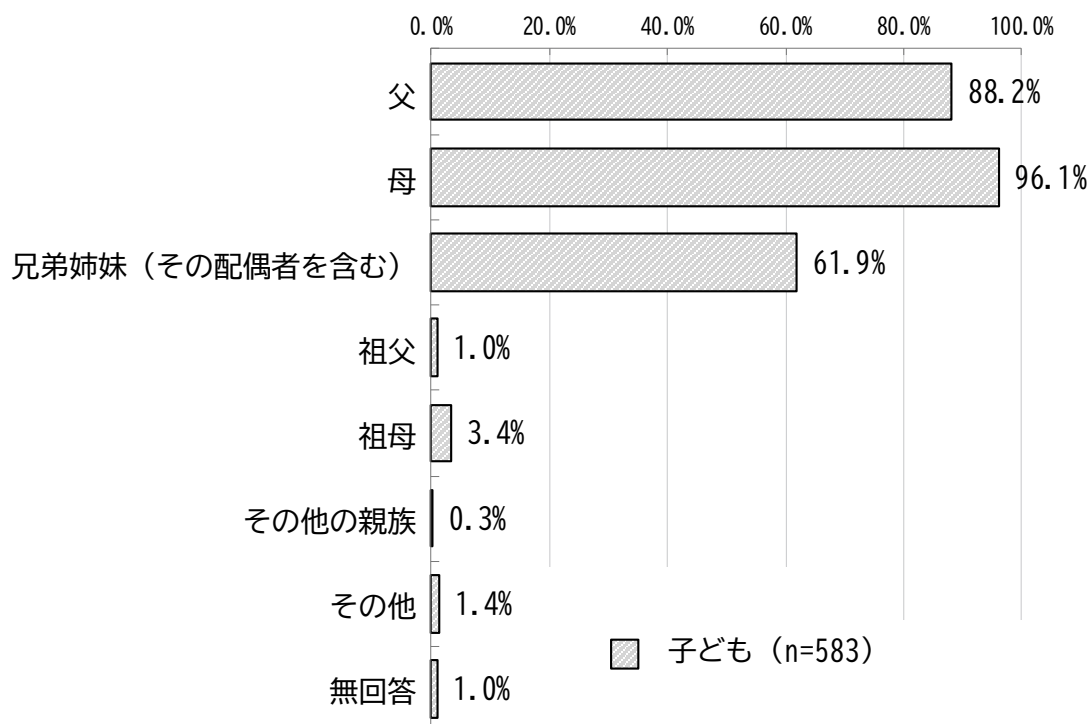
問3 お子さんが、現在、住んでいる地域はどこですか。

居住地域について、「月島地域」が 55.1%と最も高く、次いで「日本橋地域」が 24.2%、「京橋地域」が 19.0%となっています。



問4 現在、お子さんと同居している方はどなたですか。お子さんからみた関係をお答えください。

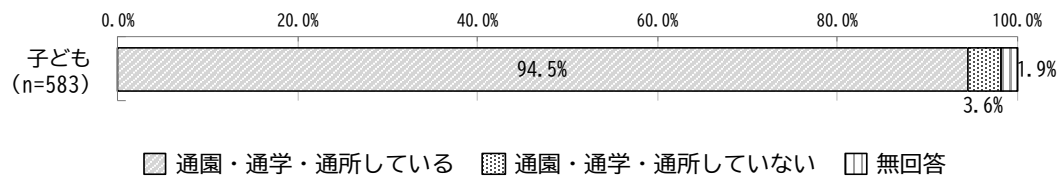
世帯状況について、「母」が 96.1%と最も高く、次いで「父」が 88.2%、「兄弟姉妹（その配偶者を含む）」が 61.9%となっています。



2 通園・通学の状況について

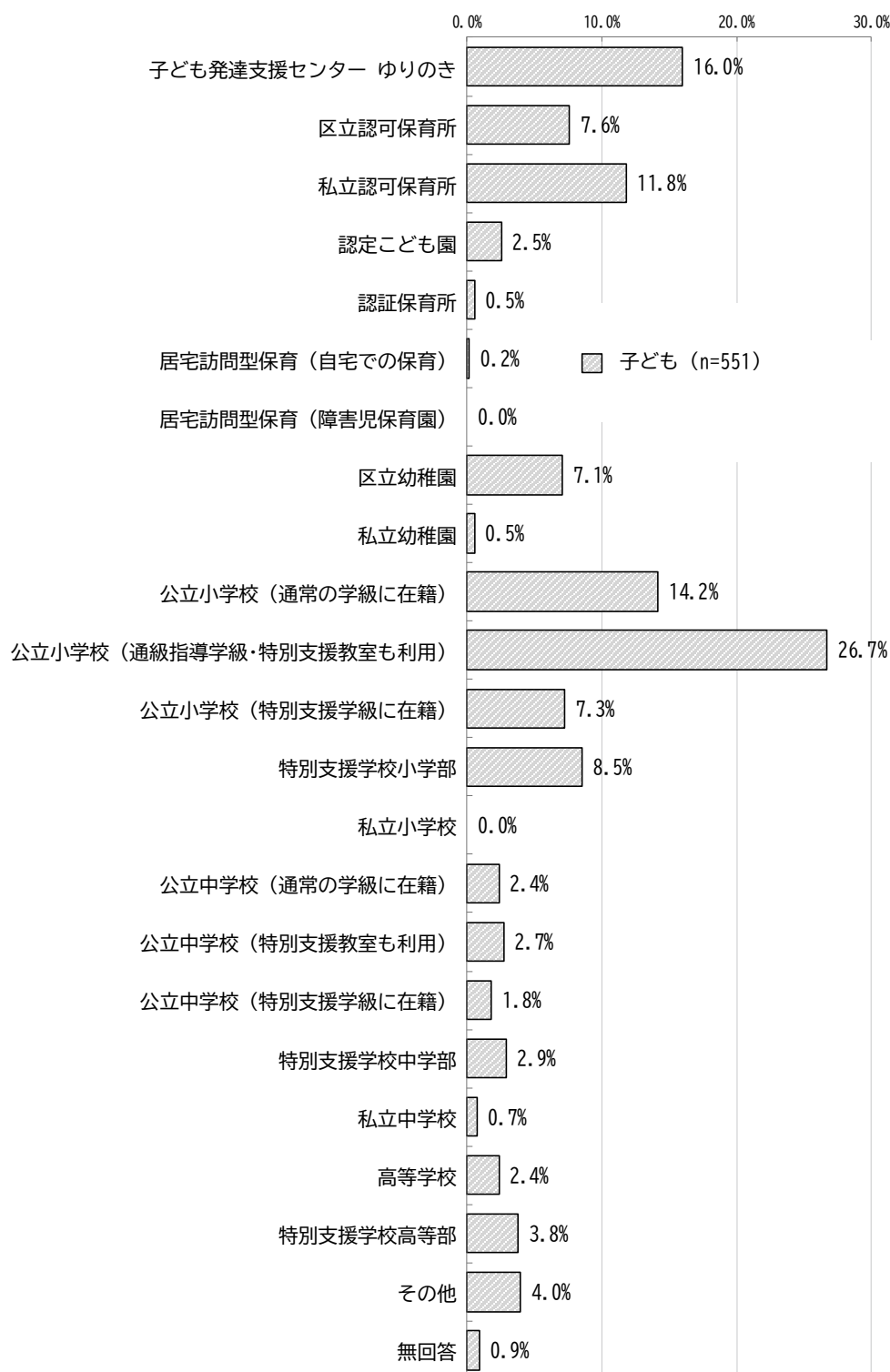
問5 お子さんは現在、保育所・幼稚園や学校などに通園・通学・通所していますか。

通園・通学・通所をしているかについて、「通園・通学・通所している」が94.5%、「通園・通学・通所していない」が3.6%となっています。



問5-1 お子さんが現在、通園・通学・通所しているのはどこですか。

通園・通学・通所先について、「公立小学校（通級指導学級・特別支援教室も利用）」が26.7%と最も高く、次いで「子ども発達支援センターゆりのき」が16.0%、「公立小学校（通常の学級に在籍）」が14.2%となっています。



クロス集計結果

日常的に必要なとしている医療的ケアとして、最も多い「経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）」と回答した方の通園・通学・通所先は「特別支援学校小学部」の人数・割合が高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問5-1 通園・通学・通所先										
		子ども発達支援センター ゆりのき	区立認可保育所	私立認可保育所	認定こども園	認証保育所	居宅訪問型保育（自宅での保育）	居宅訪問型保育（障害児保育園）	区立幼稚園	私立幼稚園	公立小学校（通常の学級に在籍）	公立小学校（通級指導学級・特別支援教室も利用）
医療的ケアを必要としない	473 100.0%	84 17.8%	36 7.6%	62 13.1%	12 2.5%	3 0.6%	1 0.2%	0 0.0%	32 6.8%	3 0.6%	64 13.5%	125 26.4%
医療的ケアを必要としている（※）	33 100.0%	2 6.1%	3 9.1%	1 3.0%	2 6.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	4 12.1%	4 12.1%
人工呼吸器管理（常時）	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工呼吸器管理（夜間のみ）	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工呼吸器管理（その他）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
気管内挿管、気管切開	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
鼻咽頭エアウェイ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
酸素吸入	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
痰などの吸引	12 100.0%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ネブライザー	9 100.0%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%
経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
中心静脈カテーテル	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
皮下注射	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
血糖管理	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
継続する透析（腹膜灌流を含む）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
定期導尿（手技は自立）	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
定期導尿（手技は介助が必要）	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工肛門（手技は自立）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工肛門（手技は介助が必要）	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	2 22.2%

第1章
調査概要

第2章
調査結果
(①身体障害者・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

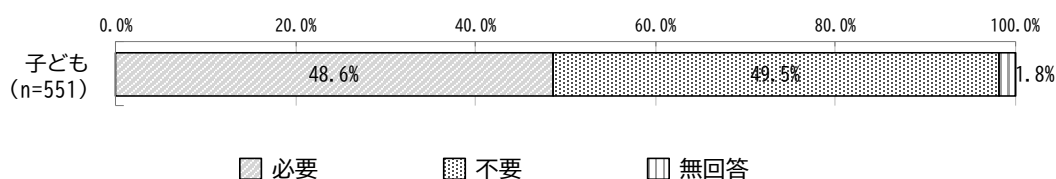
資料編

1段目 人 2段目 %	問5-1 通園・通学・通所先												
	公立小学校 (特別支援学級に在籍)	特別支援学校 小学部	私立小学校	公立中学校 (通常の学級に在籍)	公立中学校 (特別支援教室も利用)	公立中学校 (特別支援学級に在籍)	特別支援学校 中学部	私立中学校	高等学校	特別支援学校 高等部	その他	無回答	
医療的ケアを必要としていない	35 7.4%	32 6.8%	0 0.0%	10 2.1%	10 2.1%	10 2.1%	14 3.0%	4 0.8%	9 1.9%	17 3.6%	21 4.4%	12 2.5%	
医療的ケアを必要としている(※)	0 0.0%	11 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.1%	3 9.1%	2 6.1%	4 12.1%	
人工呼吸器管理(常時)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	
人工呼吸器管理(夜間のみ)	0 0.0%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	
人工呼吸器管理(その他)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
気管内挿管、気管切開	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	
鼻咽喉頭エアウェイ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
酸素吸入	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	
痰などの吸引	0 0.0%	6 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	3 25.0%	
ネブライザー	0 0.0%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	
経管栄養(経鼻・胃ろう・腸ろう含む)	0 0.0%	7 46.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	4 26.7%	
中心静脈カテーテル	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	
皮下注射	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
血糖管理	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	
継続する透析(腹膜灌流を含む)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
定期導尿(手技は自立)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	
定期導尿(手技は介助が必要)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	
人工肛門(手技は自立)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
人工肛門(手技は介助が必要)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	
その他	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	

※複数の医療的ケアを回答している方がいるため、「医療的ケアを必要としている」の回答数と「人工呼吸器管理(常時)」～「その他」の回答数の合計は一致しません。

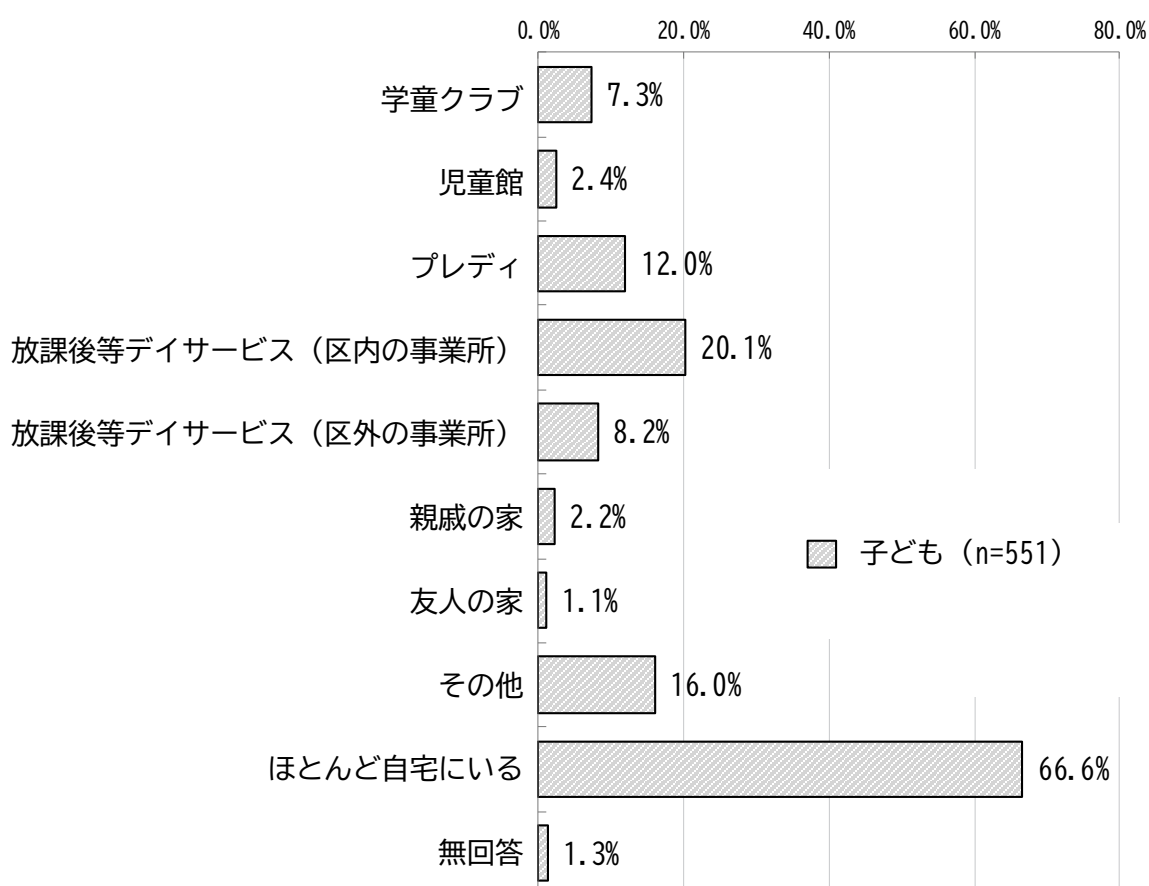
問5-2 お子さんは通園・通学・通所の際に付き添いが必要ですか。

通園・通学・通所先について、「必要」が48.6%、「不要」が49.5%となっています。



問5-3 お子さんは、保育所・幼稚園・学校などが終わった後にどこで過ごしていますか。

保育所・幼稚園・学校などが終わった後に過ごしている場所について、「ほとんど自宅にいる」が66.6%と最も高く、次いで「放課後等デイサービス（区内の事業所）」が20.1%、「その他」が16.0%となっています。



クロス集計結果

日常的に必要なとしている医療的ケアとして、回答が多い「経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）」や「痰などの吸引」が必要な方の保育所・幼稚園・学校などが終わった後に過ごしている場所は「放課後等デイサービス」の人数・割合が高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問5-3 保育所・幼稚園・学校などが終わった後に過ごしている場所										
		児童クラブ	児童館	プレイデイ	放課後等デイサービス (区内の事業所)	放課後等デイサービス (区外の事業所)	親戚の家	友人の家	その他	ほとんど自宅にいる	無回答	
医療的ケアを必要としていない	473 100.0%	34 7.2%	12 2.5%	57 12.1%	91 19.2%	33 7.0%	10 2.1%	4 0.8%	71 15.0%	312 66.0%	13 2.7%	
医療的ケアを必要としている(※)	33 100.0%	1 3.0%	1 3.0%	3 9.1%	13 39.4%	7 21.2%	0 0.0%	0 0.0%	6 18.2%	20 60.6%	5 15.2%	
人工呼吸器管理(常時)	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	
人工呼吸器管理(夜間のみ)	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	4 66.7%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	
人工呼吸器管理(その他)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
気管内挿管、気管切開	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	2 33.3%	
鼻咽頭エアウェイ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
酸素吸入	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	4 66.7%	
痰などの吸引	12 100.0%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	7 58.3%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 50.0%	3 25.0%	
ネブライザー	9 100.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	6 66.7%	1 11.1%	
経管栄養(経鼻・胃ろう・腸ろう含む)	15 100.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	8 53.3%	5 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	7 46.7%	4 26.7%	
中心静脈カテーテル	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	
皮下注射	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
血糖管理	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	
継続する透析(腹膜灌流を含む)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
定期導尿(手技は自立)	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	
定期導尿(手技は介助が必要)	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	
人工肛門(手技は自立)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
人工肛門(手技は介助が必要)	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	
その他	9 100.0%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	5 55.6%	1 11.1%	

※複数の医療的ケアを回答している方がいるため、「医療的ケアを必要としている」の回答数と「人工呼吸器管理(常時)」～「その他」の回答数の合計は一致しません。

第1章

調査概要

第2章

調査結果
(①身体障害者・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章

調査結果
(④子ども)

第4章

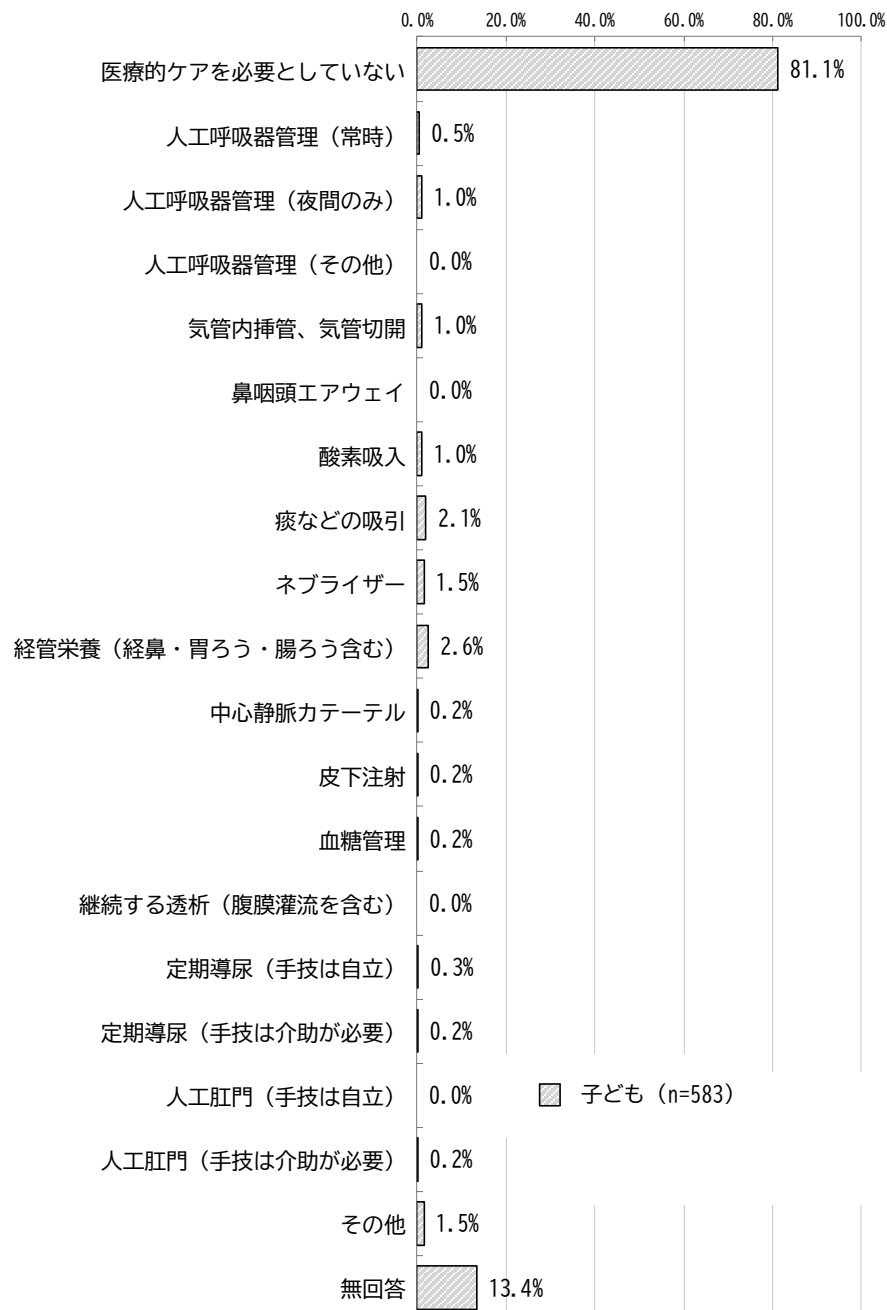
調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

3 サービスの利用状況について

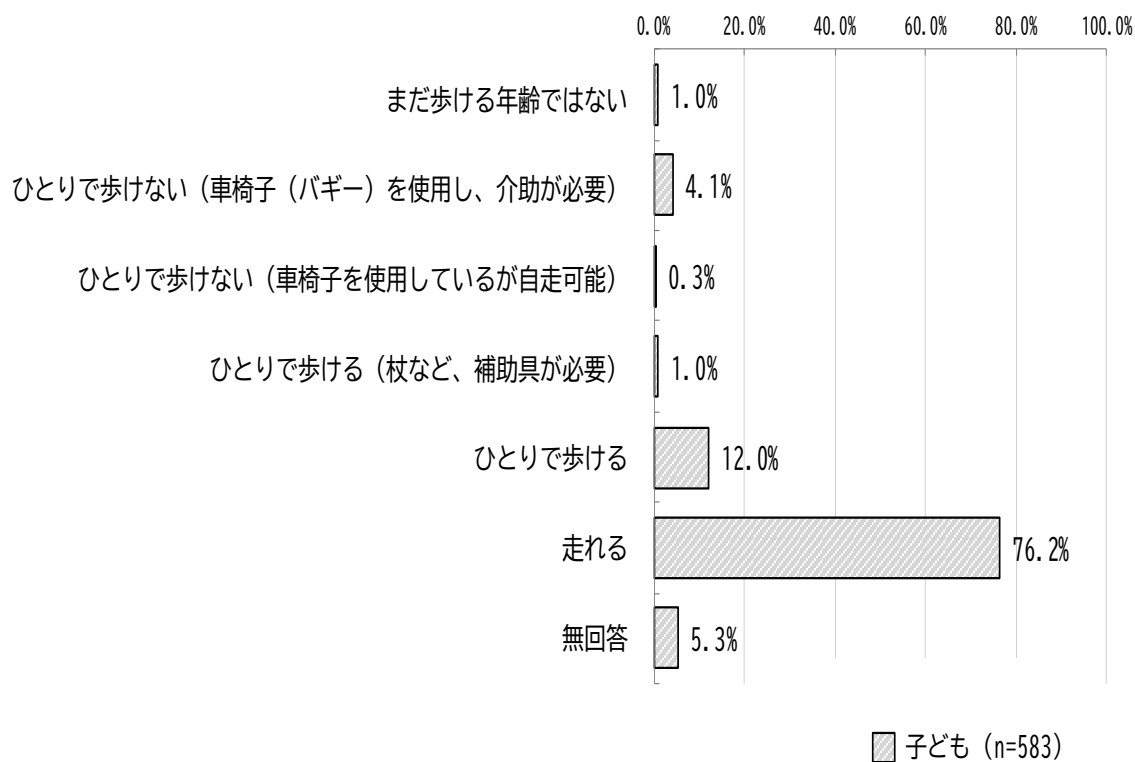
問6 お子さんは、日常的に医療的ケアを必要としていますか。

日常的に必要としている医療的ケアについて、「経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）」が2.6%、「痰などの吸引」が2.1%となっています。



問7 お子さんの移動能力は次のどれですか。

移動能力の程度について、「走れる」が76.2%と最も高く、次いで「ひとりで歩ける」が12.0%、「ひとりで歩けない（車椅子（バギー）を使用し、介助が必要）」が4.1%となっています。



クロス集計結果

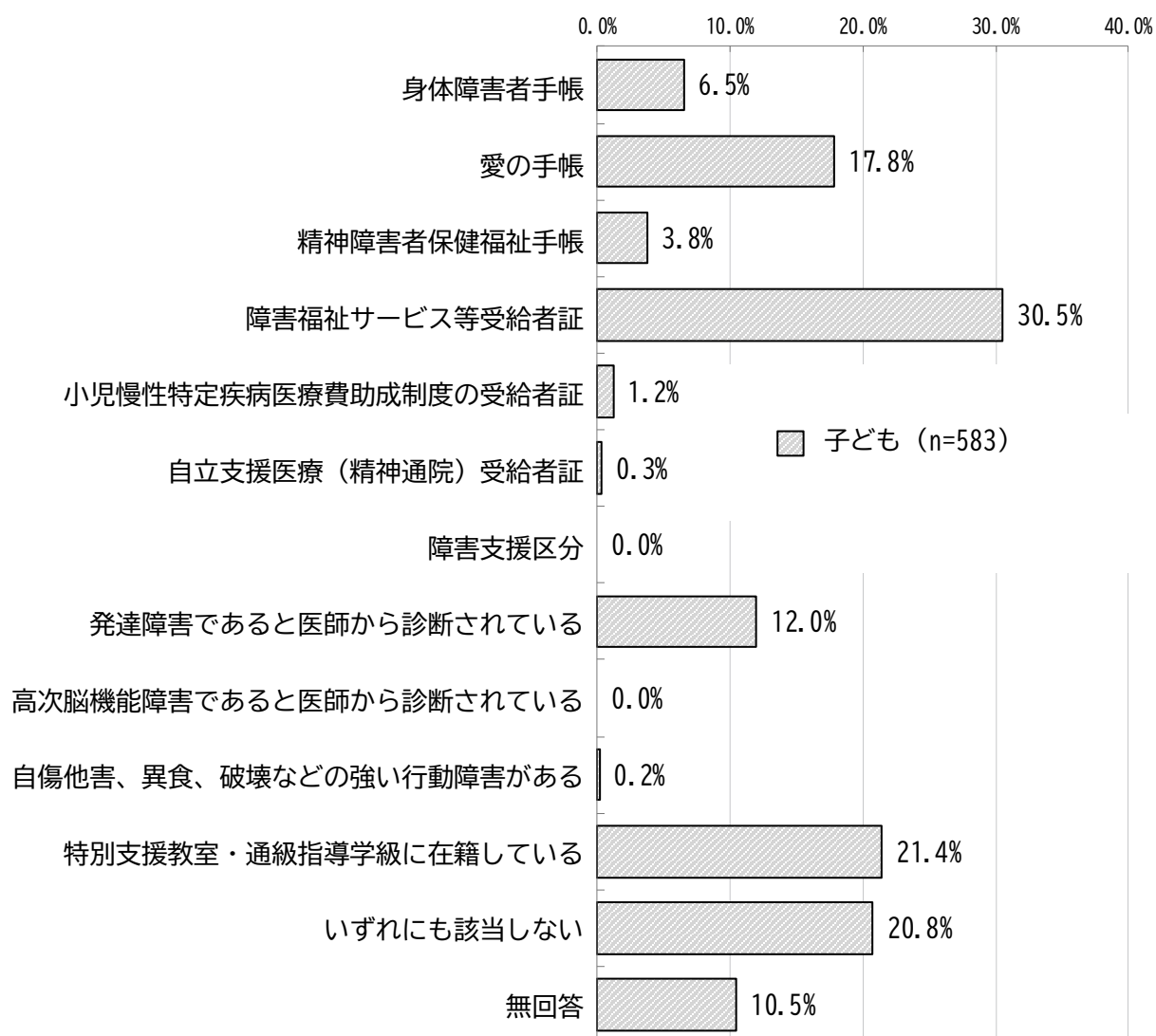
医療的ケアを必要としている人で「走れる」と回答した方が24.2%となっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問7 移動能力の程度						
		まだ歩ける年齢ではない	ひとり（ギ―）を使用し、介助が必要（バギー）	ひとり（ギ―）を使用しない（車椅子（パギー））	ひとり（ギ―）を使用しない（車椅子（パギー））	ひとり（ギ―）を使用しない（車椅子（パギー））	ひとり（ギ―）を使用しない（車椅子（パギー））	走れる
医療的ケアを必要としていない	473 100.0%	3 0.6%	9 1.9%	2 0.4%	5 1.1%	57 12.1%	386 81.6%	11 2.3%
医療的ケアを必要としている（※）	33 100.0%	3 9.1%	13 39.4%	0 0.0%	1 3.0%	7 21.2%	8 24.2%	1 3.0%
人工呼吸器管理（常時）	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工呼吸器管理（夜間のみ）	6 100.0%	1 16.7%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%
人工呼吸器管理（その他）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
気管内挿管、気管切開	6 100.0%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%
鼻咽頭エアウェイ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
酸素吸入	6 100.0%	2 33.3%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
痰などの吸引	12 100.0%	2 16.7%	8 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%
ネブライザー	9 100.0%	1 11.1%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%
経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）	15 100.0%	3 20.0%	10 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%
中心静脈カテーテル	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
皮下注射	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
血糖管理	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
継続する透析（腹膜灌流を含む）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
定期導尿（手技は自立）	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
定期導尿（手技は介助が必要）	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工肛門（手技は自立）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工肛門（手技は介助が必要）	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	9 100.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	3 33.3%	1 11.1%

※複数の医療的ケアを回答している方がいるため、「医療的ケアを必要としている」の回答数と「人工呼吸器管理（常時）」～「その他」の回答数の合計は一致しません。

問8 お子さんが持っている障害者手帳または医療受給者証などはどれですか。また、お持ちの手帳の障害の等級や程度の区分を選択してください。

持っている手帳・医療受給者証の種類について、「障害福祉サービス等受給者証」が30.5%と最も高く、次いで「特別支援教室・通級指導学級に在籍している」が21.4%、「いずれにも該当しない」が20.8%となっています。



クロス集計結果

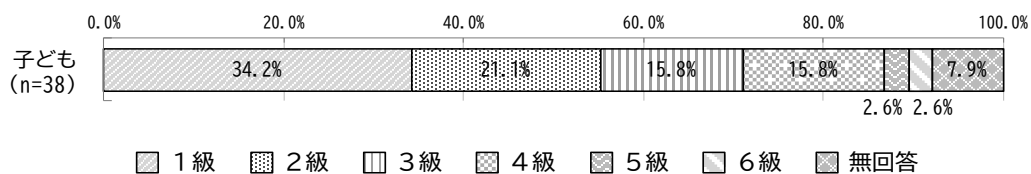
日常的に必要なとしている医療的ケアとして、回答が多い「経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）」や「痰などの吸引」が必要な方の持っている手帳・医療受給者証の種類は「身体障害者手帳」の人数・割合が高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問8 持っている手帳・医療受給者証の種類													
		身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	障害福祉サービス等受給者証	小児慢性特定疾病医療費助成制度の受給者証	自立支援医療（精神通院）受給者証	障害支援区分	発達障害であると医師から診断されている	から診断されていると医師	高次脳機能障害であると医師	強い行動障害がある	自傷他害、異食、破壊などの	特別支援教室・通級指導学級に在籍している	いずれにも該当しない
医療的ケアを必要としていない	473 100.0%	20 4.2%	80 16.9%	15 3.2%	158 33.4%	2 0.4%	1 0.2%	0 0.0%	62 13.1%	0 0.0%	1 0.2%	113 23.9%	102 21.6%	37 7.8%	
医療的ケアを必要としている（※）	33 100.0%	17 51.5%	8 24.2%	1 3.0%	6 18.2%	5 15.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.1%	1 3.0%	6 18.2%
人工呼吸器管理（常時）	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%
人工呼吸器管理（夜間のみ）	6 100.0%	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
人工呼吸器管理（その他）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
気管内挿管、気管切開	6 100.0%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%
鼻咽頭エアウェイ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
酸素吸入	6 100.0%	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%
痰などの吸引	12 100.0%	7 58.3%	1 8.3%	0 0.0%	3 25.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	4 33.3%
ネブライザー	9 100.0%	5 55.6%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%
経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）	15 100.0%	9 60.0%	3 20.0%	0 0.0%	2 13.3%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	3 20.0%
中心静脈カテーテル	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
皮下注射	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
血糖管理	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
継続する透析（腹膜灌流を含む）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
定期導尿（手技は自立）	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
定期導尿（手技は介助が必要）	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工肛門（手技は自立）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工肛門（手技は介助が必要）	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	9 100.0%	4 44.4%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%

※複数の医療的ケアを回答している方がいるため、「医療的ケアを必要としている」の回答数と「人工呼吸器管理（常時）」～「その他」の回答数の合計は一致しません。

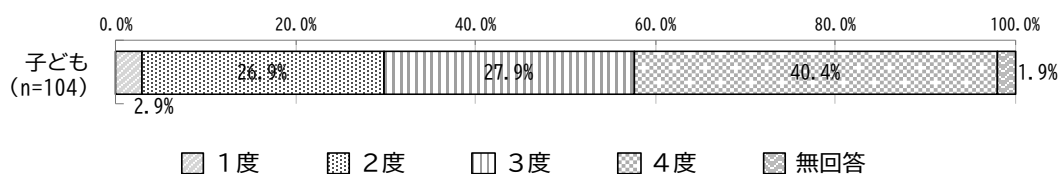
① 身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級について、「1級」が34.2%と最も高く、次いで「2級」が21.1%、「3級」、「4級」が15.8%となっています。



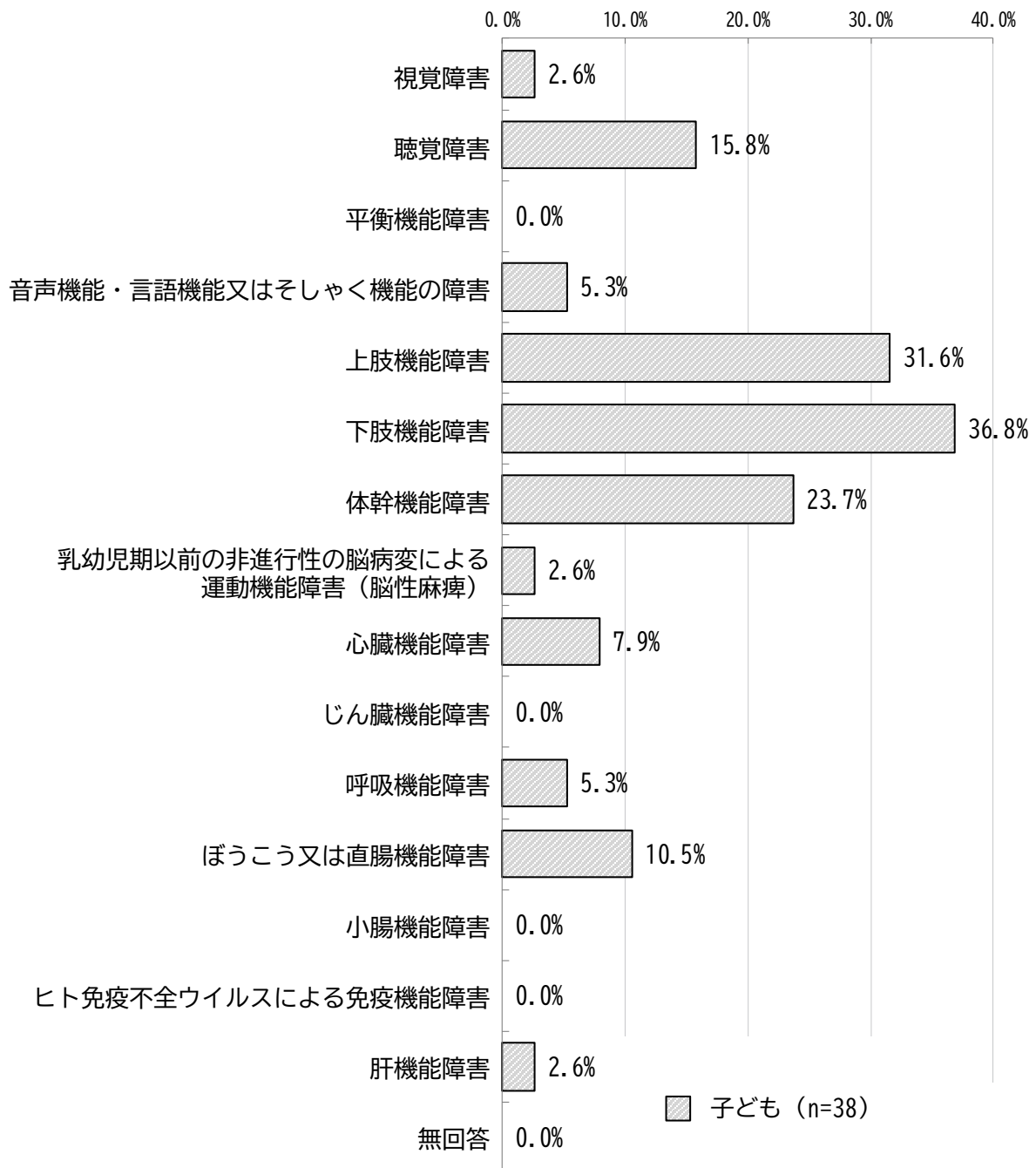
② 愛の手帳の等級

愛の手帳の等級について、「4度」が40.4%と最も高く、次いで「3度」が27.9%、「2度」が26.9%となっています。



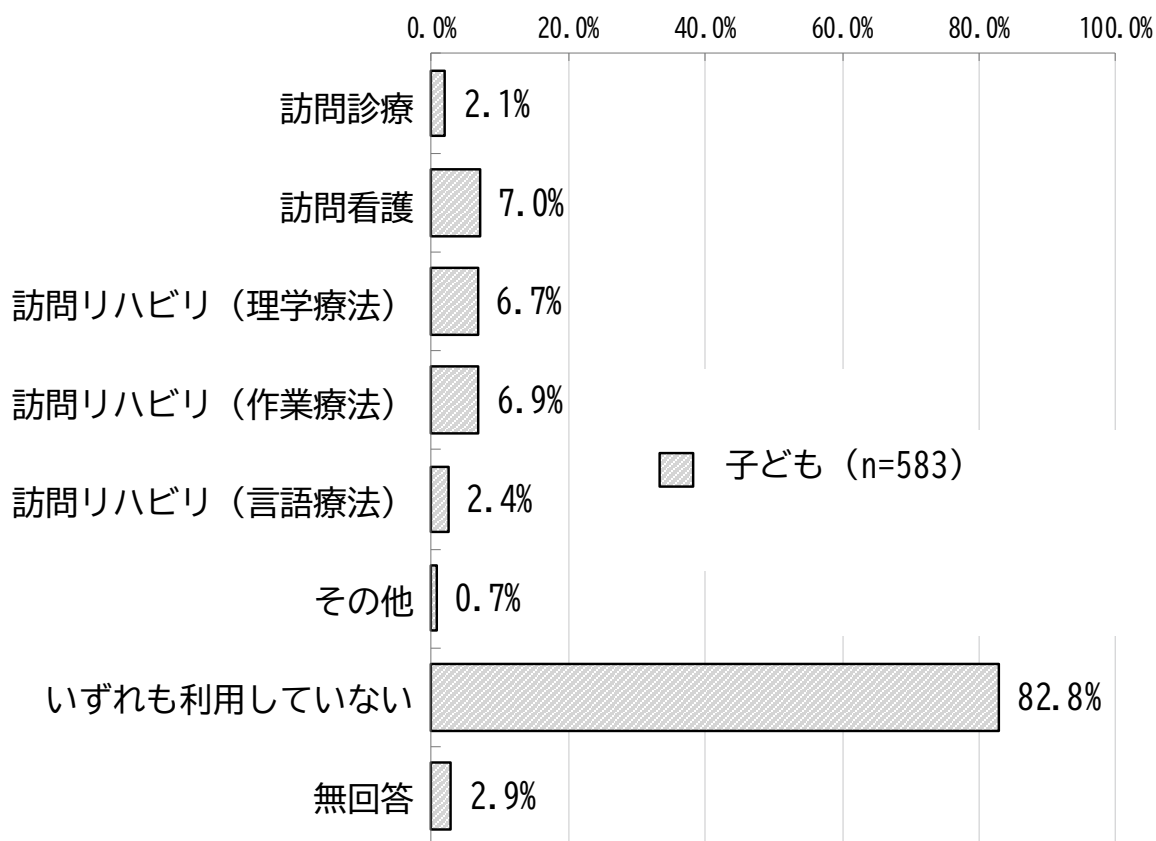
問8-1 お子さんの身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。あてはまる障害の番号を「1番目」の欄に記入してください。障害の種類が2つ以上記載されている場合は、記載の順番にしたがって、「1番目」と「2番目」を記入してください。

障害の種類について、「下肢機能障害」が36.8%と最も高く、次いで「上肢機能障害」が31.6%、「体幹機能障害」が23.7%となっています。



問9 お子さんは、医療保険制度による在宅サービスを使われていますか。

医療保険制度による在宅サービスの利用状況について、「いずれも利用していない」が82.8%と最も高く、次いで「訪問看護」が7.0%、「訪問リハビリ（作業療法）」が6.9%となっています。



クロス集計結果

日常的に必要なとしている医療的ケアとして、回答が多い「経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）」や「痰などの吸引」が必要な方の医療保険制度による在宅サービスの利用状況は「訪問看護」や「訪問リハビリ（理学療法）」の人数・割合が高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問9 医療保険制度による在宅サービスの利用状況							
		訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ（理学療法）	訪問リハビリ（作業療法）	訪問リハビリ（言語療法）	その他	いずれも利用していない	無回答
医療的ケアを必要としていない	473 100.0%	2 0.4%	20 4.2%	22 4.7%	27 5.7%	8 1.7%	1 0.2%	409 86.5%	7 1.5%
医療的ケアを必要としている（※）	33 100.0%	10 30.3%	19 57.6%	16 48.5%	10 30.3%	6 18.2%	3 9.1%	10 30.3%	0 0.0%
人工呼吸器管理（常時）	3 100.0%	2 66.7%	3 100.0%	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工呼吸器管理（夜間のみ）	6 100.0%	6 100.0%	6 100.0%	4 66.7%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
人工呼吸器管理（その他）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
気管内挿管、気管切開	6 100.0%	4 66.7%	5 83.3%	4 66.7%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%
鼻咽喉頭エアウェイ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
酸素吸入	6 100.0%	4 66.7%	6 100.0%	6 100.0%	4 66.7%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
痰などの吸引	12 100.0%	7 58.3%	11 91.7%	9 75.0%	5 41.7%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ネブライザー	9 100.0%	5 55.6%	7 77.8%	6 66.7%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%
経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）	15 100.0%	9 60.0%	13 86.7%	11 73.3%	6 40.0%	4 26.7%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
中心静脈カテーテル	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
皮下注射	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
血糖管理	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
継続する透析（腹膜灌流を含む）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
定期導尿（手技は自立）	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
定期導尿（手技は介助が必要）	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工肛門（手技は自立）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工肛門（手技は介助が必要）	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	9 100.0%	2 22.2%	4 44.4%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	5 55.6%	0 0.0%

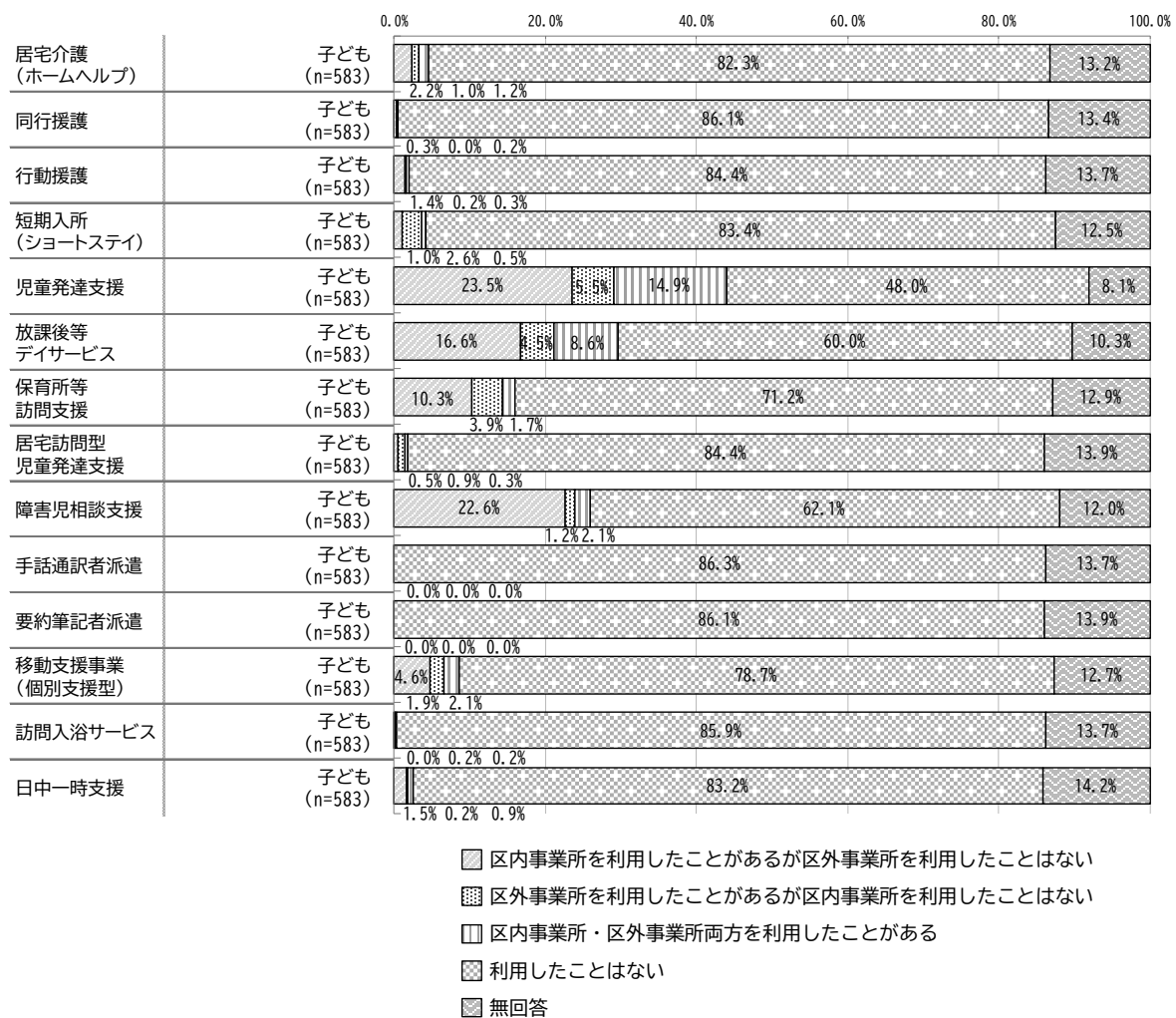
※複数の医療的ケアを回答している方がいるため、「医療的ケアを必要としている」の回答数と「人工呼吸器管理（常時）」～「その他」の回答数の合計は一致しません。

問10 (1) 令和6年4月以降、お子さんは、次の障害(児)福祉サービス、地域生活支援事業を利用したことがありますか。ア)～セ)の項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

(2) お子さんが利用したサービスについて、支給量は十分だと思いますか。ア)～セ)の項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

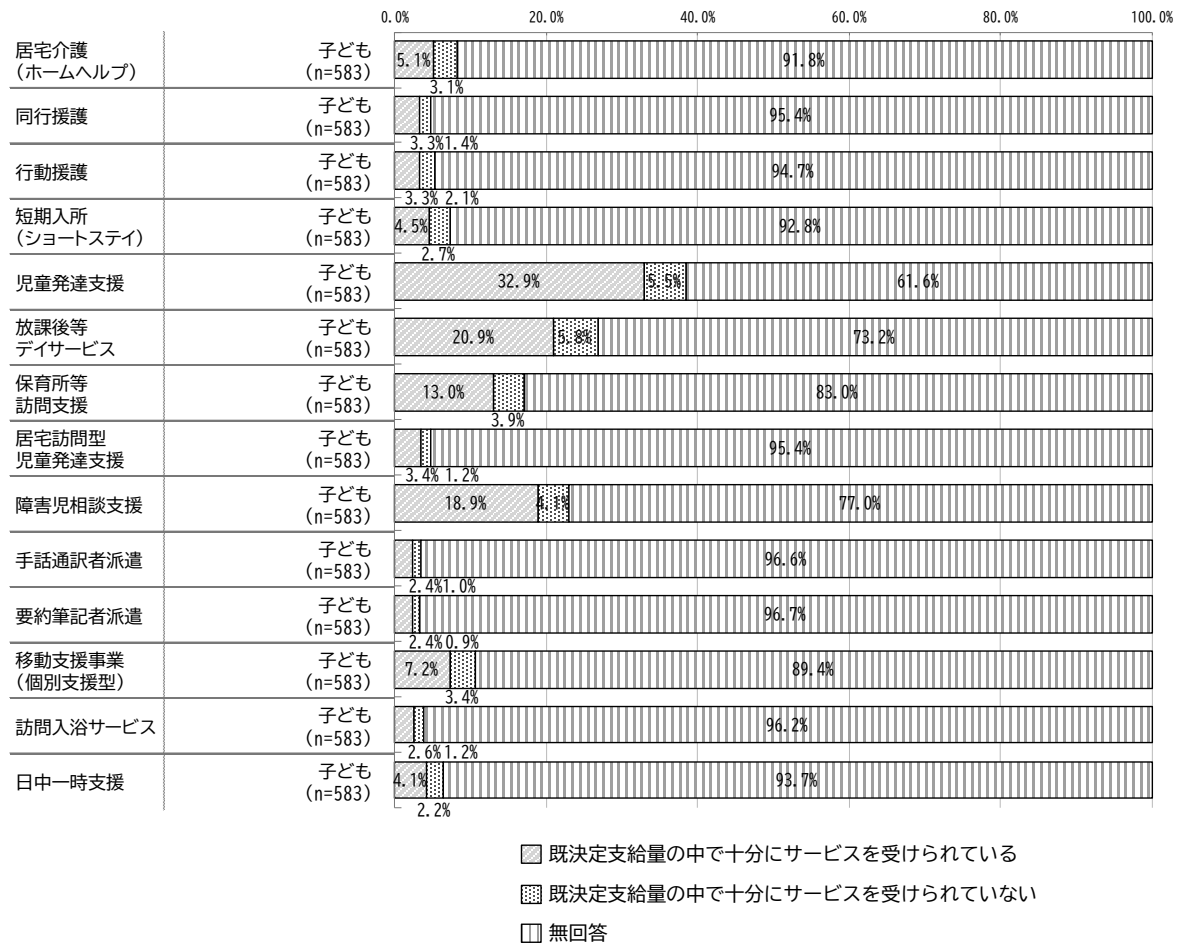
(1) 障害(児)福祉サービスの利用状況

障害(児)福祉サービスの利用状況について、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障害児相談支援、移動支援事業(個別支援型)において5.0%以上の人が利用しています。



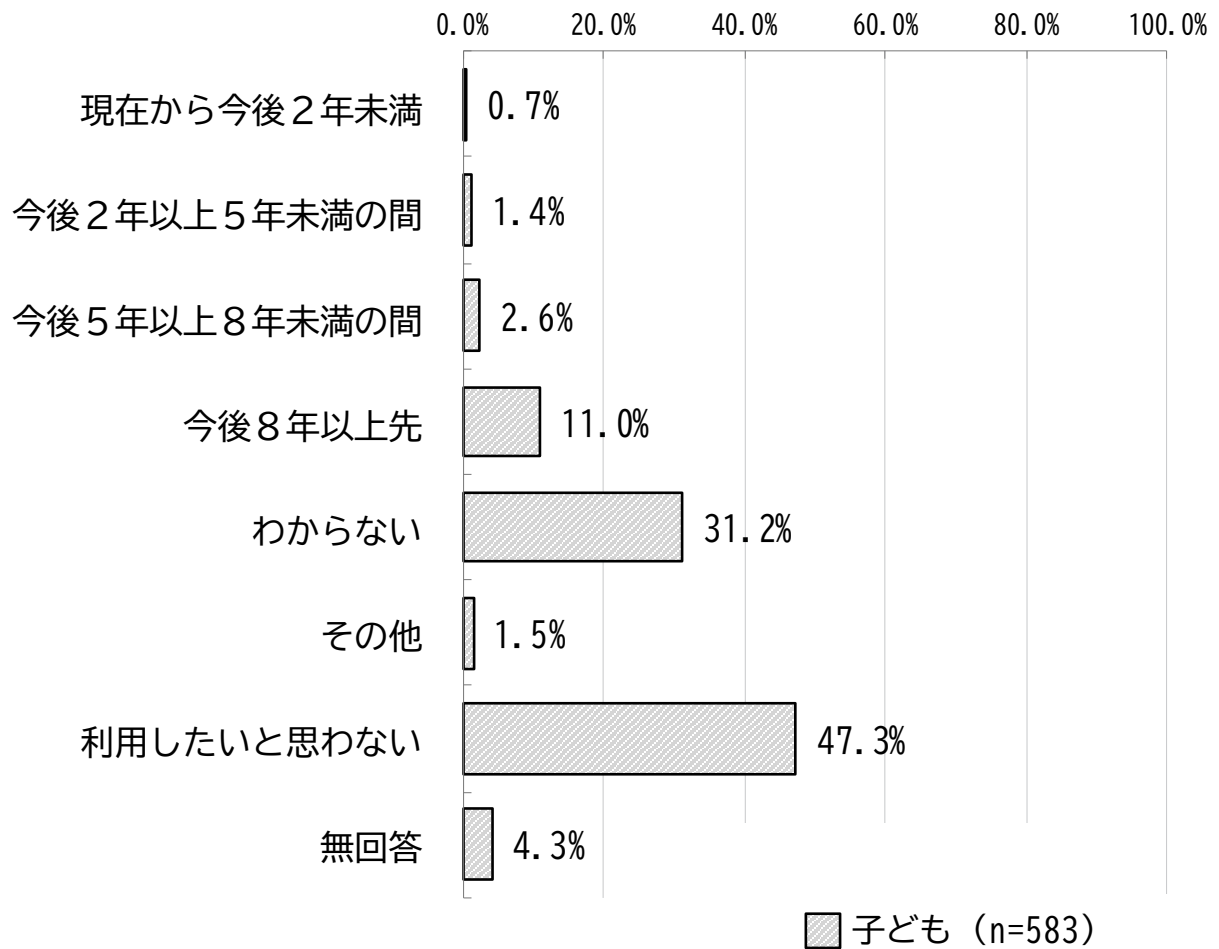
(2) 障害（児）福祉サービス支給量のニーズ充足度

障害（児）福祉サービス支給量のニーズ充足度について、いずれの障害（児）福祉サービスにおいても「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられていない」が「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられている」を下回っています。



問11 中央区では、地域で共同生活を営むことができる18歳以上の障害者等に対して、主に夜間に共同生活を営む住居において相談等の日常生活上の援助を行う、共同生活援助（グループホーム）を提供しています。共同生活援助（グループホーム）はいつから利用を開始したいですか。

グループホームの利用を開始したい時期について、「利用したいと思わない」が47.3%と最も高く、次いで「わからない」が31.2%、「今後8年以上先」が11.0%となっています。



問12 あなた（主たる養育者の方）が必要であると感じるサービスがありましたら、自由にご記入ください。

あなたが必要であると感じるサービスについて、「送迎支援・外出支援」が 65 件と最も多く、次いで「教育」が 53 件、「放課後等デイサービス」が 28 件、「住まい・入所施設等」が 19 件となっています。

項目	件数
送迎支援・外出支援	65
放課後等デイサービス	28
住まい・入所施設等	19
相談支援	15
緊急時対応	13

項目	件数
医療・介護	11
就労・日中活動	4
家事・育児支援	3
教育	53
合計：211 件	

○送迎支援・外出支援

- ・支援施設までの送迎。仕事の合間をぬって、送迎しているが、だんだん難しくなってきた。送迎してもらえれば、曜日関係なく通えるのにと感じる。また仕事の制限もしなくてすむのと思う。
- ・発達支援教室の時間が短かすぎるので、終日版があると助かります。現状では、短時間のために仕事を中断して送迎するなど、仕事先の理解がなければ通えない・通いづらいと感じます。
- ・保育園から療育先への送迎支援（未就学児）もしくは、療育先が送迎システムを構築してくれる支援をしてほしい（送迎付きの療育が中央区は少ない）。
- ・ベビーシッターの対象年齢を小学生まで拡充してもらいたいです。
- ・長期休暇中の放デイ後（16：30以降～19：00）のサービスが不足していて、就業が困難です。
- ・自宅の近くに児童発達支援や放課後等デイサービスがあるといいです。また送迎も対応してもらいたい。
- ・特別支援学校→ゆりのきの送迎便が週2回のため、送迎便について毎日にしてほしい。
- ・移動支援の事業所の拡大。晴海地域に事業所がなく困ってます。
- ・移動支援をになうヘルパーさんが全く見つからず、困っていた時期が続きました。ヘルパーさんが不足していると感じます。

○放課後等デイサービス

- ・晴海地区に放課後等デイサービスが無い。晴海フラッグに多くの住民が入ってきているので、新設、誘致してほしいです。
- ・肢体不自由児が通える放課後デイサービスが少ない、場所がせまい。

○住まい・入所施設等

- ・今はショートステイ先が必要。利用したい時に予約がとれない。そもそも利用できる施設が少なすぎる。
- ・高校出てすぐや、若い人でも入れて、近い年齢の方たちとすごせるグループホームが出来るとうれしいです。

○相談支援

- ・保護者が死亡した後一緒に生活する人がいなくなった時の相談窓口や、ケアマネージャーさんの手配サービスがあると心強いです。

○緊急時対応

- ・親の緊急入院等に緊急ショートステイができるとありがたいです。

○医療・介護

- ・重度訪問介護を利用したヘルパー（吸引の可能な）の夜間利用による保護者（介護者）の休息。
- ・学校後の夕方、夜間の訪問看護師さんを見つけるのが大変。

○就労・日中活動

- ・境界知能と発達障害の就労支援とその後のフォロー。

○教育

- ・学校にADHDの子へのサポートスタッフを配置する、ADHD児への支援学校や通常学校内で居場所を作るとりくみなど検討してほしい。
- ・全ての公立校に支援級があると良いです。現在は学区になく、サポートを受けるのみで不安はあります。
- ・情緒支援学級の設置。
- ・グレーゾーンの子どもに対する支援。
- ・公立小学校の教科の復習や予習、体育での個別指導（苦手なもの）、テスト対策、フリースクールを中央区に作って欲しい。

第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者
- ・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果

- (④子ども)

第4章

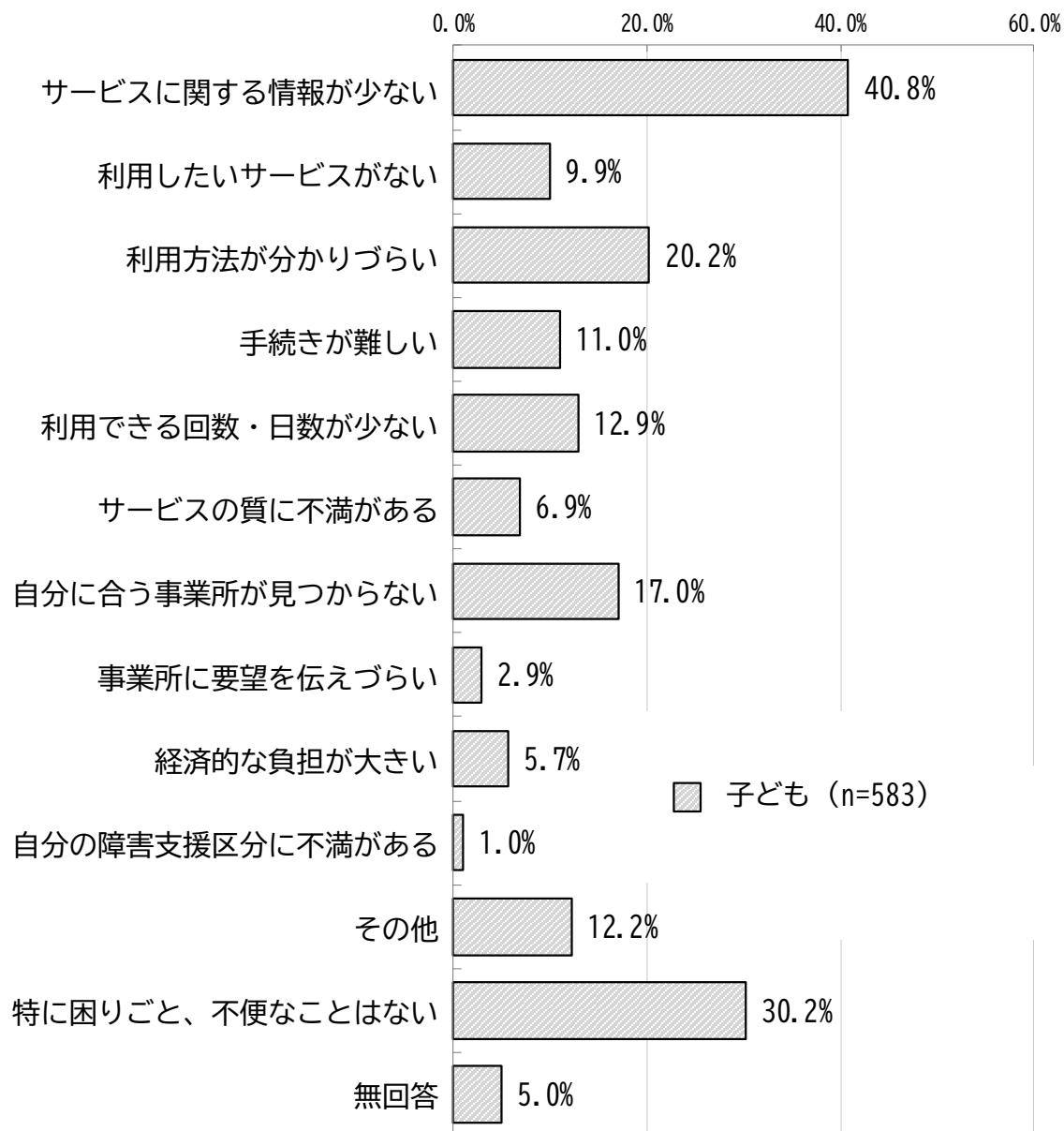
調査結果

- (⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

問13 サービスの利用で、困ったり、不便だと思うことはありますか。

サービス利用での困りごとについて、「サービスに関する情報が少ない」が40.8%と最も高く、次いで「特に困りごと、不便なことはない」が30.2%、「利用方法が分かりづらい」が20.2%となっています。



クロス集計結果

保育所・幼稚園・学校などが終わった後に過ごしている場所の中で、「ほとんど自宅にいる」以外で最も多い「放課後等デイサービス（区内の事業所）」では、サービスの困りごととして、「サービスに関する情報が少ない」や「自分に合う事業者が見つからない」が他と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問13 サービス利用での困りごと														
		サービスに関する情報が少ない	利用したいサービスがない	利用方法が分かりづらい	手続きが難しい	利用できる回数・日数が少ない	サービスの質に不満がある	自分に合う事業者が見つからない	事業所に要望を伝えづらい	経済的な負担が大きい	自分の障害支援区分に不満がある	その他	特に困りごと、不便なことはない			
へ子ども 問6) 日常的に必要としている 医療的ケア	医療的ケアを必要としていない	へ子ども 問5) 保育所・幼稚園・学校などが終わった後に過ごしている場所	学童クラブ	34	13	5	12	4	3	3	9	2	3	0	4	12
			児童館	12	3	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	7
			ブレディ	57	16	6	9	4	3	2	6	2	5	0	10	22
			放課後等デイサービス (区内の事業所)	91	40	7	25	14	24	9	26	4	6	1	14	19
			放課後等デイサービス (区外の事業所)	33	16	3	10	4	6	3	9	0	2	0	7	1
			親戚の家	10	4	0	5	2	2	0	1	0	1	0	0	3
			友人の家	4	3	0	3	0	0	0	1	0	1	0	1	1
			その他	71	29	5	16	3	10	2	11	2	5	1	8	23
			ほとんど自宅にいる	312	130	30	54	31	41	23	54	10	15	4	42	90
					100.0%	41.7%	9.6%	17.3%	9.9%	13.1%	7.4%	17.3%	3.2%	4.8%	1.3%	13.5%

第1章 調査概要

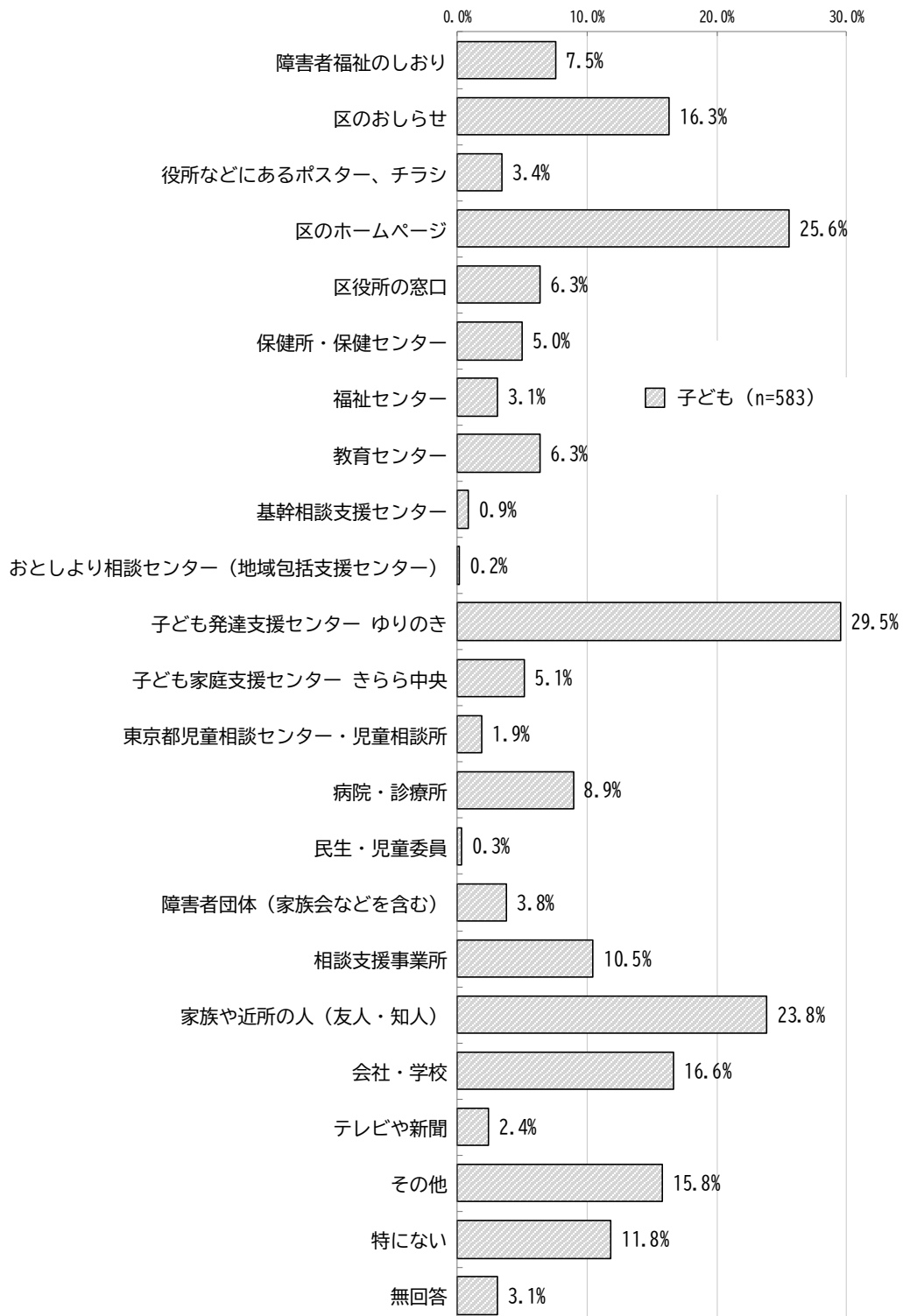
第2章 調査結果 (①身体障害者 ・難病患者 ②知的障害者 ③精神障害者)

第3章 調査結果 (④子ども)

第4章 調査結果 (⑤障害福祉 サービス 事業所)

問14 あなた（主たる養育者の方）は、どこから福祉サービスなどの情報を得ていますか。

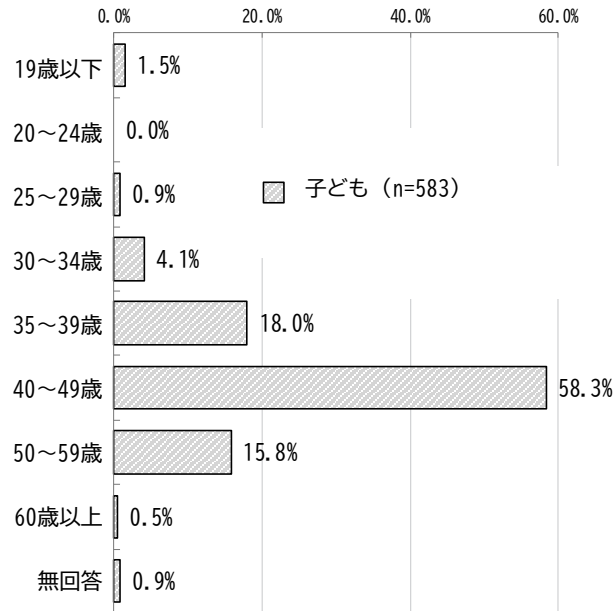
福祉サービスの情報入手先について、「子ども発達支援センターゆりのき」が29.5%と最も高く、次いで「区ホームページ」が25.6%、「家族や近所の人（友人・知人）」が23.8%となっています。



4 主たる養育者の状況について

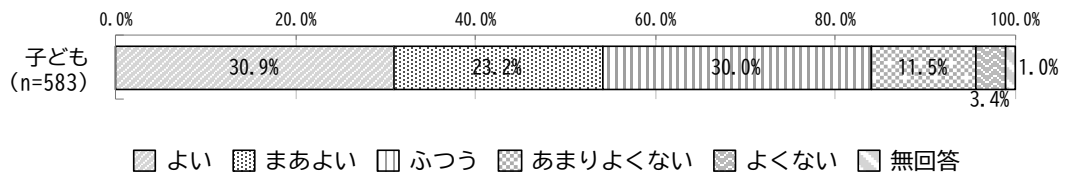
問15 あなた（主たる養育者の方）の年齢を教えてください。

主たる養育者の年齢について、「40～49歳」が58.3%と最も高く、次いで「35～39歳」が18.0%、「50～59歳」が15.8%となっています。



問16 あなた（主たる養育者の方）は、ご自分の健康状態をどのように感じていますか。

主たる養育者の健康状態について、「よい」が30.9%と最も高く、次いで「ふつう」が30.0%、「まあよい」が23.2%となっています。



クロス集計結果

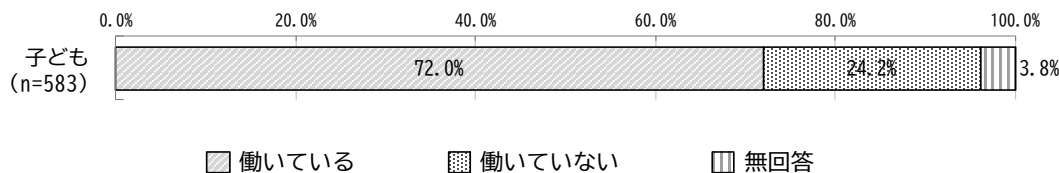
日常的に必要なとしている医療的ケアとして、回答が多い「経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）」や「痰などの吸引」が必要な方の主たる養育者の健康状態は「あまりよくない」の人数・割合が高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問16 主たる養育者の健康状態						
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答	
医療的ケアを必要としていない	473 100.0%	152 32.1%	114 24.1%	140 29.6%	48 10.1%	14 3.0%	5 1.1%	
医療的ケアを必要としている（※）	33 100.0%	8 24.2%	5 15.2%	7 21.2%	8 24.2%	5 15.2%	0 0.0%	
へ子ども 問6 日常的に必要なとしている医療的ケア	人工呼吸器管理（常時）	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
	人工呼吸器管理（夜間のみ）	6 100.0%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%
	人工呼吸器管理（その他）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	気管内挿管、気管切開	6 100.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	鼻咽喉頭エアウェイ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	酸素吸入	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%
	痰などの吸引	12 100.0%	2 16.7%	2 16.7%	2 16.7%	4 33.3%	2 16.7%	0 0.0%
	ネブライザー	9 100.0%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%
	経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）	15 100.0%	4 26.7%	2 13.3%	3 20.0%	5 33.3%	1 6.7%	0 0.0%
	中心静脈カテーテル	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	皮下注射	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	血糖管理	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	継続する透析（腹膜灌流を含む）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	定期導尿（手技は自立）	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
	定期導尿（手技は介助が必要）	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	人工肛門（手技は自立）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	人工肛門（手技は介助が必要）	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	9 100.0%	3 33.3%	0 0.0%	2 22.2%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%

※複数の医療的ケアを回答している方がいるため、「医療的ケアを必要としている」の回答数と「人工呼吸器管理（常時）」～「その他」の回答数の合計は一致しません。

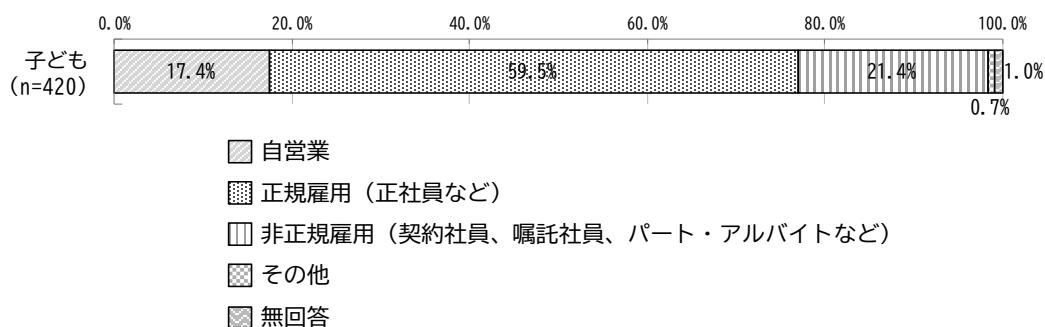
問17 あなた（主たる養育者の方）の就労状況などを教えてください。

主たる養育者の就労状況について、「働いている」が72.0%、「働いていない」が24.2%となっています。



問17-1 あなた（主たる養育者の方）の就労形態を教えてください。

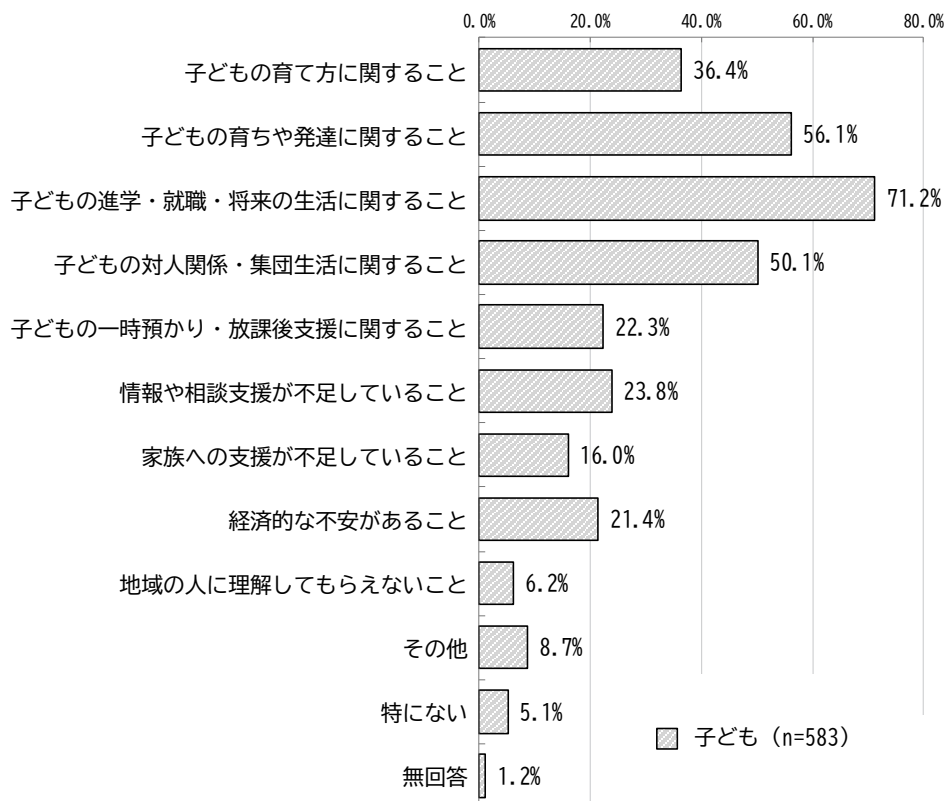
主たる養育者の就労形態について、「正規雇用（正社員など）」が59.5%と最も高く、次いで「非正規雇用（契約社員、嘱託社員、パート・アルバイトなど）」が21.4%、「自営業」が17.4%となっています。



5 相談について

問18 あなた（主たる養育者の方）は、現在、困っていることや不安に思っていることがありますか。

主たる養育者自身の困りごとや不安に思っていることについて、「子どもの進学・就職・将来の生活に関すること」が71.2%と最も高く、次いで「子どもの育ちや発達に関すること」が56.1%、「子どもの対人関係・集団生活に関すること」が50.1%となっています。



クロス集計結果

日常的に必要なとしている医療的ケアとして、回答が多い「経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）」や「痰などの吸引」が必要な方の主たる養育者自身の困りごとや不安に思っていることは「子どもの進学・就職・将来の生活に関すること」や「子どもの一時預かり・放課後支援に関すること」の人数・割合が高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問18 主たる養育者自身の困りごとや不安に思っていること											
		子どもの育て方に関すること	子どもの育ちや発達に関すること	子どもの進学・就職・将来の生活に関すること	子どもの対人関係・集団生活に関すること	子どもの一時預かり・放課後支援に関すること	情報や相談支援が不足していること	家族への支援が不足していること	経済的な不安があること	地域の人に理解してもらえないこと	その他	特にない	無回答
医療的ケアを必要としない	473 100.0%	172 36.4%	273 57.7%	338 71.5%	241 51.0%	102 21.6%	108 22.8%	68 14.4%	100 21.1%	26 5.5%	41 8.7%	26 5.5%	6 1.3%
医療的ケアを必要としている（※）	33 100.0%	12 36.4%	15 45.5%	27 81.8%	13 39.4%	16 48.5%	11 33.3%	12 36.4%	7 21.2%	5 15.2%	7 21.2%	2 6.1%	0 0.0%
へ子ども 問6 日常的に必要なとしている医療的ケア	人工呼吸器管理（常時）	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
	人工呼吸器管理（夜間のみ）	6 100.0%	2 33.3%	2 33.3%	5 83.3%	0 0.0%	4 66.7%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	人工呼吸器管理（その他）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	気管内挿管、気管切開	6 100.0%	2 33.3%	4 66.7%	4 66.7%	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%
	鼻咽喉頭アウエイ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	酸素吸入	6 100.0%	1 16.7%	2 33.3%	4 66.7%	1 16.7%	4 66.7%	2 33.3%	4 66.7%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%
	痰などの吸引	12 100.0%	4 33.3%	5 41.7%	9 75.0%	2 16.7%	8 66.7%	5 41.7%	6 50.0%	1 8.3%	2 16.7%	3 25.0%	1 8.3%
	ネブライザー	9 100.0%	6 66.7%	6 66.7%	7 77.8%	3 33.3%	5 55.6%	4 44.4%	4 44.4%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%
	経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）	15 100.0%	4 26.7%	6 40.0%	13 86.7%	2 13.3%	10 66.7%	7 46.7%	7 46.7%	1 6.7%	1 6.7%	3 20.0%	0 0.0%
	中心静脈カテーテル	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	皮下注射	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	血糖管理	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%
	継続する透析（腹膜灌流を含む）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	定期導尿（手技は自立）	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
	定期導尿（手技は介助が必要）	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	人工肛門（手技は自立）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	人工肛門（手技は介助が必要）	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	その他	9 100.0%	4 44.4%	5 55.6%	8 88.9%	6 66.7%	4 44.4%	4 44.4%	3 33.3%	4 44.4%	4 44.4%	4 44.4%	0 0.0%

※複数の医療的ケアを回答している方がいるため、「医療的ケアを必要としている」の回答数と「人工呼吸器管理（常時）」～「その他」の回答数の合計は一致しません。

第1章

調査概要

第2章

調査結果
①身体障害者・難病患者
②知的障害者
③精神障害者

第3章

調査結果
④子ども

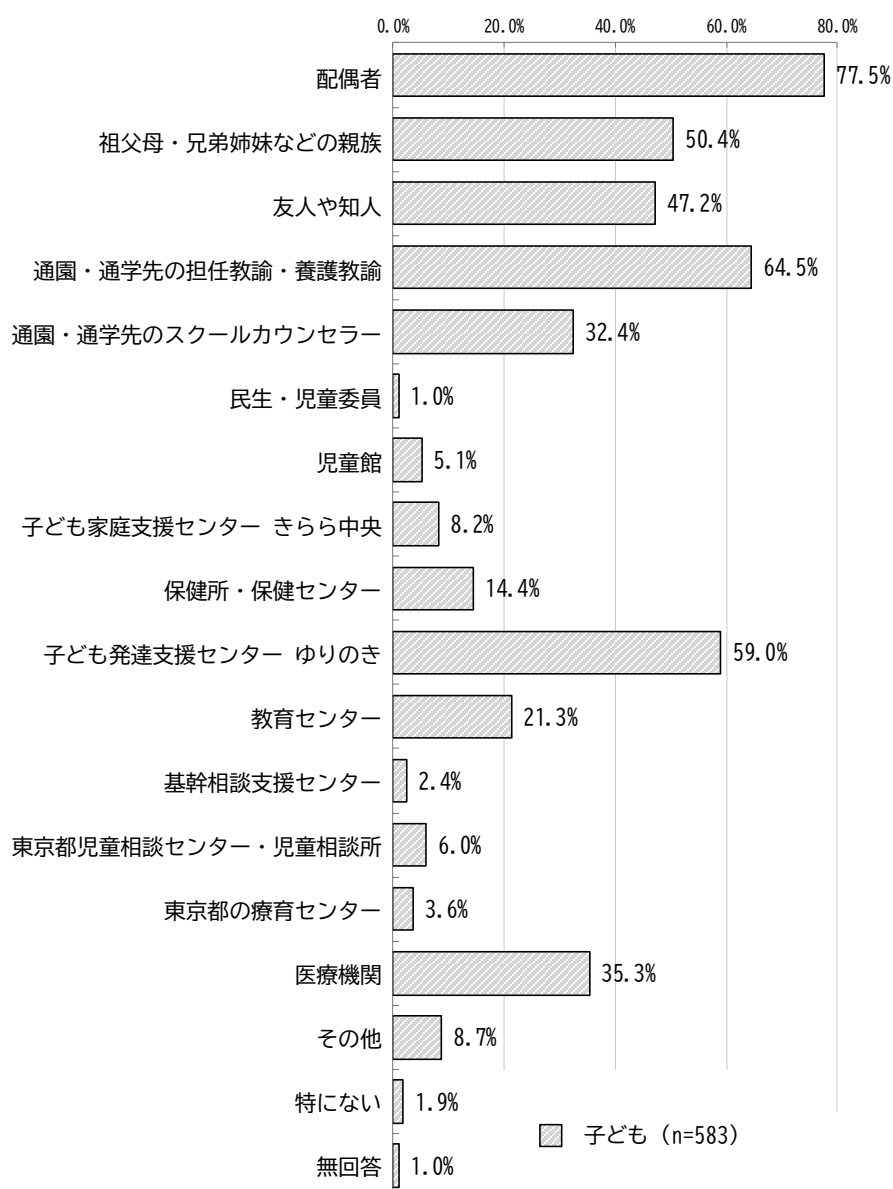
第4章

調査結果
⑤障害福祉サービス事業所

資料編

問19 お子さんの育ちや発達について、次の人・相談機関に相談したことがありますか。

相談の経験の有無について、「配偶者」が77.5%と最も高く、次いで「通園・通学先の担任教諭・養護教諭」が64.5%、「子ども発達支援センターゆりのき」が59.0%となっています。



クロス集計結果

お子さんの年齢ごとにみると、3歳～5歳、0歳～2歳で「子ども発達支援センターゆりのき」が他のお子さんの年齢と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問19 相談の経験の有無									
		配偶者	親 祖父母・ 兄弟姉妹などの	友人や 知人	通園・ 養護教諭 ・通学先 の担任教	通園・ 通学先 のスクール	民生・ 児童委員	児童館	子ども 家庭支 援センタ ー	保健所・ 保健センタ ー	
へ子ども さんの問2 の年齢 （2） へお子	0歳～2歳	37 100.0%	31 83.8%	19 51.4%	15 40.5%	10 27.0%	0 0.0%	1 2.7%	4 10.8%	2 5.4%	6 16.2%
	3歳～5歳	136 100.0%	114 83.8%	68 50.0%	70 51.5%	92 67.6%	13 9.6%	1 0.7%	7 5.1%	10 7.4%	28 20.6%
	6歳～8歳	153 100.0%	120 78.4%	87 56.9%	80 52.3%	116 75.8%	63 41.2%	1 0.7%	13 8.5%	9 5.9%	21 13.7%
	9歳～11歳	135 100.0%	103 76.3%	59 43.7%	60 44.4%	92 68.1%	72 53.3%	1 0.7%	2 1.5%	12 8.9%	17 12.6%
	12歳～14歳	50 100.0%	37 74.0%	28 56.0%	25 50.0%	26 52.0%	22 44.0%	1 2.0%	3 6.0%	9 18.0%	4 8.0%
	15歳～18歳	47 100.0%	31 66.0%	19 40.4%	13 27.7%	23 48.9%	14 29.8%	0 0.0%	1 2.1%	5 10.6%	6 12.8%

1段目 人 2段目 %	ゆりのき 子ども 発達支 援センタ ー	教育 センタ ー	基幹 相談 支 援センタ ー	東京 都 児 童 相 談 セン ター	東京 都 の 療 育 セン ター	医 療 機 関	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
										問19 相談の経験の有無
へ子ども さんの問2 の年齢 （2） へお子	0歳～2歳	30 81.1%	0 0.0%	1 2.7%	0 0.0%	1 2.7%	15 40.5%	4 10.8%	1 2.7%	0 0.0%
	3歳～5歳	118 86.8%	9 6.6%	1 0.7%	6 4.4%	6 4.4%	41 30.1%	13 9.6%	0 0.0%	1 0.7%
	6歳～8歳	91 59.5%	47 30.7%	2 1.3%	9 5.9%	3 2.0%	50 32.7%	8 5.2%	2 1.3%	2 1.3%
	9歳～11歳	58 43.0%	36 26.7%	1 0.7%	6 4.4%	6 4.4%	47 34.8%	16 11.9%	6 4.4%	1 0.7%
	12歳～14歳	15 30.0%	20 40.0%	1 2.0%	7 14.0%	3 6.0%	23 46.0%	2 4.0%	1 2.0%	0 0.0%
	15歳～18歳	19 40.4%	10 21.3%	4 8.5%	5 10.6%	1 2.1%	21 44.7%	5 10.6%	1 2.1%	0 0.0%

第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果
(④子ども)

第4章

調査結果
(⑤障害福祉
サービス
事業所)

資料編

クロス集計結果

日常的に必要なとしている医療的ケアとして、回答が多い「経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）」や「痰などの吸引」が必要な方の相談の経験の有無は「子ども発達支援センターゆりのき」や「医療機関」の人数・割合が高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問19 相談の経験の有無								
		配偶者	親 祖父 祖母 ・ 兄弟 姉妹などの	友人や 知人	通園・通 学先 の担任教 諭・養護 教諭	通園・通 学先 のスクー ル	民生・ 児童委員	児童館	子ども 家庭支 援センタ ー	保健所・ 保健セン ター
医療的ケアを必要としていない	473 100.0%	365 77.2%	240 50.7%	228 48.2%	318 67.2%	158 33.4%	5 1.1%	23 4.9%	41 8.7%	67 14.2%
医療的ケアを必要としている（※）	33 100.0%	23 69.7%	13 39.4%	13 39.4%	17 51.5%	6 18.2%	1 3.0%	2 6.1%	1 3.0%	3 9.1%
人工呼吸器管理（常時）	3 100.0%	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工呼吸器管理（夜間のみ）	6 100.0%	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
人工呼吸器管理（その他）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
気管内挿管、気管切開	6 100.0%	6 100.0%	3 50.0%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
鼻咽喉頭エアウェイ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
酸素吸入	6 100.0%	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
痰などの吸引	12 100.0%	7 58.3%	3 25.0%	3 25.0%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
ネブライザー	9 100.0%	7 77.8%	3 33.3%	3 33.3%	5 55.6%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%
経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）	15 100.0%	10 66.7%	4 26.7%	3 20.0%	6 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%
中心静脈カテーテル	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
皮下注射	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
血糖管理	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
継続する透析（腹膜灌流を含む）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
定期導尿（手技は自立）	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
定期導尿（手技は介助が必要）	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工肛門（手技は自立）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工肛門（手技は介助が必要）	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	9 100.0%	7 77.8%	6 66.7%	5 55.6%	6 66.7%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%

（子ども 問6） 日常的に必要なとしている医療的ケア

1段目 人 2段目 %		問19 相談の経験の有無								
		ゆり の き	教 育 セ ン タ ー	基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー	東 京 都 児 童 相 談 セ ン タ ー	東 京 都 の 療 育 セ ン タ ー	医 療 機 関	そ の 他	特 に な い	無 回 答
へ 子 ど も 問 6 日 常 的 に 必 要 と し て い る 医 療 的 ケ ア	医療的ケアを必要としていない	284 60.0%	106 22.4%	10 2.1%	31 6.6%	13 2.7%	168 35.5%	45 9.5%	8 1.7%	4 0.8%
	医療的ケアを必要としている(※)	21 63.6%	7 21.2%	2 6.1%	0 0.0%	5 15.2%	21 63.6%	5 15.2%	1 3.0%	0 0.0%
	人工呼吸器管理(常時)	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	人工呼吸器管理(夜間のみ)	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%
	人工呼吸器管理(その他)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	気管内挿管、気管切開	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 83.3%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	鼻咽喉頭エアウェイ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	酸素吸入	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	5 83.3%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%
	痰などの吸引	9 75.0%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	2 16.7%	8 66.7%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%
	ネブライザー	6 66.7%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	7 77.8%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%
	経管栄養(経鼻・胃ろう・腸ろう含む)	11 73.3%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	2 13.3%	9 60.0%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%
	中心静脈カテーテル	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	皮下注射	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	血糖管理	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	継続する透析(腹膜灌流を含む)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	定期導尿(手技は自立)	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	定期導尿(手技は介助が必要)	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	人工肛門(手技は自立)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	人工肛門(手技は介助が必要)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	5 55.6%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	5 55.6%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%

※複数の医療的ケアを回答している方がいるため、「医療的ケアを必要としている」の回答数と「人工呼吸器管理(常時)」～「その他」の回答数の合計は一致しません。

第1章
調査概要

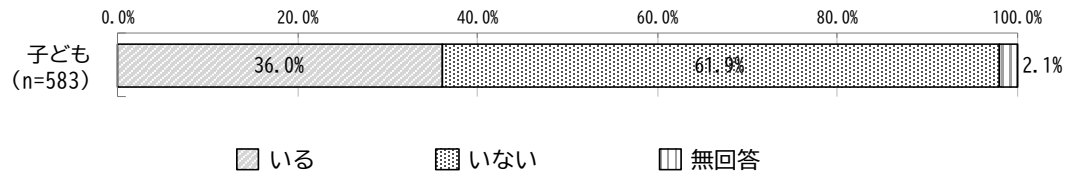
第2章
調査結果
(①身体障害者・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

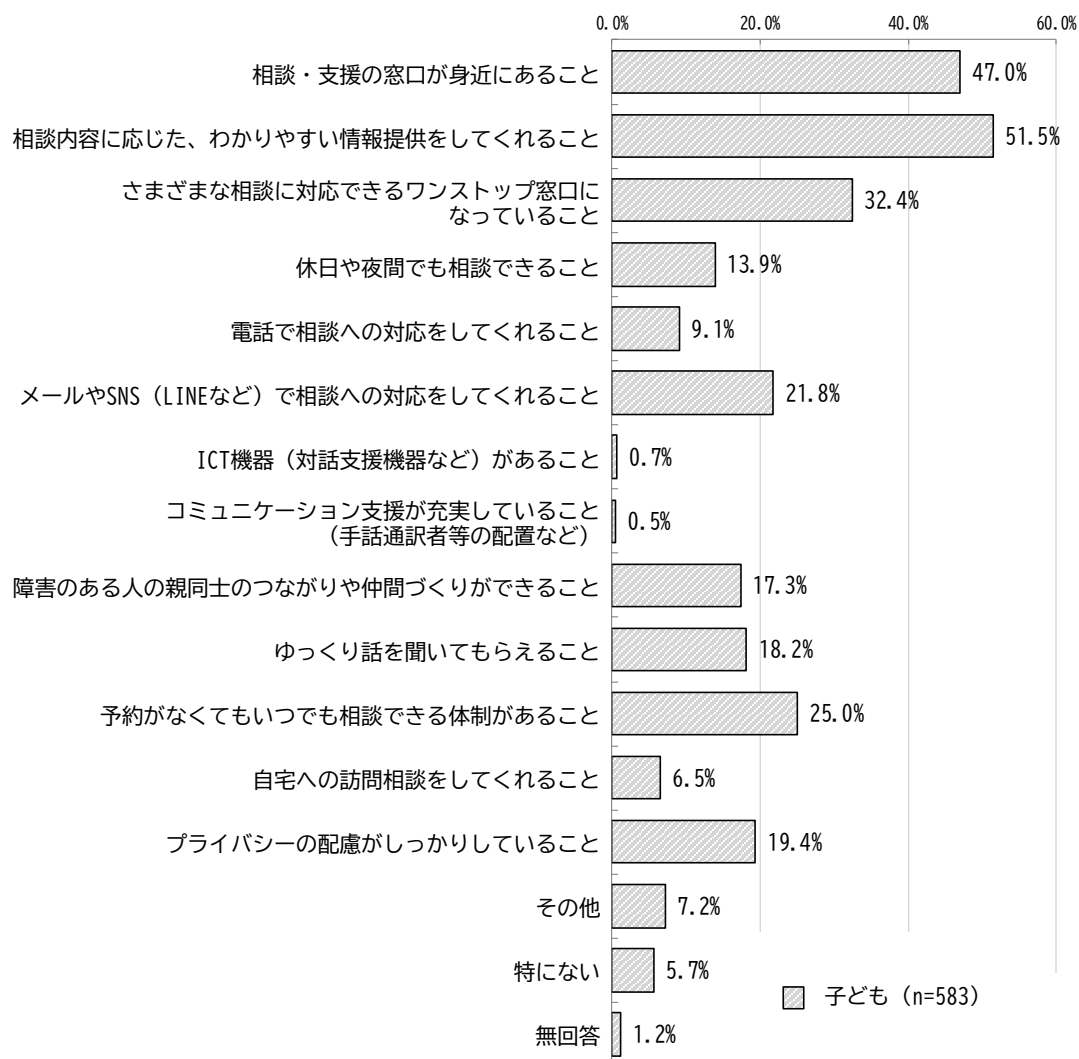
問20 あなた（主たる養育者の方）は、近所の人で、生活のことやお子さんのことで頼れる人はいますか。

近所に頼れる人がいるかについて、「いる」が 36.0%、「いない」が 61.9%となっています。



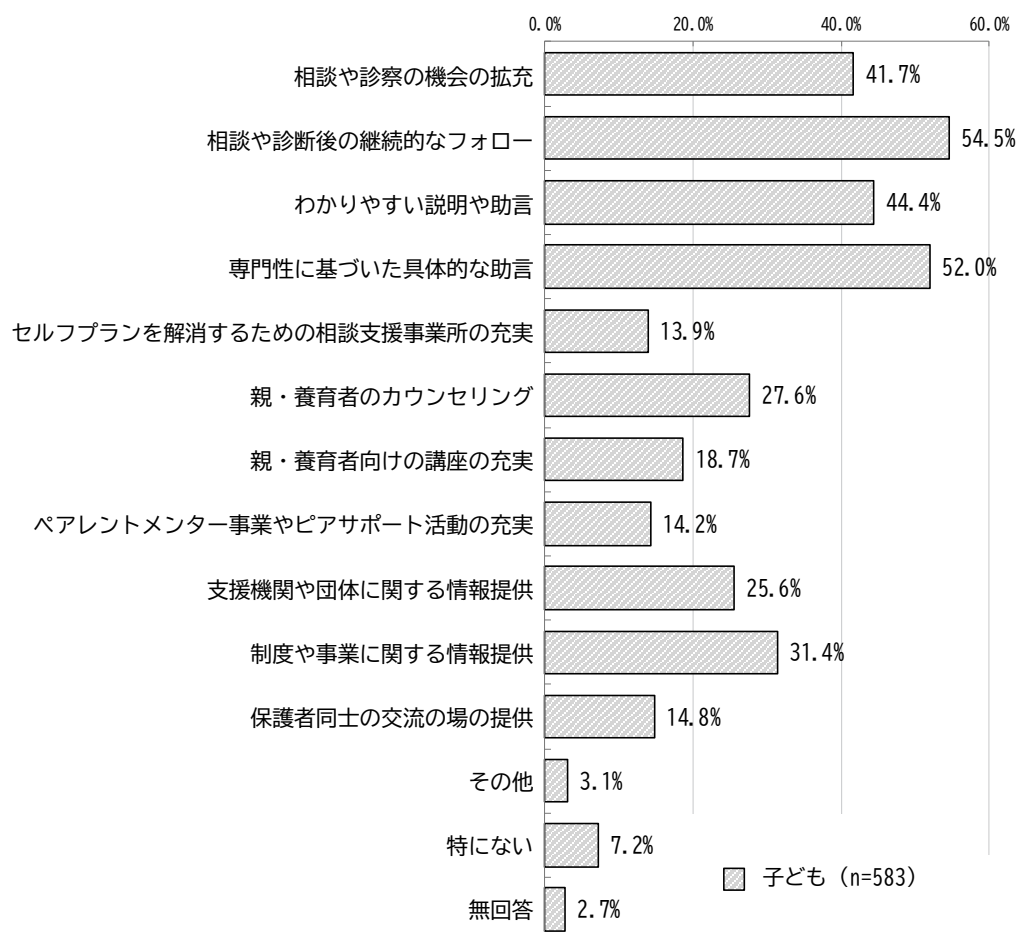
問21 あなた（主たる養育者の方）は、中央区の育ちや発達に関する相談・支援の窓口で相談しやすくなるには、どのようなことが必要だと思いますか。

区の相談窓口・機関への要望について、「相談内容に応じた、わかりやすい情報提供をしてくれること」が 51.5%と最も高く、次いで「相談・支援の窓口が身近にあること」が 47.0%、「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口になっていること」が 32.4%となっています。



問22 あなた（主たる養育者の方）は、育ちや発達に関する専門機関や医療機関にどのような支援を希望しますか。

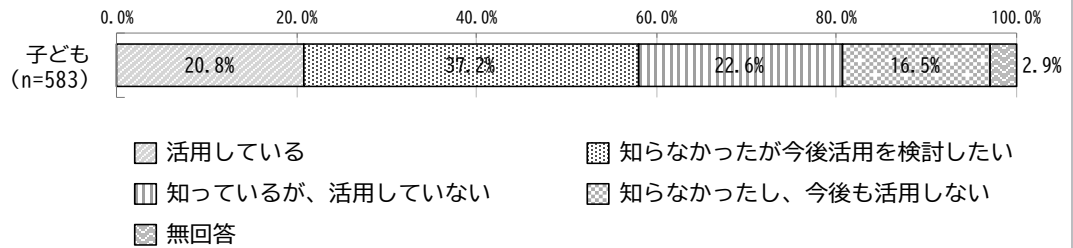
専門家に支援してほしいと思うことについて、「相談や診断後の継続的なフォロー」が54.5%と最も高く、次いで「専門性に基づいた具体的な助言」が52.0%、「わかりやすい説明や助言」が44.4%となっています。



6 子どもの育ち等への理解について

問23 「育ちのサポートカルテ」を活用されていますか。

「育ちのサポートカルテ」の活用状況について、「知らなかったが今後活用を検討したい」が37.2%と最も高く、次いで「知っているが、活用していない」が22.6%、「活用している」が20.8%となっています。



第1章
調査概要

第2章
調査結果
(①身体障害者・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

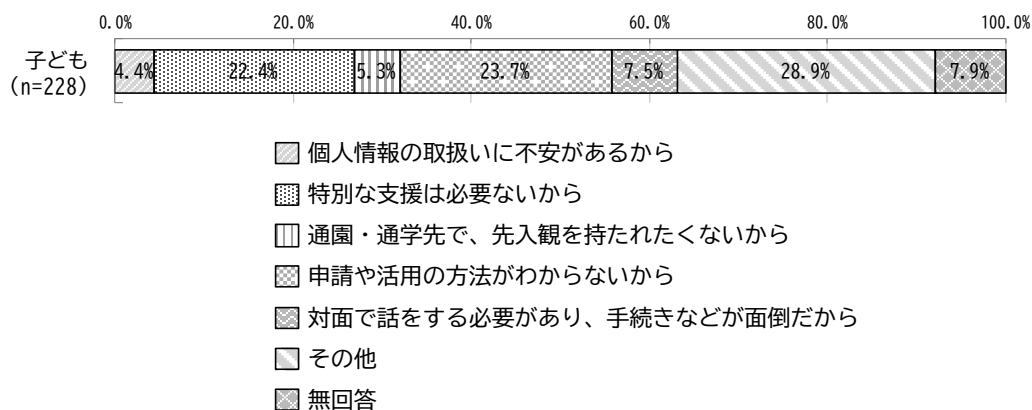
クロス集計結果

通園・通学・通所先ごとにみると、特別支援学校小学部で「活用している」が他の通園・通学・通所先と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合 計	問23 「育ちのサポートカルテ」の活用状況				
		活用している	知らなかったが今後活用を検討したい	知っているが、活用していない	知らなかったし、今後も活用しない	無回答
子ども発達支援センター ゆりのき	89 100.0%	21 23.6%	41 46.1%	18 20.2%	6 6.7%	3 3.4%
区立認可保育所	44 100.0%	8 18.2%	18 40.9%	13 29.5%	5 11.4%	0 0.0%
私立認可保育所	67 100.0%	10 14.9%	31 46.3%	14 20.9%	8 11.9%	4 6.0%
認定こども園	15 100.0%	3 20.0%	2 13.3%	4 26.7%	5 33.3%	1 6.7%
認証保育所	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
居宅訪問型保育（自宅での保育）	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居宅訪問型保育（障害児保育園）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
区立幼稚園	39 100.0%	11 28.2%	8 20.5%	12 30.8%	5 12.8%	3 7.7%
私立幼稚園	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
公立小学校（通常の学級に在籍）	79 100.0%	13 16.5%	27 34.2%	20 25.3%	17 21.5%	2 2.5%
公立小学校（通級指導学級・特別支援教室も利用）	150 100.0%	31 20.7%	64 42.7%	36 24.0%	18 12.0%	1 0.7%
公立小学校（特別支援学級に在籍）	41 100.0%	11 26.8%	16 39.0%	2 4.9%	11 26.8%	1 2.4%
特別支援学校小学部	47 100.0%	25 53.2%	9 19.1%	8 17.0%	3 6.4%	2 4.3%
私立小学校	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
公立中学校（通常の学級に在籍）	13 100.0%	2 15.4%	6 46.2%	1 7.7%	3 23.1%	1 7.7%
公立中学校（特別支援教室も利用）	15 100.0%	3 20.0%	5 33.3%	2 13.3%	4 26.7%	1 6.7%
公立中学校（特別支援学級に在籍）	12 100.0%	4 33.3%	3 25.0%	4 33.3%	1 8.3%	0 0.0%
特別支援学校中学部	16 100.0%	3 18.8%	6 37.5%	7 43.8%	0 0.0%	0 0.0%
私立中学校	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
高等学校	13 100.0%	0 0.0%	3 23.1%	2 15.4%	7 53.8%	1 7.7%
特別支援学校高等部	24 100.0%	0 0.0%	8 33.3%	8 33.3%	7 29.2%	1 4.2%
その他	24 100.0%	2 8.3%	16 66.7%	3 12.5%	3 12.5%	0 0.0%

問23-1 「活用していない・活用しない」理由をお聞かせください。

「育ちのサポートカルテ」を活用していない理由について、「その他」が28.9%と最も高く、次いで「申請や活用の方法がわからないから」が23.7%、「特別な支援は必要ないから」が22.4%となっています。



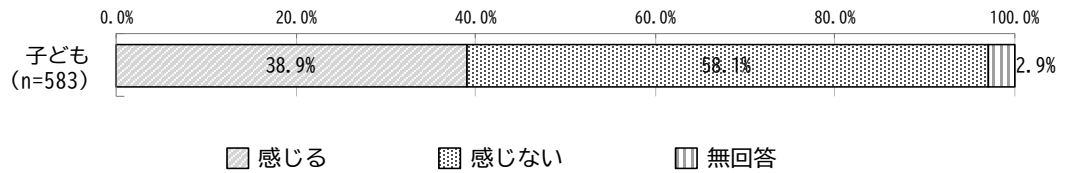
クロス集計結果

通園・通学・通所先ごとにみると、子ども発達支援センターゆりのきで「申請や活用の方法がわからないから」が私立幼稚園以外の他の通園・通学・通所先と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %		合計	問23-1 「育ちのサポートカルテ」を活用していない理由						
			個人 情報 の取 扱い に不 安が あ る	特 別 な 支 援 は 必 要 な い か ら	た 通 園 ・ 通 学 先 で、 先 入 観 を 持 た れ た く な い か ら	申 請 や 活 用 の 方 法 が わ か ら な い	対 面 で 話 を す る 必 要 が あ り、 手 続 き な ど が 面 倒 だ か ら	そ の 他	無 回 答
子ども発達支援センター ゆりのき	27 100.0%	1 3.7%	3 11.1%	3 11.1%	9 33.3%	2 7.4%	7 25.9%	2 7.4%	
区立認可保育所	18 100.0%	0 0.0%	1 5.6%	1 5.6%	6 33.3%	2 11.1%	6 33.3%	2 11.1%	
私立認可保育所	26 100.0%	2 7.7%	2 7.7%	1 3.8%	6 23.1%	1 3.8%	9 34.6%	5 19.2%	
認定こども園	10 100.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	3 30.0%	4 40.0%	
認証保育所	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
居宅訪問型保育（自宅での保育）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
居宅訪問型保育（障害児保育園）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
区立幼稚園	20 100.0%	0 0.0%	4 20.0%	1 5.0%	6 30.0%	1 5.0%	5 25.0%	3 15.0%	
私立幼稚園	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
公立小学校（通常の学級に在籍）	39 100.0%	2 5.1%	18 46.2%	1 2.6%	4 10.3%	1 2.6%	9 23.1%	4 10.3%	
公立小学校（通級指導学級・特別支援教室も利用）	55 100.0%	1 1.8%	10 18.2%	5 9.1%	13 23.6%	7 12.7%	11 20.0%	8 14.5%	
公立小学校（特別支援学級に在籍）	14 100.0%	1 7.1%	3 21.4%	1 7.1%	3 21.4%	1 7.1%	4 28.6%	1 7.1%	
特別支援学校小学部	13 100.0%	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	5 38.5%	1 7.7%	
私立小学校	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
公立中学校（通常の学級に在籍）	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	
公立中学校（特別支援教室も利用）	7 100.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	
公立中学校（特別支援学級に在籍）	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	
特別支援学校中学部	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%	
私立中学校	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
高等学校	10 100.0%	0 0.0%	4 40.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%	3 30.0%	1 10.0%	
特別支援学校高等部	16 100.0%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	5 31.3%	2 12.5%	4 25.0%	2 12.5%	
その他	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	

問24 あなた（主たる養育者の方）は、あなたの近所の人に、お子さんの育ちや発達について理解されていると感じますか。

近所の人から理解されているかについて、「感じる」が 38.9%、「感じない」が 58.1%となっています。



第1章
調査概要

第2章
調査結果
(①身体障害者・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

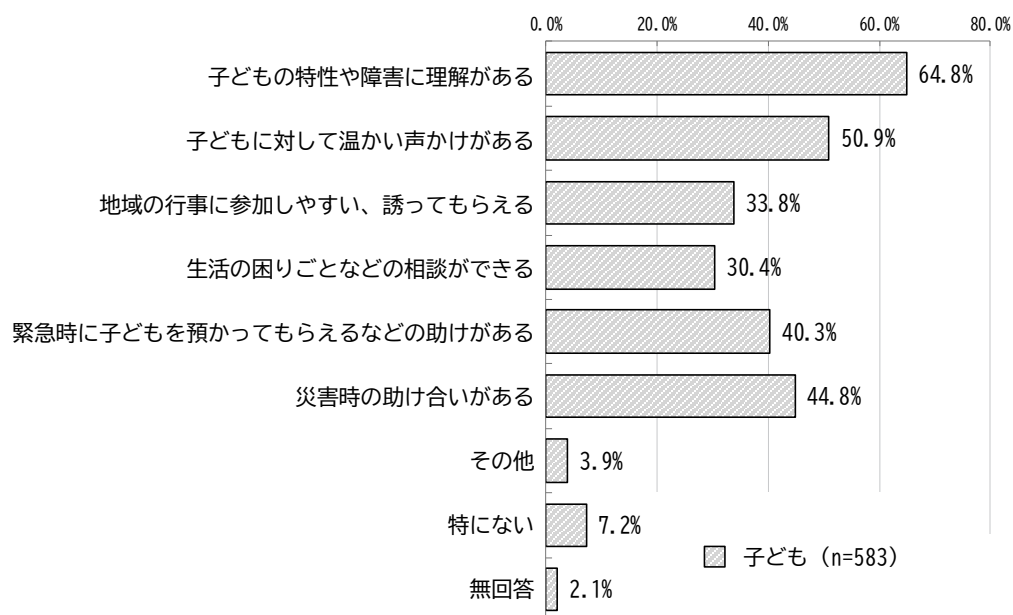
第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

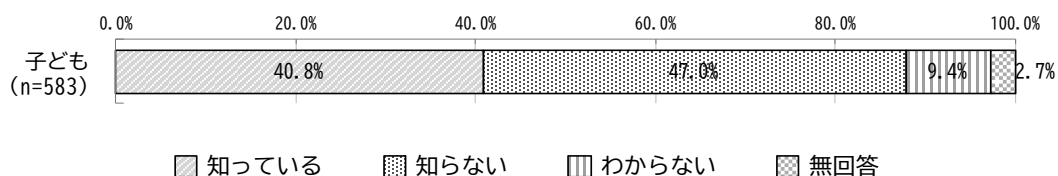
問25 あなた（主たる養育者の方）は、お住まいの地域がどのような地域であってほしいと思いますか。

主たる養育者が望む地域のあり方について、「子どもの特性や障害に理解がある」が64.8%と最も高く、次いで「子どもに対して温かい声かけがある」が50.9%、「災害時の助け合いがある」が44.8%となっています。



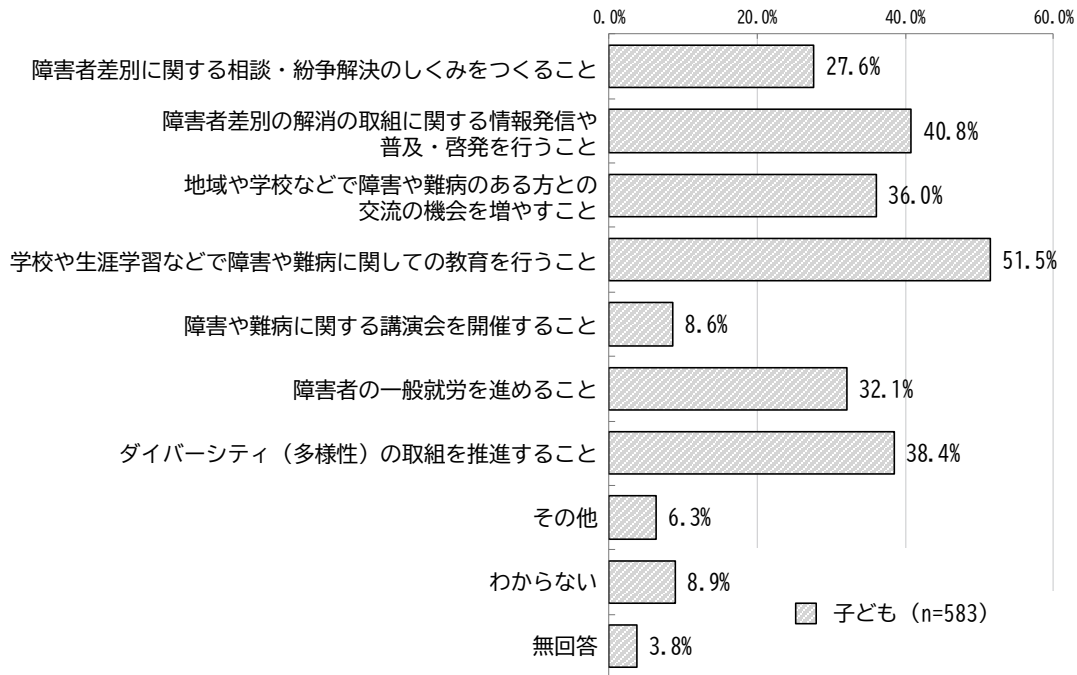
問26 あなた（主たる養育者の方）は、役所や会社、お店などの事業者が、正当な理由なく障害を理由に差別することを禁止し、合理的配慮（何らかの配慮を必要とする意思が伝えられた時に、対応すること）の提供を義務付ける「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていますか。

障害者差別解消法の認知状況について、「知らない」が47.0%と最も高く、次いで「知っている」が40.8%、「わからない」が9.4%となっています。



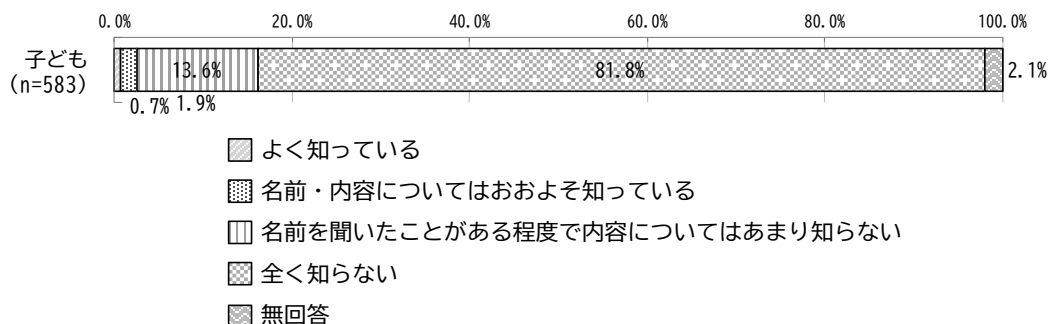
問27 あなた（主たる養育者の方）は、障害者差別の解消を推進するために、何が必要だと思いますか。

差別解消の推進に必要なと思うものについて、「学校や生涯学習などで障害や難病に関する教育を行うこと」が51.5%と最も高く、次いで「障害者差別の解消の取組に関する情報発信や普及・啓発を行うこと」が40.8%、「ダイバーシティ（多様性）の取組を推進すること」が38.4%となっています。



問28 あなた（主たる養育者の方）は、「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」について内容を知っていますか。

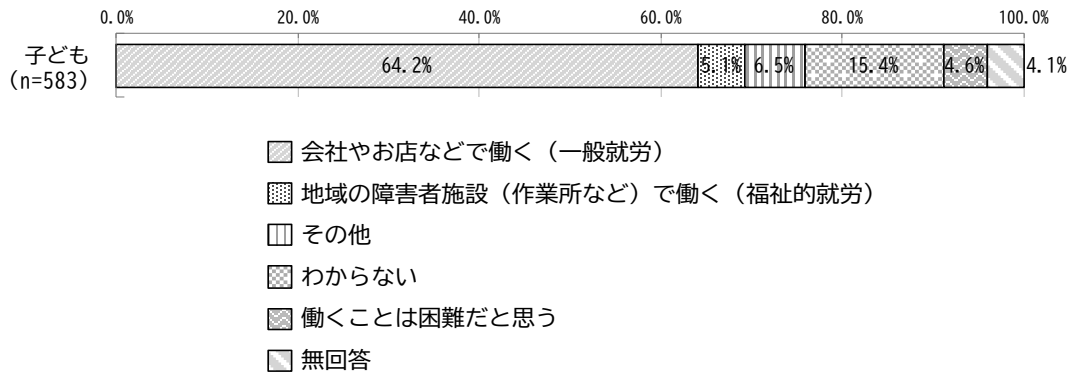
「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」の認知状況について、「全く知らない」が81.8%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度で内容についてはあまり知らない」が13.6%、「名前・内容についてはおおよそ知っている」が1.9%となっています。



7 子どもの将来について

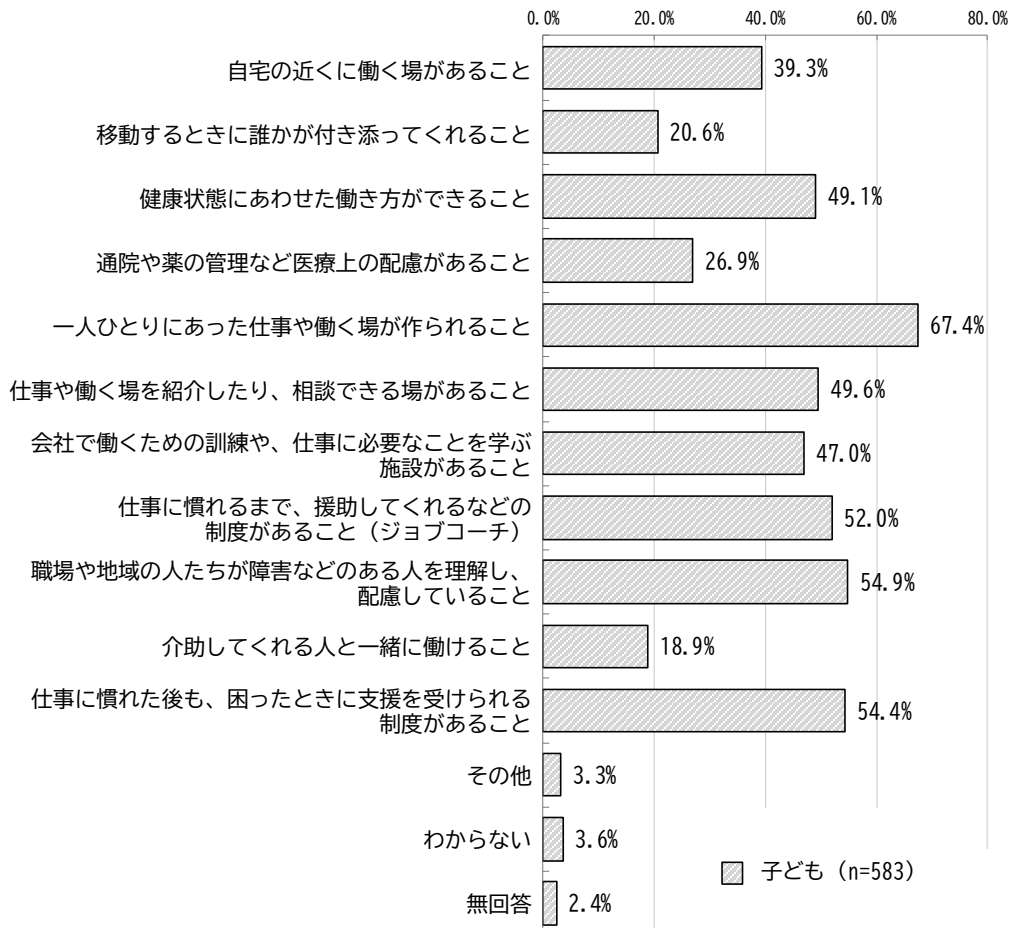
問29 あなた（主たる養育者の方）は、将来、お子さんにどのようなところで働いてほしいと考えていますか。

お子さんの将来の働き方の希望について、「会社やお店などで働く（一般就労）」が64.2%と最も高く、次いで「わからない」が15.4%、「その他」が6.5%となっています。



問30 あなた（主たる養育者の方）は、障害などのある人が働くためにはどのような環境が必要だと思いますか。

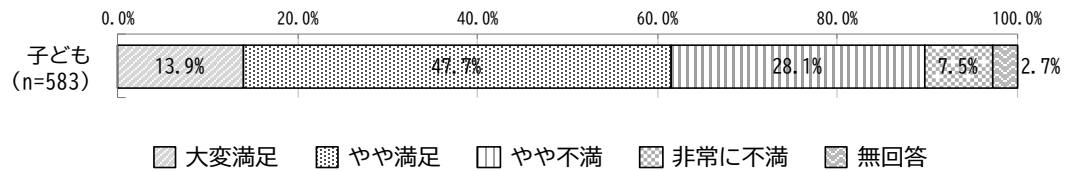
障害のある人が働くために必要な環境について、「一人ひとりにあった仕事や働く場が作られること」が67.4%と最も高く、次いで「職場や地域の人たちが障害などのある人を理解し、配慮していること」が54.9%、「仕事に慣れた後も、困ったときに支援を受けられる制度があること」が54.4%となっています。



8 今後の区の実施について

問31 あなた（主たる養育者の方）は、中央区で実施している育ちに支援を必要とする子どもたちを対象とした施策について満足していますか。

中央区の施策・サービスの満足度について、「やや満足」が47.7%と最も高く、次いで「やや不満」が28.1%、「大変満足」が13.9%となっています。



クロス集計結果

日常的に必要なとしている医療的ケアとして、回答が多い「経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）」や「痰などの吸引」が必要な方の中央区の施策・サービスの満足度は「やや満足」の人数・割合が高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問31 中央区の施策・サービスの満足度				
		大変満足	やや満足	やや不満	非常に不満	無回答
医療的ケアを必要としていない	473 100.0%	62 13.1%	225 47.6%	134 28.3%	37 7.8%	15 3.2%
医療的ケアを必要としている（※）	33 100.0%	3 9.1%	16 48.5%	9 27.3%	5 15.2%	0 0.0%
人工呼吸器管理（常時）	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
人工呼吸器管理（夜間のみ）	6 100.0%	0 0.0%	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
人工呼吸器管理（その他）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
気管内挿管、気管切開	6 100.0%	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
鼻咽頭エアウェイ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
酸素吸入	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%
痰などの吸引	12 100.0%	0 0.0%	7 58.3%	4 33.3%	1 8.3%	0 0.0%
ネブライザー	9 100.0%	0 0.0%	6 66.7%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）	15 100.0%	1 6.7%	8 53.3%	4 26.7%	2 13.3%	0 0.0%
中心静脈カテーテル	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
皮下注射	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
血糖管理	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
継続する透析（腹膜灌流を含む）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
定期導尿（手技は自立）	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
定期導尿（手技は介助が必要）	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工肛門（手技は自立）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工肛門（手技は介助が必要）	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	9 100.0%	2 22.2%	0 0.0%	3 33.3%	4 44.4%	0 0.0%

※複数の医療的ケアを回答している方がいるため、「医療的ケアを必要としている」の回答数と「人工呼吸器管理（常時）」～「その他」の回答数の合計は一致しません。

第1章

調査概要

第2章

調査結果
①身体障害者・難病患者
②知的障害者
③精神障害者

第3章

調査結果
④子ども

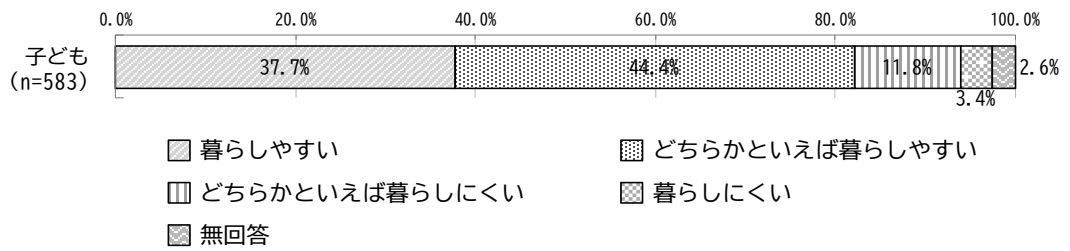
第4章

調査結果
⑤障害福祉サービス事業所

資料編

問32 あなた（主たる養育者の方）にとって、区の障害児施策に限らず中央区での暮らしはいかがですか。

中央区の暮らしやすさについて、「どちらかといえば暮らしやすい」が44.4%と最も高く、次いで「暮らしやすい」が37.7%、「どちらかといえば暮らしにくい」が11.8%となっています。



問33 中央区（行政）への意見・要望などがありましたら、自由にご記入ください。

中央区（行政）への意見・要望について、「教育（学校・教育センターなど）」が104件と最も多く、次いで「療育」が60件、「福祉サービス」が43件、「放課後等デイサービス」「相談」が39件、「その他」が36件、「助成・経済的な支援」が28件となっています。

項目	件数
教育（学校・教育センターなど）	104
福祉サービス	43
切れ目ない支援・関係機関の連携	12
療育	60
障害への理解・配慮	12
放課後等デイサービス	39
居場所	15
相談	39
情報	21
将来（進学・就職など）	22
健診・診断	3
助成・経済的な支援	28

項目	件数
手続きなど	11
幼稚園・保育園	10
家族への支援	14
医療・医療的ケア	3
バリアフリー	2
感染症の影響	0
災害対策	0
アンケート	8
区・区職員の対応	9
その他	36
お礼・謝意	19
特になし	0
合計：510件	

○教育（学校・教育センターなど）

- ・知的なしの子たちのための情緒支援学級の設立を強く求めます。
- ・娘はHSCの特性とLDの傾向があり、不登校気味です。登校できても教室に入れない時があったり、学校に居るだけで疲れてしまうので、小学校の中に大人の見守り付きの休息できる居場所（保健室や校長室以外に）を作りたいです。
- ・中学の難聴学級を作ってほしい。（中央区内に！）聴覚障害は見た目では分かりづらく、日々「静かに困っている」と子どもは言っている。
- ・娘はASDと境界知能で普通学級の在籍は困難であり特支に通っていますが環境としてベストとは思えない。普通級と特支の2択しかなく止むを得ず特支に通っている。
- ・2年生の頃担任の先生からスクールカウンセラーを紹介されました。それまで全く気づけていませんでしたが、ADHD、ASDだとわかりました。はじめはびっくりしましたが、その後現在まで4年間通級で指導いただいたり、通院の上、投薬いただいています。2年生のとき、担任の先生が特性に気づき、私たち夫婦に話して下さらなかったら、子どもはとても苦しんでいたと思います。

○障害理解・啓発

- ・医療の進化によって今後もどんどん救える命が増える反面、そういった方々への理解が追い付いていくとは思えません。

○福祉サービス・支援

- ・小学生向きのショートステイがない、又は情報が受け取れていません。
- ・18歳成人後の居場所の見通しがついていません。グループホームや施設に入れるのか、できれば早く入所させたいです。
- ・成人してからも区内に住める施設（グループホーム以外も）や生活介護施設も確充していただきたい。

○切れ目ない支援・関係機関の連携

- ・近年「インクルーシブ教育」や「共生」が障害のある側に求められる傾向が強まっているように感じます。教育と福祉が分断されずに連携して支援が進むことを強く望みます。

○療育について

- ・18才以上の療育を希望しています。週に1回でも月1でも通うことができると子どもももっと成長できるのでサポート頂けたら助かります。
- ・中高生の発達支援の拡大を検討頂きたいです。
- ・晴海地区に未就学児の療育機関がないので困っています。ファミリー層が増えたので誘致してほしいです。
- ・施設によって職員の方のレベルに差があるように感じています。入れ替わりが激しかったり外国の方だと細かいニュアンスを伝えるコミュニケーションが難しいです
- ・息子は支援を受けることができ、以前よりも「変わったね」と言われることが増えました。ただ、中央区では爆発的に子どもが増えているため支援センターで次回の予約がずいぶん先になってしまったり、幼稚園→小学校に進学するタイミングで支援が途切れる（継続的に受けることができない）のが本当に大変。

○放課後等デイサービス

- ・放課後等デイサービスの支給日数を増やしてほしい。送迎の充実した放課後等デイサービスの誘致、開所をあとおししてほしい。
- ・中高生むけ放デイ（近所には低学年むけのものが多いようです）。

○居場所

- ・現在中学生ですが、放課後の居場所がもう少しふえるとうれしいです。

○相談支援

- ・Webでの（ラインとか）相談ができることもよいかもしれません。
- ・利用開始時に申請したセルフプランはあれでよかったのかと不安です。
- ・子どもにも、ケアマネのように伴走してくれる人が必要です。

○情報

- ・就労や親亡き後を見越した教育の選び方について（支援級か、通級かなど）もっと情報がほしい。

○行政手続・制度

- ・各種手続が本庁だけではなく、出張所でも対応いただけるとありがたい。

○家族への支援

- ・発達障害児の親同士の交流の場。ペアレントトレーニング。運動療法や音楽療法の充実。

○その他

- ・現在は、福祉タクシーを利用して、遠くのリハビリ施設などに行かせていただいております。福祉タクシー（リフト付ハイヤー）の制度のおかげで、外に出ること、いろいろな体験をすることをさせていただいております。
- ・地域において障害者を対象としたフィットネスジムやストレッチやカラオケ講座などの機会を設けていただけるとありがたいです。

第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者
・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果

- ④子ども

第4章

調査結果

- ⑤障害福祉サービス事業所

資料編

問34 お子さんにおききします。あなた（お子さん）は、今どのようなことをしたいかなど、文でも絵でもよいので、思っていることを自由に書いてください。
※お答え可能な場合のみご回答ください。

お子さんがどのようなことをしたいかについて、「余暇・趣味」が 51 件と最も多く、次いで「将来のこと」が 38 件、「学校や学習のこと」が 15 件となっています。

項目	件数
学校や学習のこと	15
人間関係	5
行政に関すること	1
将来のこと	38
余暇・趣味	51

項目	件数
家族のこと	1
その他	13
絵	52
合計：176 件	

○学校や学習のこと

- ・ちゃんと英語を復習したい。
- ・しゅくだいがいっぱい困っている。
- ・通学級への進学がしたい。それをバカにしないでほしい。だそうです。
- ・学校でお勉強をするのが楽しみです。
- ・ガッコウめんどいつまらん！！
- ・私は今中学校3年生です。私は中学校3年間特別支援学級に所属をしていました。この3年間で思ったことの1つ目は、先生たちのサポートのおかげで楽しくすごせたこと。私は小学校では、通常学級にいたので支援級のことあまり知らず、不安でしたが、先生たちのサポートのおかげで楽しくすごせました。二つ目は、通常級からの連絡が支援級にまったくこなかったりすることが多い。これは生徒からはどうすることもできないので先生などの大人に対応してほしいです。
- ・学校でボッチだから、友達を作りたい。ボッチは悲しい。「2人組になってください」と先生が言う時に一人になるのが苦しい。
- ・今は高校生ですので、英語や社会の勉強やパソコン（ワード、エクセル、パワーポイントなど）の使い方を身に付けています。将来のために大学や専門学校に入るといった計画や幅を広げるといった進路について今後考えます。また、今年6月から9月（2025年）にかけて高い気温や外の暑さを感じて、みんなも大変だったと思います。去年10月も外は暑さを感じた事があります。最近では物作りをしています。必要な部品や物があれば買い物に行って調達します。プラスチックやアクリルの樹脂や木材を使って便利な機械システムや作品を手作業で作成しています。
- ・学校へ行っても良いことが何もありません。ついてゆけません。

- ・ 3. 14をおぼえたい。3. 141592653589。
- ・ 学校に行きたい！！みんなと話したい！！
- ・ 高校3年生なので、大学に合格したいです。
- ・ がっこうはとてもたのしいです。
- ・ ベン強をがんばりたい。
- ・ スポーツや学習を思いっきりたのしみたい。

○人間関係

- ・ 沢山の友達と遊びたいそうです。
- ・ 保育園にいきたくない。おかあさんとずっといたい。おうちのまえこうえんに行ったらスクーターをしたい。
- ・ あんまりおともだちづきあいが進まないの仲がいい友だちがほしい。
- ・ けんかをしたけれどもすぐになかない。
- ・ 友達と遊びたいです。

○行政に関すること

- ・ うんとみんながくらしやすくしてほしい。たとえばみんなのFTL色々ちがってこまる。そして、江戸バスも○だらけだからすこしづらして帰りもつかえるように重ねたりしてほしい。がっこうを卒業してからイベントがない、放デイの大人バージョンあればいいと思います。先生が困らないよう働きやすくしてほしい。

○将来のこと

- ・ 「大きな家に住みたい」と言っています。
- ・ 高校や大学でバイトしてお金をかせぐ。家族みんなでつかう。ゲームを作る人になりたい。
- ・ 保育園の先生。
- ・ 来年、就職するので仕事を長続きするように取り組みたい。
- ・ 会社に就職して安定して一人ぐらしをして、中学や高校の友達と休日にあそび、たまに家族と旅行に行き、今までの人生でおこなってこなかった初ちょうせん、初体験をいっぱいやり、自分が自信をもって満足だったと言える人生にしていきたい。
- ・ 美術関係。(いろいろ。) 1. イラストレーター。(自分から見た、独特な目線で絵を表現したい。) 2. デザイナー。みんなの自分の“好き”を作ってそれを手に取って、大切にできる。) 形をつくりたい。) 3. アニメーター(まんが家。)(自分の(ADHD等の発達しょう害者の)目線を、手軽に評しく、面白く、知ってもらおうべく、アニメーションをつくりたい。)(上部)以外にも、音楽関係(作詞・作曲)や文系にも、興味はあります。あと、クラゲを飼ってみたいです…。(あとネコとか…フクロウとか…(かわいい。)) まあがんばります。
- ・ アイドルになりたい。

第1章

調査概要

第2章

調査結果

- (①身体障害者
・ 難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章

調査結果

- (④子ども)

第4章

調査結果

- (⑤障害福祉
サービス
事業所)

資料編

- ・形が残る仕事がしたい。
- ・りょうりをはこぶ人になりたいです。
- ・将来の夢はフラワーショップです。
- ・わたしの好きなアニメはうる星やつらです。
- ・夢は、人が、しあわせにしたり、えがおになるような仕事で、はたらきたいです。
- ・げーむ。おおきくなったらけいさつになったりおおがねもちになりたい。
- ・バスケットボール選手。
- ・レゴ職人になりたいらしい。
- ・JRひがしにほんのうんてんになりたい。
- ・わたしのゆめは、こころもからだもつよいアイドルになることです。そのために、ぶどうをなったり、ピアノやうたのれんしゅうをがんばっています。おべんきょうもまいにちがんばっています。2学きは、かけざんを、おぼえます。
- ・でんしゃのうんてんしゅ。
- ・テレワークではたらきたい。
- ・コックさんかでん車をつくる人。
- ・野球がしたい。メジャー選手になりたい。4番バッターになりたい。
- ・しょうらいの夢はマンガ家になりたいです。
- ・きょうりゅう博士になりたいです。Tレックス。テラノサウルス・レックス。
- ・ドラエモンをかいはずする。
- ・バレーボールせんしゅになりたい。
- ・ぼくは東京メトロのうんてん士になりたいです。なぜなら電車が好きだからです。
- ・とばすのうんでんしゅになりたい。がっこうをたのしくなりたい。
- ・野球選手になりたい！！
- ・ゆめは虫にかかわること。
- ・電車のうんてんしになる。
- ・自りつして自分で自分のみまわりのことができ、会社ではたらい、しゃかいにこうけんしたい。そして自分でいろいろなところをあるきたいと思う。でんしゃにも一人でのりたい。のれるようになりたいです。
- ・ほいくえんのせんせい。がっこうのせんせい。ペットショップのてんいんさん。
- ・えいごのせんせい。
- ・大きくなったらけいさつになりたいみたいです。
- ・25さいになったらプラレールで世界を作りたい。ゆめはうんてんし（でんしゃ）。
- ・車のめんきよをとりたい。
- ・作曲家orお母さん（一つぱん）。
- ・（母が聞き取り、書いています）「高等部を卒業したらお仕事する」と日頃か

らよく言っています。（現在、中学生です。）働く意欲はあります。（実際には単語を並べて話すのでたどたどしいですが、きちんと理解できています）今したいことは、毎週末の外出を楽しみにしているので、家族でのお出かけだと思います。誰と行くか聞くと「お父さんお母さん〇〇くん（自分）」と答えます。将来、グループホームなどで暮らせる日が来ても両親の元気なうちは、休日いろいろなところへ連れて行ってあげたいので、区内に住めることが子どもにとっても幸せな暮らしになると思います。

○余暇・趣味

- ・CAさんになりたいです。熊本でキャンプがしたいです。ママ大好きだよ！！by子
- ・やりたいことは、ゲーム（スマホ）しかし、やらせていません。タブレットは大好きで、帰ってくるなりずーと見ています。戦いごっこや、バトルがしたい。工作も大好きです。ブロックやレゴで、武器を作っています。海ぞく船がほしいそうです。
- ・全国の水族館めぐり。エンゼルクリーム食べ放題。字をきれいに書けるようにしたい。
- ・じぶんのへやをつくりたい。
- ・おともだちとたくさんあそびたい！
- ・ゲーム、野球をやりたい。
- ・ゲーム。
- ・100人でオニごっこ！
- ・みんながすきなことができるじかんをつくってほしい。（1人でできること）
- ・はやくすずしくなって公園でたくさんあそびたいです。
- ・こうさくとえおかくのがすきです。
- ・トミカ・レゴが好きです。新しいおもちゃクッション杯プチプチおままごとでスイカを切るのが楽しい。ゆりの木と療育、保育園は楽しい。
- ・ゲームや外であそぶこと。
- ・おえかきやりたい。どらえもん。
- ・えぬげ、じがかしたい。Nゲージ。
- ・ゲームをしたいです。
- ・マリオのレゴであそびたい。
- ・はま町公園で紙ひこうきをとばしたい。
- ・むしをつかまえてかいたい。きめつのえいがをみたい。おりがみをうまくなりしたい。
- ・野球をしたりみたりしたいです。ゲームもしたいです。
- ・虫の図鑑をたくさん読みたい。クレーンゲームをやりたい。トランポリンがやりたい。
- ・ピアノ。

第1章 調査概要

第2章 調査結果 (①身体障害者 ・難病患者 ②知的障害者 ③精神障害者)

第3章 調査結果 (④子ども)

第4章 調査結果 (⑤障害福祉 サービス 事業所)

資料編

- ・おすしパーティーしたい。キツザニアにいきたい。
- ・スターウォーズが好きなのでスターウォーズのプラモデルを作りたいです。
(できればたくさん)
- ・オンラインゲームがしたいです。
- ・科学の実験をしたい。
- ・パン作りがしたい。
- ・スイッチ（ゲーム）のプロになりたい。おこずかいを千円にしてほしい。ほしい物をすぐかってほしい。
- ・もっとゲームがしたい（ポケモン）休みをふやしたい。一日中ごろごろしたい。
- ・やせいのカブトムシをつかまえたい。
- ・ラボットをかいたい。ばんぱくにいきたい。
- ・ならいごとのプログラミングでゲームつくりたい。ちょっかいかけてくるひとがめんどくさいからほかのクラスに行ってほしい。
- ・ダンスがじょうずになりたい。
- ・しぜんの中で虫とりをしたい。
- ・お祭りに参加したい。
- ・いろんなところにいたり、いろんなけしきをみたり、つまりいろんなけいけんをしたいです。
- ・ゲームクリエイターになって自分ごのみのゲームつくりたいです。
- ・みんなといちごがりに行きたい。みんなとボーリングしたいです。みんなとカラオケをしたいです。みんなと旅行に行きたいです。みんなとダンスをしたいです。
- ・ふくろうをかいたい。戦争をなくしたい。むだな命のなくし合いをやめたい。
- ・プレイルームであそびたい。ホワイトボードにえかきたいもっと。
- ・ぽけもんカードであそびたいです。
- ・にんてんどうスイッチ2をやりたいです。
- ・プログラマーか、ゲームクリエイターになりたいです。そのためにパソコンのプログラミングのべんきょうもがっこうのべんきょうがんばります。
- ・電車にいっぱいのってホテルにとまりたい。
- ・おでかけをしたいです。ちょうりしたいです。
- ・もっと体を動かしたい。スポーツをしたい。勉強をがんばりたい。たくさん早く走れるようになりたい。絵をかきたい。たくさんあそびたい。
- ・こうぐであそぶのがすきです。（15才）
- ・むしとりがしたいです。
- ・お友達とあそびたい。安心して自由にあそべる場所があるといいなあ。
- ・いぬいっぱい、かいたい。
- ・「SnowManに会いたい」と言っていました。

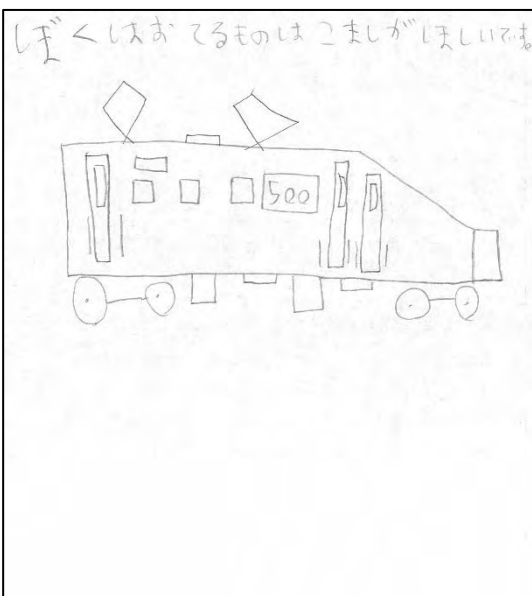
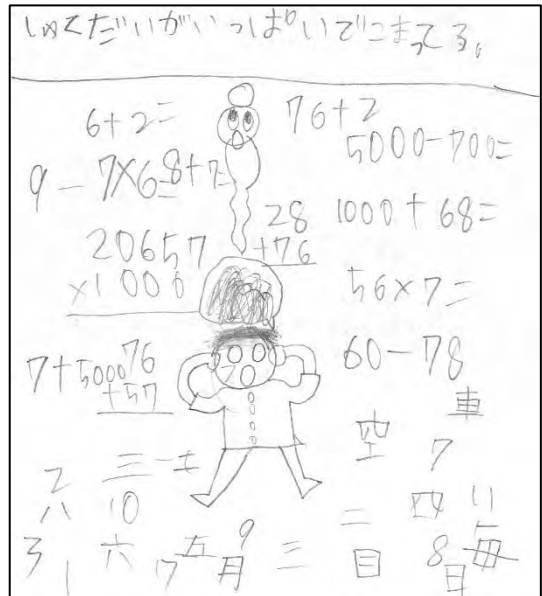
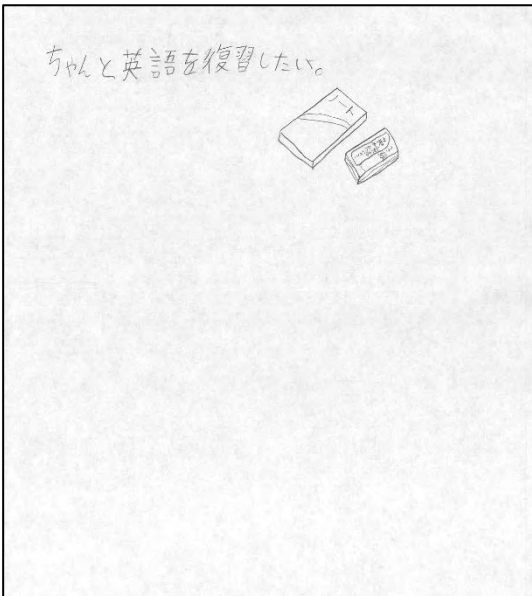
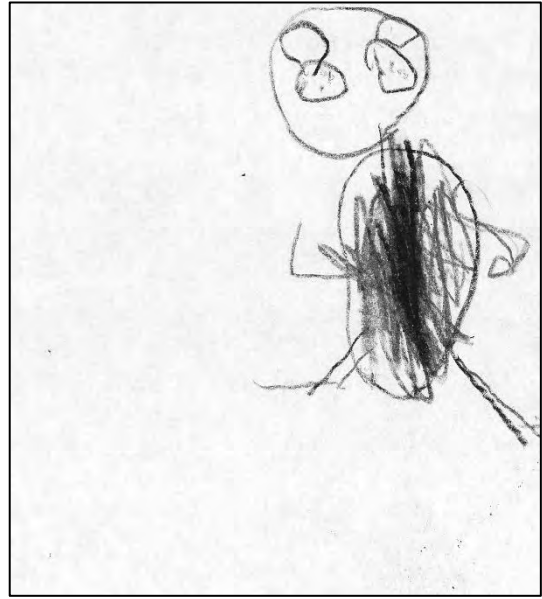
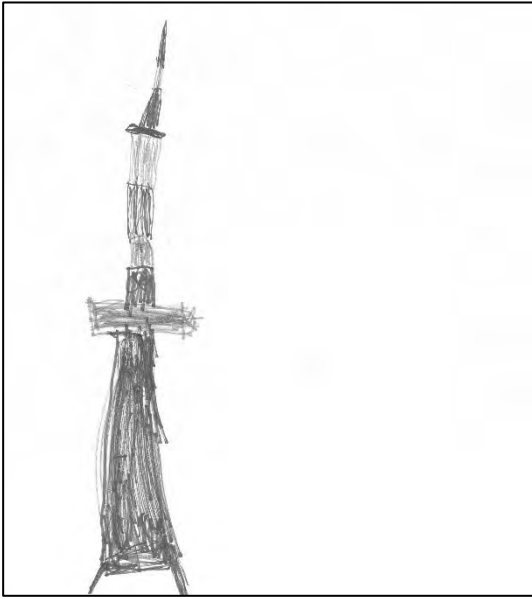
○家族のこと

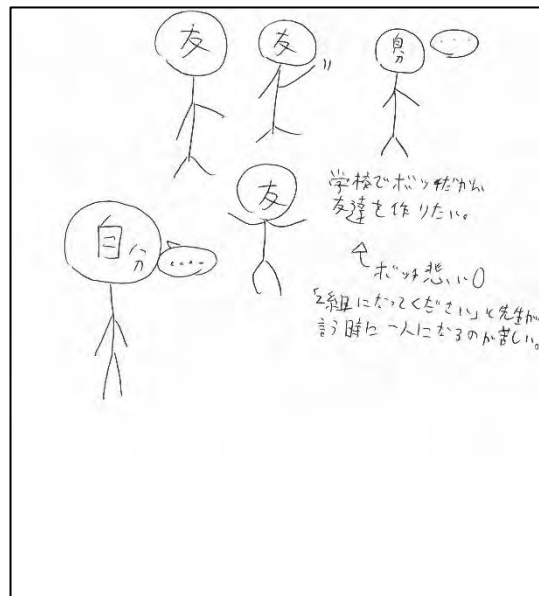
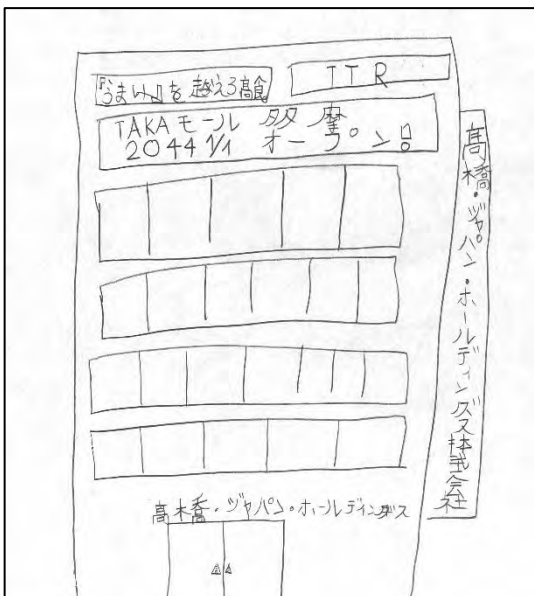
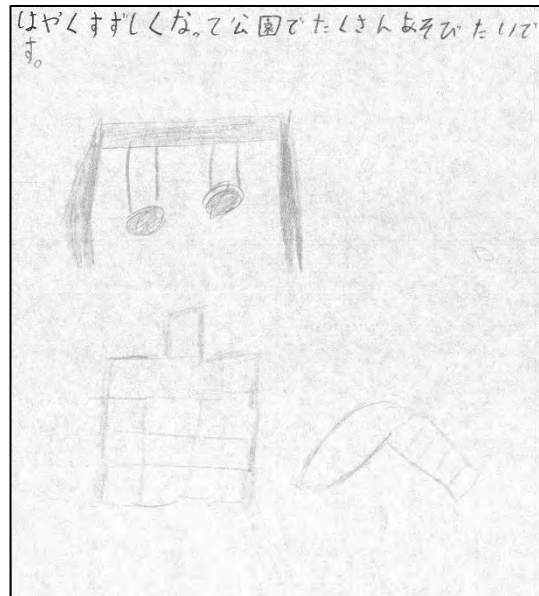
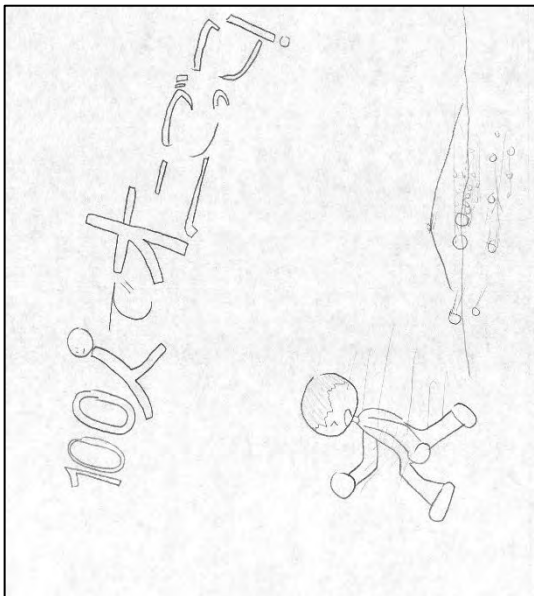
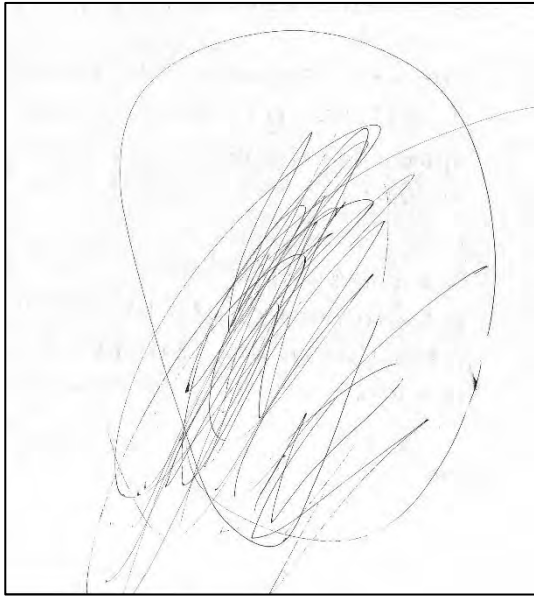
- ・ゆめはピアニストです。お母さんとお父さんはしっかりがんばってくれているのでがんばっていきたいです。くらしはきほんてきには良いですがすこし妹のことでこまっています。けんかをしてしまった時に手を出されたりやものがかってにとったりやへやをよごされたりでこまっています。どのような事をしたいかはもうすこし妹にせいげんされないでもうすこし自由にすごしたりしたいです。

○その他

- ・今が幸せです。ゆりのきは今はランパで行けませんランパがおわったら、いきたいと思っています。しかも生活はつねにじゅう実しております。
- ・ぼくはおてるものはこましがほしいです。
- ・にんじゃ。
- ・ゆかいなふくろです。
- ・きょうりゅう。
- ・3だんべっど。
- ・キッザニア。
- ・たのしいよ。あおぞら。今バスケットをがんばっています。
- ・下肢の装具が要らなくなって、バランス（片足立ち）の練習がしたい。
- ・スカイツリーてんぼうだい。
- ・キーホルダーを少しでも付けられようにしてほしい。
- ・将来は親は先に亡くなります。仕事、グループホーム、結婚が出来ればと思いますが障害者同士の集まりの中で婚活の仕組みがあれば…いいと思います。※文は、子どもが書けないので親としての感想にしました。ありがとうございます。
- ・書けるようになるかすらわからないのでこの質問、ページも少し辛かったです。いろいろ考えてしまい書きなぐったようなページもありすみません。このアンケートを実施して声を拾ってくれること自体有難いことと、少し時間が経ち感じています。できることなら障害なんてない方がいい。無事に生まれてくると思った子どもがあれよあれよとどんどん障害児になっていき…支援を受けられることは有難いのですが、そこに繋るまでの方法が頻雑すぎて難しく、そもそも肢体不自由、身体障害、車いす、全介助…それを受け入れることも苦しかったりしています。いろんな感情が溢れ、窓口に行く時は凄い顔をしていたりしていることと思います。それなのに親切、丁寧にご対応下さっていることに心から感謝しています。今後とも宜しくお願い致します。

(絵)



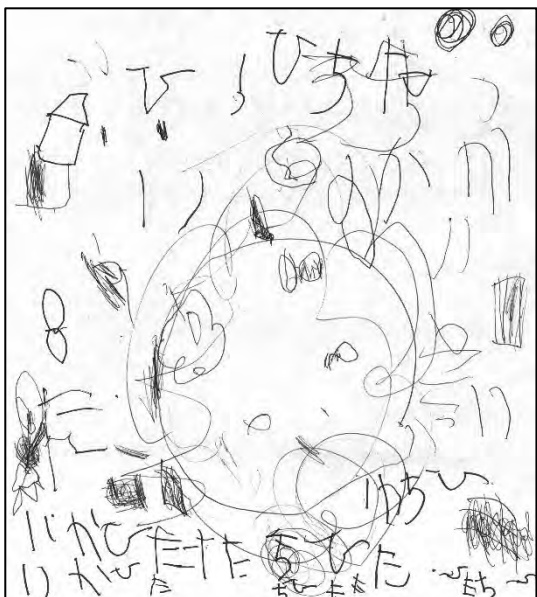
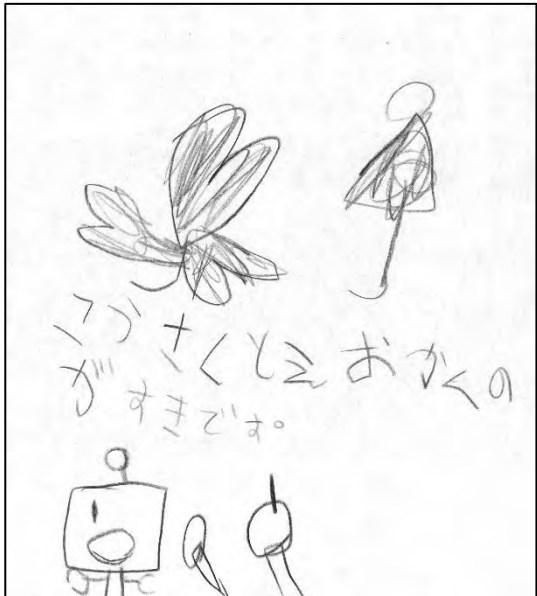
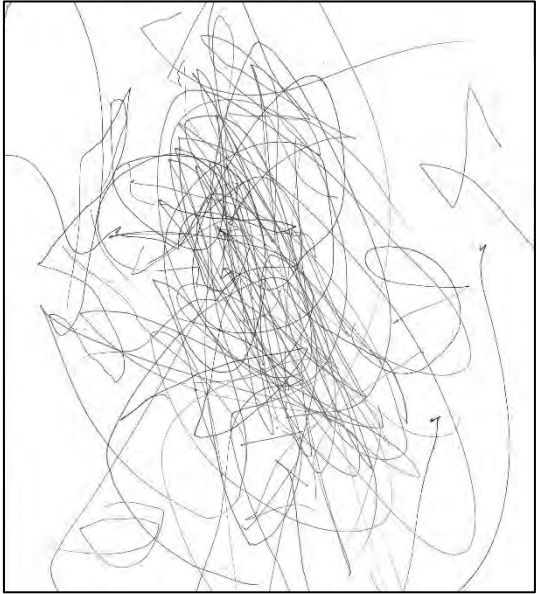


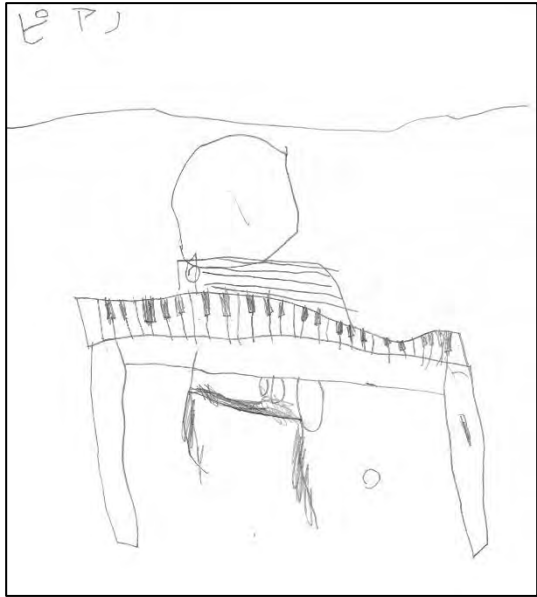
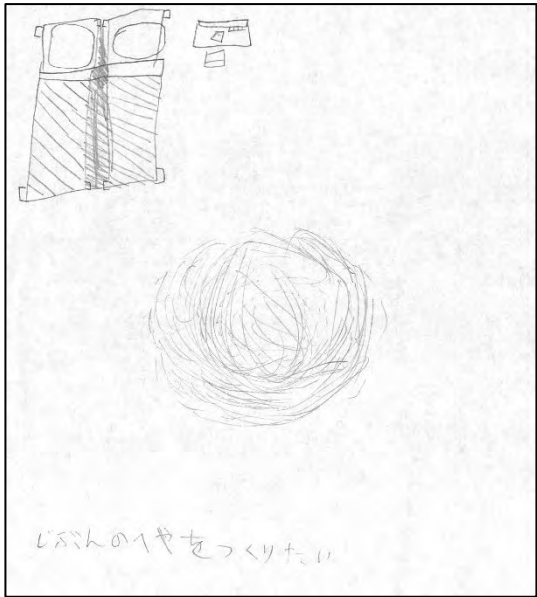
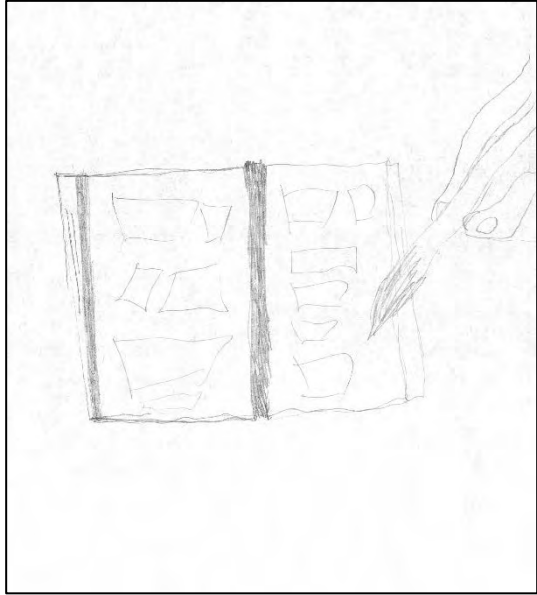
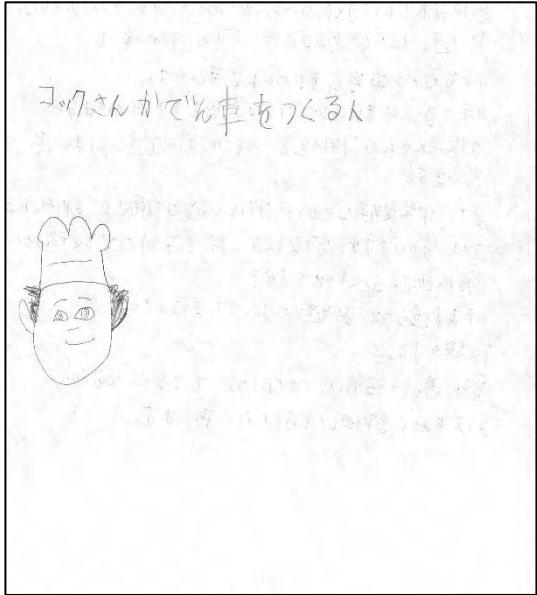
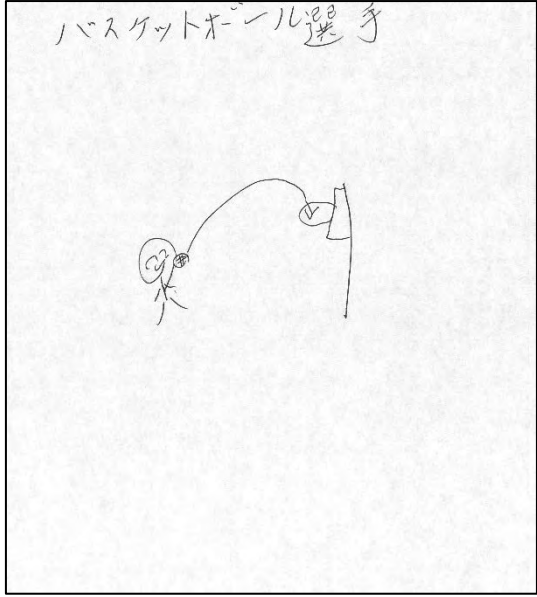
第1章
調査概要

第2章
調査結果
(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉
サービス
事業所)





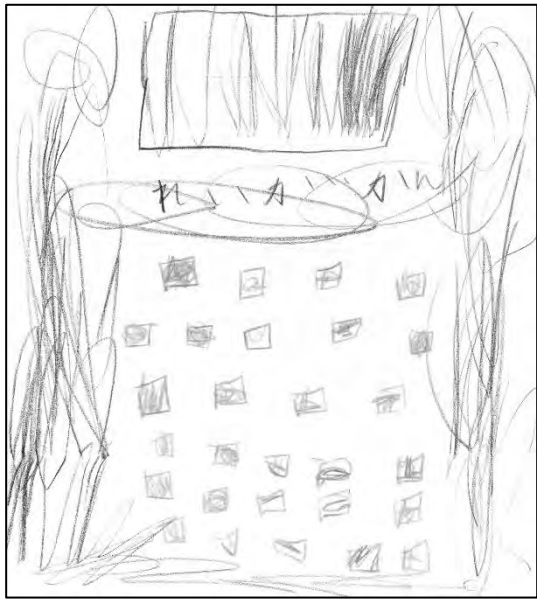
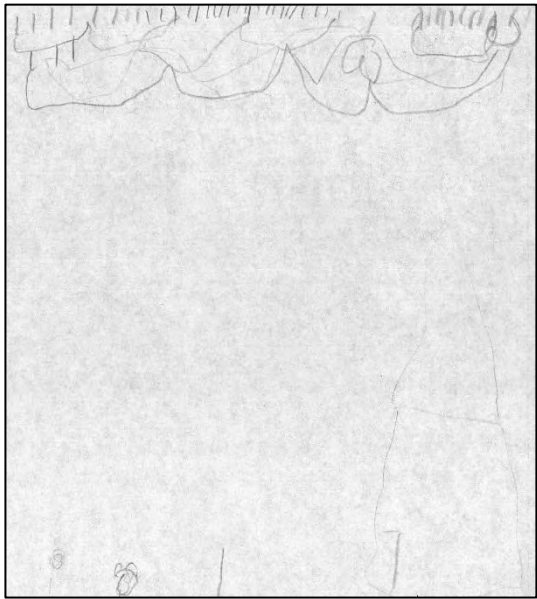
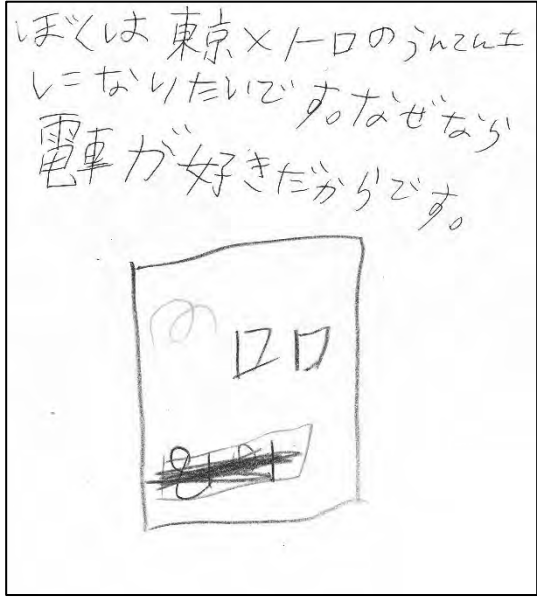
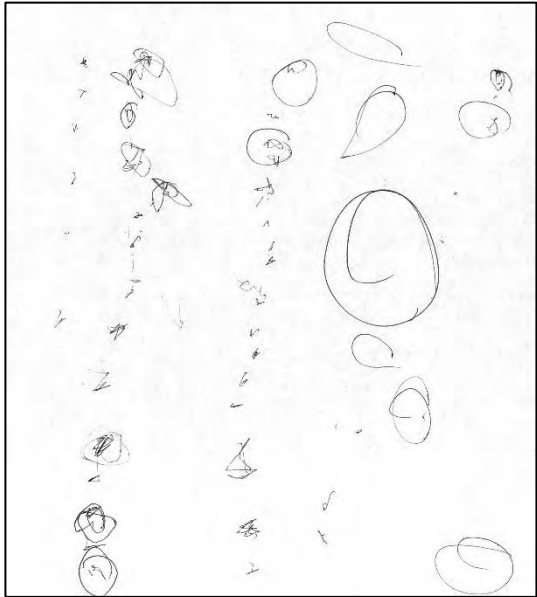
第1章
調査概要

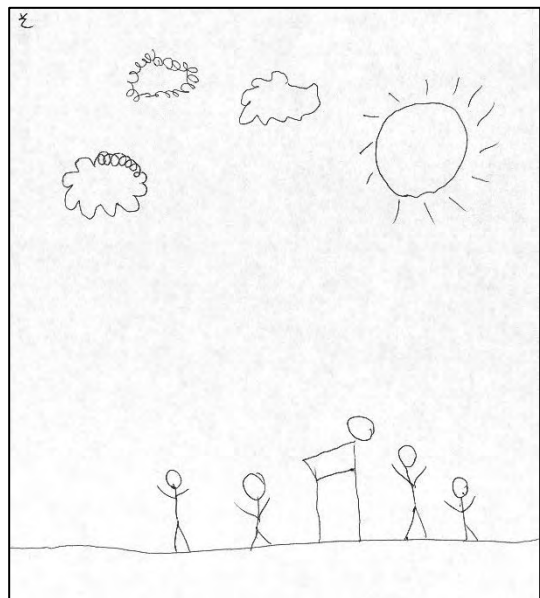
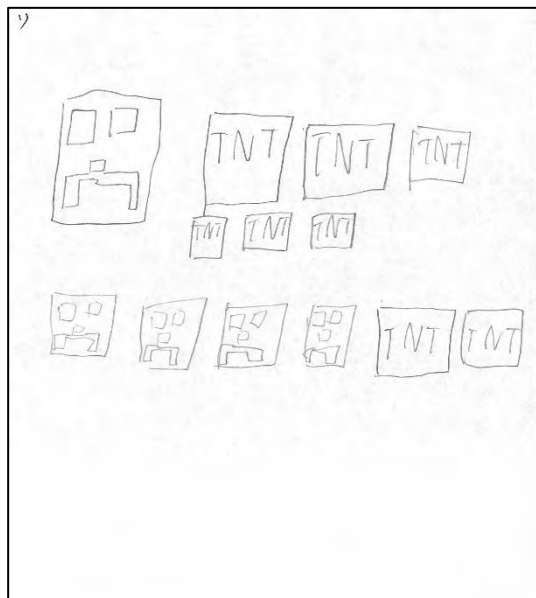
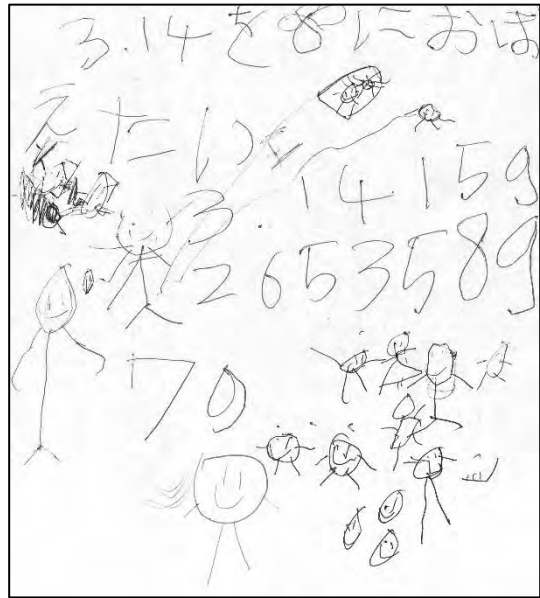
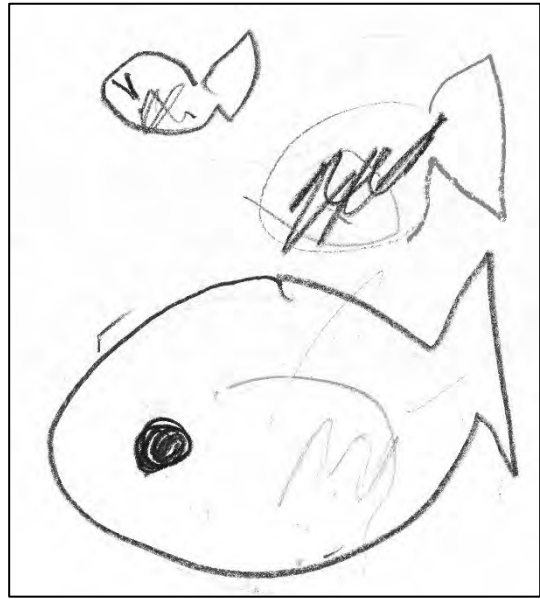
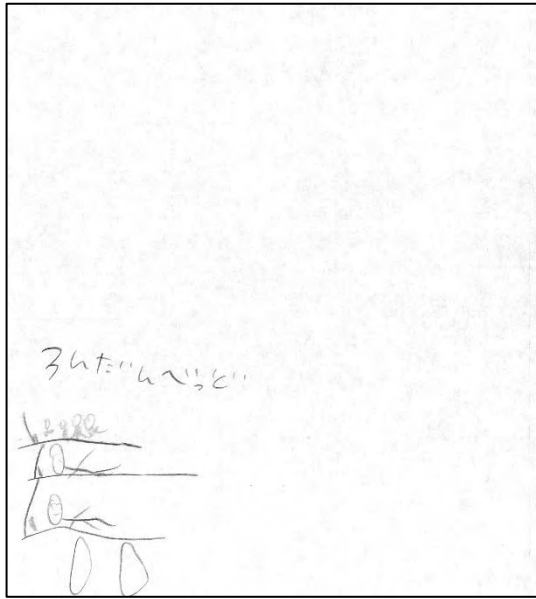
第2章
調査結果
(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉
サービス
事業所)

資料編





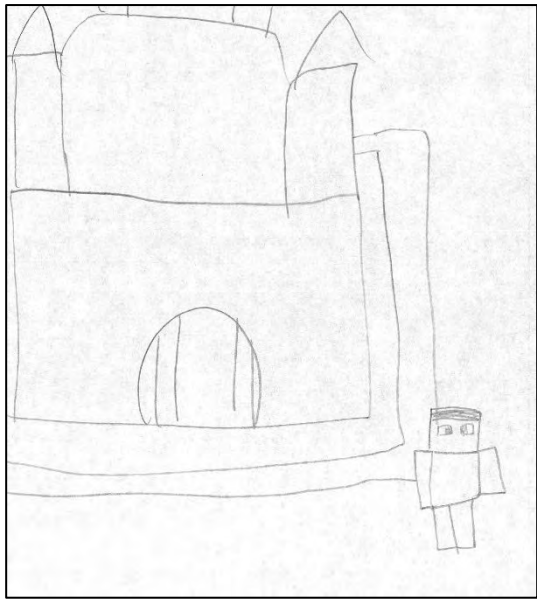
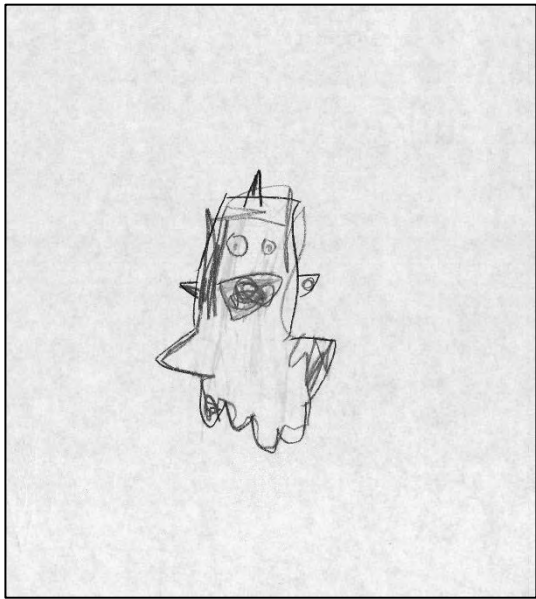
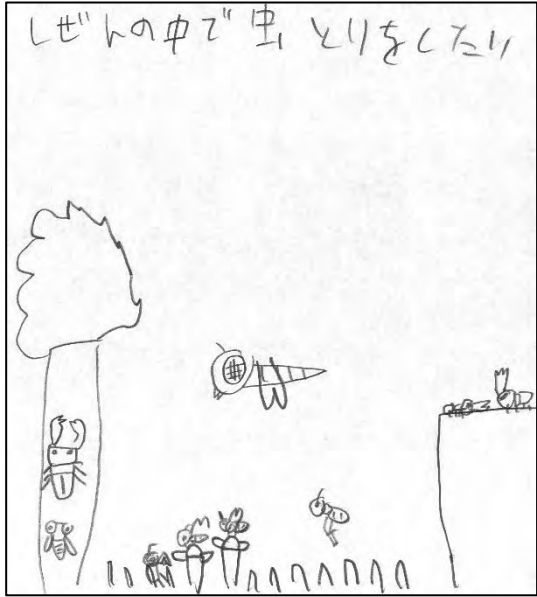
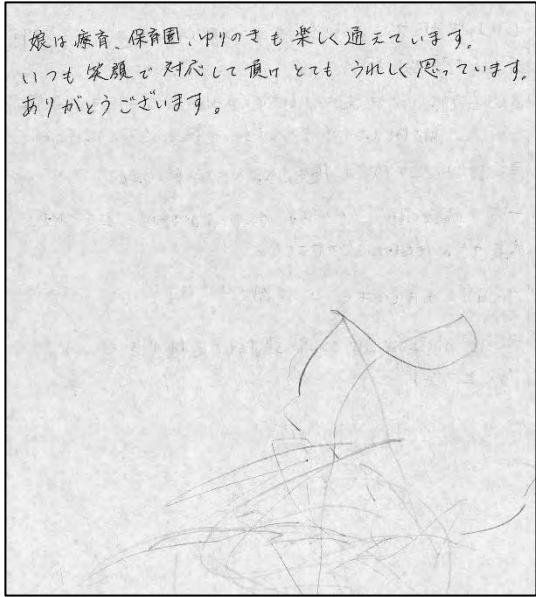
第1章
調査概要

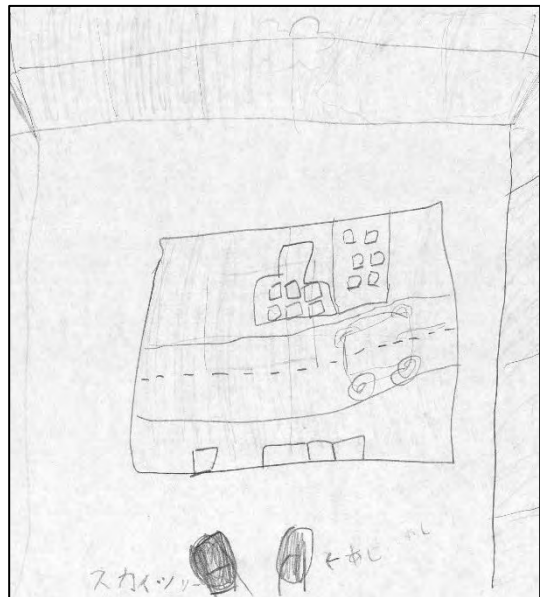
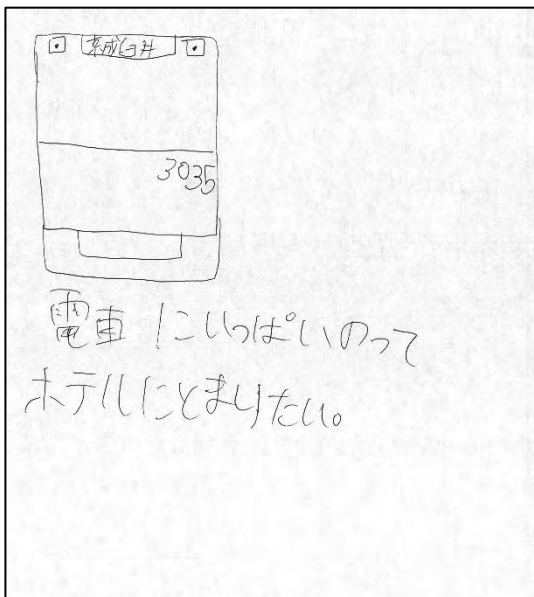
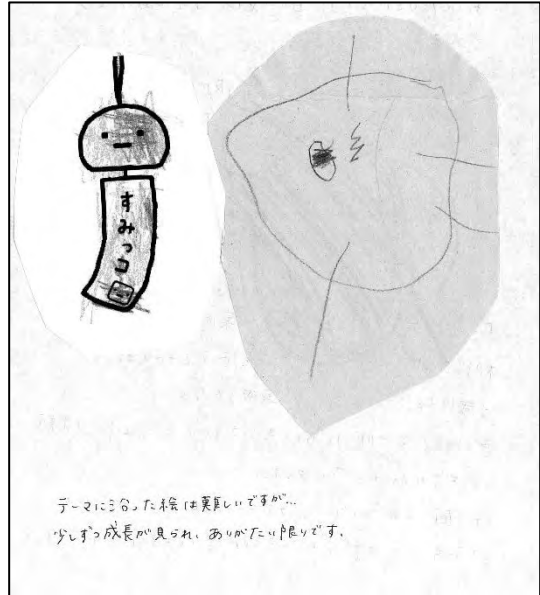
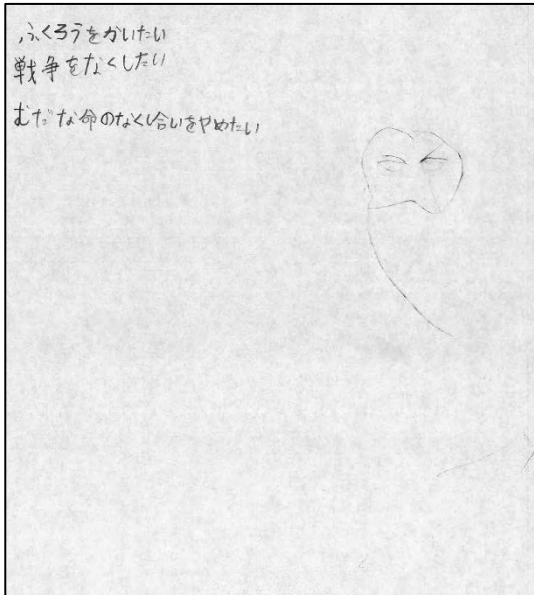
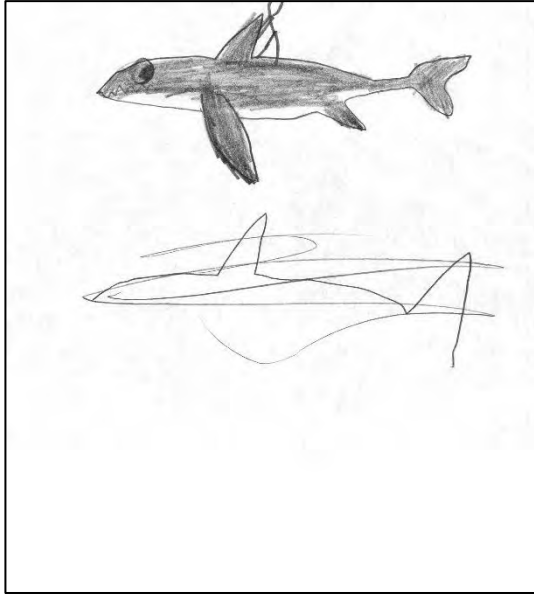
第2章
調査結果
(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉
サービス
事業所)

資料編





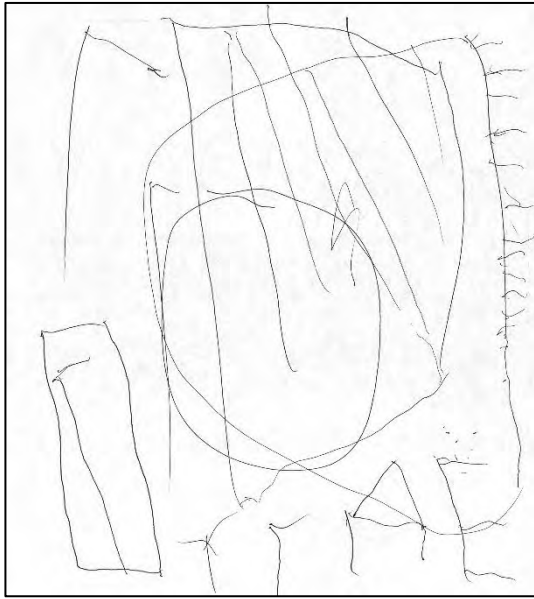
第1章
調査概要

第2章
調査結果
(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉
サービス
事業所)

資料編



・美術関係 (いろいろ)

- 1. イラストレーター。(自分から見た独特な目線で)
- 2. デザイナー。(自分の好きを作品や物に線を表現したい。)
- 3. アニメーター。(自分(ADHD等の発達障害者)の目線を手軽に評しく面白く、知ってもらおうと、アニメーションをつくりたい。)

× ... (上部) 以外に、音楽関係(作詞・作曲)や文系にも興味があります。あと、クラゲを飼ってみたい

真いかに優しい世の中に住んで嬉しいわ

HP

さくさくのりまき

ワニ

1000

※6歳の息子が持っている代わりです。お絵描きしてあげたい

キーホルダーを少しでも
付けられるようにしてほしい

第4章

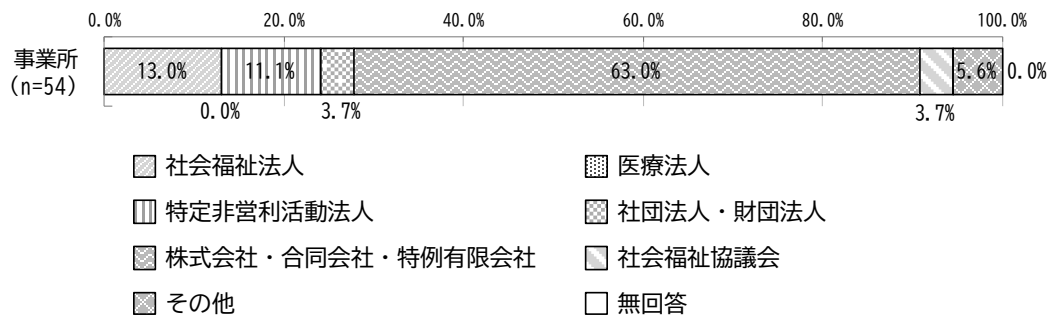
調査結果

⑤障害福祉サービス事業所

1 事業所について

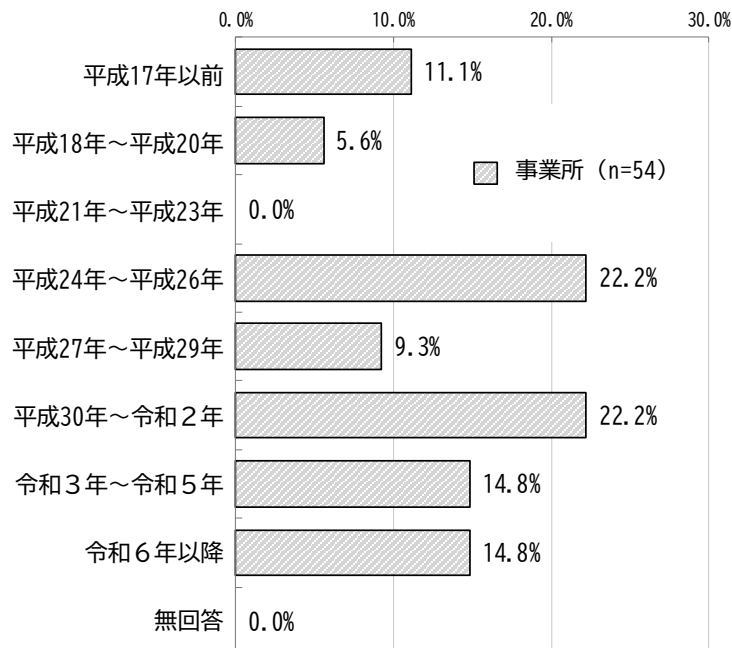
問1（1） 貴事業所の運営主体をお教えてください。

運営主体の種類について、「株式会社・合同会社・特例有限会社」が63.0%と最も高く、次いで「社会福祉法人」が13.0%、「特定非営利活動法人」が11.1%となっています。



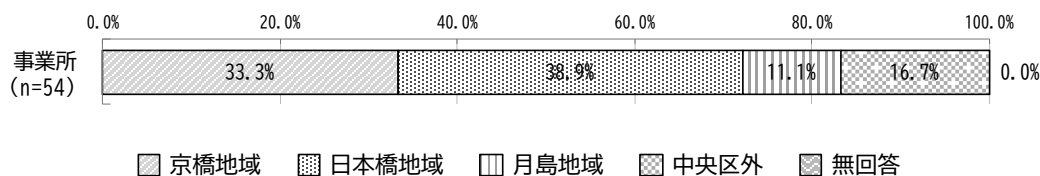
問1（2） 貴事業所の開業年をお教えてください。

開業年について、「平成24年～平成26年」「平成30年～令和2年」が22.2%と最も高く、次いで「令和3年～令和5年」「令和6年以降」が14.8%、「平成17年以前」が11.1%となっています。



問1 (3) 貴事業所の所在地をお教えてください。

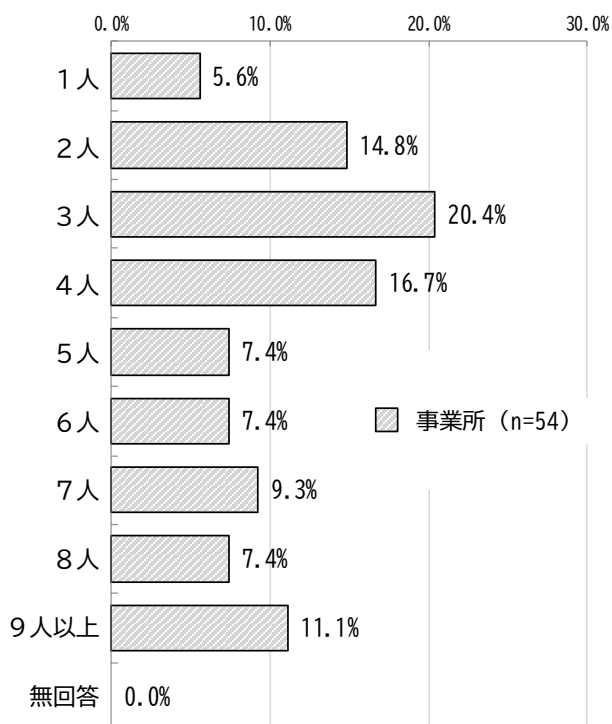
所在地域について、「日本橋地域」が 38.9%と最も高く、次いで「京橋地域」が 33.3%、「中央区外」が 16.7%となっています。



問2 貴事業所の職員数について、常勤、非常勤のそれぞれ人数を記入してください。

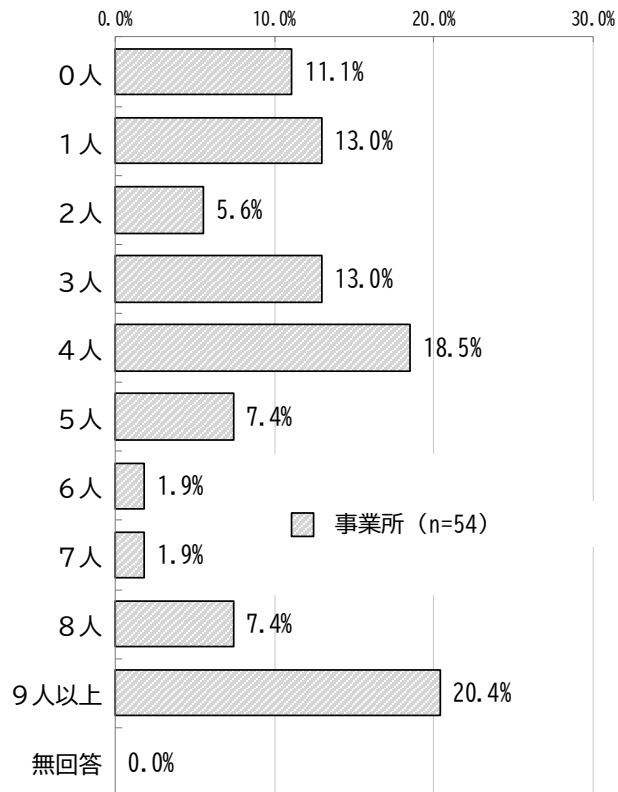
① 常勤の職員数

常勤の職員数について、「3人」が 20.4%と最も高く、次いで「4人」が 16.7%、「2人」が 14.8%となっています。



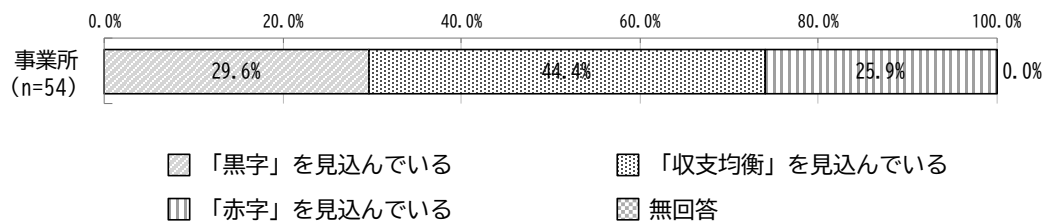
② 非常勤の職員数

非常勤の職員数について、「9人以上」が20.4%と最も高く、次いで「4人」が18.5%、「1人」「3人」が13.0%となっています。



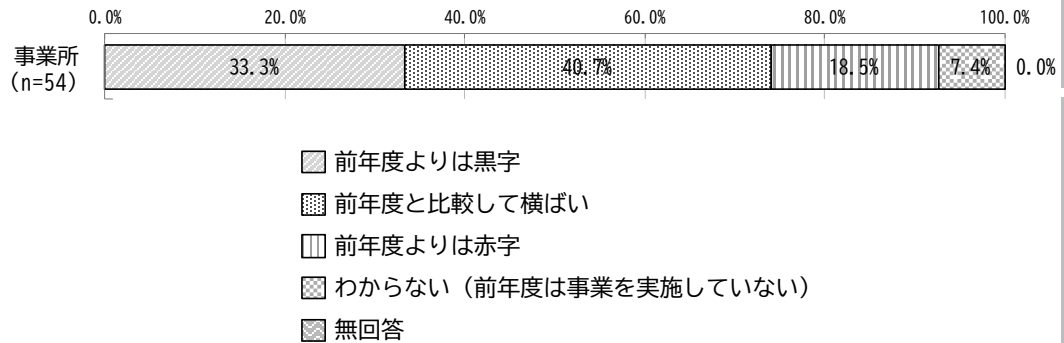
問3 貴事業所の今年度の収支状況（見込み）をお教えてください。

今年度の収支状況について、「『収支均衡』を見込んでいる」が44.4%と最も高く、次いで「『黒字』を見込んでいる」が29.6%、「『赤字』を見込んでいる」が25.9%となっています。



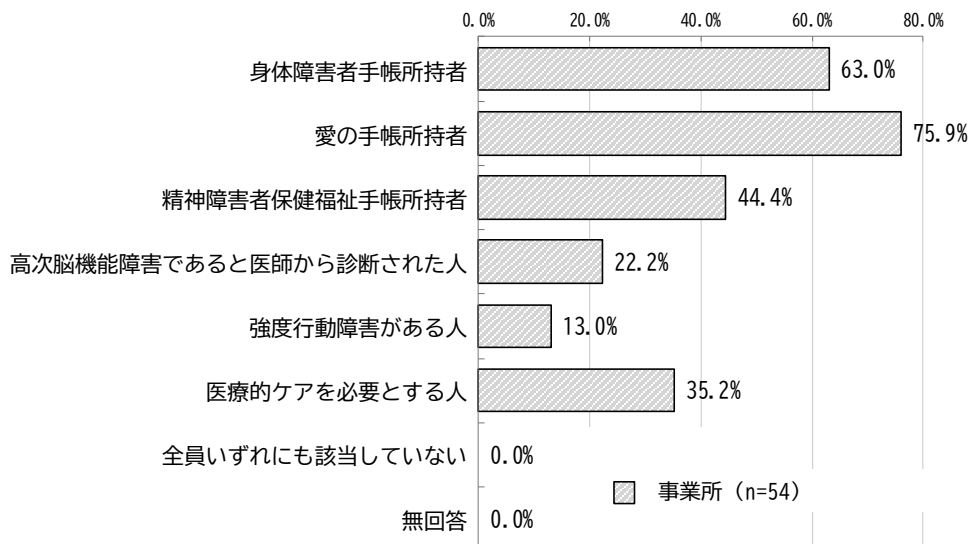
問4 貴事業所の今年度の収支状況と、昨年同時期の収支状況を比較して、あてはまるものをお教えてください。

収支状況の変化について、「前年度と比較して横ばい」が40.7%と最も高く、次いで「前年度よりは黒字」が33.3%、「前年度よりは赤字」が18.5%となっています。



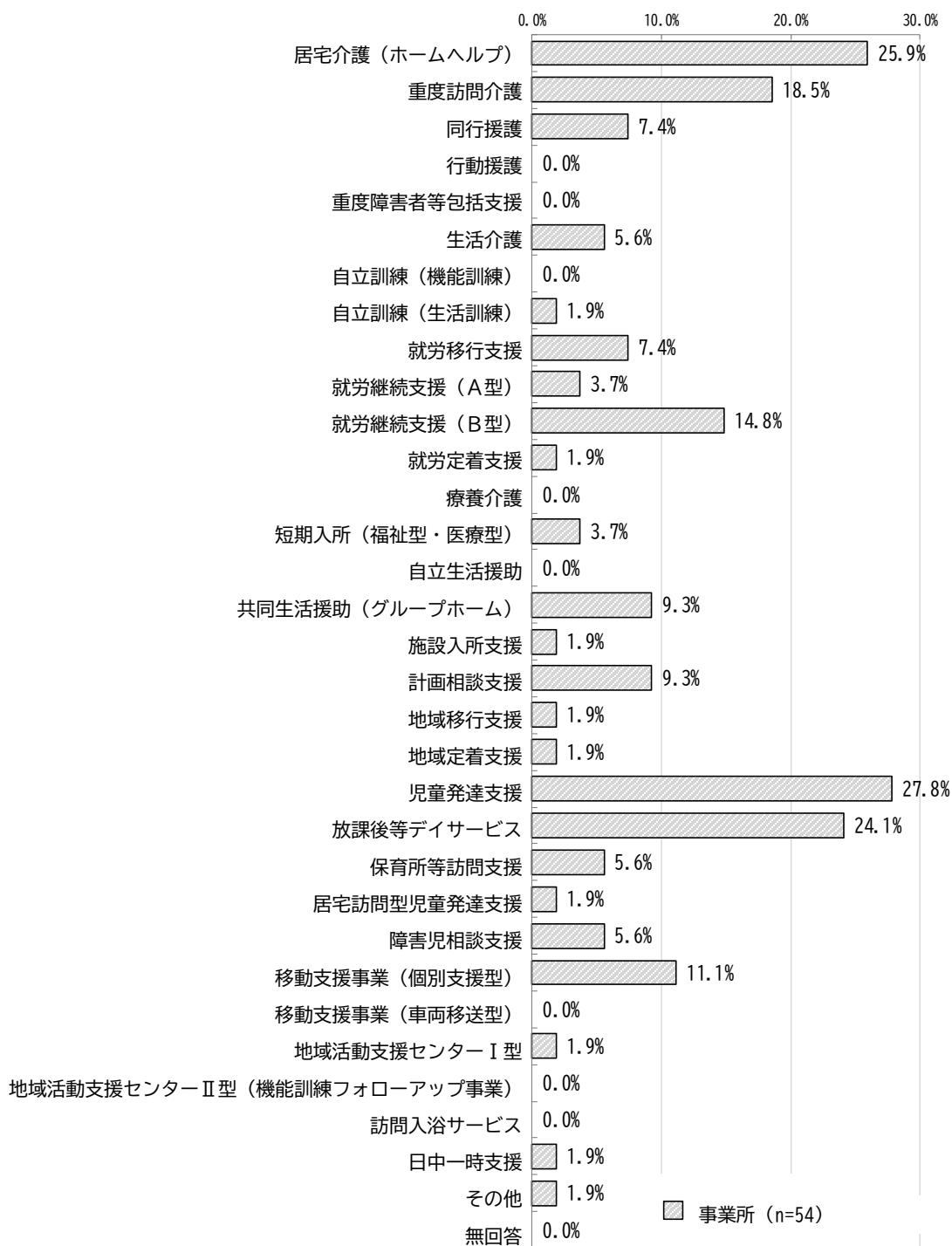
問5 現在、貴事業所でサービスを提供している利用者について、下記のいずれかに該当する人はいますか。

利用者の属性について、「愛の手帳所持者」が75.9%と最も高く、次いで「身体障害者手帳所持者」が63.0%、「精神障害者保健福祉手帳所持者」が44.4%となっています。



問6 貴事業所で提供している障害福祉サービスについて教えてください。あてはまる番号をすべて選んでください。

提供しているサービスについて、「児童発達支援」が27.8%と最も高く、次いで「居宅介護（ホームヘルプ）」が25.9%、「放課後等デイサービス」が24.1%となっています。



問7 問6で選択した障害福祉サービスについて、貴事業所における障害福祉サービスの提供量において、現在の体制で、1か月あたり「実際に提供している量」と「提供可能な量」の両方について、時間/人日/人数の数字を記入してください（中央区民と他区の方の合算）。

※令和7年8月の1か月分の回答をお願いします。

※介護保険サービスなど障害福祉サービス以外の実人数や時間は除いてください。

① 居宅介護（ホームヘルプ）

居宅介護（ホームヘルプ）について、実際に提供している量（実人数）の合計が114人、実際に提供している量（時間）の合計が1,805時間となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
0	1
1	4
2	1
4	1
5	1
8	1
10	1
12	1
15	1
17	1
37	1
合計：114人	

実際に提供している量（時間）	件数
0	1
1	2
18	1
20	1
21	1
70	1
85	1
118	1
150	1
156	1
230	1
248	1
687	1
合計：1,805時間	

② 重度訪問介護

重度訪問介護について、実際に提供している量（実人数）の合計が 45 人、実際に提供している量（時間）の合計が 1,844 時間となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
0	6
2	1
8	1
15	1
20	1
合計：45 人	

実際に提供している量（時間）	件数
0	7
240	1
379	1
1,225	1
合計：1,844 時間	

③ 同行援護

同行援護について、実際に提供している量（実人数）の合計が 14 人、実際に提供している量（時間）の合計が 53 時間となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
2	1
3	1
4	1
5	1
合計：14 人	

実際に提供している量（時間）	件数
5	1
10	1
12	1
26	1
合計：53 時間	

④ 行動援護

行動援護について、回答がありませんでした。

⑤ 重度障害者等包括支援

重度障害者等包括支援について、回答がありませんでした。

⑥ 生活介護

生活介護について、実際に提供している量（実人数）の合計が 74 人、提供可能な量（実人数）の合計が 83 人、実際に提供している量（延日数）の合計が 1,232 人日、提供可能な量（延日数）の合計が 1,603 人日となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
3	1
30	1
41	1
合計：74人	

提供可能な量（実人数）	件数
3	1
30	1
50	1
合計：83人	

実際に提供している量（延日数）	件数
3	1
600	1
629	1
合計：1,232人日	

提供可能な量（延日数）	件数
3	1
600	1
1,000	1
合計：1,603人日	

⑦ 自立訓練（機能訓練）

自立訓練（機能訓練）について、回答がありませんでした。

⑧ 自立訓練（生活訓練）

自立訓練（生活訓練）について、実際に提供している量（実人数）の合計が 10 人、提供可能な量（実人数）の合計が 10 人、実際に提供している量（延日数）の合計が 10 人日、提供可能な量（延日数）の合計が 250 人日となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
10	1
合計：10人	

提供可能な量（実人数）	件数
10	1
合計：10人	

実際に提供している量（延日数）	件数
10	1
合計：10人日	

提供可能な量（延日数）	件数
250	1
合計：250人日	

⑨ 就労移行支援

就労移行支援について、実際に提供している量（実人数）の合計が 42 人、提供可能な量（実人数）の合計が 58 人、実際に提供している量（延日数）の合計が 489 人日、提供可能な量（延日数）の合計が 1,254 人日となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
1	1
10	1
13	1
18	1
合計：42 人	

提供可能な量（実人数）	件数
6	1
10	1
20	1
22	1
合計：58 人	

実際に提供している量（延日数）	件数
10	1
20	1
159	1
300	1
合計：489 人日	

提供可能な量（延日数）	件数
120	1
250	1
400	1
484	1
合計：1,254 人日	

⑩ 就労継続支援（A型）

就労継続支援（A型）について、実際に提供している量（実人数）の合計が 14 人、提供可能な量（実人数）の合計が 25 人、実際に提供している量（延日数）の合計が 241 人日、提供可能な量（延日数）の合計が 500 人日となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
6	1
8	1
合計：14 人	

提供可能な量（実人数）	件数
10	1
15	1
合計：25 人	

実際に提供している量（延日数）	件数
81	1
160	1
合計：241 人日	

提供可能な量（延日数）	件数
200	1
300	1
合計：500 人日	

⑪ 就労継続支援（B型）

就労継続支援（B型）について、実際に提供している量（実人数）の合計が122人、提供可能な量（実人数）の合計が180人、実際に提供している量（延日数）の合計が1,427人日、提供可能な量（延日数）の合計が3,299人日となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
4	1
8	1
15	1
16	1
17	2
20	1
25	1
合計：122人	

提供可能な量（実人数）	件数
10	1
20	5
30	1
40	1
合計：180人	

実際に提供している量（延日数）	件数
10	1
20	1
22	1
160	1
184	1
206	1
300	1
525	1
合計：1,427人日	

提供可能な量（延日数）	件数
20	1
200	1
339	1
420	1
440	2
600	1
840	1
合計：3,299人日	

⑫ 就労定着支援

就労定着支援について、実際に提供している量（実人数）の合計が8人、提供可能な量（実人数）の合計が16人となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
8	1
合計：8人	

提供可能な量（実人数）	件数
16	1
合計：16人	

⑬ 療養介護

療養介護について、回答がありませんでした。

⑭ 短期入所（福祉型・医療型）

短期入所（福祉型・医療型）について、実際に提供している量（実人数）の合計が 10 人、提供可能な量（実人数）の合計が 7 人、実際に提供している量（延日数）の合計が 113 人日、提供可能な量（延日数）の合計が 198 人日となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
4	1
6	1
合計：10 人	

提供可能な量（実人数）	件数
1	1
6	1
合計：7 人	

実際に提供している量（延日数）	件数
13	1
100	1
合計：113 人日	

提供可能な量（延日数）	件数
18	1
180	1
合計：198 人日	

⑮ 自立生活援助

自立生活援助について、回答がありませんでした。

⑯ 共同生活援助（グループホーム）

共同生活援助（グループホーム）について、実際に提供している量（実人数）の合計が 43 人、提供可能な量（実人数）の合計が 45 人となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
4	1
6	1
7	1
8	1
18	1
合計：43 人	

提供可能な量（実人数）	件数
4	1
6	1
7	1
10	1
18	1
合計：45 人	

⑰ 施設入所支援

施設入所支援について、実際に提供している量（実人数）の合計が 30 人、提供可能な量（実人数）の合計が 30 人となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
30	1
合計：30人	

提供可能な量（実人数）	件数
30	1
合計：30人	

⑱ 計画相談支援

計画相談支援について、実際に提供している量（延人数）の合計が 263 人、提供可能な量（延人数）の合計が 308 人となっています。

実際に提供している量（延人数）	件数
17	1
24	1
29	1
40	1
153	1
合計：263人	

提供可能な量（延人数）	件数
3	1
30	1
35	1
40	1
200	1
合計：308人	

⑲ 地域移行支援

地域移行支援について、実際に提供している量（実人数）の合計が 0 人、提供可能な量（実人数）の合計が 1 人となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
0	1
合計：0人	

提供可能な量（実人数）	件数
1	1
合計：1人	

⑳ 地域定着支援

地域定着支援について、実際に提供している量（実人数）の合計が0人、提供可能な量（実人数）の合計が1人となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
0	1
合計：0人	

提供可能な量（実人数）	件数
1	1
合計：1人	

② 児童発達支援

児童発達支援について、実際に提供している量（実人数）の合計が197人、提供可能な量（実人数）の合計が192人、実際に提供している量（延日数）の合計が2,616人日、提供可能な量（延日数）の合計が3,181人日となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
4	1
7	1
8	1
9	2
10	7
22	1
27	1
41	1
合計：197人	

提供可能な量（実人数）	件数
5	1
6	1
10	11
26	1
45	1
合計：192人	

実際に提供している量（延日数）	件数
10	1
40	1
70	1
75	1
76	1
195	1
200	2
216	1
220	1
230	1
240	1
278	1
282	1
284	1
合計：2,616人日	

提供可能な量（延日数）	件数
10	1
30	1
70	1
75	1
90	1
168	1
200	2
220	1
250	1
260	2
310	2
728	1
合計：3,181人日	

② 放課後等デイサービス

放課後等デイサービスについて、実際に提供している量（実人数）の合計が 217 人、提供可能な量（実人数）の合計が 156 人、実際に提供している量（延日数）の合計が 2,226 人日、提供可能な量（延日数）の合計が 2,760 人日となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
5	1
7	1
8	2
10	5
12	1
16	1
21	1
90	1
合計：217 人	

提供可能な量（実人数）	件数
5	1
6	1
10	8
20	2
25	1
合計：156 人	

実際に提供している量（延日数）	件数
10	1
61	1
105	1
106	1
156	1
165	1
192	1
204	1
220	1
228	1
240	2
299	1
合計：2,226 人日	

提供可能な量（延日数）	件数
10	1
90	1
125	2
160	1
220	2
240	1
250	2
260	1
310	1
500	1
合計：2,760 人日	

② 保育所等訪問支援

保育所等訪問支援について、実際に提供している量（実人数）の合計が 90 人、提供可能な量（実人数）の合計が 146 人、実際に提供している量（延日数）の合計が 151 人日、提供可能な量（延日数）の合計が 272 人日となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
4	1
26	1
60	1
合計：90人	

提供可能な量（実人数）	件数
20	1
26	1
100	1
合計：146人	

実際に提供している量（延日数）	件数
4	1
37	1
110	1
合計：151人日	

提供可能な量（延日数）	件数
20	1
52	1
200	1
合計：272人日	

④ 居宅訪問型児童発達支援

居宅訪問型児童発達支援について、実際に提供している量（実人数）の合計が 15 人、提供可能な量（実人数）の合計が 30 人、実際に提供している量（延日数）の合計が 110 人日、提供可能な量（延日数）の合計が 200 人日となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
15	1
合計：15人	

提供可能な量（実人数）	件数
30	1
合計：30人	

実際に提供している量（延日数）	件数
110	1
合計：110人日	

提供可能な量（延日数）	件数
200	1
合計：200人日	

㉕ 障害児相談支援

障害児相談支援について、実際に提供している量（延人数）の合計が 82 人、提供可能な量（延人数）の合計が 86 人となっています。

実際に提供している量（延人数）	件数
5	1
7	1
70	1
合計：82 人	

提供可能な量（延人数）	件数
6	1
10	1
70	1
合計：86 人	

㉖ 移動支援事業（個別支援型）

移動支援事業（個別支援型）について、実際に提供している量（実人数）の合計が 15 人、実際に提供している量（時間）の合計が 197 時間となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
1	1
2	3
3	1
5	1
合計：15 人	

実際に提供している量（時間）	件数
2	1
4	1
6	1
7	1
40	1
138	1
合計：197 時間	

㉗ 移動支援事業（車両移送型）

移動支援事業（車両移送型）について、回答がありませんでした。

㉘ 地域活動支援センター I 型

地域活動支援センター I 型について、実際に提供している量（延人数）の合計が 118 人、提供可能な量（延人数）の合計が 130 人となっています。

実際に提供している量（延人数）	件数
118	1
合計：118 人	

提供可能な量（延人数）	件数
130	1
合計：130 人	

② 地域活動支援センターⅡ型（機能訓練フォローアップ事業）

地域活動支援センターⅡ型（機能訓練フォローアップ事業）について、回答がありませんでした。

③ 訪問入浴サービス

訪問入浴サービスについて、回答がありませんでした。

③ 日中一時支援

日中一時支援について、実際に提供している量（実人数）の合計が4人、提供可能な量（実人数）の合計が4人、実際に提供している量（延人数）の合計が70人、提供可能な量（延人数）の合計が120人となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
4	1
合計：4人	

提供可能な量（実人数）	件数
4	1
合計：4人	

実際に提供している量（延人数）	件数
70	1
合計：70人	

提供可能な量（延人数）	件数
120	1
合計：120人	

② その他

その他について、実際に提供している量（実人数）の合計が 136 人、実際に提供している量（延人数）の合計が 26 人、実際に提供している量（延日数）の合計が 20 人日、提供可能な量（延日数）の合計が 20 人日、実際に提供している量（時間）の合計が 160 時間、提供可能な量（時間）の合計が 160 時間となっています。

実際に提供している量（実人数）	件数
136	1
合計：136 人	

提供可能な量（実人数）	件数
－	1
合計：－人	

実際に提供している量（延人数）	件数
26	1
合計：26 人	

提供可能な量（延人数）	件数
－	1
合計：－人	

実際に提供している量（延日数）	件数
20	1
合計：20 人日	

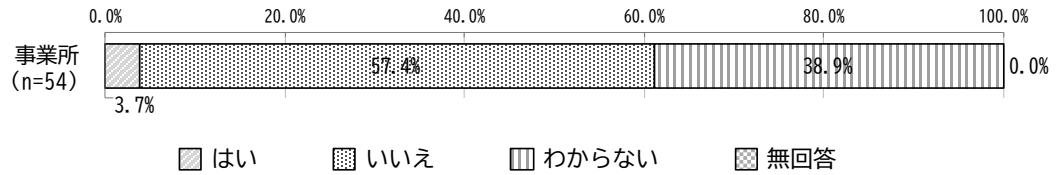
提供可能な量（延日数）	件数
20	1
合計：20 人日	

実際に提供している量（時間）	件数
160	1
合計：160 時間	

提供可能な量（時間）	件数
160	1
合計：160 時間	

問8 就労選択支援に取り組む予定はありますか。

就労選択支援に取り組む予定について、「いいえ」が57.4%と最も高く、次いで「わからない」が38.9%、「はい」が3.7%となっています。



問8-1 就労選択支援の「開始時期」や1か月あたりの「提供可能な予定量（人数）」について、下記の枠内に具体的にご記入ください。

就労選択支援の開始時期について、「令和9年4月」「令和10年4月」が1件となっています。

就労選択支援の提供可能な量（実人数）について、合計が50人となっています。

開始時期	件数
令和9年4月	1
令和10年4月	1

提供可能な量（実人数）	件数
20	1
30	1
合計：50人	

第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果
(④子ども)

第4章

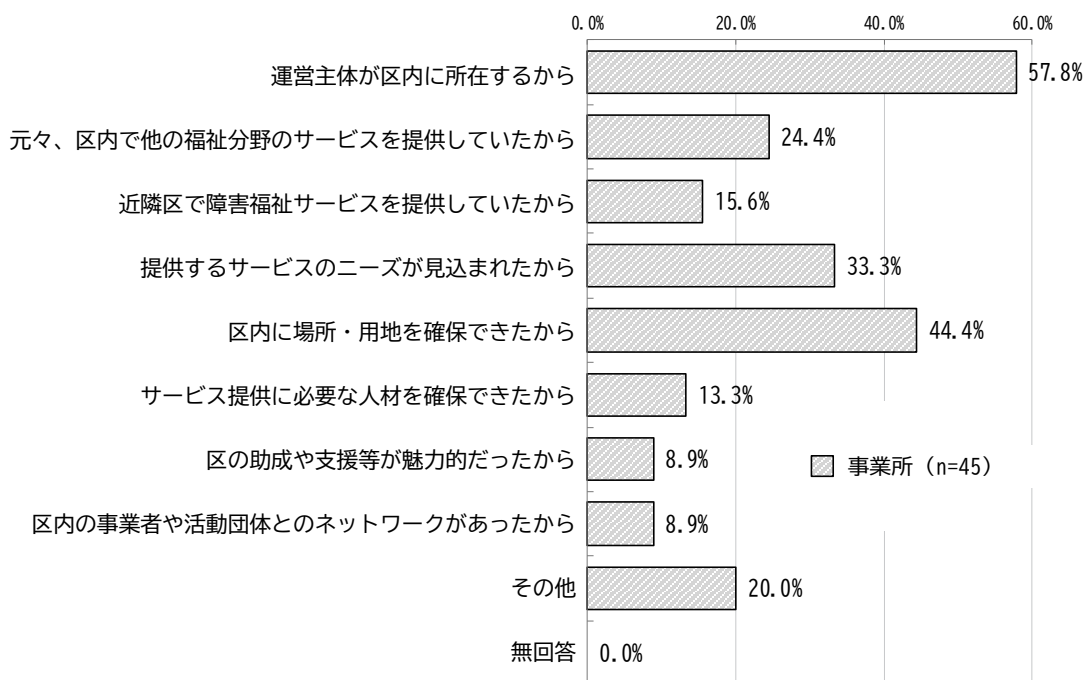
調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

2 事業運営・サービス提供について

問9 貴事業所が、事業を運営する場所として現在の所在地を選んだ理由を教えてください。

中央区を選んだ理由について、「運営主体が区内に所在するから」が57.8%と最も高く、次いで「区内に場所・用地を確保できたから」が44.4%、「提供するサービスのニーズが見込まれたから」が33.3%となっています。



問10 中央区に参入するにあたって感じた課題や懸念事項などがありましたら、下記の枠内に具体的にご記入ください。また、事業を運営することが困難と感じる障害者福祉サービスがありましたら、サービスの名称とその理由についてご記入ください。

<中央区に参入するにあたって感じた課題や懸念事項など>

中央区に参入するにあたって感じた課題や懸念事項などについて、「賃料に関すること」が10件と最も多く、次いで「利用者のニーズに関すること」が6件となっています。

項目	件数
賃料に関すること	10
経営に関すること	2
移動に関すること	1

項目	件数
人材に関すること	2
利用者ニーズに関すること	6
区の対応に関すること	2
合計：23件	

○賃料に関すること

- ・家賃が高く、運営の維持が大変である。
- ・課題は家賃の負担が大きいことです。訪問のサービスのため、そこまで負担にはなってはいませんが、施設系の開業もしたいと考えたときに、利益を出せるのかという懸念があります。
- ・駐車場、テナントの確保の難しさとその賃料の高さ。
- ・駐車場がない、あっても高すぎ。家賃が高い。対象物件が圧倒的に少ない。

○経営に関すること

- ・週5日開所での黒字化が困難。
- ・人材不足と重視のバランス。

○移動に関すること

- ・日本橋地域から晴海、勝どきエリアへの移動が大変。

○人材に関すること

- ・中央区内に訪問できるヘルパーが減少。
- ・災害時等で緊急参集する場合に近隣に職員が暮らしていない。

○利用者ニーズに関すること

- ・人口増加に合わせたニーズの拡大に一事業所としての対応に限界がある。
- ・需要に対して事業所が少ない。
- ・他の習い事との掛け持ち等でお休みが多い。
- ・就学、受験を視野に入れた方が多いです。

○区の対応に関すること

- ・相談員の影が薄く、積極的に調整を行なって貰えない。家族と直談判になるケースが多く、カスハラ対応が大変。
- ・利用基準が統一されていないことが多く、サービス提供するにあたって戸惑う

ことが多い。受給者証を発行するにあたって子ども本人だけでなく家庭の状況を把握した上で親御さんの支援にも力を入れて頂けるとより良いと思います。

<事業を運営することが困難と感じる障害福祉サービス>

事業を運営することが困難と感じる障害福祉サービスなどについて、「放課後等デイサービス」が7件と最も多く、次いで「移動支援事業」「重度訪問介護」が5件となっています。

項目	件数
居宅介護	4
重度訪問介護	5
同行援護	2
生活介護	1
就労継続支援（A型）	1
就労継続支援（B型）	1
就労選択支援	1

項目	件数
就労支援サービス全般	1
短期入所（福祉型・医療型）	2
地域移行支援	1
児童発達支援	2
放課後等デイサービス	7
移動支援事業	5
特になし	22
合計：55件	

○居宅介護

- ・利用者のキャンセルが多く、安定した収入が見込めない。中央区に住むヘルパーが少ない。遠くから通うヘルパーは交通費がかかるため短時間の仕事は嫌厭される。
- ・1人当たりの単価が低く人件費高騰で運営するのが困難。

○重度訪問介護

- ・内容に見合った報酬が見込めない。

○同行援護

- ・スタッフの高齢化と新規採用が困難。

○生活介護

- ・場所がない、賃料が高い。

○就労継続支援（A型）

- ・ご利用者の給与分の収支の確保。

○就労選択支援

- ・就労実績他、就労選択支援のための部屋を用意することができない。

○短期入所（福祉型・医療型）

- ・居住、居室スペースがないため。
- ・夜間体制を含めた医療スタッフの確保。

○放課後等デイサービス

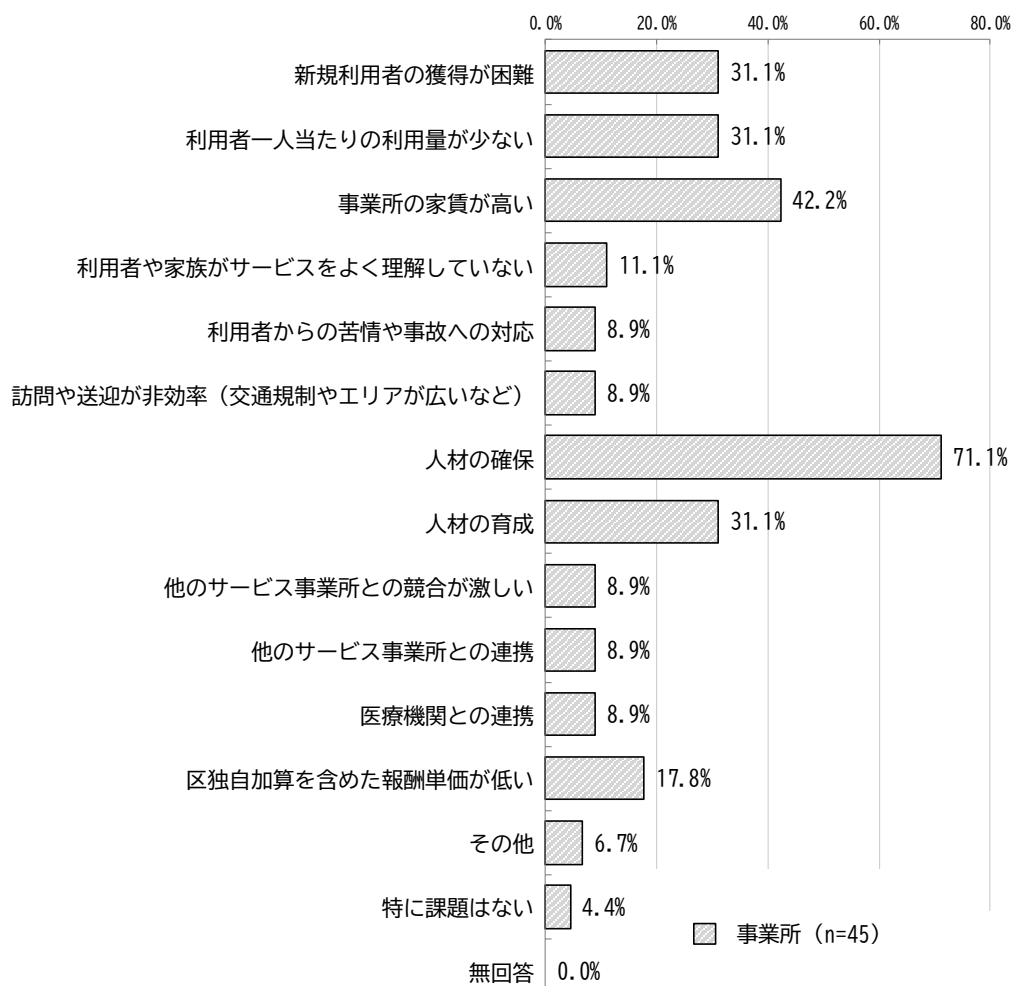
- ・送迎サービスの拡大。
- ・駐車場、テナントの確保の難しさとその賃料の高さ。
- ・継続で12年間、通所可能だが、卒業生がでないと、新たな受入ができない。
- ・1人当たりの単価が低く運営するのが困難。

○移動支援事業

- ・ ニーズある時間帯が同じで人が足りない。報酬単価の安さ。

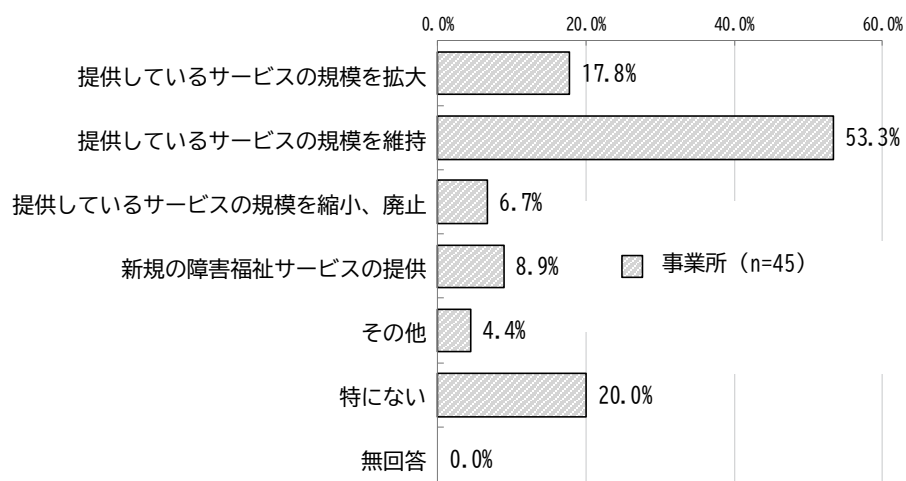
問11 現在、貴事業所が中央区内で事業を運営していく上での課題がありましたら、お教えください。

現在の運営上の課題について、「人材の確保」が71.1%と最も高く、次いで「事業所の家賃が高い」が42.2%、「新規利用者の獲得が困難」「利用者一人当たりの利用量が少ない」「人材の育成」が31.1%となっています。



問12 中央区内で提供するサービスや事業運営に関して、貴事業所でご検討されていることや今後の展望がございましたら教えてください。

中央区内で提供するサービスや事業運営の今後の展望について、「提供しているサービスの規模を維持」が 53.3%と最も高く、次いで「特にない」が 20.0%、「提供しているサービスの規模を拡大」が 17.8%となっています。



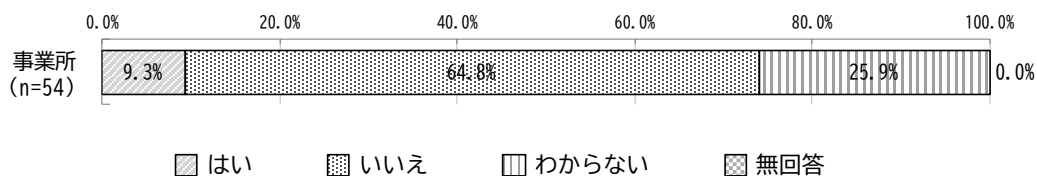
問12-1 問12で選択した「提供しているサービスの規模を拡大」「提供しているサービスの規模を縮小、廃止」「新規の障害福祉サービスの提供」のサービスの名称や時期、提供予定量について、下記の枠内に具体的にご記入ください。廃止の場合は提供予定量の欄に「0」とご記入ください。

拡大、縮小、新規で提供予定のサービスの名称や時期、提供予定量について、「重度訪問介護」が2件、「居宅介護」「生活介護」「相談支援」「児童発達支援」が1件となっています。

サービスの名称	時期	提供予定量			
		実人数	延人数	延日数	時間
居宅介護	令和8年	50人	750人	50人日	550時間
重度訪問介護	令和7年	1人	2人	8人日	40時間
重度訪問介護	令和10年	15人	無回答	無回答	3,000時間
生活介護	無回答	60人	無回答	1,200人日	9,000時間
相談支援	令和8年	3人	10人	10人日	30時間
児童発達支援	令和9年	10人	260人	260人日	1,080時間

問13 重度心身障害児向けのサービスへの新規参入の予定はありますか。

重度心身障害児向けのサービスへの新規参入予定について、「いいえ」が64.8%と最も高く、次いで「はい」が9.3%、「わからない」が25.9%となっています。



問13-1 重度心身障害児向けのサービスの新規参入をしない理由について、下記の枠内に具体的にご記入ください。

重度心身障害児向けのサービスの新規参入をしない理由について、「人材」が7件と最も多く、次いで「環境整備」が4件となっています。

項目	件数
人材	7
環境整備	4
業務過多	3
受け入れ状況	3

項目	件数
家族対応	1
法人の方針	3
対象者	2
特になし	22
合計：45件	

○人材

- ・ 弊社の法人規模では、困難と思われるため。また、看護師を含めた人材確保等が困難と思われる。
- ・ 施設面や職員体制が整わないため。

○環境整備

- ・ 居住、居室スペースがない。
- ・ 機器を含めた環境整備。

○法人の方針

- ・ 弊社に重度心身障害児向けのサービス新規参入の計画が無いため。
- ・ 法人が精神障害者を対象としているため。

○その他

- ・ 普通型の放課後デイサービスであるが重症心身障害児の受給が出ている児童も受け入れは行っている。

問14 現在、貴事業所（区外事業所）を中央区民が利用する上で、生じている課題がありましたら、下記の枠内に具体的にご記入ください。

中央区民が利用する上で、生じている課題について、「送迎について」が2件、「訪問支援」が1件となっています。

項目	件数
訪問支援について	1
送迎について	2

項目	件数
特になし	6
合計：9件	

○訪問支援について

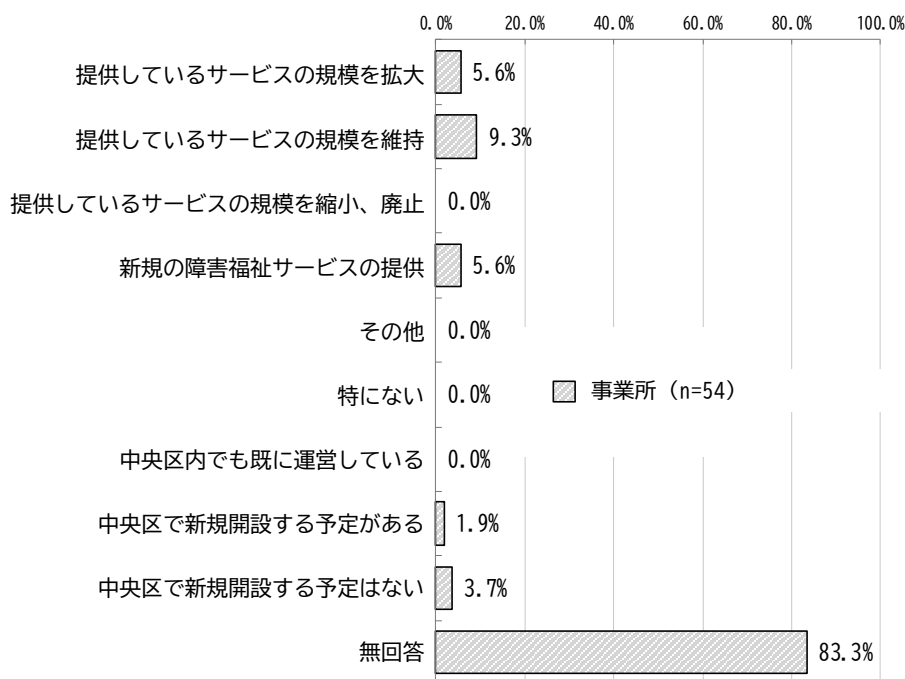
- ・ 保育所等訪問支援は、原則に則りすぎて支援の幅が広がらない。居宅訪問型は、精神、知的障害、発達障害からの引きこもりなどへの受給者証が出ないため、支援の幅が広がらない。

○送迎について

- ・ 事業所が遠方にあるため、お子さんにとっての送迎負担。
- ・ 学校や自宅への送迎が遠く難しい場合がある。

問15 提供するサービスや事業運営に関して、貴事業所（区外事業所）でご検討されていることや今後の展望がございましたら教えてください。あてはまる番号をすべて選んでください。

区外事業所が提供するサービスや事業運営の今後の展望について、「提供しているサービスの規模を維持」が 9.3%と最も高く、次いで「提供しているサービスの規模を拡大」「新規の障害福祉サービスの提供」が 5.6%、「中央区で新規開設する予定はない」が 3.7%となっています。



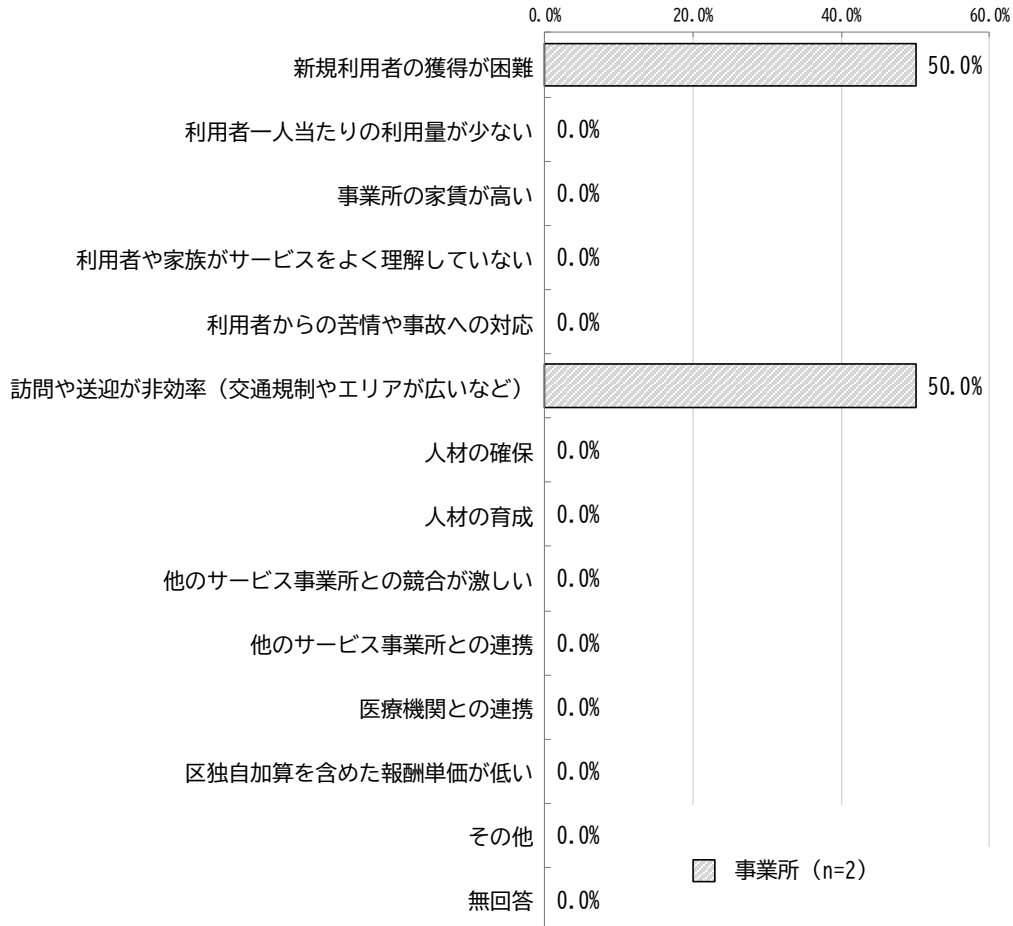
問15-1 問15で選択した「提供しているサービスの規模を拡大」「提供しているサービスの規模を縮小、廃止」「新規の障害福祉サービスの提供」「中央区で新規開設する予定がある」のサービスの名称や時期、提供予定量について、下記の枠内に具体的にご記入ください。
廃止の場合は提供予定量の欄に「0」とご記入ください。

就労選択支援の開始時期について、「相談支援」が1件となっています。

サービスの名称	時期	提供予定量			
		実人数	延人数	延日数	時間
相談支援	令和7年	無回答	無回答	無回答	無回答

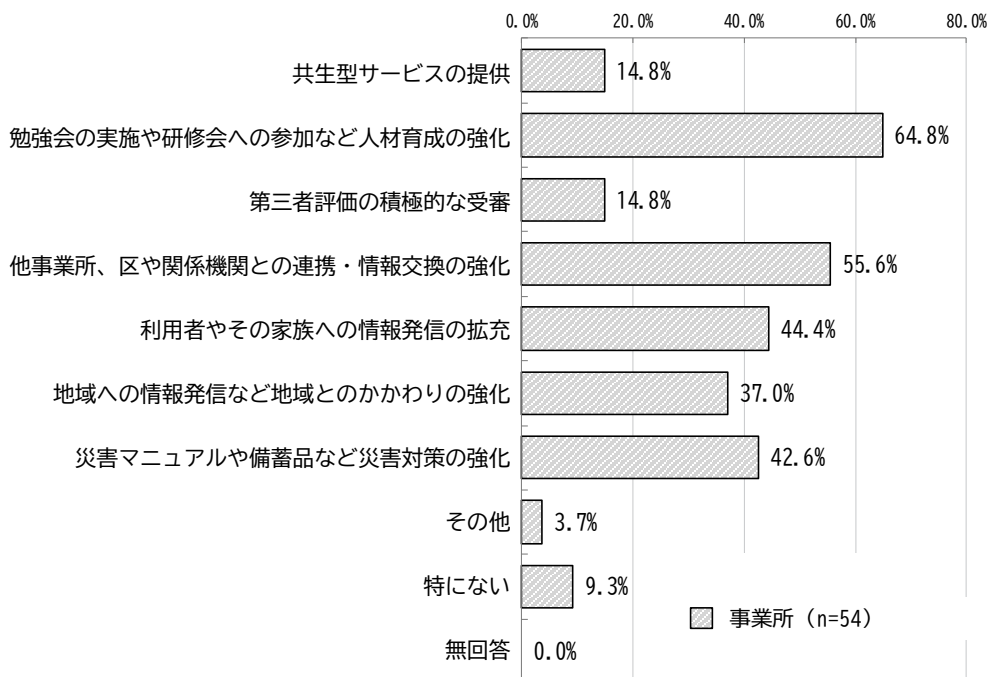
問15-2 貴事業所（区外事業所）が中央区内で事業を新規開設することが難しいと考える理由をお教えてください。

区外事業所が中央区で新規開設が難しいと考える理由について、「新規利用者の獲得が困難」「訪問や送迎が非効率（交通規制やエリアが広いなど）」が1件となっています。



問16 貴事業所で今後強化していきたいことがございましたら教えてください。

事業所で今後強化していきたいことについて、「勉強会の実施や研修会への参加など人材育成の強化」が64.8%と最も高く、次いで「他事業所、区や関係機関との連携・情報交換の強化」が55.6%、「利用者やその家族への情報発信の拡充」が44.4%となっています。



問17 人材の確保・育成について、貴事業所ではどのような取組を行っていますか。

人材の確保・育成について、「人材育成について」が19件と最も多く、次いで「人材確保について」が16件、「人材定着・広報について」が15件となっています。

項目	件数
人材確保について	16
人材育成について	19
人材定着・広報について	15

項目	件数
採用について	1
法人の方針について	7
特になし	13
合計：71件	

○人材確保について

- ・信頼できる職員からの紹介、資格取得の研修費全額補助、他業界経験者の積極採用です。
- ・外国人材について積極的に取り組むか検討しているところです。
- ・採用は、過去の実績を分析した求人媒体の選定。
- ・就活イベントの参加、スカウト、資格取得のためのバックアップ等。

○人材育成について

- ・全社員にEラーニング環境を提供し必須分野や各自選択分野の研修環境を提供。
- ・随時の採用活動を行い、社内での新人支援員向けの研修を8日間実施し、現場でのOJTを適宜行っている。
- ・虐待防止・人権擁護研修。
- ・リスクマネジメント力の向上の研修（感染症、BCPなど）。

○人材定着・広報について

- ・弊社でできる範囲ではあるが、働きやすい環境を整え、早期退職を防ぐようにしている。
また、職員同士が活発に発言しやすい環境に配慮し、お互いに成長できる環境作りに努めている。
- ・各種従業員に対する交付金の活用。
- ・確保は月額給料を上げ賞与を年2回死守すること。育成は外部研修やOJTを取り込んでいる。

○法人の方針について

- ・港区に設置のメルケアミナトセンターと同様、言語聴覚士、作業療法士、公認心理士、保育士等の有資格者による協業において主としてOJTによる研修を実施している。また医療連携に重きを置いている。
- ・中堅職員による職員育成プロジェクトチームにて、職員育成のための取り組み等を検討している。

問18 問6で「就労移行支援」～「就労定着支援」のいずれかと答えた事業所にお聞きします。障害者の法定雇用率引き上げに伴い、貴事業所で実施している就労支援において、どのような影響がありましたか。また、その影響を踏まえ、どのような取組を行っていますか。

障害者の法定雇用率引き上げに伴う、就労支援への影響について、「一般就労へ向けた取組」が2件、「賃金保証のための取組」が2件となっています。

項目	件数
一般就労へ向けた取組	2
賃金の保証のための取組	2

項目	件数
特になし	8
合計：12件	

○一般就労へ向けた取組

- ・法定雇用率引き上げに関する影響は感じられません。また、一般就職やA型へ移行する準備が整った方へは、ハローワークや就労支援センターと協力し、就職活動を行っている。準備が整っていない方でも、希望があれば就活をして、今不足している部分はどのようなところなのかの課題を共に探し、就職へ向けた取組を行っている。
- ・在籍利用者への就労移行の確認及び就労に向けた支援・就労者が増えていることでの入所希望者の激減及び高齢者の入所希望に対しての支援の難しさを感じている（マッチ作業や通所日数が少ないなど）。

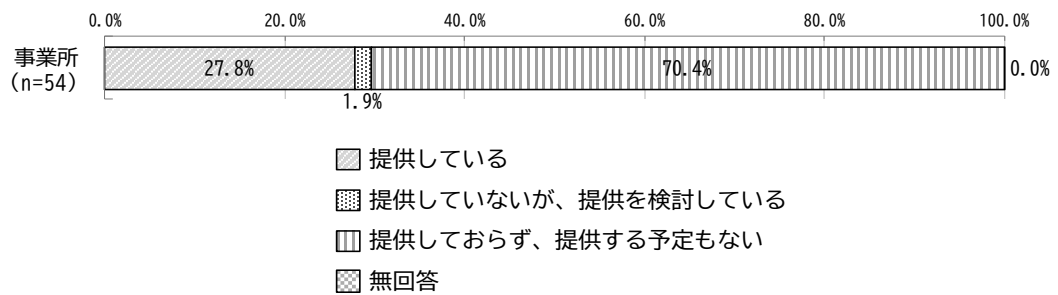
○賃金の保証のための取組

- ・最低賃金の引き上げに対する売上の向上を連動させる必要がある。賃金保障するために商品単価を含めた適正な経営が必要であり、収入に応じて新たな雇用が実現する。

3 介護保険サービスについて

問19 貴事業所では、障害福祉サービスのほかに、介護保険サービスの提供を行っていますか。番号を1つだけ選んでください。

介護保険サービスの提供状況について、「提供しておらず、提供する予定もない」が70.4%と最も高く、次いで「提供している」が27.8%、「提供していないが、提供を検討している」が1.9%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章

調査結果

(④子ども)

第4章

調査結果

(⑤障害福祉
サービス
事業所)

資料編

問20 貴事業所では、利用者の障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に関連して、困りごとや不安なことなど、課題に感じていることについて、下記の枠内に具体的にご記入ください。

利用者の障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に関連して、困りごとや不安なことなど、課題に感じていることについて、「制度について」が7件、「支援内容について」が6件となっています。

項目	件数
制度について	7
支援内容について	6

項目	件数
連携・情報共有について	3
その他	3
合計：19件	

○制度

- ・利用者負担限度額が0円の方が多いため、介護保険サービスに移行する際、負担割合ごとに費用が掛かる介護保険の利用に、難色を示す利用者が多く、説明しても中々理解をしてくれない。
- ・障害福祉サービスから介護保険へ移行する際に、ヘルパーの支援量や時間が介護保険へ移行すると、量や時間が減ってしまうことや無料の福祉サービスから有料の介護保険への切り替えに納得してもらえないことがあり、介護保険への移行がスムーズにいかない場合がある。

○支援内容

- ・認知症などが進むと、やはり介護保険サービスとの併用（ケアマネージャーの方が付くことで、より良い計画をたてられる等）ができると良いと思います。ルールが明確であると対応しやすいと思っています。
- ・利用者の高齢化に伴い、障害者サービスから介護保険サービスへの移行により、計画相談事業者が高齢者事業所となり、障害や計画相談がよく理解されていなく、支援内容やその他福祉サービスの利用が上手くいかないケースが出てきている。

4 中央区への意見

問21 サービスを提供する利用者からの要望がございましたらご記入ください。

サービスを提供する利用者からの要望について、「サービス需要」が8件、「移動支援」が4件となっています。

項目	件数
移動支援	4
サービス需要	8

項目	件数
制度	1
運営	2
合計：15件	

○移動支援

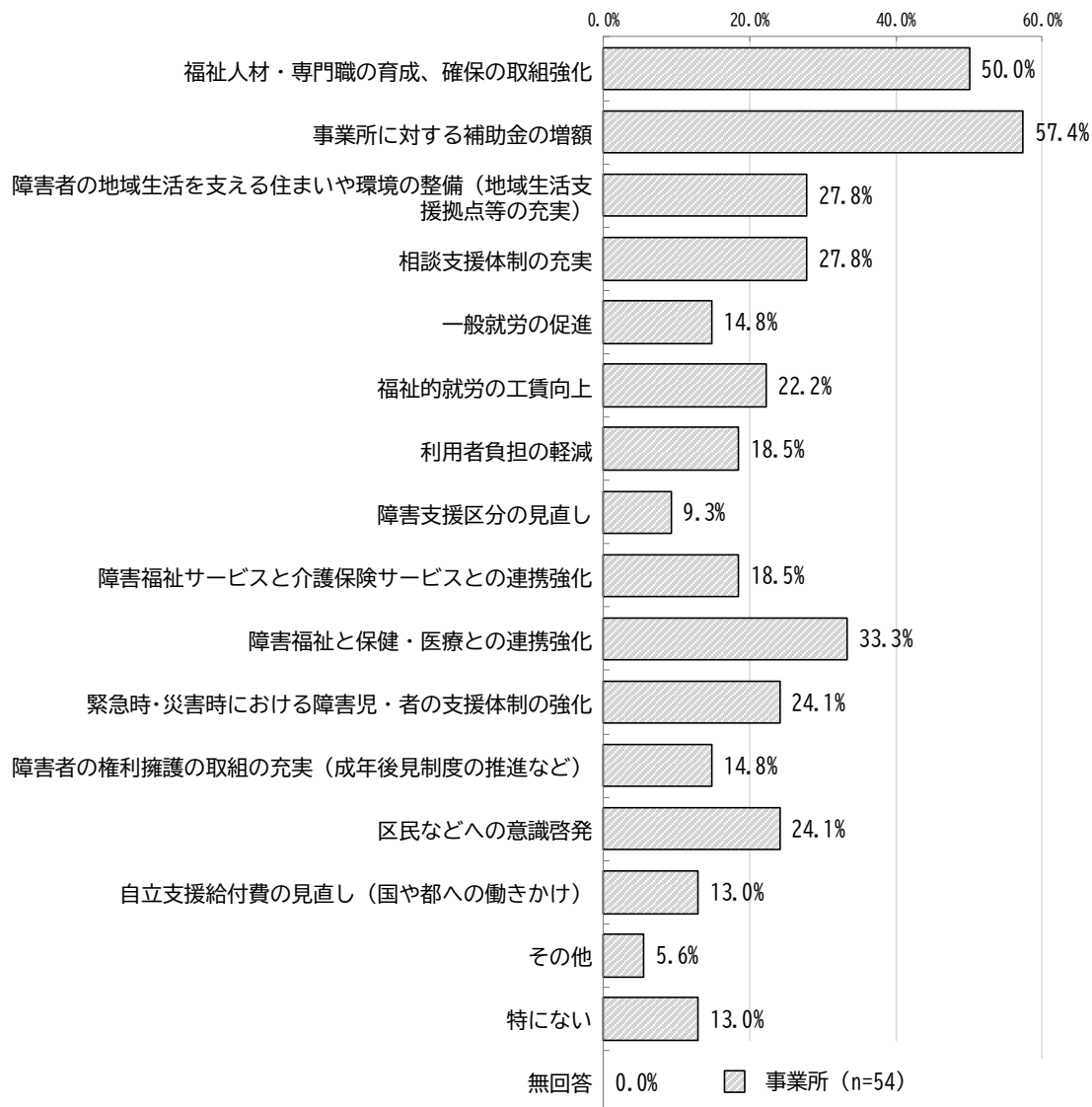
- ・学校（臨海）へのお迎えをお願いされる。
- ・歩行に自信がなくなり、通所はしたいがその道中が不安で躊躇してしまうとのことで、通所のための移動支援があると嬉しいとの意見が少数ある。

○サービス需要

- ・成人の障害者の方をお子さんに持つご家族から、ショートステイの施設、生活介護の事業所でのサービス充実をご希望されていると聞きます。
- ・ワンルーム型のグループホームがあったらよい。生活する場を見つけるのが難しい（家賃が高い、グループホームが少ない）。

問22 中央区の障害福祉施策について、今後、中央区にどのようなことを期待しますか。
 あてはまる番号をすべて選んでください。

今後、中央区に期待する障害福祉施策について、「事業所に対する補助金の増額」が57.4%と最も高く、次いで「福祉人材・専門職の育成、確保の取組強化」が50.0%、「障害福祉と保健・医療との連携強化」が33.3%となっています。



クロス集計結果

提供しているサービスごとにみると、重度訪問介護や就労定着支援、放課後等デイサービスで「事業所に対する補助金の増額」が他の提供しているサービスと比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問22 今後、中央区に期待する障害福祉施策								
		福祉人材・専門職の育成、確保の取組強	事業所に対する補助金の増額	障害者の地域生活を支える住まいや環境の整備（地域生活支援拠点等の充実）	相談支援体制の充実	一般就労の促進	福祉的就労の工賃向上	利用者負担の軽減	障害支援区分の見直し	
居宅介護（ホームヘルプ）	14 100.0%	6 42.9%	10 71.4%	4 28.6%	4 28.6%	1 7.1%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	
重度訪問介護	10 100.0%	5 50.0%	8 80.0%	4 40.0%	3 30.0%	1 10.0%	1 10.0%	2 20.0%	1 10.0%	
同行援護	4 100.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
行動援護	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
重度障害者等包括支援	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
生活介護	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	
自立訓練（機能訓練）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
自立訓練（生活訓練）	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
就労移行支援	4 100.0%	3 75.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	
就労継続支援（A型）	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	
就労継続支援（B型）	8 100.0%	6 75.0%	5 62.5%	5 62.5%	3 37.5%	0 0.0%	6 75.0%	3 37.5%	3 37.5%	
就労定着支援	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	
療養介護	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
短期入所（福祉型・医療型）	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	
自立生活援助	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
共同生活援助（グループホーム）	5 100.0%	2 40.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	2 40.0%	
施設入所支援	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
計画相談支援	5 100.0%	3 60.0%	1 20.0%	4 80.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	
地域移行支援	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
地域定着支援	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
児童発達支援	15 100.0%	6 40.0%	7 46.7%	1 6.7%	2 13.3%	2 13.3%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%	
放課後等デイサービス	13 100.0%	6 46.2%	10 76.9%	1 7.7%	1 7.7%	3 23.1%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%	
保育所等訪問支援	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
居宅訪問型児童発達支援	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
障害児相談支援	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	
移動支援事業（個別支援型）	6 100.0%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
移動支援事業（車両移送型）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
地域活動支援センターⅠ型	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
地域活動支援センターⅡ型（機能訓練フォローアップ事業）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
訪問入浴サービス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
日中一時支援	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	

（事業所
問6）
提供しているサービス

第1章

調査概要

第2章

調査結果
①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者

第3章

調査結果
④子ども

第4章

調査結果
⑤障害福祉
サービス
事業所

資料編

		問22 今後、中央区に期待する障害福祉施策								
		障害福祉サービスの連携強化	障害福祉と保健・医療との連携強化	緊急時・災害時における障害児者の支援体制の強化	障害者の権利擁護の取組の充実（成年後見制度の推進など）	区民などへの意識啓発	自立支援給付費の見直し（国や都への働きかけ）	その他	特になし	無回答
1段目 人	2段目 %									
事業所 問6 提供しているサービス	居宅介護（ホームヘルプ）	3 21.4%	4 28.6%	2 14.3%	1 7.1%	3 21.4%	2 14.3%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%
	重度訪問介護	3 30.0%	4 40.0%	2 20.0%	1 10.0%	3 30.0%	2 20.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%
	同行援護	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%
	行動援護	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	重度障害者等包括支援	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	生活介護	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	自立訓練（機能訓練）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	自立訓練（生活訓練）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	就労移行支援	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	就労継続支援（A型）	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	就労継続支援（B型）	6 75.0%	6 75.0%	6 75.0%	4 50.0%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
	就労定着支援	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	療養介護	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	短期入所（福祉型・医療型）	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	自立生活援助	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	共同生活援助（グループホーム）	2 40.0%	3 60.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	施設入所支援	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	計画相談支援	4 80.0%	4 80.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
	地域移行支援	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	地域定着支援	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	児童発達支援	0 0.0%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 26.7%	2 13.3%	0 0.0%	3 20.0%	0 0.0%
	放課後等デイサービス	0 0.0%	3 23.1%	2 15.4%	0 0.0%	5 38.5%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%
	保育所等訪問支援	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
	居宅訪問型児童発達支援	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	障害児相談支援	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
	移動支援事業（個別支援型）	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%
	移動支援事業（車両移送型）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	地域活動支援センターⅠ型	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	地域活動支援センターⅡ型（機能訓練フォローアップ事業）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	訪問入浴サービス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	日中一時支援	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

就労選択支援に取り組む予定ごとにとみると、わからないで「事業所に対する補助金の増額」が他の就労選択支援に取り組む予定と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %		合計	問22 今後、中央区に期待する障害福祉施策							
			福祉人材・専門職の育成、確保の取組強化	事業所に対する補助金の増額	障害者の地域生活を支える住まいや環境の整備（地域生活支援拠点等の充実）	相談支援体制の充実	一般就労の促進	福祉的就労の工賃向上	利用者負担の軽減	障害支援区分の見直し
支援（8）へ事業所 に取り組む 予定 組 択 問	はい	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	いいえ	31 100.0%	15 48.4%	14 45.2%	9 29.0%	9 29.0%	4 12.9%	5 16.1%	4 12.9%	4 12.9%
	わからない	21 100.0%	11 52.4%	17 81.0%	6 28.6%	6 28.6%	4 19.0%	7 33.3%	6 28.6%	1 4.8%

1段目 人 2段目 %		問22 今後、中央区に期待する障害福祉施策									
		障害福祉サービスの連携強化	障害福祉と保健・医療との連携強化	緊急時・災害時における障害児・者の支援体制の強化	障害者の権利擁護の取組の充実（成年後見制度の推進など）	区民などへの意識啓発	自立支援給付費の見直し（国や都への働きかけ）	その他	特にない	無回答	
支援（8）へ事業所 に取り組む 予定 組 択 問	はい	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	
	いいえ	6 19.4%	10 32.3%	6 19.4%	5 16.1%	3 9.7%	4 12.9%	3 9.7%	5 16.1%	0 0.0%	
	わからない	4 19.0%	7 33.3%	6 28.6%	3 14.3%	9 42.9%	3 14.3%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	

第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果
(④子ども)

第4章

調査結果
(⑤障害福祉サービス事業所)

資料編

重度心身障害児向けのサービスへの新規参入予定ごとにとみると、はいで「事業所に対する補助金の増額」が他の重度心身障害児向けのサービスへの新規参入予定と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %		合計	問22 今後、中央区に期待する障害福祉施策							
			福祉人材・専門職の育成、確保の取組強化	事業所に対する補助金の増額	障害者の地域生活を支える住まいや環境の整備（地域生活支援拠点等の充実）	相談支援体制の充実	一般就労の促進	福祉的就労の工賃向上	利用者負担の軽減	障害支援区分の見直し
の新規参入予定への意向	はい	5	2	4	2	1	0	0	0	0
	いいえ	35	22	16	11	11	6	9	6	4
	わからない	14	3	11	2	3	2	3	4	1
		100.0%	40.0%	80.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		100.0%	62.9%	45.7%	31.4%	31.4%	17.1%	25.7%	17.1%	11.4%
		100.0%	21.4%	78.6%	14.3%	21.4%	14.3%	21.4%	28.6%	7.1%

1段目 人 2段目 %		問22 今後、中央区に期待する障害福祉施策								
		障害福祉サービスの連携強化	障害福祉と保健・医療との連携強化	緊急時・災害時における障害児・者の支援体制の強化	障害者の権利擁護の取組の充実（成年後見制度の推進など）	区民などへの意識啓発	自立支援給付費の見直し（国や都への働きかけ）	その他	特にない	無回答
の新規参入予定への意向	はい	1	2	0	0	2	0	0	1	0
	いいえ	6	11	11	7	8	5	3	4	0
	わからない	3	5	2	1	3	2	0	2	0
		20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
		17.1%	31.4%	31.4%	20.0%	22.9%	14.3%	8.6%	11.4%	0.0%
		21.4%	35.7%	14.3%	7.1%	21.4%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%

問23 事業者として、サービスを提供する上で大切にしていること等を自由にご記入ください。

サービスを提供する上で大切にしていること等について、「利用者支援」が24件と最も多く、次いで「運営方針」が8件となっています。

項目	件数
利用者支援	24
医療的ケア	2
家族支援	6
運営方針	8

項目	件数
環境整備	4
人材育成	3
受け入れ	2
連携	2
合計：51件	

○利用者支援

- ・住み慣れた地域で安心して生活・就労できるような支援を心がけている。
- ・一人ひとりのニーズに柔軟に対応した支援をするようにしている。
- ・利用者に寄り添いつつも、エンパワメントを意識した支援。経験が無い故に生じる課題への取り組みを大切にしている。

○医療的ケア

- ・医療ケアがあり、ご家族も困難を抱えているなど、他事業所の対応が難しい利用者様を積極的に受け入れています。

○家族支援

- ・子ども達へは「とにかく楽しくおもしろい」、保護者には「利便性」を追求する。
- ・保護者が、通所している間、我々に任せて頂き、お子様のことを忘れ、自分のために時間を使えるようにすること。
- ・地域や家族と協力して利用者一人ひとりが力を発揮できる場を作り、その人らしく輝けるよう支援します。

○運営方針

- ・変化を恐れず、少しでも地域の役に立てるよう、新規サービス提供も検討して参ります。法人の理念に基づき、利用者個人の生活及び社会参加の権利が尊重されるよう、利用者が意思表示や選択できる機会を増やす。
- ・精神障害を抱えた方が地域で自分らしく暮らせるよう支援しています。また、「支援」や「関わり」について考え続けることを大切にしています。居場所機能や相談機能を充実させ、地域生活の一助となればと考えています。
- ・心が傷ついてしまっている方が多いため、皆さんの尊厳を大切にしながら支援しています。その為、その方に合わせた通所方法が取れるよう配慮し、数年の時間をかけて通所日数を伸ばしていけるような取り組みをしています。それに

よって、社会とのつながりを絶やすことなく生活していけるような支援を努めています。

○人材育成

- ・ 零細事業所ではありますが、できないではなく、どうやったらできるか、ということに重きを置き、同様に考えられる職員の育成を目指しています。

○受け入れ

- ・ 早期発見、早期療育を基本としている。13年間運営しているが、他の事業所で受け入れ困難な児童（出生時難聴児、指定難病罹患児、日本語を母国語としない児童等）を受け入れしている。

○連携

- ・ お子様の発達段階に合わせることはもちろんのこと、他事業所や各教育機関との連携をはかっています。

資料編

第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者
・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果

- ④子ども

第4章

調査結果

- ⑤障害福祉
サービス
事業所

資料編

1 身体障害者・難病患者調査票

①身体障害者・難病患者

中央区の福祉施策の充実に関する調査

区民の皆様には、日頃から中央区の障害福祉行政の推進にご理解とご協力をお願いいたし、ありがとうございます。

中央区では、現在、「だれもが個性豊かに輝き 共に暮らせるまち 中央区」を基本理念とする「中央区障害者計画・第7期中央区障害福祉計画・第3期中央区障害児福祉計画」に基づく施策を推進し、障害福祉サービスの充実に取り組んでいます。

このたびは、実施予定している次期計画の策定に向けて、身体障害者手帳所持者及び難病患者福祉手当受給者の皆様の中から無作為に抽出した方に、日常生活や障害福祉サービスの利用状況、意向などを伺い、今後の障害福祉施策の検討を進める基礎資料とするため、「中央区の福祉施策の充実に関する調査」を実施します。

調査結果につきましては、統計的データとしてまとめ、回答された方が個人として特定されることやご迷惑をおかけすることはありません。

また、本調査では、障害や生活状況が異なる様々な方のニーズや課題を把握するため、お身体のことや経済状況などを詳しくお聞きする意向がありますが、わからない質問や答えたくない質問については、回答しなくても結構です。

ご多忙のところお断りしますが、本調査の趣旨についてご理解いただき、是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

調査実施主体

(調査の実施目的や内容に関する問い合わせ先)

中央区福祉保健部 障害者福祉課

電話：03-3546-5389 (直通) FAX：03-3248-1322

ご記入にあたってのお願い

○回答は、封筒のあて名のご本人が記入してください。
○あて名のご本人が自分で回答するのが難しい場合は、ご本人の意向に沿って代わりに回答できる方が記入してください。

○ご記入は、票または裏の封筒やボールペンでお願いたします。

○質問中の「あなた」とは「あて名のご本人」を指します。

○回答は、あてはまる番号に○をつけてください。○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。

○「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的にその内容をご記入ください。

○記入された内容が回答欄に入りきらない場合は、別紙に記入してこの調査票と一緒に提出いただいても構いません。

○一部の方だけに回答していただく質問もありますが、その場合は矢印(→)で示したり、説明文がありますので、該当する方のみ回答してください。

○選択肢については、他の障害に関する調査票と共通としているものがありますので、ご了承ください。

○ご記入いただいた調査票は、**9月19日(金)**までに、同封の封筒に入れて投函してください。(回数は不要です)

あなた(あて名のご本人)について、お聞きします

問1 この調査に回答される方はどなたですか。(○は1つだけ)

1. あなた(あて名のご本人)
 2. あなたの配偶者
 3. あなたの父母(配偶者の父母含む)
 4. あなたの子ども
 5. あなたの兄弟姉妹
 6. あなたの祖父
 7. その他
- 〔具体的に：〕

問2 あなたの性別と令和7年9月1日現在の年齢を教えてください。

(1) 性別(○は1つだけ)

1. 男性
2. 女性
3. 回答しなくない

(2) 年齢(右つめて数字を記入)

--	--	--	--	--

問3 あなたが、現在、住んでいる地域はどこですか。(○は1つだけ)

(該当するを(住 所))

1. 京橋地域 (八重洲二丁目、京橋、築地、新富、入船、湊、明石町、築地、八丁堀、新川)
2. 日本橋地域 (本石町、室町、小舟町、小伝馬町、太伝馬町、根室町、鬱賀町、人形町、小網町、新船町、船場町、船場町、船山町、栗日本橋、久松町、浜町、中洲、八重洲一丁目、日本橋、茅場町、兜町)
3. 月島地域 (佃、月島、勝どき、豊洲町、豊洲)

問4 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(○は1つだけ)

1. 家族と同居している
2. ひとり暮らし
3. 施設に入所している(グループホームを含む)
4. その他〔具体的に〕

→【問4で「1」と答えた方にお聞きします】

問4-1 同居している方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者
2. 父
3. 母
4. 兄弟姉妹(その配偶者を含む)
5. 子(その配偶者を含む)
6. 祖父
7. 祖母
8. 孫(孫の配偶者)
9. その他の親族
10. その他〔具体的に〕

【すべての方にお聞きします】

問5 あなたが持っている障害者手帳または医療受給者証などはどれですか。また、お持ちの手帳の障害の等級や程度を〔 〕から選択してください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 身体障害者手帳〔1級・2級・3級・4級・5級・6級〕
2. 愛の手帳〔1度・2度・3度・4度〕
3. 精神障害者保健福祉手帳〔1級・2級・3級〕
4. 難病などの医療費助成制度の医療受給者証または医療券
5. 自立支援医療(精神通院)受給者証
6. 障害支援区分〔1・2・3・4・5・6〕
7. 発達障害である医師から診断されている
8. 要支援認定等〔要支援1・要支援2・総合事業対象者〕
9. 要介護認定〔要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5〕
10. 高次脳機能障害である医師から診断されている
11. 自傷他害、暴言、暴行などの強い行動障害がある
12. いずれにも該当しない

【問6で「1」と答えた方にお聞きします】

問5-1 あなたの身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。あてはまる障害の番号を「1番目」の欄に記入してください。

障害の種類が2つ以上記載されている場合は、記載の順序にしたがって、「1番目」と「2番目」を記入してください。

1番目 2番目

1. 視覚障害	7. 体幹機能障害	12. ぼうこう又は直腸機能障害
2. 聴覚障害	8. 乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害	13. 小脳機能障害
3. 平衡機能障害	9. 脳機能障害又は心臓機能障害	14. ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害
4. 音声機能・言語機能又はそしゃく機能の障害	10. しん臓機能障害	15. 肝機能障害
5. 上肢機能障害	11. 呼吸機能障害	
6. 下肢機能障害		

住まいについて、お聞きします

【すべての方にお聞きします】

問6 あなたの現在のお住まいは次のどれですか。(○は1つだけ)

1. 他家(マンションなどを含む)	5. 住宅・公務員住宅
2. 民間住宅(マンションなどを含む)	6. 同居・同居り
3. 区立・公立・公社・都市再生機構(UR)賃貸住宅	7. 入所施設
4. 区営・都営住宅	8. グループホーム
	9. その他〔具体的に〕

問7 あなたは、今後、どのように暮らしたいと願いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 現在同居している家族と一緒に暮らしたい
2. 父のあやふやな人と一緒に暮らしたい
3. 障害のある人が入所する施設で暮らしたい
4. 障害のある人たちが出話してくれる人と一緒に暮らしたい(グループホームなど)
5. 一人で暮らしたい
6. 配偶者・パートナーと二人で暮らしたい
7. 子どもを育てながら暮らしたい
8. その他〔具体的に〕
9. わからない

日常生活の中での介助について、お聞きします

問8 日常的に手助け(介助)してくれる方は、主にどなたですか。(○は1つだけ)

1. 配偶者	10. 訪問看護師
2. 父	11. ホームヘルパー
3. 母	12. ボランティア
4. 兄弟姉妹(その配偶者)	13. その他
5. 子(その配偶者)	〔具体的に〕
6. 祖父	14. 手助け(介助)してくれる人がいない
7. 祖母	15. 手助け(介助)の必要がない
8. 孫(孫の配偶者)	
9. その他の親族	

【問8-1・8-2は、問8で「1」～「9」のいずれかに答えた方にお聞きします】

問8-1 主に手助け(介助)してくれる方の年齢はいくつですか。(○は1つだけ)

1. 18歳未満	4. 30歳代	7. 60歳代
2. 18～19歳	5. 40歳代	8. 70歳代
3. 20歳代	6. 50歳代	9. 80歳以上

問8-2 主に手助け(介助)してくれる方から、1日に手助け(介助)を受ける時間はどのくらいですか。(○は1つだけ)

1. 3時間未満	4. 9時間以上12時間未満
2. 3時間以上6時間未満	5. 12時間以上15時間未満
3. 6時間以上9時間未満	6. 15時間以上

相談について、お聞きします

【おすべての方にお聞きします】

問9 あなたは、現在の暮らしの中で何が困っていることはありませんか。(○は3つまで)

- (あてはまるものすべてに○)
1. 家族のこと (家族の価値観、家族の不睦で手助けを受けられないなど)
 2. 近所・地域のこと (近所の人とのトラブル、噂言や雰囲気に対する理解など)
 3. 健康・医療のこと (障害や病気の状態が良くない、病状が近づくにないなど)
 4. お金のこと (収入、お金の管理など)
 5. 仕事のこと (仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど)
 6. 人との付き合いのこと (周りの人とうまくコミュニケーションが取れないなど)
 7. 住まいのこと (バリアフリーになっていないなど)
 8. その他 (具体的に)
 9. 特に困っていることはない

問10 あなたが、将来のことで、不安に感じていることはありませんか。(○は3つまで)

1. 手助けしてくれる人がいるか
2. 親がなくなっただ後の生活のこと
3. 将来一緒に暮らす家族がいるか
4. 地域の中で暮らしていただけるか
5. 結婚できるか
6. 住宅が確保できるか
7. 希望する学校に行けるか
8. 働く場があるか
9. 十分な収入があるか
10. 趣味や生きがいを持てるか
11. 親しい友人・知人がいるか
12. 必要な医療や療育訓練が受けられるか
13. 高齢になっただ後のこと
14. 希望する施設に入所できるか
15. 災害や病気・事故などの前に、すぐに助けにきてもらえるか
16. お金や財産の管理ができるか
17. その他 (具体的に)
18. 特にない

問11 あなたが将来希望する生活を送るために必要なことは何ですか。(○は3つまで)

1. 居宅介護 (ホームヘルプ) の充実
2. 外出・移動における支援 (包行援護、行動援護など) の充実
3. 医療やリハビリテーション (自立訓練など) の充実
4. 自立生活のための訓練・指導・支援 (自立生活援助など) の充実
5. 就労のための訓練・指導・支援 (就労移行支援、就労継続支援など) の充実
6. 働く場所の確保
7. 通所施設や居場所の充実
8. 入所施設 (共同生活援助、施設入所支援など) の充実
9. 入院可能な精神科病院
10. 相談支援 (計画相談支援など) の充実
11. 成年後見制度利用のための支援
12. 多量が低額な住宅のあつせんや家賃の補助
13. 障害者団泊住宅の充実
14. 介護者への支援 (包摂入所、レスパイトケア、家族への相談支援など) の充実
15. 地域のみな (近隣住民、町会・自治会) の理解
16. その他 (具体的に)
17. 特にない

問12 あなたは、何が困ったとき、誰に(どこに)相談したり、頼んだりしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・友人・知人
2. 近所の人・町会・自治会
3. 民生・児童委員
4. 会社・学校
5. 病院・診療所
6. 障害者団体 (家族会などを含む)
7. 障害福祉サービス事業所
8. 区役所・保健所・福祉センターなど (具体的に)
9. 社会福祉協議会
10. 基幹相談支援センター
11. 中央区障害者就労支援センター
12. 地域活動支援センター (ポケット中実)
13. おとしほり相談センター (地域包括支援センター)
14. ふくしの総合相談窓口
15. その他 (具体的に)
16. 誰もいない

問13 あなたは、次の相談・支援の窓口をご存知ですか、ア～イの項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。
(ア～イのそれぞれで○は1つだけ)

	1 利用した ことがある	2 知っているが、 利用したこと はない	3 知らない
ア)中央区障害者就労支援センター 障害のある人が一般企業へ就労する機会を 広げ、就労後も安心して働き続けられるように、 専任のコーディネーターが就労や生活に関する 相談・支援を行っています。	1	2	3
イ)基幹相談支援センター 障害の種類や年齢にかかわらず、障害のある すべての方とそれご家族に対しての総合相談 支援を行うとともに、関係機関や相談支援専門 者との連携の強化を図っています。	1	2	3

問14 あなたは、区内の相談・支援の窓口が利用しやすくなるには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 相談・支援の窓口が身近にあること
2. 相談内容に応じた、わかりやすい情報提供をしてもらえること
3. さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口になっていること
4. 休日や夜間でも相談できること
5. 電話で相談への対応をしてもらえること
6. メールやSNS (LINE など) で相談への対応をしてもらえること
7. ICT 機器 (対話支援機器など) があること
8. コミュニケーション支援が充実していること (手話通訳者等の配置など)
9. 障害のある人や家族など同じ立場の人と話ができること
(ピアカウンセリング・ピアサポート)
10. ゆっくり話を聞いてもらえること
11. 予約がなくてもいつでも相談できる体制があること
12. 自宅への訪問相談をしてもらえること
13. プライバシーの配慮がしっかりしていること
14. その他 (具体的に)
15. 他にない

問15 (1)令和6年4月以降、あなたは、次の障害福祉サービス、地域生活支援事業を利用したことがありますか、ア～エの項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

(2)あなたが利用したサービスについて、支給量は十分だと思えますか、ア～エの項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

※ここに掲載されている障害福祉サービス、地域生活支援事業は、中央区が提供するサービスの一部です。

	(1) 利用状況				(2) 支給量	
	1 区内事業所を 利用したことが ある	2 区内事業所を利用 したことはない が	3 区外事業所・区外 事業所利用を 利用したことが ある	4 利用したことはない	1 既定支給量の中 で十分に受けら れている	2 既定支給量の中 で十分に受けら れていない
ア)居宅介護 (ホームヘルプ) 居宅において、①入浴や排せつ、食事等の介護、 ②調理や洗濯、掃除等の家事、③生活等に關する 相談・助言等の生活全般にわたる援助を行います。	①	2	3	4	①	2
イ)重度訪問介護 重度の肢体不自由者で常に介護を必要とする人 に、居宅等において、①入浴や排せつ、食事等の 介護、②調理や洗濯、掃除等の家事、③生活等に 關する相談・助言等の生活全般にわたる援助と外 出時の移動中の介護を総合的にを行います。	1	2	3	4	1	2
ウ)同行支援 視覚障害のため、移動力が著しく困難な障害者 (児)等に対して、外出時の同行により移動に必要 な情報を提供するとともに、移動の選定、排せつ や食事の介護等の必要な援助を行います。	1	2	3	4	1	2

第1章 調査概要

第2章 調査結果 (①身体障害者 ・難病患者 ②知的障害者 ③精神障害者)

第3章 調査結果 (④子ども)

第4章 調査結果 (⑤障害福祉 サービス 事業所)

	(1) 利用状況			(2) 支給量	
	1	2	3	1	2
	区内事業所を利用したことがあるが 区外事業所を利用したことはない	区内事業所を利用したことがあるが 区外事業所を利用したことはない	区内事業所・区外事業所両方を 利用したことがある	4 利用したことはない	既決定支給量の中で十分に サービスを受けられていない
工) 行動支援 障害者(児)が行動する際に生じ得る危険を回避する ために、必要な支援、外出時の移動中の介護、 排せつや食事の介護等の必要な援助を行います。	1	2	3	4	2
才) 生活介護 障害者支援施設等において、常時介護を要する 障害者等に対して、主に①入浴や排せつ、② 食事等の介護、③調理や洗濯、掃除等の家事、④ 生活等に關する相談・助言、⑤創作活動または 生産活動の機会を提供する等の必要な援助を行いま す。	1	2	3	4	2
カ) 自立訓練（機能訓練） 身体障害者等に対して、通所または在宅訪問に よって、理学療法、作業療法等のリハビリテーシ ョンや生活に關する相談・助言等の必要な支援を 行います。	1	2	3	4	2
キ) 就労移行支援 就労を希望する65歳未満の障害者等で、一般 の事業所に雇用されることが可能と見込まれる人 に対して、生産活動、職場体験等の機会の提供、 就労に必要な知識や能力の向上のために必要な訓 練、求職活動に關する支援、その適性に依じた職 場の紹介、就職後の職場への定着のために必要な 相談・助言等の支援を行います。	1	2	3	4	2
ク) 就労継続支援（A型） 企業等に就労することが困難な65歳未満の障 害者等に対して、雇用契約に基づき、生産活動の 機会の提供、就労に必要な知識や能力の向上のた めの訓練等の支援を行います。	1	2	3	4	2

	(1) 利用状況			(2) 支給量	
	1	2	3	1	2
	区内事業所を利用したことがあるが 区外事業所を利用したことはない	区内事業所を利用したことがあるが 区外事業所を利用したことはない	区内事業所・区外事業所両方を 利用したことがある	4 利用したことはない	既決定支給量の中で十分に サービスを受けられていない
ケ) 就労継続支援（B型） 年齢、心身の状態等の事情により、一般の事業 所に雇用されることが困難な障害者等や、就労移 行支援によっても一般の事業所に雇用されるに至 らなかつた障害者等に対して、生産活動の機会の 提供、就労に必要な知識や能力の向上のための訓 練等の支援を行います。	1	2	3	4	2
コ) 就労定着支援 就労支援等のサービスを受けていた障害者等に 対して、就労定着に向けた支援(企業・家族との連 絡調整や生活面での支援等)を行います。	1	2	3	4	2
カ) 療養介護 病院において日常生活上の世話等の常時介護が 必要な障害者等に対して、主に通所に機能訓練 棟上の管理、看護、医学的管理下での介護や日 常生活上の支援を行います。また、療養介護のう ち医療に係るものについては、療養介護医療を行 います。	1	2	3	4	2
シ) 短期入所（ショートステイ） 居宅において生活する障害者(児)等の介護者が 疾病等の理由で日常の支援を行えない際に、障害 者支援施設等への短期間の入所をすることによ り、入浴や排せつ、食事の介護等の必要な支援を 行います。	1	2	3	4	2
ス) 自立生活援助 障害者支援施設やグループホーム等から一人暮 らしへの移行を希望する障害者等に列して、本人 の意思を尊重した地域生活を支援するため、一定 の期間にわたって、定期的な巡回訪問や随時の対応 により、相談・助言等を行います。	1	2	3	4	2

	(1) 利用状況			(2) 支給量		
	1 区外事業所を利用したことがあるが 区内事業所を利用したことはない	2 区内事業所を利用したことがあるが 区外事業所を利用したことはない	3 区内事業所・区外事業所両方を 利用したことがある	4 利用したことはない	1 既定支給量の中で十分な サービスを受けられている	2 既定支給量の中で十分な サービスを受けられていない
ロ 共同生活援助（グループホーム） 地域で共同生活を営むことができる障害者等に 対して、主に夜間に共同生活を営む住宅において 相談等の日常生活上の援助を行います。	1	2	3	4	1	2
リ 地域移行支援 入所施設や精神科病院等からの退所・退院にあ たって支援を必要とする人に対して、個別住居の 確保や地域の中での生活に移行するための活動に 関する相談、外出訓練、就労移行支援、就労継続支 援等の体験的な利用支援、体験的な宿泊支援等を行 います。	1	2	3	4	1	2
ル 地域定着支援 入所施設や精神科病院から退所・退院した人、 家族との同居から一人暮らしに移した人、地域 での生活が不安定な人などに対して、常時の連絡 体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急 の事態等に必要支援を行います。	1	2	3	4	1	2
リ 手話通訳者派遣 障害者等に対する手話通訳者の派遣や、区 が主催する行事などへの手話通訳者の配置を行 います。	1	2	3	4	1	2
リ 要約筆記者派遣 障害者等に対する要約筆記者の派遣や、区 が主催する行事等への要約筆記者の配置を行 います。	1	2	3	4	1	2
リ 移動支援事業（個別支援型） 個別の支援が必要な障害者(児)等に対するマン ツーマンによる送迎支援を行います。	1	2	3	4	1	2

第4章
調査結果
(5) 障害福祉
サービス
事業所)

	(1) 利用状況			(2) 支給量		
	1 区外事業所を利用したことがあるが 区内事業所を利用したことはない	2 区内事業所を利用したことがあるが 区外事業所を利用したことはない	3 区内事業所・区外事業所両方を 利用したことがある	4 利用したことはない	1 既定支給量の中で十分な サービスを受けられている	2 既定支給量の中で十分な サービスを受けられていない
ト 精神障害者地域活動支援センター「ポケット中 央」 精神障害者地域活動支援センター「ポケット中 央」において、18歳以上の精神障害者を対象と して、日中の居場所や相談、創作活動の場、タイ ムケアを提供します。	1	2	3	4	1	2
チ 機能訓練フォローアップ事業 福祉センターにおいて、脳血管疾患等により身 体障害が生じた方を対象として、身体機能の維持・ 回復を図るとともに、自立して家庭や地域での生 活が送れるよう理学療法・作業療法・言語療法な どによる「機能訓練フォローアップ事業」を提供 します。	1	2	3	4	1	2
チ 訪問入浴サービス 入浴することが困難な重度の障害者(児)に対 し、自宅において訪問入浴車による入浴サービス を提供します。	1	2	3	4	1	2
チ 日中一時支援 一時的に身寄り等が必要な障害者(児)の日中の 活動の場を確保し、日常的に介護をしている家族 等が休養できるような支援をします。	1	2	3	4	1	2

【問15-1は、共同生活援助（グループホーム）を利用したことがない方（問15「セ」并
同生活援助（グループホーム）の(1)で「ナ」と答えた方）にお聞きします】
問15-1 共同生活援助（グループホーム）はいつから利用したいですか。（〇は1つだけ）
1. 現在から今後2年未満 5. わからない
2. 今後2年以上5年未満の間 6. その他
3. 今後5年以上8年未満の間 （具体的に）
4. 今後8年以上以上 7. 利用したいと思わない

第2章
調査結果
(1) 身体障害者
・ 難病患者
(2) 知的障害者
(3) 精神障害者

第1章
調査概要

問16 あなたが必要であると感じるサービスがありましたら、自由にご記入ください。

問17 あなたは、サービスの利用で、困ったり、不便だと感じることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. サービスに関する情報が少ない	7. 自分に合う事業所が見つからない
2. 利用したいサービスがない	8. 事業所に要望を伝えづらい
3. 利用方法がわかりづらい	9. 経済的な負担が大きい
4. 手続きが難しい	10. 自分の得意支援区分に不備がある
5. 利用できる回数・日数が少ない	11. その他【具体的に】
6. サービスの質に不満がある	12. 特に困りごと、不便なことはない

問18 あなたは、どこから福祉サービスなどの情報を得ていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 障害者福祉のしおり	12. 子ども発達支援センター	13. 東京都児童相談センター	14. 発達・診療所	15. 民生・児童委員	16. 障害者団体(家族会などを含む)	17. 相談支援事業所	18. 家族や近所の人(友人・知人)	19. 会社・学校	20. テレビや新聞	21. その他【具体的に】	22. 特にない
2. 区のおしらせ	3. 役所などにあるポスター、チラシ	4. 区のホームページ	5. 区役所の窓口	6. 保健所・保健センター	7. 福祉センター	8. 教育センター	9. 基幹相談支援センター	10. おとしよりの相談センター(地域包括支援センター)	11. 子ども発達支援センター	12. 子どものき	13. その他

問19 あなたは、現在、次の機能回復訓練(リハビリ)を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 理学療法	5. その他【具体的に】
2. 作業療法	6. 機能回復訓練(リハビリ)を行って
3. 言語療法	いない
4. 認知訓練	

問20 あなたは、日常的に医療的ケアを必要としていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 医療的ケアを必要としていない	11. 中心静脈カテーテル
2. 人工呼吸器管理(常時)	12. 皮下注射
3. 人工呼吸器管理(夜間のみ)	13. 血糖管理
4. 人工呼吸器管理(その他)	14. 経管栄養(嚥下練習を含む)
5. 気管挿管(手術は自立)	15. 定期透析(手術は自立)
6. 鼻飼(手術は自立)	16. 定期導尿(手術は自立)
7. 酸素吸入	17. 人工肛門(手術は自立)
8. 尿などの吸引	18. 人工肛門(手術は自立)
9. ネプタイザー	19. その他【具体的に】
10. 経管栄養(経鼻・経口・経ろう管含む)	

就業・経済状況について、お聞きします

問21 現在のあなたの就業(福祉的就労を含む)の状況について、お答えください。金額に関わらず工員が発生している方は「働いている」に○をつけてください。(○は1つだけ)

1. 働いている

2. 働いていない →【問21-4へ】

→【問21-1～21-3は、問21で「1」と答えた方にお聞きします】

問21-1 どのような仕事をしていますか。(○は1つだけ)

1. 自営業	7. ハート・アルバイト
2. 自営業の手伝い	8. 家庭労働
3. 会社・団体の役員・経営者	9. 就労継続支援(A型・B型)事業所など
4. 会社員(一般雇用)	10. 現業施設の仕事(OSMあり作業所など)
5. 会社員(障害者枠・特別子会社)	11. その他【具体的に】
6. 公務員	

問21-2 今の仕事はどのような方法で探しましたが、(あてはまるものすべてに○)

1. ハローワークからのあっせん	6. 家族、親戚の紹介
2. 中央区障害者就労支援センターの支援	7. 知り合いの紹介
3. 学校の紹介	8. 自分で探した
4. 就労移行支援事業所などの支援	9. その他【具体的に】
5. 障害者団体(家族会などを含む)の支援	

問21-3 仕事の内容や働く場などで、あなたの障害に対する配慮がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事内容に配慮がある
2. 働く場(職場)に配慮がある
3. 働き方(就業時間など)に配慮がある
4. 賃金に配慮がある(障害者手当の増額、特別手当など)
5. 健康状態(通帳など)に配慮がある
6. 相談できる環境が整っている
7. その他(具体的に)
8. 特に配慮はされていない
9. わからない

【問21-4は、問21で「2」と答えた方にお聞きします】

- 問21-4 今後、働きたいと思いますか。(○は1つだけ)
1. 働きたい
 2. 自分にあった仕事があれば働きたい
 3. 働きたくない
 4. わからない

【すべての方にお聞きします】

問22 あなたは、障害などのある人が働くために、どのような環境が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅の近くに働く場があること
2. 移動するときに誰かが付き添ってくれること
3. 履服状態にあわせた働き方ができること
4. 通勤や乗車の管理など業務上の配慮があること
5. 一人ひとりにあった仕事や働く場が作られること
6. 仕事や働く場を紹介したり、相談できる場があること
7. 会社で働くための訓練や、仕事に必要なことを学ぶ施設があること
8. 仕事に慣れるまで、援助してくれるなどの制度があること(ジョブコーチ)
9. 職場や地域の人たちが障害などのある人を理解し、配慮していること
10. 介助してくれる人と一緒に働けること
11. 仕事に慣れた後も、困ったときに支援を受けられる制度があること
12. その他(具体的に)
13. わからない

社会参加・文化余暇活動について、お聞きします

問23 あなたは、地域(町会など)や区が行うイベントや行事に参加したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 町会などのお祭り
2. 町会などのバスハイク
3. 防災訓練
4. 町会で行う地域の清掃
5. 町和パトロール
6. その他(区主催のイベントなど)
[具体的に]
7. 参加したことはない

問24 あなたは、どのような文化・芸術・余暇活動に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康福祉まつり
2. 大江戸まつり
3. 散歩、買い物
4. 習い事、学習活動、区の講座(区民カレッジなど)
5. 読書
6. 旅行
7. 映画・演劇・音楽などの創作活動
8. 映画・演劇・コンサートの鑑賞
9. 美術館・博物館めぐり
10. レクリエーション活動
11. 運動、スポーツ活動
12. スポーツ観戦
13. ボランティア活動
14. 地域行事への参加
15. その他(具体的に)
16. 上記の活動をしたいと思うができない
17. 上記の活動をしたいと思わない

問25 あなたは、外出や社会参加の医りごとや助けになっていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 道路の段差や駅などの階段が不便
2. 電車やバスなどの利用が不便
3. トイレが心配
4. 建物や施設の設定が整っていない
5. 目的地まで安全な行き方がわからない
6. 手助け(介助)してくれる人がいない
7. 情報が入手しにくい・ない
8. 障害や難病に対して配慮・理解がない
9. 障害などを理由に参加を断られる
10. 適切な指導者がいない
11. 一般に行く仲間がいない
12. 通訳、文字表示、点字など情報提供の配慮がない
13. 経済的理由
14. 新型コロナウイルス感染症等の感染の不安
15. その他(具体的に)
16. 特にならない

成年後見制度や権利擁護支援事業について、お聞きします

中央区社会福祉協議会の成年後見支援センター「すてっぷ中央」では、成年後見支援事業と権利擁護支援事業を行っています。

「成年後見制度」とは障害や病氣により判断能力が不十分になった方などの不安を解消し、権利と財産を守る制度です。また、「権利擁護支援事業」とは判断能力に不安のある方に気づいて、日常的な金銭の出し入れや通帳などの保管、福祉サービスの利用援助など、安心して生活が送れるよう支援する事業です。

問26 あなたは、「成年後見制度」について内容を知っていますか。(○は1つだけ)

1. よく知っている
2. 名前・制度についてはおおよそ知っている
3. 名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない
4. 全く知らない

成年後見制度には、社会福祉法人や NPO 法人などが後見を行う「法人後見」があります。一般的に、法人後見では、法人の複数の職員が職務執行者として成年後見制度に基づく後見事務を行うため、長期的に安定して支援を継続できるという利点があります。

問27 あなたは、「法人後見」について内容を知っていますか。(○は1つだけ)

1. よく知っている
2. 名前・制度についてはおおよそ知っている
3. 名前を知ったことがある程度で制度についてはあまり知らない
4. 全く知らなかった

問28 あなたは、「法人後見」を利用したいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 利用したい
2. 利用したいとは思わない
3. わからない

障害者などへの区民の理解について、お聞きします

問29 あなたは、障害や障害者、難病や難病患者に対する区民の理解について、どのように感じていますか。(○は1つだけ)

1. とても理解されている
2. ある程度理解されている
3. あまり理解されていない
4. まったく理解されていない
5. どちらともいえない

問30 あなたは、障害があることで、差別を感じたことはありませんか。(○は1つだけ)

1. よくある
2. 時々ある
3. ほとんどない
4. まったくない

問31 あなたは、役所や会社、お店などの事業者が、正当な理由なく障害を理由に差別することを禁止し、合理的配慮（何らかの配慮を必要とする意思が伝えられた時に、対応すること）の提供を義務付ける「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害差別解消法）」を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない
3. わからない

問32 あなたは、障害者差別の解消を推進するために、何が重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 障害者差別に関する相談・助言解決のしくみをつくること
2. 障害者差別の解消の取組に関する情報発信や普及・啓発を行うこと
3. 地域や学校などで障害や難病のある方との交流の機会を創やすこと
4. 学校や生涯学習などで障害や難病に関する教育を行うこと
5. 障害や難病に関する講演会を開催すること
6. 障害者の一般財団を支援すること
7. タイパシティブ（多様性）の取組を推進すること
8. その他（具体的に）
9. わからない

問33 あなたは、役所、会社、お店などに対し、どのような合理的配慮を必要としていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 困っているときは、どうしてほしいかが聞いてから対応してほしい
2. 要約をするときは、それに立つ位置を聞いて歩く速さを合わせてほしい
3. 車いすでも利用しやすいようカウンターの高さを調整してほしい
4. 段差のある場所やエレベーターがない場所で、移動を手伝ってほしい
5. 何度も声を立つ必要があるときは、座席の位置を出入口の近くにしてほしい
6. 音や叫喚り、室温など感覚的に体感しにくい環境を整えてほしい
7. 座席の位置をわかりやすく伝えてほしい
8. 手の届かないところにあるものをとったり、しまったりしてほしい
9. 待つこと短時間で済ませ、わかりやすく話しかけてほしい
10. 手紙を少なくする、ルビを振るなどをしてほしい
11. 伝えたいことを紙に書いてほしい
12. 障害や難病などの特性を理解し、参加するための工夫をしてほしい
13. その他（具体的に）
14. わからない

中央区では、令和5年4月1日に「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」を制定しました。この条例は、障害のある方の特性に合わせた多様なコミュニケーション手段の充実に努めるとともに、手話が言語であることの理解を広めることにより、誰もが障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指すことを目的としています。

問34 あなたは、「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」について内容を知っていますか。(○は1つだけ)

1. よく知っている
2. 名前・内容についてはおおよそ知っている
3. 名前を知ったことがある程度で内容についてはあまり知らない
4. 全く知らなかった

問35 中央区では、「虐待通報・相談窓口」を設け、障害者虐待の未然の防止、早期発見、迅速な対応、その後の切れ目ない支援を行っています。あなたは、「虐待通報・相談窓口」を知っていますか。(Oは1つだけ)

1. 知っている 2. 知らない 3. わからない

災害時（地震・火災・水害）の対策について、お聞きします

問36 あなたは、災害時に不安に感じることがありますか。

(あてはまるものすべてにO)

1. 災害の対応や避難指示などの情報を入手できるか
2. 避難するときに適切に行動や移動ができるか
3. 避難する場所が分かるか
4. 自分の状況や支援してほしいことを周りの人に伝えることができるか
5. 周りの人から助けをもらえるか
6. 必要な介護、看護など支援を受けることができるか
7. 必要な医療ケアを受けられるか
8. その他（具体的に）
9. 特に不安はない

中央区の障害者（児）および難病患者を対象とした施策の満足度について、お聞きします

問37 あなたは、中央区で実施している障害者（児）および難病患者を対象とした施策について満足していますか。(Oは1つだけ)

1. 大変満足 3. やや不満足
2. やや満足 4. 非常に不満足

問38 あなたにとって、区の障害者施策に限らず中央区での暮らしはいかがでしょうか。(Oは1つだけ)

1. 暮らしやすい 3. どちらかといえば暮らしにくい
2. どちらかといえば暮らしやすい 4. 暮らしにくい

問39 中央区（行政）への意見・要望などがありましたら、自由にご記入ください。

——ご協力ありがとうございました——

この調査票は9月19日（金）までに、同封の返信用封筒に入れ、投函してください。（切手は不要です）

2 知的障害者調査票

②知的障害者 中央区の福祉施策の充実に関する調査

区民の皆様には、白旗から中央区の障害福祉行政の推進にご理解とご協力をお願いいたします。

中央区では、現在、「たれちが個性豊かに生き、共に暮らせるまち 中央区」を基本理念とする「中央区障害者計画・第7期中央区障害福祉計画・第3期中央区障害福祉計画」に基づき、施策を推進し、障害福祉サービスの充実に取り組んでいます。

このたび、条件等を決定している次期計画の策定に向けて、策の準備をすすめている旨様に、日常生活や障害福祉サービスの利用状況、意向などをお伺いし、今後の障害福祉施策の取組を定める基礎資料とするため、「中央区の福祉施策の充実に関する調査」を実施します。

調査結果につきましては、統計的データとしてまとめ、回答された方が個人として特定されることやご迷惑をおかけすることは一切ありません。

また、本調査では、障害や生活状況が異なる障友の方のニーズや課題を把握するため、お身体のことや経済状況などを詳しくお聞きする質問がありますが、わからない質問や答えたくない質問については、回答しなくても結構です。

ご多忙のところ恐縮ではございますが、本調査の主旨についてご理解いただき、是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

調査実施主体

（調査の実施目的や内容に関する問い合わせ先）

中央区福祉保健部 障害福祉課

電話：03-3546-5389（直通） FAX：03-3248-1322

ご記入にあたってのお願い

○回答は、封筒のあて名のご本人が記入してください。

○あて名のご本人が自分で回答するのが難しい場合は、ご本人の意向に沿って代わりにお返事できる方が記入してください。

○ご記入は、黒または青の鉛筆やボールペンでお願いいたします。

○質問中の「あなた」とは「あて名のご本人」を指します。

○回答は、あてはまる番号に○をつけてください。○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。

○「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的な内容を記入してください。

○記入された方が回答欄に入りきらない場合は、別紙に記入してこの調査票と一緒に提出いただいても構いません。

○一部の方だけに回答していただく意向もありますが、その場合は矢印（→）で示したり、説明文がありますので、該当する方のみ回答してください。

○送付先については、他の調査に関する調査票と共通としているものがありますので、ご了承ください。

○ご記入いただいた調査票は、**9月19日(金)**までに、封筒の封筒に入れて返送してください。（回手は不要です）

あなた（あて名ご本人）について、お聞きします

問1 この調査に回答される方はどなたですか。（〇は1つだけ）

1. あなた（あて名ご本人）
2. あなたの配偶者
3. あなたの父母（配偶者の父母を含む）
4. あなたの子ども
5. あなたの兄弟姉妹
6. あなたの祖父母
7. その他

問2 あなたの性別と令和7年9月1日現在の年齢を教えてください。

(1) 性別（〇は1つだけ）

1. 男性
2. 女性
3. 回答したくない

(2) 年齢（右つめで数字を記入）

--	--	--	--	--	--

問3 あなたが、現在、住んでいる地域はどこですか。（〇は1つだけ）

1. 京福地域
(八幡浜二丁目、京福、鶴浜、新島、入船、渡、朝石町、築地、八丁原、新川)
2. 日本橋地域
(本石町、室町、本町、小内町、小松崎町、大伝馬町、船留町、雷次町、大形町、小島町、新殿町、稲崎町、馬場町、福山町、東日本橋、父島町、深町、中蔵、八幡洲一丁目、日本橋、茅崎町、荒町)
3. 月島地域
(畑、月島、新どき、蟹海町、蒲海)

問4 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。（〇は1つだけ）

1. 家族と一緒に暮らしている
2. ひとりで暮らし
3. 施設に入所している（グループホームを含む）
4. その他（具体的に）

→問4-1へお進みください。

【問4で「1」と答えた方にお聞きします】

問4-1 回答している方はどなたですか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 配偶者
2. 父
3. 母
4. 兄弟姉妹（その配偶者を含む）
5. 子（その配偶者を含む）
6. 祖父
7. 祖母
8. 孫（孫の配偶者）
9. その他の親族
10. その他（具体的に）

【すべての方にお聞きします】

問5 あなたが持っている障害者手帳または医療受給者証などはどれですか。また、お持ちの手帳の障害の等級や程度を【 】から選択してください。（あてはまるものすべてに〇）

1. 身体障害者手帳 [1級・2級・3級・4級・5級・6級]
2. 療の手帳 [1級・2級・3級・4級]
3. 精神障害者保健福祉手帳 [1級・2級・3級]
4. 難病などの医療費等助給制度の医療受給者証または医療券
5. 自立支援医療（精神通院）受給者証
6. 障害支援区分 [1・2・3・4・5・6]
7. 発達障害等であると医師から診断されている
8. 障害者支援施設等 [要支援1・要支援2・総合事業対象者1]
9. 要介護認定 [要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5]
10. 高次脳機能障害であると医師から診断されている
11. 自衛隊員、警察、消防などの強い行動力がある
12. いずれにも該当しない

住まいについて、お聞きします

問6 あなたの現在の住まいは次のどれですか。（〇は1つだけ）

1. 持家（マンションなどを含む）
2. 賃貸借家（マンションなどを含む）
3. 区立・公社・都市再生機構（UR）賃貸住宅
4. 区営・都営住宅
5. 社宅・公務員住宅
6. 簡易・簡借り
7. 入所施設
8. グループホーム
9. その他（具体的に）

問7 あなたは、今後、どのように暮らしたいと聞きますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 現在同居している家族と一緒に暮らしたい
2. 貴のあつ友人や知人と一緒に暮らしたい
3. 貴のあつ友人が入所する施設で暮らしたい
4. 貴のあつある人たちが相談してくれる人と一緒に暮らしたい(グループホームなど)
5. 一人で暮らしたい
6. 配偶者・パートナーと二人で暮らしたい
7. 子どもを育てながら暮らしたい
8. その他(具体的に)
9. わからない

日常生活の中の介助について、お聞きします

問8 日常的に手助け(介助)してくれる方はどなたですか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 配偶者 | 10. 訪問看護師 |
| 2. 父 | 11. ホームヘルパー |
| 3. 母 | 12. ボランティア |
| 4. 兄弟姉妹(その配偶者) | 13. その他 |
| 5. 子(その配偶者) | (具体的に) |
| 6. 祖父 | 14. 手助け(介助)してくれる人が |
| 7. 祖母 | いない |
| 8. 孫(孫の配偶者) | 15. 手助け(介助)の必要がない |
| 9. その他の親族 | |

問8-1・8-2は、問8で「1」～「9」のいずれかに答えた方にお聞きします

問8-1 主に手助け(介助)してくれる方の年齢はいくつですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|---------|----------|
| 1. 18歳未満 | 4. 30歳代 | 7. 60歳代 |
| 2. 18～19歳 | 5. 40歳代 | 8. 70歳代 |
| 3. 20歳代 | 6. 50歳代 | 9. 80歳以上 |

問8-2 主に手助け(介助)してくれる方から、1日に手助け(介助)を受ける時間はどのくらいですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 3時間未満 | 4. 9時間以上12時間未満 |
| 2. 3時間以上6時間未満 | 5. 12時間以上15時間未満 |
| 3. 6時間以上9時間未満 | 6. 15時間以上 |

問9 あなたは、お金の管理を自分ひとりでできますか。(○は1つだけ)

1. ひとりでできる
2. 状態によってできるときとできないときがある
3. 手助けが必要

相談について、お聞きします

問10 あなたは、現在の暮らしの中で何か困っていることはありませんか。(○は3つまで)

1. 家族のこと(家族の健康状態、家族の不在で手助けを受けられないなど)
2. 近所・地域のこと(近所の人のトラブル、噂や閑言に対しての理解など)
3. 健康・医療のこと(健康や療養の状態が良くない、病状が悪くはないなど)
4. お金のこと(収入、お金の管理など)
5. 仕事のこと(仕事が持つからない、仕事が理解できないなど)
6. 人の付き合いのこと(周りの人とうまくコミュニケーションが取れないなど)
7. 住まいのこと(バリアフリーになっていないなど)
8. その他(具体的に)
9. 困っていない

問11 あなたは、将来のことで、不安に感じていることはありますか。(○は3つまで)

1. 手助けしてくれる人がいるか
2. 親が亡くなった後の生活のこと
3. 将来一緒に暮らす家族がいるか
4. 施設の中で暮らしていただけるか
5. 経済できるか
6. 住居が確保できるか
7. 希望する学校に行けるか
8. 働く場があるか
9. 十分な収入があるか
10. 趣味や生きがいを持っているか
11. 新しい友人・知人がいるか
12. 必要なスキルや経験が身につけられるか
13. 高齢になった後のこと
14. 希望する施設に入所できるか
15. 災害や病気・事故などの時に、すぐに助けにきてもらえるか
16. お金や財産の管理ができるか
17. その他(具体的に)
18. 困らない

問12 あなたが希望する生活を送るために必要なことは何ですか。(Oは3つまで)

1. 居宅介護（ホームヘルプ）の充実
2. 外出・移動における支援（巡回看護、行動援助など）の充実
3. 送迎やリハビリテーション（自立訓練など）の充実
4. 自立生活のための訓練・指導・支援（自立生活援助など）の充実
5. 就労のための訓練・指導・支援（就労移行支援、就労継続支援など）の充実
6. 働く場所の確保
7. 通所施設や居場所の充実
8. 入所施設（共同生活援助、施設入所支援など）の充実
9. 入浴可能な福祉施設
10. 相談支援（計画相談支援など）の充実
11. 就労後復職利用のための支援
12. 家族が困難な住居の充実
13. 障害者向け住居の充実
14. 介護者への支援（包括ケア、レスパイトケア、家族への相談支援など）の充実
15. 地域の災害（避難住民、防災・自治会）の理解
16. その他（具体的に）
17. 知らない

問13 あなたは、何が困ったとき、誰に（どこに）相談したり、頼んだりしていますが、（あてはまるものすべてにO）

1. 家族・友人・知人
2. 近所の人・町会・自治会
3. 民生・障害者員
4. 会社・学校
5. 病院・診療所
6. 障害者団体（家族会などを含む）
7. 障害福祉サービス事業所
8. 区役所・保健所・福祉センターなど
9. 社会福祉協議会
10. 基幹相談支援センター
11. 中央区障害者就労支援センター
12. 地域活動支援センター（ポケット市民）
13. おとしほり相談センター（地域包括支援センター）
14. ふくしの総合相談窓口
15. その他（具体的に）
16. 誰もいない

問14 あなたは、次の相談・支援の窓口をご存知ですか。A～Eの項目についてそれぞれ該当する数字にOをつけてください。(A～EのそれぞれでOは1つだけ)

	1 利用したことがある	2 知っているが、利用したことはない	3 知らない
A) 中央区障害者就労支援センター 障害のある人が一般企業へ就労する機会を 広げ、就労後も安心して働き続けられるよう に、専任のコーディネーターが就労や生活に關 する相談・支援を行っています。	1	2	3
E) 基幹相談支援センター 障害の種類や年齢にかかわらず、障害のある すべての方とご家族に対しての総合相談 支援を行うとともに、関係機関や相談支援事 業者との連携の強化を図っています。	1	2	3

問15 あなたは、区内の相談・支援の窓口が利用しやすくなるには、どのようなことが必要だと思いますか。(Oは3つまで)

1. 相談・支援の窓口が身近にあること
2. 相談内容に合った、わかりやすい情報提供をしてくれること
3. さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口になっていること
4. 休日や夜間でも相談できること
5. 電話で相談への対応をしてくれること
6. メールやSNS（LINEなど）で相談への対応をしてくれること
7. ICT機器（対応支援機器など）があること
8. コミュニケーション支援が充実していること（手話通訳者の配置など）
9. 障害のある人や家族など同じ立場の人と繋がることができること（ピアカウンセリング・ピアサポート）
10. ゆっくり話を聞いてもらえること
11. 予約がなくてもいつでも相談できる体制があること
12. 自宅への訪問相談をしてもらえること
13. フライバシーの配慮がしっかりしていること
14. その他（具体的に）
15. 知らない

第1章

調査概要

第2章

調査結果
 (①身体障害者
 ・難病患者
 ②知的障害者
 ③精神障害者)

第3章

調査結果
 (④子ども)

第4章

調査結果
 (⑤障害福祉
 サービス
 事業所)

障害福祉サービスについて、お聞きします

問16 (1)令和6年4月以降、あなたは、次の障害福祉サービス、地域生活支援事業を利用したことがありますか。ア～ナの項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

(2)あなたが利用したサービスについて、支給量は十分だと感じますか。ア～ナの項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

(1)、(2)のそれぞれで○は1つだけ
※ここに掲載されている障害福祉サービス、地域生活支援事業は、中央区が提供するサービスの一部です。

	(1) 利用状況				(2) 支給量	
	1 区内事業所を利用したことがあるが区外事業所を利用したことはない	2 区内事業所を利用したことがあるが区外事業所を利用したことがある	3 区内事業所・区外事業所両方を利用したことがある	4 利用したことはない	1 サービスを交付されていない	2 サービスを交付されている
回答例	①	2	3	4	①	2
ア 居宅介護（ホームヘルプ） 居宅において、①入浴や排せつ、食事等の介護、②調理や洗濯、掃除等の家事、③生活等に関する相談・助言等の生活全般にわたる援助を行います。						
イ 行動援助 障害者の行動する際に生じ得る危険を回避するために、必要な措置、外出時の移動中の介護、排せつや食事の介護等の必要な援助を行います。	1	2	3	4	1	2

	(1) 利用状況				(2) 支給量	
	1 区内事業所を利用したことがあるが区外事業所を利用したことはない	2 区内事業所を利用したことがあるが区外事業所を利用したことがある	3 区内事業所・区外事業所両方を利用したことがある	4 利用したことはない	1 サービスを交付されていない	2 サービスを交付されている
ウ 生活介護 障害者支援施設等において、生活介護を要する障害者等に対して、主に昼間に①入浴や排せつ、食事等の介護、②調理や洗濯、掃除等の家事、③生活等に関する相談・助言、④制作活動または生産活動の機会提供等の必要な援助を行います。	1	2	3	4	1	2
エ 自立訓練（生活訓練） 知的障害者や精神障害者に対して、通所または居宅訪問によって、入浴や排せつ、食事等の自立した日常生活を営むために必要な訓練、生活に関する相談・助言等の必要な援助を行います。	1	2	3	4	1	2

	(1) 利用状況				(2) 支給量	
	1	2	3	4	1	2
<p>カ 就労移行支援 就労を希望する65歳未満の障害者等で、一般の事業所に雇用されることが可能と見込まれる人に対して、生産活動、職場体験等の機会を提供、就労に必要な知識や能力の向上のために必要な訓練、求職活動に関する支援、その適性に即した雇用の創出、就職後の職場への定着のために必要な相談・助言等の支援を行います。</p>	1	2	3	4	1	2
<p>カ 就労継続支援 (A型) 企業等に就労することが困難な65歳未満の障害者等に対して、雇用契約に基づき、生産活動の機会を提供、就労に必要な知識や能力の向上のための訓練等の支援を行います。</p>	1	2	3	4	1	2

	(1) 利用状況				(2) 支給量	
	1	2	3	4	1	2
<p>キ 就労継続支援 (B型) 身体的、心身の状況等の事情により、一般の事業所に雇用されることが困難な障害者等や、就労移行支援によって一般の事業所に雇用されるに至らなかった障害者等に対して、生産活動の機会を提供、就労に必要な知識や能力の向上のための訓練等の支援を行います。</p>	1	2	3	4	1	2
<p>ク 就労定着支援 就労支援等のサービスを受けていた障害者等に対して、就労定着に向けた支援(企業・家族との連絡調整や生活面の支援等)を行います。</p>	1	2	3	4	1	2
<p>ク 療養介護 病状において日常生活上の世話等の療養介護が必要な障害者等に対して、特に食事に適切な調理、療養上の管理、看護、医師管理下での介護や日常生活上の支援を行います。また、療養介護のうち医療に係るものについては、療養介護医鑑を行います。</p>	1	2	3	4	1	2

第1章
調査概要

第2章
調査結果
(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉
サービス
事業所)

	(1) 利用状況				(2) 支給量	
	1	2	3	4	1	2
<p>コ)短期入所(ショートステイ) 居宅において生活する障害者(児)等の介護者が疾病等の理由で日間の支援を行えない際に、障害者支援施設等への短期間の入所をすることにより、入浴や排せつ、食事の介護等の必要な支援を行います。</p> <p>カ)自立生活援助 障害者支援施設やグループホーム等から一人暮らしへの移行を希望する障害者等に対して、本人の意思を尊重した地域生活を支援するため、一定の範囲にわたり、段階的な訪問訪問や地域の協働により、相談・助言等を行います。</p> <p>シ)共同生活援助(グループホーム) 地域で共同生活を営むことができない障害者等に対して、主に夜間に共同生活を営む住居において相談等の日常生活上の援助を行います。</p>	1	2	3	4	1	2

	(1) 利用状況				(2) 支給量	
	1	2	3	4	1	2
<p>ス)地域移行支援 入所施設や精神科病院等からの退所・退院にあたって支援を必要とする人に対して、個別住居の確保や地域の中での生活に移行するための活動に関する相談、外出の際の同行、障害福祉サービス(生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援等)の体系的な利用支援、体系的な宿泊支援等を行います。</p> <p>セ)地域定着支援 入所施設や精神科病院から退所・退院した人、家族との同居から一人暮らしに移行した人、地域での生活が不安定な人などに対して、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に合わせた生じた緊急の事態等に必要ない支援を行います。</p> <p>ソ)手話通訳者派遣 購買担当者等に知する手話通訳者の派遣や、区が主催する行事などへの手話通訳者の配置を行います。</p>	1	2	3	4	1	2

	(1) 利用状況				(2) 支給量	
	1	2	3	4	1	2
エ) 要約筆記者派遣 障害者等に対しては、要約筆記者の派遣や、区が主催する行事等への要約筆記者の派遣を行います。						
チ) 移動支援事業（個別支援型） 個別的支援が必要な障害者（利用）等に対するマンツーマンによる送迎支援を行います。	1	2	3	4	1	2
ツ) 精神障害者地域活動支援センター 「ポケット中央」 精神障害者地域活動支援センター「ポケット中央」において、18歳以上の精神障害者を対象として、日中の居場所や相談、創作活動の場、デイケアを提供します。	1	2	3	4	1	2

16

	(1) 利用状況				(2) 支給量	
	1	2	3	4	1	2
テ) 機能訓練フォローアップ事業 福祉センターにおいて、認知症候群等により身体障害が生じた方を対象として、身体機能の維持・回復を図るとともに、自立して家庭や地域での生活が送れるよう理学療法・作業療法・言語療法などによる「機能訓練フォローアップ事業」を提供します。	1	2	3	4	1	2
ト) 訪問入浴サービス 入浴することが困難な重度の障害者（病）に対し、自宅において訪問入浴車による入浴サービスを提供します。	1	2	3	4	1	2
チ) 日中一時支援 一時的に居守り等が必要な障害者（病）の日中の活動の場を確保し、日常的に介護をしている家族等が休養できるよう支援します。	1	2	3	4	1	2

16

第1章

調査概要

第2章

調査結果

(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章

調査結果

(④子ども)

第4章

調査結果

(⑤障害福祉サービス事業所)

【問16-1】は、共同生活援助（グループホーム）を利用したことがない方（問16「シ」共同生活援助（グループホーム）」の「4」と答えた方）にお聞きします。

問16-1 共同生活援助（グループホーム）はいつから利用したいですか。（○は1つだけ）

1. 現在から今後2年未満
2. 今後2年以上5年未満の間
3. 今後5年以上8年未満の間
4. 今後8年以上先
5. わからない
6. その他
7. 利用したいと悪くない

問17 あなたが必要であると感じるサービスがありましたら、自由にご記入ください。

問18 あなたは、サービスの利用で、困ったり、不便だと感じることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. サービスに関する情報が少ない
2. 利用したいサービスがない
3. 利用方法が分かりづらい
4. 手紙さが難しい
5. 利用できる回数・日数が少ない
6. サービスの質に不満がある
7. 自分に合う事業所が見つからない
8. 事業所に要望を伝えづらい
9. 経済的な負担が大きい
10. 自分の障害支援区分に不満がある
11. その他（具体的に）
12. 他に困りごと、不便なことはない

問19 あなたは、どこから福祉サービスなどの情報を得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 障害者福祉のしおり
2. 区のおしらせ
3. 区市などにあるポスター、チラシ
4. 区のホームページ
5. 区役所の窓口
6. 保健師・保健センター
7. 福祉センター
8. 教育センター
9. 福祉相談支援センター
10. おどしほり相談センター（地域包括支援センター）
11. 子ども発達支援センター ゆりのき
12. 子ども発達支援センター きらら中央
13. 東京都児童相談センター・児童相談所
14. 病室・診療所
15. 民生・児童委員
16. 障害者団体（家族会などを含む）
17. 福祉支援事業所
18. 家族や近所の人（友人、恋人）
19. 会社・学校
20. テレビや新聞
21. その他
22. 信がない

医療について、お聞きします

問20 あなたは、日常的に医療的ケアを必要としていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 医療的ケアを必要としていない
2. 人工呼吸器管理（常時）
3. 人工呼吸器管理（度々のみ）
4. 人工呼吸器管理（その他）
5. 経腸栄養管理（経管栄養を含む）
6. 経腸栄養管理（経管栄養）
7. 経腸栄養管理（経管栄養）
8. 経腸栄養管理（経管栄養）
9. ネブライザー
10. 経管栄養（経管・胃ろう・胃ろう含む）
11. 中心静脈カテーテル
12. 皮下注射
13. 血糖管理
14. 腫瘍に関する治療（腫瘍治療を含む）
15. 定期的尿（手技は自立）
16. 定期的尿（手技は介助が必要）
17. 人工直腸（手技は自立）
18. 人工直腸（手技は介助が必要）
19. その他

就労・経済状況について、お聞きします

問21 現在のあなたの就労（福祉的就労も含む）の状況について、お答えください。金額に関わらず就労している方は「働いている」に○をつけてください。（○は1つだけ）

1. 働いている
 2. 働いていない
- 【問21-1～21-3】は、問21で「1」と答えた方にお聞きします。（○は1つだけ）
- 問21-1 どのような仕事をしていましたか。（○は1つだけ）
1. 自営業
 2. 自営業の手伝い
 3. 会社・団体の役員・経営者
 4. 会社員（一職雇用）
 5. 会社員（障害者枠・福利子会社）
 6. 公務員
 7. パート・アルバイト
 8. 家庭内労働
 9. 障害福祉支援（A型・B型）事業所など
 10. 授産施設の仕事（おれあい作業所など）
 11. その他（具体的に）

問21-2 次の仕事はどのような方法で探しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. ハローワークからのあわせしん | 6. 家族、親縁の紹介 |
| 2. 中央区障害者就労支援センターの支援 | 7. 知り合いの紹介 |
| 3. 学校の紹介 | 8. 自分で探した |
| 4. 就労移行支援事業所などの支援 | 9. その他 |
| 5. 障害者団体(家族会などを含む)の支援 | (具体的に) |

問21-3 仕事の内容や働く場などで、あなたの障害に対する配慮がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 仕事内容に配慮がある | 5. 就業状態(勤務など)に配慮がある |
| 2. 働く場(環境)に配慮がある | 6. 相談できる環境が整っている |
| 3. 働き方(就労時間など)に配慮がある | 7. その他(具体的に) |
| 4. 職業に配慮がある(職業・資格の取得) | 8. 特に配慮はされていない |
| | 9. わからない |

【問21-4は、問21で「2」と答えた方にお聞きします】

問21-4 今後、働きたいと思えますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1. 働きたい | 3. 働きたくない |
| 2. 自分にあった仕事があれば働きたい | 4. わからない |

【すべての方にお聞きします】

問22 あなたは、障害などのある人が働くために、どのような環境が必要だと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 自宅の近くに働く場があること |
| 2. 移動するときに誰かが付き添ってくれること |
| 3. 就業状態にあわせた働き方ができること |
| 4. 通勤や車の管理など生活上の配慮があること |
| 5. 一人ひとりにあった仕事や働く場が作られること |
| 6. 仕事や働く場を紹介したり、相談できる場があること |
| 7. 会社で働くための訓練や、仕事に必要なことを学ぶ施設があること |
| 8. 仕事で働くまで、前向きになれるなどの制度があること(ジョブコーチ) |
| 9. 障害や地域の大人たちが障害などのある人を理解し、配慮していること |
| 10. 介助してくれる人と一緒に働くこと |
| 11. 仕事に慣れた後も、困ったときに支援を受けられる制度があること |
| 12. その他(具体的に) |
| 13. わからない |

社会参加・文化系活動について、お聞きします

問23 あなたは、地域(町会など)や区が行うイベントや行事に参加したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 町会などのお祭り | 5. 防犯パトロール |
| 2. 町会などのバスハイフ | 6. その他(区主催のイベントなど) |
| 3. 防災訓練 | (具体的に) |
| 4. 町会で行う地域の清掃 | 7. 参加したことはない |

問24 あなたは、どのような文化・芸術・系活動に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 健康通社まつり | 9. 美術館、博物館めぐり |
| 2. 大江戸まつり | 10. レクリエーション活動 |
| 3. 散歩、買い物 | 11. 運動、スポーツ活動 |
| 4. 習い事、学習活動、区の講座(かえて学級など) | 12. スポーツ観戦 |
| 5. 読書 | 13. ホランティア活動 |
| 6. 旅行 | 14. 遠征行事への参加 |
| 7. 絵画・装飾・音楽などの創作活動 | 15. その他(具体的に) |
| 8. 映画・演劇・コンサートの鑑賞 | 16. 上記の活動をしたくと聞けがでない |
| | 17. 上記の活動をしたくと聞かない |

問25 あなたは、外出や社会参加の困りごとや変化になっていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. 通話の段差や駅などの階段が不便 | 10. 適切な指導者がいない |
| 2. 電車やバスなどの利用が不便 | 11. 一緒に行く仲間がいない |
| 3. トイレが心配 | 12. 通訳、文字表示、点字など情報提供の配慮がない |
| 4. 建物や施設の設備が整っていない | 13. 経済的理由 |
| 5. 自前地まで安全な行き方がわからない | 14. 新型コロナウィルス感染症等の感染の不安 |
| 6. 手助け(介助)してくれる人がいない | 15. その他(具体的に) |
| 7. 情報が入りにくい・ない | 16. 箱にない |
| 8. 障害や障害者に訪して高度・理解がない | |
| 9. 障害などを理由に参加を断られる | |

成年後見制度や権利擁護支援事業について、お聞きします

中央区社会福祉協議会の成年後見支援センター「すてっぷ中央」では、成年後見支援事業と権利擁護支援事業を行っています。

「成年後見制度」とは障害や病気により判断能力が不十分になった方などの不安を解消し、権利と財産を守る制度です。また、「権利擁護支援事業」とは判断能力に不安のある方に対して、日常的な書類の出し入れや通帳などの廃棄、福祉サービスの利用補助など、安心して生活が送れるよう支援する事業です。

問26 あなたは、「成年後見制度」について内容を知っていますか。(〇は1つだけ)

1. よく知っている
2. 名前・制度についてはおおよそ知っている
3. 名前を知ったことがある程度で制度についてはあまり知らない
4. 全く知らなかった

成年後見制度には、社会福祉法人やNPO法人などが後見を行う「法人後見」があります。一般的に、法人後見では、法人の複数の職員が職務執行者として成年後見制度に基づく後見事務を行うため、長期的に安定して支援を継続できるといふ利点があります。

問27 あなたは、「法人後見」について内容を知っていますか。(〇は1つだけ)

1. よく知っている
2. 名前・制度についてはおおよそ知っている
3. 名前を知ったことがある程度で制度についてはあまり知らない
4. 全く知らなかった

問28 あなたは、「法人後見」を利用したいと願いますか。(〇は1つだけ)

1. 利用したい
2. 利用したいとは思わない
3. わからない

障害者などへの区民の理解について、お聞きします

問29 あなたは、障害や障害者に対する区民の理解について、どのように感じていますか。(〇は1つだけ)

1. とても理解されている
2. ある程度理解されている
3. あまり理解されていない
4. まったく理解されていない
5. どちらともいえない

問30 あなたは、障害があることで、差別を感じたことはありますか。(〇は1つだけ)

1. よくある
2. 時々ある
3. ほとんどない
4. まったくない

問31 あなたは、役所や会社、お店などの事業者が、正当な理由なく障害を理由に差別することを禁止し、合理的配慮(何らかの配慮を必要とする状態が伝えられた時に、対応すること)の提供を義務付ける「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」を知っていますか。(〇は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない
3. わからない

問32 あなたは、障害者差別の解消を推進するために、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 障害者差別に関する相談・紛争解決のしくみをつくること
2. 障害者差別の解消の取組に関する情報発信や普及・啓発を行うこと
3. 地域や学校などで障害や業務のある方との交流の機会を増やすこと
4. 学校や生涯学習などで障害や難病に関しての教育を行うこと
5. 障害や難病に関する講演会を開催すること
6. 障害者の一歩就労を奨励すること
7. ダイバーシティ(多様性)の取組を推進すること
8. その他(具体的に：)
9. わからない

問33 あなたは、役所、会社、お店などに列し、どのような合理的配慮を必要としますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 困っているときは、どうしてほしいか聞いてから対応してほしい
2. 案内をするときは、そばに立つ位置を聞いて歩く道をあわせてほしい
3. 望んでも利用しやすさ(例えばカウンターの高さを調整してほしい)
4. 設置のある場所やエレベーターがない場所、移動を手伝ってほしい
5. 向度も扉を立つ必要があるときは、扉の位置を出入口の近くにしてほしい
6. 管や明り、扉など窓等に視覚的な誘導に響いてほしい
7. 覆れたときやリラックスしたいときに受えるスペースを助けてほしい
8. 席の位置をわかりやすく伝えてほしい
9. 手の届かないところにあるものなど、しまったりしてほしい
10. ゆっくりと短いことばや文量で、わかりやすく話しかけてほしい
11. 漢字を少なくする、ルビを添えてほしい
12. 伝えたいことを絵に書いてほしい
13. 障害や状態などの特性を理解し、参加するための工夫をしてほしい
14. その他(具体的に)
15. わからない

中央区では、令和5年4月1日に「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」を制定しました。この条例は、障害のある方の特性に即した多様なコミュニケーション手段の充実を図るとともに、手話が言語であることの理解を促すことにより、誰もが障害の有無によって分け隔たれることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指すことを目的としています。

問34 あなたは、「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」について内容を知っていますか。(○は1つだけ)

1. よく知っている
2. 名前・内容についてはおおよそ知っている
3. 名前を聞いたことがある程度で内容についてはあまり知らない
4. 全く知らなかった

問35 中央区では、「虐待通報・相談窓口」を設け、障害者虐待の未然の防止、早期発見、迅速な対応、その後の切れ目ない支援を行っています。あなたは、「虐待通報・相談窓口」を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない
3. わからない

災害時(地震・火災・水害)の対策について、お聞きします

問36 あなたは、災害時に不安に感じることがありますが、(あてはまるものすべてに○)

1. 災害の内容や避難指示などの情報を入手できるか
2. 避難するときに適切に行動や移動ができるか
3. 避難する場所が分かるか
4. 自力の人から助けや支援してほしいことを周りの人に伝えることができるか
5. 自力の人から助けをもらえるか
6. 必要な介護、看護など支援を受けることができるか
7. 必要な送迎サービスを受けることができるか
8. その他(具体的に)
9. 特に不安はない

中央区(児)および難病患者を対象とした施策の満足度について、お聞きします

問37 あなたは、中央区で実施している障害者(児)および難病患者を対象とした施策について満足していますか。(○は1つだけ)

1. 大変満足
2. やや満足
3. やや不満足
4. 非常に不満足

問38 あなたにとって、区の障害者施策に障らず中央区での暮らしはいいですか、(○は1つだけ)

1. 暮らしやすい
2. どちらかといえば暮らしやすい
3. どちらかといえば暮らしにくい
4. 暮らしにくい

問39 中央区(行政)への職員・要望などがありましたら、自由に記入ください。回答欄に入りざらない場合は、別紙に記入してこの調査票と一緒に提出いただくか、1ページ、2ページの空白にご記入いただいても構いません。

——ご協力ありがとうございました——
この調査票は9月19日(金)までに、
向付の返信用封筒に入れ、投函してください。(切手は不要です)

3 精神障害者調査票

③精神障害者

中央区の福祉施策の充実に関する調査

区民の皆様には、日頃から中央区の障害福祉行政の推進にご理解とご協力をお願いいたします。

中央区では、現在、「だれもが個性豊かに輝き 共に暮らせるまち 中央区」を基本理念とする「中央区障害者計画・第7期中央区障害福祉計画・第3期中央区障害福祉計画」に基づく施策を推進し、障害福祉サービスの充実に取り組んでいます。

このたびは、求職者支援している次期計画の策定に向けて、精神障害者雇用促進手続所待機及び自立支援医療（精神通院）受給者の皆様の中から無作為に抽出した方に、日常生活や障害福祉サービスの利用状況、意向などをお伺いし、今後の障害福祉施策の策定を進める基礎資料とするため、「中央区の福祉施策の充実に関する調査」を実施します。

調査結果につきましては、統計的データとしてまとめ、回答された方が個人として特定されることやご迷惑をおかけすることはありません。

また、本調査では、障害や生活状況が異なる様々な方のニーズや課題を把握するため、お身体のことや経済状況などを詳しくお聞きする意向がありますが、わからない質問や答えたくない質問については、回答しなくても結構です。

ご多忙のところお断りさせていただきますが、本調査の趣旨についてご理解いただき、是非ご協力くださいませよとお願ひ申し上げます。

調査実施主体

（調査の実施目的や内容に関する問い合わせ先）

中央区福祉保健部 障害者福祉課

電話：03-3546-5389（直通） FAX：03-3248-1322

ご記入にあたってのお願い

- 回答は、封筒のあて名のご本人が記入してください。
- あて名のご本人が自分で回答するのが難しい場合は、ご本人の意向に沿って代わりに回答できる方が記入してください。
- ご記入は、票または欄の影線やホールパンでお願ひいたします。
- 質問中の「あなた」とは「あて名のご本人」を指します。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
- 「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的にその内容を記入ください。
- 記入された回答欄に入りきらない場合は、別紙に記入してこの調査票と一緒に提出いただいても構いません。
- 一部の方だけに回答していただく質問もありますが、その場合は失印（←）で示したり、説明文がまいりますので、該当する方のみ回答してください。
- 選択肢については、他の障害に関する調査票と共通としているものがありますので、ご了承ください。
- ご記入いただいた調査票は、**9月19日（金）**までに、同封の封筒に入れて返送してください。（切手は不要です）

あなた（あて名のご本人）について、お聞きします

問1 この調査に回答される方はどなたですか。（○は1つだけ）

1. あなた（あて名のご本人）
 2. あなたの配偶者
 3. あなたの父母（配偶者の父母含む）
 4. あなたの子ども
 5. あなたの兄弟姉妹
 6. あなたの祖父
 7. その他
- 〔具体的に〕

問2 あなたの性別と令和7年9月1日現在の年齢をお知らせください。

(1) 性別（○は1つだけ）

1. 男性
2. 女性
3. 回答したくない

(2) 年齢（右つめで数字を記入）

歳

千	百	十	個
---	---	---	---

問3 あなたが、現在、住んでいる地域はどこですか。（○は1つだけ）

（該当する住所）

1. 京橋地域
（八重洲二丁目、京橋、銀座、新富、入船、湊、明石町、築地、八丁堀、新川）
2. 日本橋地域
（本石町、室町、木町、小伝馬町、大伝馬町、堀船町、雷沢町、人形町、小網町、墨堤町、箱崎町、扇島町、横山町、東日本橋、久松町、浜町、中洲、八重洲一丁目、日本橋、茅場町、栗町）
3. 月島地域
（佃、月島、勝どき、豊洲町、豊海）

問4 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。（○は1つだけ）

1. 家族と同居している

2. ひとり暮らし

3. 施設に入所している（グループホームを含む）

4. その他〔具体的に〕

→【問4で「1」と答えただ方にお聞きします】

問4-1 同居している方はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 配偶者
2. 父
3. 母
4. 兄弟姉妹（その配偶者を含む）
5. 子（その配偶者を含む）
6. 祖父
7. 祖母
8. 孫（孫の配偶者）
9. その他の親族
10. その他〔具体的に〕

【すべての方にお聞きします】

問5 あなたが持っている障害者手帳または医療受給者証などはどれですか。また、お持ちの手帳の障害の等級や程度の区分を〔 〕から選択してください。
(あてはまるものすべて○)

1. 身体障害者手帳〔1級・2級・3級・4級・5級・6級〕
2. 療の手帳〔1度・2度・3度・4度〕
3. 精神障害者保健福祉手帳〔1級・2級・3級〕
4. 養育などの医療費等助成制度の医療受給者証または医療券
5. 自立支援医療(精神通院)受給者証
6. 障害支援区分〔1・2・3・4・5・6〕
7. 発達障害であると医師から診断されている
8. 要支援認定等〔要支援1・要支援2・総合事業対象者〕
9. 要介護認定〔要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5〕
10. 高度脳機能障害であると医師から診断されている
11. 自傷他害、暴言、暴行などの強い行動障害がある
12. いずれにも該当しない

【問5で「3」または「5」と答えた方にお聞きします】

問5-1 かついている疾患は次のどれですか。(あてはまるものすべて○)

1. 統合失調症
2. 神経症(不安障害・パニック障害・強迫性障害・PTSDなど)
3. うつ病
4. 躁うつ病(双極性障害)
5. 依存症(アルコール、薬物など)
6. 認知症
7. その他
8. その他〔具体的に〕

住まいについて、お聞きします

【すべての方にお聞きします】

問6 あなたの現在の住まいは次のどれですか。(○は1つだけ)

1. 寄居(マンションなどを含む)	5. 社宅・公務員住宅
2. 民間借家(マンションなどを含む)	6. 同居・同居り
3. 区立・公営・都市再生機構(UR)借家住宅	7. 入所施設
4. 区営・都営住宅	8. グループホーム
	9. その他〔具体的に〕

問7 あなたは、今後、どのように暮らしたいと願いますか。

(あてはまるものすべて○)

1. 現在同居している家族と一緒に暮らしたい
2. 友のあつ友人や知人と一緒に暮らしたい
3. 障害のある人が入所する施設で暮らしたい
4. 障害のある人たちや相談してくれる人と一緒に暮らしたい(グループホームなど)
5. 一人で暮らしたい
6. 配偶者・パートナーと二人で暮らしたい
7. 子どもを育てながら暮らしたい
8. その他〔具体的に〕
9. わからない

日常生活の中での支援について、お聞きします

問8 日常的に支援してくれる方は、主にどなたですか。(○は1つだけ)

1. 配偶者	10. 訪問看護士
2. 父	11. ホームヘルパー
3. 母	12. ボランティア
4. 兄弟姉妹(その配偶者)	13. その他
5. 子(その配偶者)	〔具体的に〕
6. 祖父	14. 交際してくれる人がいない
7. 祖母	15. 支援の必要がない
8. 孫(孫の配偶者)	
9. その他の親族	

【問8で「1」～「9」のいずれかに答えた方にお聞きします】

問8-1 主に支援してくれる方の年齢はいくつですか。(○は1つだけ)

1. 18歳未満	4. 30歳代	7. 60歳代
2. 18～19歳	5. 40歳代	8. 70歳代
3. 20歳代	6. 50歳代	9. 80歳以上

【すべての方にお聞きします】

問9 あなたは、お金の管理を自分ひとりでできますか。(○は1つだけ)

1. ひとりでできる
2. 状態によってできるときとできないときがある
3. 手助けが必要

第1章

調査概要

第2章

調査結果

(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章

調査結果

(④子ども)

第4章

調査結果

(⑤障害福祉
サービス
事業所)

相談について、お聞きします

問10 あなたは、現在の暮らしの中で何か困っていることはありませんか。(〇は3つまで)
 (あてはまるものすべてに〇)

1. 家族のこと(家族の健康状態、家族の不在で手助けを受けられないなど)	
2. 近所・地域のこと(近所の人とのトラブル、騒音や悪臭に悩む理解など)	
3. 健康・医療のこと(調音や病気の状態が良くない、病院が近くにないなど)	
4. お金のこと(収入、お金の管理など)	
5. 仕事のこと(仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど)	
6. 人との付き合いのこと(周りの人とうまくコミュニケーションが取れないなど)	
7. 住まいのこと(リノベーションになっていないなど)	
8. その他(具体的に)	
9. 特に困っていることはない	

問11 あなたが、将来のことで、不安に感じていることはありませんか。(〇は3つまで)

1. 手助けしてくれる人がいるか	11. 親しい友人・知人がいるか
2. 病がなくなったら後の生活のこと	12. 必要な医療や療育訓練が受けられるか
3. 将来一緒に暮らす家族がいるか	13. 高齢になった時のこと
4. 地域の中で暮らしていただけるか	14. 希望する施設に入所できるか
5. 結婚できるか	15. 災害や病気・事故などの時に、すぐに助けにきてもらえるか
6. 住宅が確保できるか	16. 病舎や財産の管理ができるか
7. 希望する学校に行けるか	17. その他
8. 働く場があるか	【具体的に】
9. 十分な収入があるか	18. 特にない
10. 趣味や生きがいを持つてるか	

問12 あなたが将来希望する生活を送るために必要なことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 在宅介護(ホームヘルプ)の充実	11. 通所施設や居場所の充実
2. 外出・移動における支援(同行援護、行動援護など)の充実	12. 入所施設(共同生活援助、施設入所支援など)の充実
3. 医療やリハビリテーション(自立訓練など)の充実	13. 相談支援(計画相談支援など)の充実
4. 自立生活のための訓練・指導・支援(自立生活援助など)の充実	14. 成年後見制度利用のための支援
5. 認知症のための訓練・指導・支援(認知症移行支援、認知症移行支援など)の充実	15. 障害者向け住宅の充実
6. 働く場所の確保	16. 介護者への支援(短期入所、レスパイトケア、家族への相談支援など)の充実
7. 通所施設や居場所の充実	17. 地域の人々(近隣住民、司会・自治会)の理解
8. 入所施設(共同生活援助、施設入所支援など)の充実	18. その他(具体的に)
9. 入所可能な精神科病院	19. 特にない
10. 相談支援(計画相談支援など)の充実	
11. 成年後見制度利用のための支援	
12. 障害者向け住宅の充実	
13. 介護者への支援(短期入所、レスパイトケア、家族への相談支援など)の充実	
14. 地域の人々(近隣住民、司会・自治会)の理解	
15. その他(具体的に)	
17. 特にない	

問13 あなたは、何か困ったとき、誰に(どこに)相談したり、頼んだりしていますか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1. 家族・友人・知人 | 10. 基幹相談支援センター |
| 2. 近所の人・町会・自治会 | 11. 中央区障害者就労支援センター |
| 3. 民生・児童委員 | 12. 地区活動支援センター(ボケット中央) |
| 4. 会社・学校 | 13. 府としよりの相談センター(地域包括支援センター) |
| 5. 病院・診療所 | 14. 心くしの総合相談窓口 |
| 6. 障害者団体(家族会などを含む) | 15. その他 |
| 7. 障害福祉サービス事業所 | 【具体的に】 |
| 8. 区役所・保健所・福祉センターなど | 16. 特にない |
| 9. 社会福祉協議会 | |

問14 あなたは、次の相談・支援の窓口をご存知ですか。ア)〜ウ)の項目についてそれぞれ該当する数字に〇をつけてください。(ア)〜ウ)のそれぞれ〇は1つだけ)

	1 利用した ことがある	2 知っているが、 利用したこと はない	3 知らない
ア)中央区障害者就労支援センター 障害のある人が一般企業へ就労する機会を 広げ、就労後も安心して働き続けられるように、 専任のコーディネーターが就労や生活に関する 相談・支援を行っています。	1	2	3
イ)基幹相談支援センター 障害の種類や年齢にかかわらず、障害のある すべての方とそのご家族に対しての総合相談 支援を行うとともに、関係機関や相談支援事業 者との連携の強化を図っています。	1	2	3
ウ)中央区精神障害者地域活動支援センター (ボケット中央) 精神疾患や精神障害のある在宅の区民が、 気軽に相談したり、安心して過ごせるように居 場所を提供するほか、精神障害などのある方 やその家族からの相談を受け、必要な情報提 供や助言を行ったり、芸術・運動・食卓会など のプログラムを実施しています。	1	2	3

問15 あなたは、区々の相談・支援の窓口が利用しやすくなるには、どのようなことが必要だと感じますか。(〇は3つまで)

1. 相談・支援の窓口が身近にあること
2. 相談内容に合わせた、わかりやすい情報提供をしてくれること
3. さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口になっていること
4. 休日や夜間でも相談できること
5. 電話で相談への対応をしてくれること
6. メールやSNS (LINE など) で相談への対応をしてくれること
7. ICT 機器 (対話支援機器など) が効ること
8. コミュニケーション支援が充実していること (手話通訳者等の配置など)
9. 障害のある人や家族など同じ立場の人と話ができること (ピアカウンセリング・ピアサポート)
10. ゆっくり話を聞いてもらえること
11. 予約がなくてもいつでも相談できる体制があること
12. 自宅への訪問相談をしてくれること
13. プライバシーの配慮がしっかりしていること
14. その他 (具体的に)
15. 特になし

障害福祉サービスについて、お聞きします

問16 (1)令和6年4月以降、あなたは、次の障害福祉サービスを、地域生活支援事業を利用したことがありますか。ア～オの項目についてそれぞれ該当する数字に〇をつけてください。

(2)あなたが利用したサービスについて、支給量は十分だと感じますが、ア～オの項目についてそれぞれ該当する数字に〇をつけてください。

(1)、(2)のそれぞれ〇は1つだけ
※ここに掲載されている障害福祉サービス、地域生活支援事業は、中央区が提供するサービスの一部です。

	(1) 利用状況				(2) 支給量	
	1 区外事業所を利用したことがある	2 区外事業所を利用したことはない	3 区外事業所・区外事業所両方を 利用したことがある	4 利用したことはない	1 既定支給量の中で十分	2 既定支給量の中で十分でない
回答例	①	2	3	4	①	2
ア) 居宅介護 (ホームヘルプ) 居宅において、①入浴や排泄、食事等の介護、②調理や洗濯、掃除等の家事、③生活等に關する相談・助言等の生活全般にわたる援助を行います。	1	2	3	4	1	2
イ) 行動支援 障害者(児)が行動する際に生じ得る危険を回避するために、必要な搬送、外出時の移動中の介護、排泄や食事の介護等の必要な援助を行います。	1	2	3	4	1	2
ウ) 生活介護 障害者支援施設等において、常時介護を要する障害者等に対して、主に昼間に①入浴や排泄、食事等の介護、②調理や洗濯、掃除等の家事、③生活等に關する相談・助言、④創作的活動または生産活動の機会を提供等の必要な援助を行います。	1	2	3	4	1	2
エ) 自立訓練 (生活訓練) 身体障害者等に対して、通所または通所訪問により、理学療法、作業療法等のリハビリテーションや生活に關する相談・助言等の必要な支援を行います。	1	2	3	4	1	2
オ) 就労移行支援 就労を希望する65歳未満の障害者等で、一般の事業所に雇用されることが可能と見込まれる人に対して、生産活動、職業体験等の機会の提供、就労に必要な知識や能力の向上のために必要な訓練、求職活動に關する支援、その適性に即した職場の開拓、就職後の職場への定着のために必要な相談・助言等の支援を行います。	1	2	3	4	1	2

	(1) 利用状況			(2) 支給量		
	1 区内事業所を利用したことがあるが 区外事業所を利用したことはない	2 区内事業所を利用したことがあるが 区外事業所を利用したことはない	3 区内事業所・区外事業所両方を 利用したことがある	4 利用したことはない	1 既済支給量の中で十分に サービスを受けられている	2 既済支給量の中で十分に サービスを受けられていない
カ) 就労継続支援 (A型) 企業等に就労することが困難な65歳未満の障害者等に対して、雇用契約に基づき、生産活動の機会の提供、就労に必要な知識や能力の向上のための訓練等の支援を行います。	1	2	3	4	1	2
キ) 就労継続支援 (B型) 年齢、心身の状態等の事情により、一般の事業所に雇用されることが困難な障害者等や、就労移行支援によって一時的に事業所に雇用されるに至らなかった障害者等に対して、生産活動の機会の提供、就労に必要な知識や能力の向上のための訓練等の支援を行います。	1	2	3	4	1	2
ク) 就労定着支援 就労支援等のサービスを受けていた障害者等に對して、就労定着に向けた支援(企業・家族との連絡調整や生活面での支援等)を行います。	1	2	3	4	1	2
ク) 療養介護 病院において日常生活上の世話等の常時介護が必要な障害者等に對して、主に昼間に機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理下での介護や日常生活上の支援を行います。また、療養介護のうち医師に係るものについては、療養介護医療を行います。	1	2	3	4	1	2
コ) 短期入所 (ショートステイ) 居宅において生活する障害者(児)等の介護者が疾病等の理由で日常の支援を行えない際に、障害者支援施設等への短期間の入所をすることにより、入浴や排せつ、食事の介護等の必要な支援を行います。	1	2	3	4	1	2

	(1) 利用状況			(2) 支給量		
	1 区内事業所を利用したことがあるが 区外事業所を利用したことはない	2 区内事業所を利用したことがあるが 区外事業所を利用したことはない	3 区内事業所・区外事業所両方を 利用したことがある	4 利用したことはない	1 既済支給量の中で十分に サービスを受けられている	2 既済支給量の中で十分に サービスを受けられていない
カ) 自立生活援助 障害者支援施設やグループホーム等から一人暮らしへの移行を希望する障害者等に対して、本人の意思を尊重した地域生活を支援するため、一定の期間にわたり、定期的な巡回訪問や随時の対応により、相談・助言等を行います。	1	2	3	4	1	2
シ) 共同生活援助 (グループホーム) 地域で共同生活を営むことができず障害者等に對して、主に夜間に共同生活を営む住居において相談等の日常生活上の援助を行います。	1	2	3	4	1	2
ス) 地域移行支援 入所施設や精神科病院等からの退所・退院に對して支援を必要とする人に対して、個別住居の確保や地域の生活に就労移行するための活動に關する相談、外出の車の同行、障害福祉サービス(生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援等)の体系的な利用支援、体系的な宿泊支援等を行います。	1	2	3	4	1	2
セ) 地域定着支援 入所施設や精神科病院から退所・退院した人、家族との同居から一人暮らしに移した人、地域での生活が不安定な人などに対して、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に必要となる支援を行います。	1	2	3	4	1	2
ソ) 手話通訳者派遣 聴覚障害者等に対する手話通訳者の派遣や、区が主催する行事などへの手話通訳者の配備を行います。	1	2	3	4	1	2

医療について、お聞きします

問20 あなたは、現在、通院や入院をしていますか。(Oは1つだけ)

1. 時々通院している
2. 定期的に通院している
3. 住診を受けている
4. 入院している
5. 具合がよいので通院などの必要はない
6. その他〔具体的に〕

【すべての方にお聞きします】

問20-1 通院や住診などの回数はどれくらいですか。(Oは1つだけ)

1. 週2回以上
2. 週1回程度
3. 2週間に1回程度
4. 1か月に1回程度
5. 1か月に1回程度より少ない

問20-2 通院や住診を受けているのはどのような医療機関ですか。(Oは1つだけ)

1. 精神科病院
2. 総合病院の精神科
3. 診療所(クリニック)

問20-3 区内で適切な医療を受けていますか。(Oは1つだけ)

1. 受けられている
2. 受けられていない

就労・経済状況について、お聞きします

【すべての方にお聞きします】

問21 現在のあなたの就労(福祉的就労も含む)の状況について、お答えください。金額に関わらず工員が発生している方は「働いている」にOをつけてください。

1. 働いている
2. 働いていない → [問21-4へ]

【問21-1～21-3は、問21で「1」と答えた方にお聞きします】

問21-1 どのような仕事をしていますか。(Oは1つだけ)

1. 自営業
2. 自営業の手伝い
3. 会社・団体の役員・経営者
4. 会社員(一社雇用)
5. 会社員(派遣会社・特例子会社)
6. 公務員
7. ハート・アルバイト
8. 家庭内労働
9. 就労継続支援(A型・B型)事業所など
10. 調査施設の仕事(ふれあい作業所など)
11. その他〔具体的に〕

問21-2 今の仕事はどのような方法で探しましたか。(あてはまるものすべてにO)

1. ハローワークからのあせせん
2. 中川区障害者就労支援センターの支援
3. 学校の紹介
4. 就労移行支援事業所などの支援
5. 障害者団体(家族会などを含む)の支援
6. 家族、親戚の紹介
7. 知り合いの紹介
8. 自分で探した
9. その他
10. 障害者団体(家族会などを含む)の支援

問21-3 仕事の内容や働く場などで、あなたの障害に対する配慮がありますか。(あてはまるものすべてにO)

1. 仕事内容に配慮がある
2. 働く場(環境)に配慮がある
3. 働き方(就業時間など)に配慮がある
4. 資金に配慮がある(最低賃金の確保)
5. 健康状態(通院など)に配慮がある
6. 相談できる環境が整っている
7. その他(具体的に)
8. 特に配慮はされていない
9. わからない

【問21-4は、問21で「2」と答えた方にお聞きします】

問21-4 今後、働きたいと思えますか。(Oは1つだけ)

1. 働きたい
2. 自分にあった仕事があれば働きたい
3. 働きたくない
4. わからない

【すべての方にお聞きします】

問22 あなたは、障害などのある人が働くために、どのような環境が必要だと感じますか。(あてはまるものすべてにO)

1. 自身の近くに働く場があること
2. 移動するときに誰かが付き添ってくれること
3. 就業状態にあわせて働けることができること
4. 通院や通いの管理など医療上の配慮があること
5. 一人ひとりにあった仕事や働く場が作られること
6. 仕事や働く場を紹介したり、相談できる場があること
7. 会社で働くための訓練や、仕事に必要なことを学ぶ施設があること
8. 仕事に慣れるまで、援助してくれるなどの制度があること(ジョブコーチ)
9. 職場や地域の人たちが障害などのある人を理解し、配慮していること
10. 介助してくれる人と一緒に働けること
11. 仕事に慣れた後も、困ったときに支援を受けられる制度があること
12. その他〔具体的に〕
13. わからない

社会参加・文化余暇活動について、お聞きします

問23 あなたは、地域(町会など)や区が行うイベントや行事に参加したことはありますか。(あてはまるものすべてにO)

1. 町会などのお祭り
2. 町会などのバスハイク
3. 町会訓練
4. 町会で行う地域の清掃
5. 町会ハロートール
6. その他(区主催のイベントなど)
7. 参加したことはない

問24 あなたは、どのような文化・芸術・余暇活動に参加したいですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| 1. 健康福祉まつり | 9. 美術館・博物館めぐり |
| 2. 大江戸まつり | 10. レクリエーション活動 |
| 3. 散歩、買い物 | 11. 運動、スポーツ活動 |
| 4. 習い事、学習活動、区の講座
(区民カレッジなど) | 12. スポーツ観戦 |
| 5. 読書 | 13. ボランティア活動 |
| 6. 旅行 | 14. 地域行事への参加 |
| 7. 絵画・演劇・音楽などの創作活動 | 15. その他【具体的に】 |
| 8. 映画・演劇・コンサートの鑑賞 | 16. 上記の活動をしたいたと思うができない |
| | 17. 上記の活動をしたいたと思わない |

問25 あなたは、外出や社会参加の障りことや妨げになっていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| 1. 道路の段差や坂などの障りが不便 | 10. 適切な指導者がいない |
| 2. 電車やバスなどの利用が不便 | 11. 一緒に行く仲間がいない |
| 3. トイレが心配 | 12. 通話、文字表示、点字など情報提供の
配慮がない |
| 4. 建物や施設の設備が整っていない | 13. 経済的理由 |
| 5. 目的地まで安全な行き方がわからない | 14. 新型コロナウイルス感染症等の感染の
不安 |
| 6. 手助け(介助)してくれない人がいない | 15. その他【具体的に】 |
| 7. 情報が入りにくい・ない | 16. 特にない |
| 8. 障害や難病に対して配慮・理解がない | |
| 9. 障害などを理由に参加を断られる | |

成年後見制度や権利擁護支援事業について、お聞きします

中央区社会福祉協議会の成年後見支援センター「すてっぷ中央」では、成年後見支援事業と権利擁護支援事業を行っています。

「成年後見制度」とは障害や病気で判断能力が不十分になった方などの不安を解消し、権利と財産を守る制度です。また、「権利擁護支援事業」とは判断能力に不安のある方に対して、日常的な金銭の出入りや連絡などの保護、福祉サービスの利用援助など、安心して生活が送れるよう支援する事業です。

問26 あなたは、「成年後見制度」について内容を知っていますか。(○は1つだけ)

- | |
|---------------------------------|
| 1. よく知っている |
| 2. 名前・制度についてはおおよそ知っている |
| 3. 名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない |
| 4. 全く知らなかった |

成年後見制度には、社会福祉法人やNPO法人などが後見を行う「法人後見」があります。一般的に、法人後見では、法人の複数の職員が職務執行者として成年後見制度に基づく後見事務を行うため、長期的に安定して支援を継続できるという利点があります。

問27 あなたは、「法人後見」について内容を知っていますか。(○は1つだけ)

- | |
|---------------------------------|
| 1. よく知っている |
| 2. 名前・制度についてはおおよそ知っている |
| 3. 名前を知ったことがある程度で制度についてはあまり知らない |
| 4. 全く知らなかった |

問28 あなたは、「法人後見」を利用したいと思えますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|----------------|----------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したいとは思わない | 3. わからない |
|----------|----------------|----------|

障害者などへの区民の理解について、お聞きします

問29 あなたは、障害や障害者、難病や難病患者に対する区民の理解について、どのように感じていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. とても理解されている | 4. まったく理解されていない |
| 2. ある程度理解されている | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり理解されていない | |

問30 あなたは、障害があることで、差別を働いたことはありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|-----------|
| 1. よくある | 3. ほとんどない |
| 2. 時々ある | 4. まったくない |

問31 あなたは、役所や会社、お店などの事業者が、正当な理由なく障害を理由に差別することを禁止し、合理的配慮(何らかの配慮を必要とする意思が伝えられた時に、対応すること)の提供を義務付ける「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. 知っている | 2. 知らない | 3. わからない |
|----------|---------|----------|

問32 あなたは、障害者差別の解消を推進するために、何が必要だと感じますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 障害者差別に関する相談・紛争解決のしくみをつくること
2. 障害者差別の解消の取組に関する情報発信や普及・啓発を行うこと
3. 地域や学校などで障害や難病のある方との交流の機会を確保すること
4. 学校や生涯学習などで障害や難病に関する教育を行うこと
5. 障害や難病に関する講演会を開催すること
6. 障害者の一般就労を促進すること
7. タイパージンティ（多様性）の取組を推進すること
8. その他（具体的に：_____）
9. わからない

問33 あなたは、役所、会社、お店などに対し、どのような合理的配慮を必要としてい
ますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 来ているときは、どうしてほしいか聞いてから対応してほしい
2. 案内をするときは、そばに立つ位置を聞いて歩く速さをあわせてほしい
3. 車いすでも利用しやすいようカウンターの高さを調整してほしい
4. 段差のある場所やエレベーターがない場所で、移動を手伝ってほしい
5. 何度も指を立つ必要があるときは、座席の位置を出入口の近くにしてほしい
6. 息や肌触り、室温など感覚的に快適な環境を整えてほしい
7. 服れたときやリラックスしたいときに使えるスペースを設けてほしい
8. 物の位置をわかりやすく伝えてほしい
9. 手の届かないところにあるものをとったり、しまったりしてほしい
10. ゆっくりと短いことばや文書で、わかりやすく話しかけてほしい
11. 漢字を少なくする、ルビを振るなどをしてほしい
12. 伝えたいことを紙に書いてほしい
13. 障害や難病などの特性を理解し、参加するための工夫をしてほしい
14. その他（具体的に：_____）
15. わからない

中央区では、令和5年4月1日に「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び
手話言語の理解の促進に関する条例」を制定しました。この条例は、障害のある方の
特性に合った多様なコミュニケーション手段の充実を図るとともに、手話が言語であ
ることの理解を促すことにより、誰もが障害の有無によって分け隔てられることな
く、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指すことを目的と
しています。

問34 あなたは、「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促
進に関する条例」について内容を知っていますか。（○は1つだけ）

1. よく知っている
2. 名前・内容についてはおおよそ知っている
3. 名前を聞いたことがある程度で内容についてはあまり知らない
4. 全く知らなかった

問35 中央区では、「虐待通報・相談窓口」を設け、障害者虐待の未然の防止、早期発
見、迅速な対応、その後の切れ目ない支援を行っています。あなたは、「虐待通
報・相談窓口」を知っていますか。（○は1つだけ）

1. 知っている
2. 知らない
3. わからない

災害時（地震・火災・水害）の対策について、お聞きします

問36 あなたは、災害時に不安に感じることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 災害の対応や避難指示などの情報を入手できるか
2. 避難するときに適切に行動や移動ができるか
3. 避難する場所が分かるか
4. 自分の状況や支援してほしいことを周りの人に伝えることができるか
5. 周りの人から助けてもらえるか
6. 必要な介護、看護など支援を受けられることができるか
7. 必要な医療的ケアを受けられることができるか
8. その他（具体的に：_____）
9. 特に不安はない

**中央区の障害者（児）および難病患者を対象とした施策の満足度
について、お聞きします**

問37 あなたは、中央区で実施している障害者（児）および難病患者を対象とした施策
について満足していますか。（○は1つだけ）

1. 大変満足
2. やや満足
3. やや不満足
4. 非常に不満足

問38 あなたにとって、区の障害者施策に頼らず中央区での暮らしはいいかですか。
(○は1つだけ)

1. 暮らしやすい
2. どちらかといえば暮らしやすい
3. どちらかといえば暮らしにくい
4. 暮らしにくい

問39 中央区（行政）への意見・要望などがありましたら、自由にご記入ください。

——ご協力ありがとうございました——

この調査票は9月19日（金）までに、
同封の返信用封筒に入れ、投函してください。（切手は不要です）

- 19 -

第1章 調査概要

第2章 調査結果 (①身体障害者 ・難病患者 ②知的障害者 ③精神障害者)

第3章 調査結果 (④子ども)

第4章 調査結果 (⑤障害福祉 サービス 事業所)

資料編

問7 お子さんの移動能力は次のどれですか。(○は1つだけ)

1. まだ歩ける年齢ではない
2. ひとりで歩けない(車椅子(ハキマー)を使用し、介助が必要)
3. ひとりで歩けない(車椅子を使用しているが自走可能)
4. ひとりで歩ける(杖など、補助具が必要)
5. ひとりで歩ける
6. 走れる

問8 お子さんを持っている障害者手帳または医療受給者証などはどれですか。また、お持ちの手帳の障害の等級や程度を【 】から選択してください。(あてはまるものすべてに○)

1. 身体障害者手帳【1級・2級・3級・4級・5級・6級】
2. 愛の手帳【1度・2度・3度・4度】
3. 精神障害者保健福祉手帳【1級・2級・3級】
4. 障害福祉サービス受給者証
5. 小児慢性特定疾病医療費助成制度の受給者証
6. 自立支援医療(精神通院)受給者証
7. 障害支援区分【1・2・3・4・5・6】
8. 発達障害であると医師から診断されている
9. 高次脳機能障害であると医師から診断されている
10. 自傷他害、異食、脱走などの強い行動障害がある
11. 特別支援教室・通級指導学級に在籍している
12. いずれにも該当しない

【問8で「1」と答えた方にお聞きします】

問8-1 お子さんの身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。

あてはまる障害の番号を「1番目」の欄に記入してください。

障害の種類が2つ以上記載されている場合は、記載の順番にしたがって、「1番目」と「2番目」を記入してください。

1番目 2番目

1. 視覚障害
2. 聴覚障害
3. 平衡機能障害
4. 音声機能・言語機能又はしゃべり機能の障害
5. 上肢機能障害
6. 下肢機能障害
7. 体幹機能障害
8. 乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害(脳性麻痺)
9. 心臓機能障害
10. じん臓機能障害
11. 呼吸器機能障害
12. ぼうこう又は直腸機能障害
13. 小腸機能障害
14. ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害
15. 肝機能障害

【すべての方にお聞きします】

問9 お子さんは、医療保険制度による在宅サービスを使われていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問診療
2. 訪問看護
3. 訪問リハビリ(理学療法)
4. 訪問リハビリ(作業療法)
5. 訪問リハビリ(言語療法)
6. その他(具体的に)
7. いずれも利用していない

問10 (1)令和6年4月以降、お子さんは、次の障害(児)福祉サービス、地域生活支援事業を利用したことがありますか。ア～セの項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

(2) お子さんが利用したサービスについて、支給量は十分だと思いますか。ア～セの項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

※ここに掲載されている障害(児)福祉サービス、地域生活支援事業は、中央区が提供するサービスの一部です。

	(1) 利用状況				支給量
	1 区内事業所を利用したことがあるが、区内事業所を利用したことはない	2 区内事業所を利用したことはない	3 区内事業所、区外事業所両方を利用したことがある	4 利用したことはない	
ア 居宅介護(ホームヘルプ)	①	2	3	4	①
イ 同行看護	1	2	3	4	1
ウ 在宅訪問看護	1	2	3	4	1
エ 在宅訪問介護	1	2	3	4	1
オ 在宅訪問理学療法	1	2	3	4	1
カ 在宅訪問作業療法	1	2	3	4	1
キ 在宅訪問言語療法	1	2	3	4	1
ク 在宅訪問介護(認知症)	1	2	3	4	1
ケ 在宅訪問看護(認知症)	1	2	3	4	1
コ 在宅訪問介護(認知症)	1	2	3	4	1
ク 在宅訪問看護(認知症)	1	2	3	4	1
ケ 在宅訪問介護(認知症)	1	2	3	4	1
コ 在宅訪問看護(認知症)	1	2	3	4	1
カ 在宅訪問介護(認知症)	1	2	3	4	1
キ 在宅訪問看護(認知症)	1	2	3	4	1
ク 在宅訪問介護(認知症)	1	2	3	4	1
ケ 在宅訪問看護(認知症)	1	2	3	4	1
コ 在宅訪問介護(認知症)	1	2	3	4	1
カ 在宅訪問介護(認知症)	1	2	3	4	1
キ 在宅訪問看護(認知症)	1	2	3	4	1
ク 在宅訪問介護(認知症)	1	2	3	4	1
ケ 在宅訪問看護(認知症)	1	2	3	4	1
コ 在宅訪問介護(認知症)	1	2	3	4	1
カ 在宅訪問介護(認知症)	1	2	3	4	1
キ 在宅訪問看護(認知症)	1	2	3	4	1
ク 在宅訪問介護(認知症)	1	2	3	4	1
ケ 在宅訪問看護(認知症)	1	2	3	4	1
コ 在宅訪問介護(認知症)	1	2	3	4	1
カ 在宅訪問介護(認知症)	1	2	3	4	1
キ 在宅訪問看護(認知症)	1	2	3	4	1
ク 在宅訪問介護(認知症)	1	2	3	4	1
ケ 在宅訪問看護(認知症)	1	2	3	4	1
コ 在宅訪問介護(認知症)	1	2	3	4	1

	(1) 利用状況				(2) 支給量	
	1 区内事業所を利用したことがあるが 区外事業所を利用したことはない	2 区内事業所を利用したことがあるが 区外事業所を利用したことはない	3 区内事業所・区外事業所両方を 利用したことがある	4 利用したことはない	1 既定支給量の中で十分に サービスを受けられている	2 既定支給量の中で十分に サービスを受けられていない
ク) 障害児相談支援 障害児支援利用計画についての相談や作成等の 支援が必要と認められる場合に、障害児が自立し た生活を営む上で、抱えている課題の解決や適切 なサービスの利用に向けて、ケアマネジメントに よるきめ細かな支援を行います。	1	2	3	4	1	2
コ) 手話通訳者派遣 聴覚障害者等に対する手話通訳者の派遣や、区 が主催する行事などへの手話通訳者の配置を行い ます。	1	2	3	4	1	2
カ) 要約筆記者派遣 聴覚障害者等に対する要約筆記者の派遣や、区 が主催する行事等への要約筆記者の配置を行いま す。	1	2	3	4	1	2
キ) 移動支援事業（個別支援型） 個別支援が必要な障害者(児)等に対するマン ツーマンによる送迎支援を行います。	1	2	3	4	1	2
クニ) 訪問入浴サービス 入浴することが困難な重度の障害者(児)に対 し、自宅において訪問入浴車による入浴サービス を提供します。	1	2	3	4	1	2
セ) 日中一時支援 一時的に居残り等が必要な障害者(児)の日中の 活動の場を確保し、日帰的に介護をしている家族 等が休息できるような支援します。	1	2	3	4	1	2

	(1) 利用状況				(2) 支給量	
	1 区内事業所を利用したことがあるが 区外事業所を利用したことはない	2 区内事業所を利用したことがあるが 区外事業所を利用したことはない	3 区内事業所・区外事業所両方を 利用したことがある	4 利用したことはない	1 既定支給量の中で十分に サービスを受けられている	2 既定支給量の中で十分に サービスを受けられていない
ウ) 行動支援 障害者(児)が行動する際に生じる危険を回避 するために、必要な乗車、外出時の移動中の介護、 排せつや食事の介護等の必要な援助を行います。	1	2	3	4	1	2
エ) 短期入所（ショートステイ） 居宅において生活する障害者(児)等の介護者が 疾病等の理由で日常の支援を行えない際に、障害 児支援施設等への短期間の入所をすることによ り、入浴や排せつ、食事の介護等の必要な支援を 行います。	1	2	3	4	1	2
オ) 児童発達支援 未就学の障害児が児童発達支援センターなどの 施設に通所し、日常生活での基本的な動作の指導 や集団生活への適応訓練等を行います。	1	2	3	4	1	2
カ) 放課後等デイサービス 在学中の障害児に対して、放課後や夏休みなど の長期休暇中において、生活能力向上のための訓 練等を継続的に提供することにより、学校教育と 相まって自立を促進するとともに、放課後等の居 場所づくりを行います。	1	2	3	4	1	2
キ) 保育所等訪問支援 保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、特別 支援学校等に通う障害児が、真実生活の適切なた めの支援を必要とする場合に、訪問支援員がその 施設を訪問し、専門的な支援等を行います。	1	2	3	4	1	2
ク) 居宅訪問児童発達支援 重度の障害等により外出が難しく困難な障害児 に対し、居宅を訪問して日常生活での基本的な動 作の指導や生活能力向上のために必要な訓練を行 います。	1	2	3	4	1	2

第1章
調査概要

第2章
調査結果
(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章
調査結果
(④子ども)

第4章
調査結果
(⑤障害福祉
サービス
事業所)

問11 中央区では、地域で共同生活を営むことができる18歳以上の障害者等に対して、主に夜間に共同生活を営む住居において相談等の日常生活上の援助を行う、共同生活援助（グループホーム）を提供しています。共同生活援助（グループホーム）はいつから利用を開始したいですか。（〇は1つだけ）

1. 現在から今後2年未満
2. 今後2年以上5年未満の間
3. 今後5年以上8年未満の間
4. 今後8年以上先
5. わからない
6. その他
7. 利用したいと望まない

問12 あなた（主たる養育者の方）が必要であると感じるサービスがありましたら、自由に記入ください。

問13 サービスの利用で、困ったり、困ったと思うことはありませんか。（あてはまるものすべてに〇）

1. サービスに関する情報が少ない
2. 利用したいサービスが少ない
3. 利用方法が分かりづらい
4. 手続きが難しい
5. 利用できる回数・日数が少ない
6. サービスの質に不満がある
7. 自分に合う事業所が見つからない
8. 事業所に設備を伝えづらい
9. 経済的な負担が大きい
10. 自分の障害支援区分に不満がある
11. その他（具体的に）
12. 特に困りごと、不便なことはない

問14 あなた（主たる養育者の方）は、どこから福祉サービスなどの情報を得ていますか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 障害福祉のしおり
2. 区のおしらせ
3. 役所などにあるポスター、チラシ
4. 区のホームページ
5. 区役所の窓口
6. 保健所・保健センター
7. 福祉センター
8. 教育センター
9. 無料相談支援センター
10. おとしよりの相談センター（地域包括支援センター）
11. 子ども発達支援センターゆりのき
12. 子ども家庭支援センター まらら中央
13. 東京都児童相談センター・佐藤相談所
14. 病院・診療所
15. 民生・児童委員
16. 障害者団体（家族会などを含む）
17. 相談支援事業所
18. 家族や近所の人（友人・知人）
19. 会社・学校
20. テレビや新聞
21. その他（具体的に）
22. 特にない

主たる養育者の方について、お聞きします

問15 あなた（主たる養育者の方）の年齢を教えてください。（〇は1つだけ）

1. 19歳以下
2. 20～24歳
3. 25～29歳
4. 30～34歳
5. 35～39歳
6. 40～49歳
7. 50～59歳
8. 60歳以上

問16 あなた（主たる養育者の方）は、ご自分の健康状態をどのように感じていますか。（〇は1つだけ）

1. よい
2. まあよい
3. ぶつう
4. あまりよくない
5. よくない

問17 あなた（主たる養育者の方）の就労状況などを教えてください。（〇は1つだけ）

1. 働いている
2. 働いていない

→【問17で「1」と答えた方にお聞きします】

問17-1 あなた（主たる養育者の方）の就労形態を教えてください。（〇は1つだけ）

1. 自営業
2. 正雇用（正社員など）
3. 非正規雇用（契約社員、嘱託社員、パート・アルバイトなど）
4. その他（具体的に）

相談について、お聞きします

【すべての方にお聞きします】

問18 あなた（主たる養育者の方）は、現状、困っていることや不安に思っていることがありますか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 子どもの養育に関すること
2. 子どもの療育や発達に関すること
3. 子どもの進学・就職・将来の生活に関すること
4. 子どもの対人関係・集団生活に関すること
5. 子どもの一時預かり・保護後支援に関すること
6. 情報や相談支援が不足していること
7. 家族への支援が不足していること
8. 経済的な不安があること
9. 地域の人に理解してもらえないこと
10. その他（具体的に）
11. 特にない

問19 お子さんの育ちや発達について、次の人・相談機関に相談したことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 配偶者 | 10. 子ども発達支援センター ゆりのき |
| 2. 祖父母・兄弟姉妹などの親族 | 11. 教育センター |
| 3. 友人や知人 | 12. 高齢相談支援センター |
| 4. 通園・通学先の担任教師・養護教諭 | 13. 東京都児童相談センター・児童相談所 |
| 5. 通園・通学先のスクールカウンセラー | 14. 東京都の療育センター |
| 6. 民生・児童委員 | 15. 医療機関 |
| 7. 児童館 | 16. その他 |
| 8. 子ども家庭支援センター きらら中央 | 【具体的に】 |
| 9. 保健所・医療センター | 17. 特にない |

問20 あなた（主たる養育者の方）は、近所の人で、生活のことやお子さんのことで頼れる人はいませんか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問21 あなた（主たる養育者の方）は、中央区の育ちや発達に関する相談・支援の窓口で相談しやすくなるには、どのようなことが必要だと感じますか。(○は3つまで)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 相談・支援の窓口が身近にあること |
| 2. 相談内容に反応した、わかりやすい情報提供をしてくれること |
| 3. さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口になっていること |
| 4. 休日や夜間でも相談できること |
| 5. 電話で相談への対応をしてくれること |
| 6. メールやSNS（LINEなど）で相談への対応をしてくれること |
| 7. ICT機器（対応支援機器など）があること |
| 8. コミュニケーション支援が充実していること（手話通訳者の配置など） |
| 9. 障害のある人の親衛士のつながりや仲間づくりができること |
| 10. ゆっくり話を聞いてもらえること |
| 11. 予約がなくてもいつでも相談できる体制があること |
| 12. 自宅への訪問相談をしてくれること |
| 13. フライバシーの配慮がしっかりしていること |
| 14. その他【具体的に】 |
| 15. 特にない |

問22 あなた（主たる養育者の方）は、育ちや発達に関する専門機関や医療機関にどのような支援を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 相談や診察の機会の拡充 | 8. ヘアレントメンター事業やピアサポート活動の充実 |
| 2. 相談や診察後の継続的なフォロー | 9. 支援機関や団体に関する情報提供 |
| 3. わかりやすい説明や助言 | 10. 制度や事業に関する情報提供 |
| 4. 専門性に基づいた具体的な助言 | 11. 保護者同士の交流の場の提供 |
| 5. セルフケアを促すための相談 | 12. その他 |
| 6. 支援事業所の充実 | 【具体的に】 |
| 7. 親・養育者向けの講座の充実 | 13. 特にない |

子どもの育ち等への理解について、お聞きします

中央区では、「子ども発達支援センター ゆりのき」が中心となって、「中央区育ちのサポートシステム」を推進しています。

「中央区育ちのサポートシステム」は、育ちに支援を必要とする子どもたちが、早期から適切な支援を受け、通園・通学先が変わっても関係機関が連携し、その支援が切れ目なく貫いて継続される体制です。

また、子どもに関わる多機関が、適切な支援方法や課題を共有し、通園・通学先が変わる成長の節目をきちんとつなぐツールとして、各関係機関が発達の特性に応じた支援情報を記載した「育ちのサポートカルテ」を作成しています。(平成30年度から本格運用開始)

問23 「育ちのサポートカルテ」を活用されていますか。(○は1つだけ)

- | |
|---------------------|
| 1. 活用している |
| 2. 利用はしたが今後活用を検討したい |
| 3. 知っているが、活用していない |
| 4. 知らなかったし、今後活用しない |
- 【問23で「3」、「4」と答えた方にお聞きします】
- 問23-1 「活用していない・活用しない」理由をお聞かせください。(○は1つだけ)
- | |
|------------------------------|
| 1. 個人情報の取扱いに不安があるから |
| 2. 特別な支援は必要ないから |
| 3. 通園・通学先で、先入観を持たれたくないから |
| 4. 申請や活用の方法がわからないから |
| 5. 対面で話をすすめる必要があり、手前などが面倒だから |
| 6. その他【具体的に】 |

問24 あなた（主たる養育者の方）は、あなたの近所の人に、お子さんの育ちや発達について理解されていると感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------|---------|
| 1. 感じる | 2. 感じない |
|--------|---------|

問25 あなた（主たる養育者の方）は、お住まいの地域がどのような地域であってほしいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 子どもの特性や障害に理解がある
2. 子どもに対して温かい声かけがある
3. 地域の行事に参加しやすい、誘ってもらえる
4. 生活の困りごとなどの相談ができる
5. 緊急時に子どもを預かってもらえるなどの助けがある
6. 災害時の助け合いがある
7. その他（具体的に）
8. 特にない

問26 あなた（主たる養育者の方）は、役員や会社、お店などの事業者が、正当な理由なく障害を理由に差別することを禁止し、合理的配慮（何らかの配慮を必要とする層層が伝えられた時に、対応すること）の提供を義務付ける「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていますか。（○は1つだけ）

1. 知っている
2. 知らない
3. わからない

問27 あなた（主たる養育者の方）は、障害者差別の解消を推進するために、何が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 障害者差別に関する相談・紛争解決のしくみをつくること
2. 障害者差別の解消の取組に関する情報発信や普及・啓発を行うこと
3. 地域や学校などで障害や難病のある方との交流の機会を設けること
4. 学校や生涯学習などで障害や難病に關しての教育を行うこと
5. 障害や難病に關する講座などを開催すること
6. 障害者の一応就労を進めること
7. タイムシェア（多様性）の取組を推進すること
8. その他（具体的に）
9. わからない

中央区では、令和5年4月1日に「中央区障害者の多様な認知課題手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」を制定しました。この条例は、障害のある方の特性に配慮した多様なコミュニケーション手段の充実を図るとともに、手話が言語であることへの理解を促ることで、誰もが障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指すことを目的としています。

問28 あなた（主たる養育者の方）は、「中央区障害者の多様な認知課題手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」について内容を知っていますか。（○は1つだけ）

1. よく知っている
2. 名前・内容についてはおおよそ知っている
3. 名前を聞いたことがある程度で内容についてはあまり知らない
4. 全く知らない

お子さんの将来について、お聞きします

問29 あなた（主たる養育者の方）は、将来、お子さんにどのようなところで働いてほしいと考えていますか。（1つに○）

1. 会社やお店などで働く（一般就労）
2. 地域の障害者施設（作業所など）で働く（福祉的就労）
3. その他（具体的に）
4. わからない
5. 働くことは困難だと願う

問30 あなた（主たる養育者の方）は、障害などのある人が働くためにはどのような環境が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 自宅の近くに働く場があること
2. 移動するときに誰かが付き添ってくれること
3. 就業状態にあわせた働き方ができること
4. 通所や業の管理など医療上の配慮があること
5. 一人ひとりにあった仕事や働く場が作られること
6. 仕事や働く場を紹介したり、相談できる場があること
7. 会社で働くための訓練や、仕事に必要なことを学ぶ施設があること
8. 仕事に慣れるまで、援助してくれるなどの制度があること（ジョブコーチ）
9. 親戚や地域の人たちが障害などのある人を理解し、配慮していること
10. 介助してくれる人と一緒に働けること
11. 仕事に慣れた後も、困ったときに支援を受けられる制度があること
12. その他（具体的に）
13. わからない

今後の区の取組について、お聞きします

問31 あなた（主たる養育者の方）は、中央区で実施している育ちに支援を必要とする子どもたちを対象とした施策について満足していますか。（○は1つだけ）

1. 大変満足
2. やや満足
3. やや不満足
4. 非常に不満足

問32 あなた（主たる養育者の方）にとって、区の障害児施策に限らず中央区での暮らしがよいですか。（○は1つだけ）

1. 暮らしやすい
2. どちらかといえば暮らしやすい
3. どちらかといえば暮らしにくい
4. 暮らしにくい

問33 中央区（行政）への職員・要員などがありましたら、自由に記入ください。

お子さんの夢や暮らしについて、お聞きします
※お子さんが回答してください

問34 お子さんにおきます。あなた（お子さん）は、どのようなことをしたいかなど、文でも絵でもよいので、思っていることを自由に書いてください。
※お答え可能な場合のみご回答ください。

——ご協力ありがとうございました——
この調査票は9月19日（金）までに、
同封の返信用封筒に入れ、投函してください。（切手は不要です）

第1章 調査概要

第2章

調査結果
①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者

第3章

調査結果
④子ども

第4章

調査結果
⑤障害福祉
サービス
事業所

10月20日現在、利用状況について教えてください。

問14. 利用者の利用目的は、利用開始の理由を教えてください。最も多いものを複数選んでください。

利用者の名字

利用者に対して優しい

利用者との接点

対応がよい 利用者への配慮が感じられる

戻る 進む 次へ

10月20日現在、利用状況について教えてください。

問15. 利用者の利用目的は、利用開始の理由を教えてください。最も多いものを複数選んでください。利用開始の理由を教えてください。

利用者の名字

利用者に対して優しい

利用者との接点

対応がよい 利用者への配慮が感じられる

戻る 進む 次へ

10月20日現在、利用状況について教えてください。

問16. 利用者の利用目的は、利用開始の理由を教えてください。最も多いものを複数選んでください。

利用者の名字

利用者に対して優しい

利用者との接点

対応がよい 利用者への配慮が感じられる

戻る 進む 次へ

10月20日現在、利用状況について教えてください。

問17. 利用者の利用目的は、利用開始の理由を教えてください。最も多いものを複数選んでください。

利用者の名字

利用者に対して優しい

利用者との接点

対応がよい 利用者への配慮が感じられる

戻る 進む 次へ

10月20日現在、利用状況について教えてください。

問18. 利用者の利用目的は、利用開始の理由を教えてください。最も多いものを複数選んでください。

利用者の名字

利用者に対して優しい

利用者との接点

対応がよい 利用者への配慮が感じられる

戻る 進む 次へ

第1章

調査概要

第2章

調査結果
 (①身体障害者
 ・難病患者
 ②知的障害者
 ③精神障害者)

第3章

調査結果
 (④子ども)

第4章

調査結果
 (⑤障害福祉
 サービス
 事業所)

第1章
調査概要

第2章
調査結果
①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者

第3章
調査結果
④子ども

第4章
調査結果
⑤障害福祉
サービス
事業所

資料編

実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
就労支援施設			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
地域福祉センター等			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
地域福祉センター等 (地域福祉センター等)			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
訪問介護サービス			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
その他 (***ANS Q10Q10***)			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人

実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
就労支援施設 (B型)			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
地域福祉センター等			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
訪問介護			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
知的入所 (福祉型・高機能)			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
自立生活援助			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
其他生活援助 (グループホーム)			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
施設入所介護			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
介護福祉施設			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
地域福祉センター等			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
児童発達支援			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人
児童発達支援センター等			
実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)	実際に雇用している数 (従業員数)	雇用可能な数 (従業員数)
〇人	〇人	〇人	〇人

中央区の福祉推進の取り組みに関する調査

質問11.
福祉・障害者が日常生活で困る場面を減らしていくための取組が少いから、お答えください。
お答えは是非を問わずお答えください。(複数選択可)

相談利用者の増加が原因

利用者一人当たりでの利用者が少ない

事業者の運営が厳しい

利用者や事業者がサービスをより理解していない

利用者からの利用や予約の減少が原因

利用サービスが利用が不便(交通手段やエリアが広いなど)

人材の確保

人材の育成

サービス・サービス事業者との協力が薄い

サービス・サービス事業者との連携

民間団体との連携

自治体間の連携をさらに強化してほしい

その他

他に選択がない

戻る 次へ

中央区の福祉推進の取り組みに関する調査

質問12.
中央区内で提供するサービスや事業運営に関して、貴事業所では検討されていることや今後の取組についてお答えください。
お答えは是非を問わずお答えください。(複数選択可)

提供しているサービスの内容や形式

提供しているサービスの内容や形式を維持

提供しているサービスの内容や形式を刷新、廃止

提供しているサービスの内容

その他

他にない

戻る 次へ

中央区の福祉推進の取り組みに関する調査

質問13.
福祉・障害者が日常生活で困る場面を減らしていくための取組について、下記の事例に具体的に記入ください。
記入は是非を問わずお答えください。(複数選択可)

サービス名(例: 高齢者生活支援センター)

サービス内容(例: 高齢者の生活支援)

サービス名	内容	取組内容
<input type="text"/>	<input type="text"/>	(法人名) <input type="text"/> (法人種) <input type="text"/> (法人業) <input type="text"/> (法人日) <input type="text"/> (法人地) <input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	(法人名) <input type="text"/> (法人種) <input type="text"/> (法人業) <input type="text"/> (法人日) <input type="text"/> (法人地) <input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	(法人名) <input type="text"/> (法人種) <input type="text"/> (法人業) <input type="text"/> (法人日) <input type="text"/> (法人地) <input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	(法人名) <input type="text"/> (法人種) <input type="text"/> (法人業) <input type="text"/> (法人日) <input type="text"/> (法人地) <input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	(法人名) <input type="text"/> (法人種) <input type="text"/> (法人業) <input type="text"/> (法人日) <input type="text"/> (法人地) <input type="text"/>

戻る 次へ

中央区の福祉推進の取り組みに関する調査

質問13.
福祉・障害者が日常生活で困る場面を減らしていくための取組について、下記の事例に具体的に記入ください。(1つ選択)

サービス名(例: 高齢者生活支援センター)

サービス内容(例: 高齢者の生活支援)

取組内容(例: 高齢者の生活支援)

戻る 次へ

第1章

調査概要

第2章

調査結果

(①身体障害者
・難病患者
②知的障害者
③精神障害者)

第3章

調査結果

(④子ども)

第4章

調査結果

(⑤障害福祉
サービス
事業所)

令和7年度
中央区の福祉施策の充実に関する調査
(中央区障害者(児)実態調査)
【調査結果報告書】

発行：中央区

編集：中央区 福祉保健部 障害者福祉課

住所：〒104-8404

東京都中央区築地一丁目1番1号

電話番号：03-3546-5389

調査機関：株式会社日本能率協会総合研究所

発行年月：令和8(2026)年3月 刊行物登録番号7-99



中央区